

国立大学における男女共同参画推進の実施に関する
第10回追跡調査報告書

平成26年1月10日

一般社団法人国立大学協会
教育・研究委員会 男女共同参画小委員会

国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第10回追跡調査報告書

前文	3
国立大学協会における男女共同参画推進に係る活動等	4
調査の概要	6
第一部(調査報告)	
I. 男女共同参画推進に関する取組状況について	9
II. 男女共同参画の現状	
1. 大学における女性比率	13
2. 大学の意思決定機関等における女性比率	17
3. 専門分野別の女性比率	18
4. 非常勤講師の状況	29
5. 採用および昇任	31
6. 職員の状況	33
7. 「女性学・ジェンダー研究関連授業」の開講状況	37
8. 育児介護休業等の利用者数	40
9. 保育施設の設置状況	44
III. 総括	48
第二部(資料編)	
I. 第10回追跡調査の集計結果	
A. 統計調査集計	53
B. 各大学の新たな取組及び第2期中期目標・中期計画における対応	99
C. アクションプランを踏まえた各大学の特に成果を上げた取組	142
D. 女性教員比率、女性教員数が増加した上位5大学	147
II. 添付資料	
A. 国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－	149
B. 第10回追跡調査票	155
C. 大学別女性教員比率一覧	174
男女共同参画小委員会委員名簿	176

前 文

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のことである。この社会を実現するため、平成11年6月、男女共同参画社会基本法が制定された。

この法律が制定されてから14年、社会全体では女性が人口の5割、労働力人口の4割余りを占め、政治、経済、社会など多くの分野の活動を担うようになった。しかしながら、政策・方針決定過程への女性の参画は、いまだ低調である。

国立大学協会がこの問題を本格的に検討し始めたのは、平成11年に「男女共同参画に関するワーキング・グループ」を設置したのが始まりである。平成12年には女性教員比率について目標を掲げ、平成13年からは目標に向けたフォローアップを行うため、「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査」を開始した。また、今回で節目となる第10回目の調査を迎えるにあたり、男女共同参画小委員会委員数を増員し、推進体制の充実も図ったところである。

教員の女性比率は徐々にではあるが毎回増え続け、今回で14.1%となった。毎回、増やすことが出来たのは、各大学の努力もさることながら、この調査が各大学での地道な取組みを継続する支えとなった結果と信じている。

また、これまでの調査結果をみると、男女共同参画社会の実現は、じわりじわりと効果が出てくるものと感じる。女性教職員採用の増加から始まり、処遇の改善、やがては指導的立場の女性が増えていくことだろう。焦らず継続していく、これが重要ではなかろうか。

平成25年11月、文部科学省から国立大学改革プランが公表された。このプランでは、各国立大学に対し、自らの強み・特色を最大限に生かし改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出すよう機能を強化することが求められた。

改革を進めるには、男女問わず、能力のある教職員が活躍できるような環境を整えることが前提だと思う。何等かの原因で、女性教職員の能力を活用しきれていないことはないだろうか。これを改善することこそ、大学をより良い未来へと導く近道とはならないか。各大学の努力を期待したい。

最後に、調査にご協力いただいた会員大学、報告書のとりまとめにご尽力いただいた教育・研究委員会男女共同参画小委員会委員に感謝申し上げます。

一般社団法人国立大学協会

教育・研究委員会 男女共同参画小委員会委員長
谷口 功（熊本大学長）

○ 国立大学協会における男女共同参画推進に係る活動等

- 平成 11 年 6 月 男女共同参画社会基本法 成立
- 11 月 国立大学協会 第 3・第 4 常置委員会合同「男女共同参画に関するワーキング・グループ」を設置
- 平成 12 年 6 月 「国立大学における男女共同参画を推進するために（報告書）」を総会で決定
平成 22 年までに会員大学の女性教員比率 20%を目指すことを目標とした。
- 12 月 男女共同参画基本計画（第 1 次） 閣議決定
国立大学に対し、国立大学協会の提言も踏まえ、学術・研究分野における女性の参画の促進が要請される。
- 平成 13 年 10 月 「国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 平成 14 年 11 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 1 回追跡調査報告書」を発行
- 12 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 2 回追跡調査」を実施
- 平成 15 年 4 月 男女共同参画推進本部が「女性のチャレンジ支援策の推進について」を決定
平成 32 年までに指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも 30%程度になるように期待することが盛り込まれる。
- 平成 16 年 3 月 国立大学協会 解散
- 平成 16 年 4 月 社団法人国立大学協会 設立
企画委員会に「男女共同参画に関するワーキング・グループ」を設置
- 平成 17 年 9 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 3 回追跡調査」を実施
- 12 月 男女共同参画基本計画（第 2 次） 閣議決定
国立大学に対し、国立大学協会の提言も踏まえた女性教員の割合向上、女性が活躍できる環境づくり、女性の参画の促進等が要請される。
- 平成 18 年 4 月 教育・研究委員会に「男女共同参画小委員会」を設置
- 平成 19 年 3 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 2 回追跡調査報告書」を発行
- 3 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 3 回追跡調査報告書」を発行
- 7 月 「第 4 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 12 月 「第 7 回大学改革シンポジウム -国立大学法人における男女共同参画の在り方-」を内閣府と共催
- 平成 20 年 2 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 4 回追跡調査報告書」を発行
- 7 月 「第 5 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 平成 21 年 2 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 5 回追跡調査報告書」を発行
- 7 月 「第 6 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施

- 平成 22 年 2 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 6 回追跡調査報告書」を発行
- 7 月 「第 7 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 12 月 男女共同参画基本計画（第 3 次）閣議決定
平成 32 年までに大学の教授等に占める女性の割合を 30%にすることが成果目標とされた。
- 平成 23 年 2 月 「国立大学における男女共同参画の推進について－アクションプラン－」（以下「アクションプラン」）を策定
国立大学の女性教員比率を 20%以上に引き上げることを目指しつつ、少なくとも平成 27 年までに 17%以上（各大学において 1年で 1%以上）に引き上げることを新たな達成目標とした。
- 3 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 7 回追跡調査報告書」を発行
- 7 月 「第 8 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 8 月 第 4 期科学技術基本計画 閣議決定（平成 23 年度から平成 27 年度まで）
自然科学系の女性研究者の採用割合を、25%に早期達成するとともに、更に 30%を目指す。特に理学系 20%、工学系 15%、農学系 30%の早期達成及び医学・歯学・薬学系合わせて 30%の達成を目指すことが成果目標とされた。
- 平成 24 年 2 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 8 回追跡調査報告書」を発行
- 7 月 「第 9 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 平成 25 年 3 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 9 回追跡調査報告書」を発行
- 8 月 「第 10 回国立大学男女共同参画推進の実施状況追跡調査」を実施
- 平成 26 年 2 月 「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 10 回追跡調査報告書」を発行

調査の概要

1. 目的

- アクションプランにおける目標の達成状況及び各大学の取組み状況を確認するため。
- 調査結果を情報提供することにより、各大学の今後の取組みに生かしてもらうため。
- 関係機関等に対する情報提供や要請の基礎資料とするため。

＜アクションプラン 抜粋＞（P149 参照）

○達成目標

国立大学の女性教員比率を 20%以上に引き上げることを目指しつつ、
少なくとも 2015 年までに 17%以上（各大学において 1 年ごとに 1%以上）に引き上げる。

○大学が取組むべき事項

- （1）男女共同参画の推進体制の整備
- （2）女性教員・研究者の拡大
- （3）就業環境の整備・充実
- （4）意識啓発の推進

2. 調査対象

国立大学 86 大学（回収率 100%）

平成 25 年 5 月 1 日現在の数値

（参考 過去の調査における国立大学数）

報告書	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
調査年	平成 13 年	平成 14 年	平成 17 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
大学数	99	97	89	87	86	86	86	86	86

3. 調査方法

質問票を電子メールにより各大学に送付。

（大学の作業期間 平成 25 年 8 月 8 日～平成 25 年 9 月 6 日）

4. 調査内容（P155 参照）

- I. 統計調査
 1. 男女共同参画の現状
 2. 女性学・ジェンダー研究関連授業開講状況
 3. 育児・介護支援制度の利用と施設・設備の整備状況
 - II. 男女共同参画の推進状況に関する報告
- 男女共同参画推進の取組状況について

第一部

(調査報告)

I. 男女共同参画推進に関する取組状況について	9
II. 男女共同参画の現状	
1. 大学における女性比率	13
2. 大学の意思決定機関等における女性比率	17
3. 専門分野別の女性比率	18
4. 非常勤講師の状況	29
5. 採用および昇任	31
6. 職員の状況	33
7. 「女性学・ジェンダー研究関連授業」の開講状況	37
8. 育児介護休業等の利用者数	40
9. 保育施設の設置状況	44
III. 総括	48

I. 男女共同参画推進に関する取組状況について

アクションプランでは「大学が取り組むべき事項」について、4つの提言を掲げている。今回調査では、各提言の事項毎にその取組状況の調査を実施し、その結果を図I - 1～4に示した。

1. 男女共同参画の推進体制の整備

(1) 男女共同参画推進の基本方針、宣言等の作成、提示

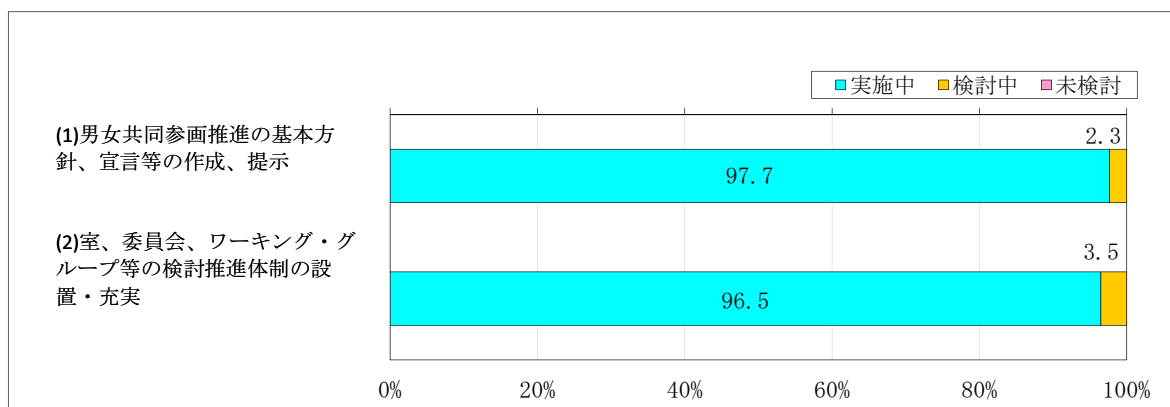
基本方針や宣言等を作成している大学は97.7%（前回比9.3ポイント増）

(2) 室、委員会、ワーキング・グループ等の検討推進体制の設置・充実

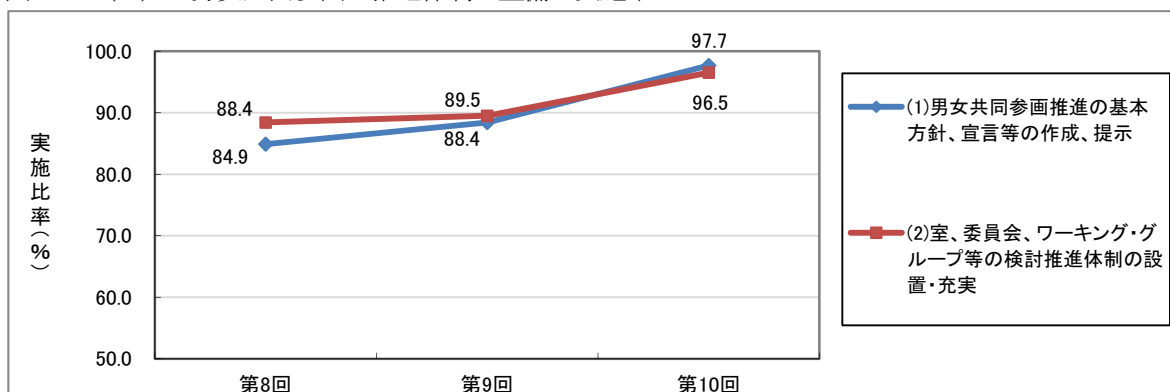
男女共同参画室等の検討推進体制を設置している大学は96.5%（前回比7.0ポイント増）

男女共同参画の推進体制については、ほとんどの大学で整備されている。

図I - 1（1） 男女共同参画の推進体制の整備 取組状況



図I - 1（2） 男女共同参画の推進体制の整備 実施率



2. 女性教員・研究者の拡大

(1)採用時におけるポジティブアクションの実施

積極的な女性の採用、女性教員比率の目標設定等を実施している大学は74.4%（前回比5.8%増）

(2)昇任・給与・研修等の男女機会均等の推進

教員の業績評価に当たって、出産、育児、介護等に従事したことも配慮している大学は54.7%（前回比2.4%増）

(3)大学運営における意思決定過程への女性参画を拡大

意思決定過程への女性の参画を拡大している大学は65.1%（前回比2.3%増）

(4)次世代研究者へのロールモデルの提供

女子中高生対象のセミナー、女子学生へのキャリアガイダンス等を実施している大学は76.7%（前回比4.6%増）

(5)非常勤講師の待遇の改善の促進等

非常勤講師の常勤としての採用、機会拡大の支援等を行っている大学は16.3%（前回比1.2%増）

女性教員・研究者を拡大するための取り組みとして、(4)次世代研究者へのロールモデルの提供、及び、(1)採用時におけるポジティブアクションの実施率が高い。しかし、(5)非常勤講師の待遇の改善は前回に比べ微増しているものの、ほとんど進んでいない状況である。

図 I-2 (1) 女性教員・研究者の拡大 取組状況

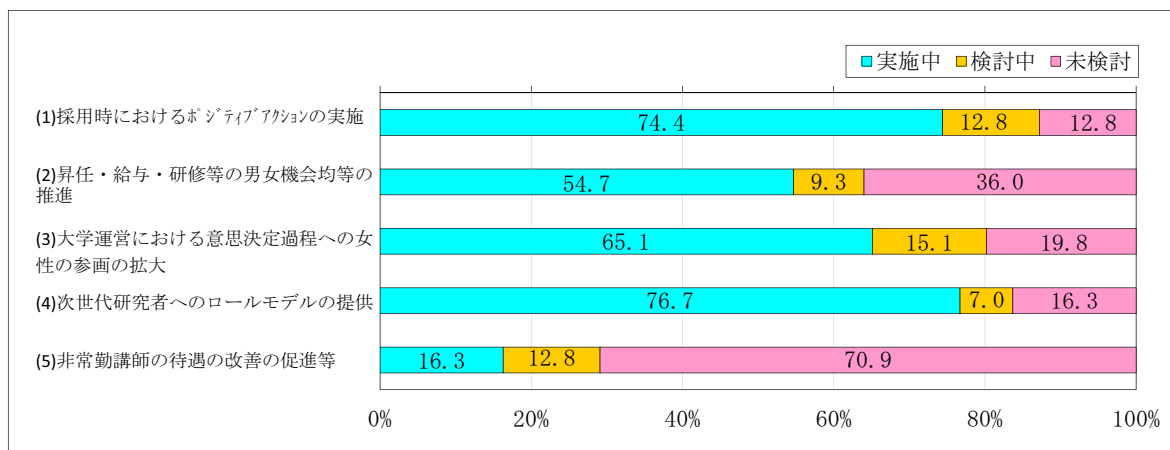
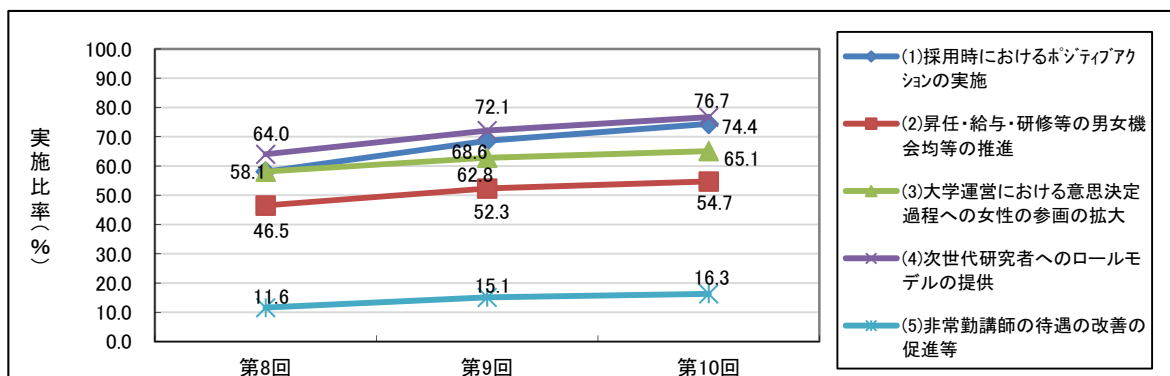


図 I-2 (2) 女性教員・研究者の拡大 実施率



3. 就業環境の整備・充実

- (1) 育児・介護等との両立を支援するための就労支援制度の整備・充実
 育児・介護等に適応した勤務時間制度の導入、男性の育児休暇の取得促進等を実施している大学は97.7%（前回比1.2ポイント増）
- (2) 育児・介護等との両立を支援するための研究継続支援制度の整備・充実
 育児・介護等に携わる研究者に対する研究補助者の配置や雇用経費の助成等を実施している大学は80.2%（前回比10.4ポイント増）
- (3) 育児休業等からの復帰を容易にすることを含めた施設設備の設置・充実
 学内保育施設、マタニティコーナー等を整備している大学は76.7%（前回比2.3ポイント増）
- (4) メンタル的なサポート体制の整備・充実
 育児・介護、キャリアプランを相談できる総合窓口、メンター等を置いている大学は68.6%（前回比1.2ポイント増）

就業環境の整備の状況について各項目とも実施率は高く、前回との比較では全項目で微増している。特に育児・介護等に関する支援制度の整備・充実は非常に高く、特に(2)育児・介護等との両立を支援するための研究継続支援制度の整備・充実は10.4ポイント伸ばした。

図 I-3 (1) 就業環境の整備・充実 取組状況

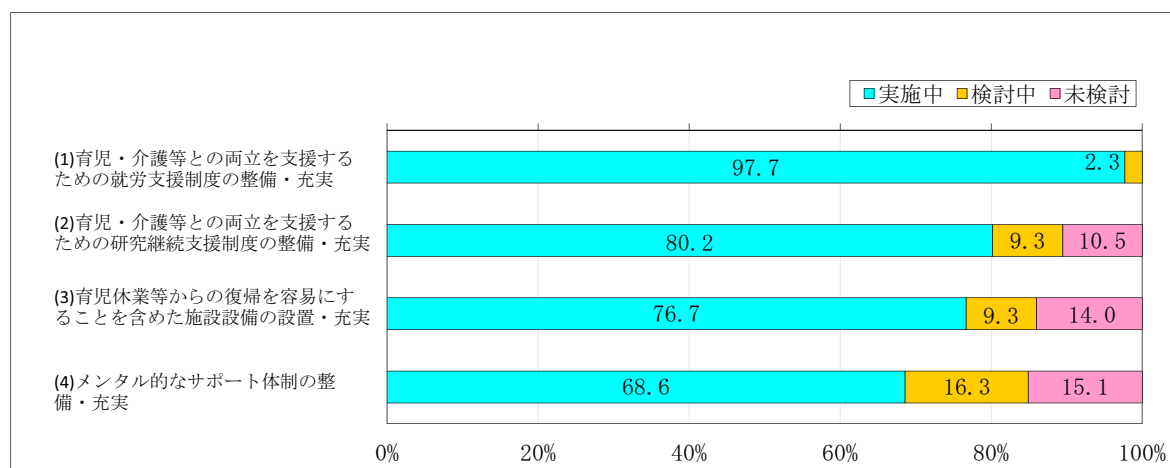
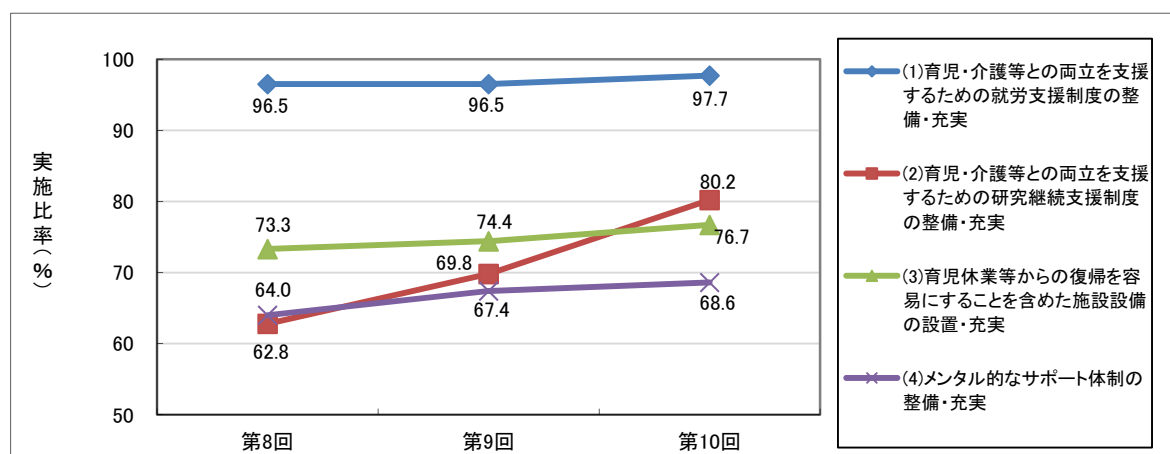


図 I-3 (2) 就業環境の整備・充実 実施率



4. 意識啓発の推進

- (1) 男女の固定的な性別役割分担意識の解消や職場慣行の見直し改善
意識解消、見直し改善に取り組む大学は 67.4% (前回は 6.9 ㊦増)
- (2) 男女共同参画を推進する諸制度の学内外への積極的広報
HP 掲載や説明会等を実施している大学は 88.4% (前回は 2.4 ㊦増)
- (3) 男女共同参画に係る教育研究の推進と啓発セミナー・シンポジウム等の開催
教育研究の推進やシンポジウム等を開催している大学は 74.4% (前回は 5.8 ㊦増)
- (4) 両立支援制度 (育児・介護休業等) の活用可能な雰囲気醸成
両立支援制度の取得を促すポスター・リーフレット作成等に取り組む大学は 83.7% (前回は 2.3 ㊦増)

意識啓発の推進について各項目とも実施率はかなり高い。

前回との比較では、全ての項目で実施率を伸ばしている。なお、(3) 男女共同参画に係る教育研究の推進と啓発セミナー・シンポジウム等の開催においては、前回調査において実施率を下げたものの、今回調査では 5.8 ㊦伸ばした。

図 I-4 (1) 意識啓発の推進 取組状況

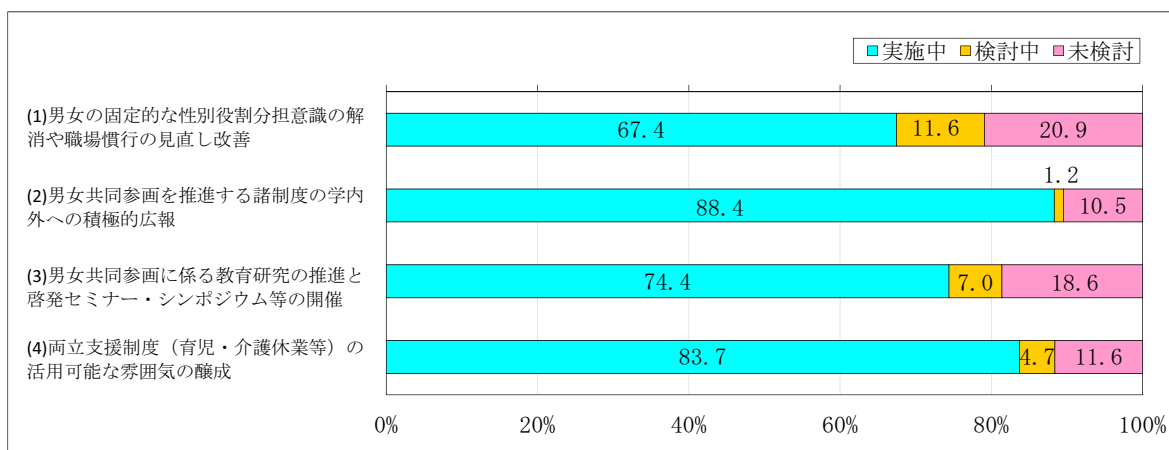
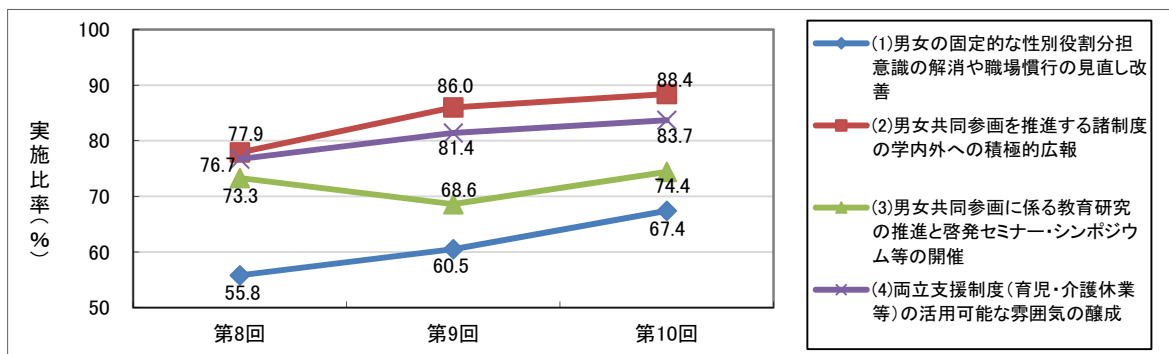


図 I-4 (2) 意識啓発の推進 実施率



○各大学で成果を上げた取組み

アクションプランの各提言に関して、前回調査時 (平成 24 年 5 月 1 日) 以降、各大学で特に成果を上げた取組み等を掲載した。P142 を参照いただきたい。

II. 男女共同参画の現状

本調査項目では、大学の教員及び学生の女性比率をはじめ、関連する状況を明らかにし、今回の調査結果と併せて、過去の調査結果等からその推移の状況等についても述べていく。

なお、「7. 女性学・ジェンダー研究関連授業」「8. 育児介護休業等の利用者数」「9. 保育施設の設置状況」は第7回以来、3年振りの調査となった。

1. 大学における女性比率

国立大学全体の学生および教員の女性比率をみるため、学部、修士課程、博士課程、専門職大学院の卒業・修了者および教員（助手を除く）の女性比率について、第1回からの推移を図Ⅱ-1-1に示した。

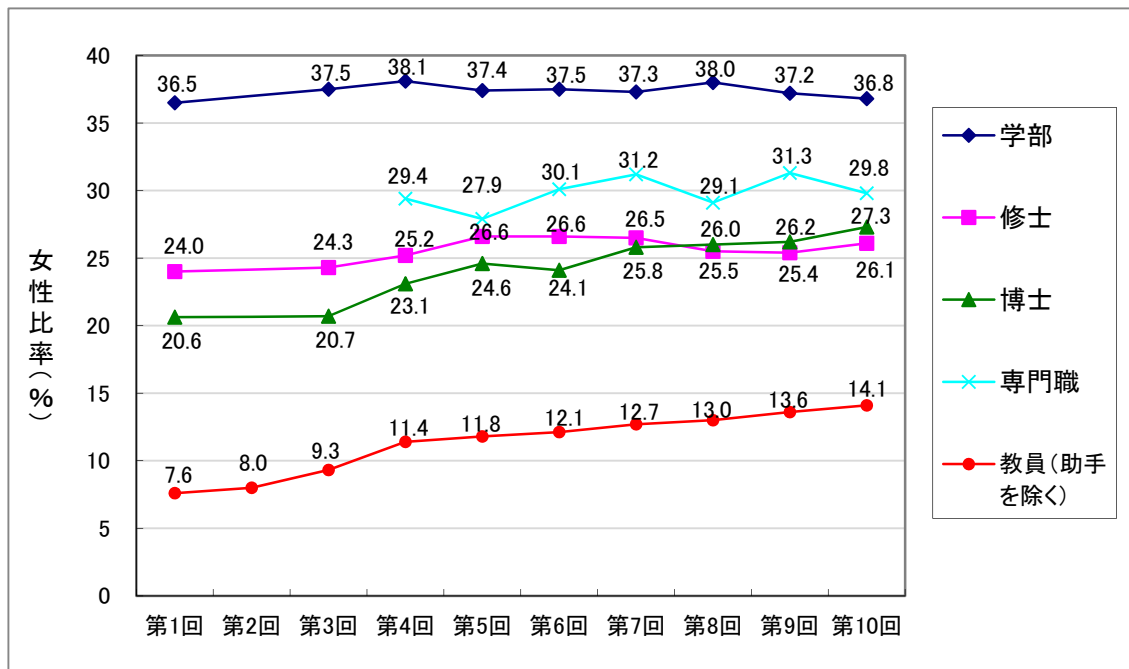
教員の女性比率は、14.1%（前年比 0.5 ㊦増）であり、僅かではあるが毎回、確実に比率を上げている。

学生の女性比率は、学部 36.8%（前回比 0.4 ㊦減）、修士 26.1%（前回比 0.7 ㊦増）、博士 27.3%（前回比 1.1 ㊦増）、専門職 29.8%（前回比 1.5 ㊦減）であった。推移をみると、多少増減があるものの横ばいと言える。また、博士は僅かずつではあるが毎回、確実に比率を上げている。

学部・修士・専門職が横ばいであるのに対し、博士と教員のみが毎回比率を上げていることから、文部科学省を中心とした女性研究者支援策が比率上昇の一因であると考えられる。

参考に、学校基本調査結果による 1972 年からの女性比率の推移を図Ⅱ-1-2 で示した。なお、理事の算定方法等が本調査と異なるため、教員の女性比率に相違がある。

図Ⅱ-1-1 追跡調査年度の学部学生、修士課程、博士課程、専門職大学院の卒業・修了者および教員（助手除く）の女性比率



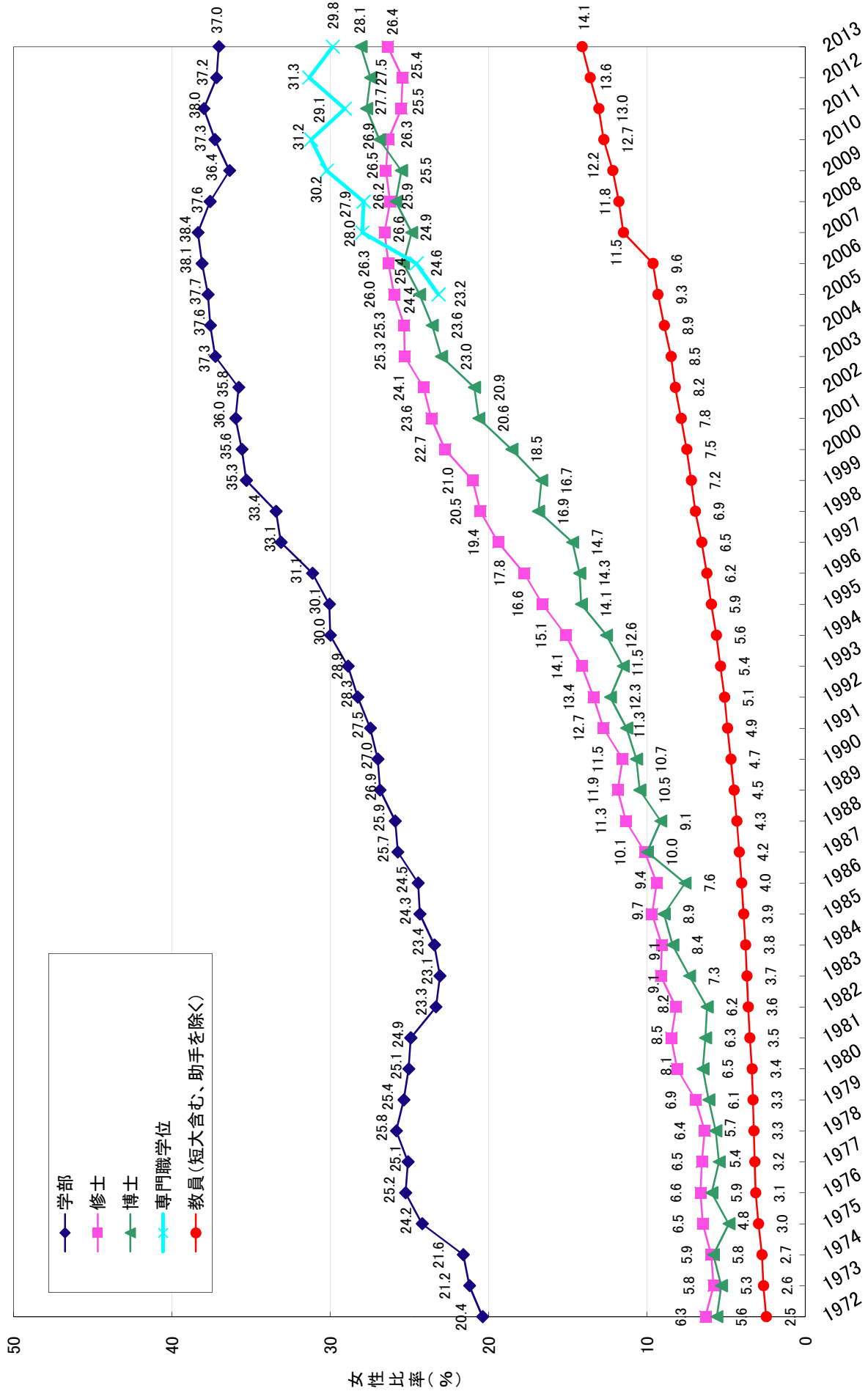
※第2回では、学生について調査していない。また、第4回からは学校教育法の改正により従来の助手が「助手」及び「助教」に分けられ、助教がデータに含まれている。

※修士課程は「修士課程及び博士前期課程（医・歯学・薬学・獣医学を除く、一貫制博士課程を含む。）」としている。

※博士課程は「博士後期課程（医・歯学・薬学・獣医学の博士課程を含む。）及び一貫制博士課程」としている。

図Ⅱ-1-2 国立大学における学部卒業生、修士課程、博士課程、専門職学位課程修了者および教員の女性比率の推移

出典：学校基本調査報告書



アクションプランの達成目標である女性教員比率 17%以上の大学数について、表Ⅱ-1-1に示した。大学別にみると、女性教員比率 17%以上の大学は 86 大学中 27 大学となり、前回より 5 大学増加した。

また、大学別女性教員比率の平均[※]は 15.5%（前回比 0.5 ㊦増）となった。

（※大学別女性教員比率の平均＝各大学における女性教員比率の平均値（86 大学））

表Ⅱ-1-1 女性教員比率 17%以上の大学数

	第 8 回調査	第 9 回調査	第 10 回調査
大学数	20	22	27

職名別の教員の女性比率について、平成 25 年度の結果を示したものが表Ⅱ-1-2 である。また、その推移を示したものが図Ⅱ-1-3 である（長期的な経年変化をみるため、図では学校基本調査の数値から女性比率を算出しているが、理事の算定方法等が本調査と異なることから、教員の女性比率が若干異なる）。

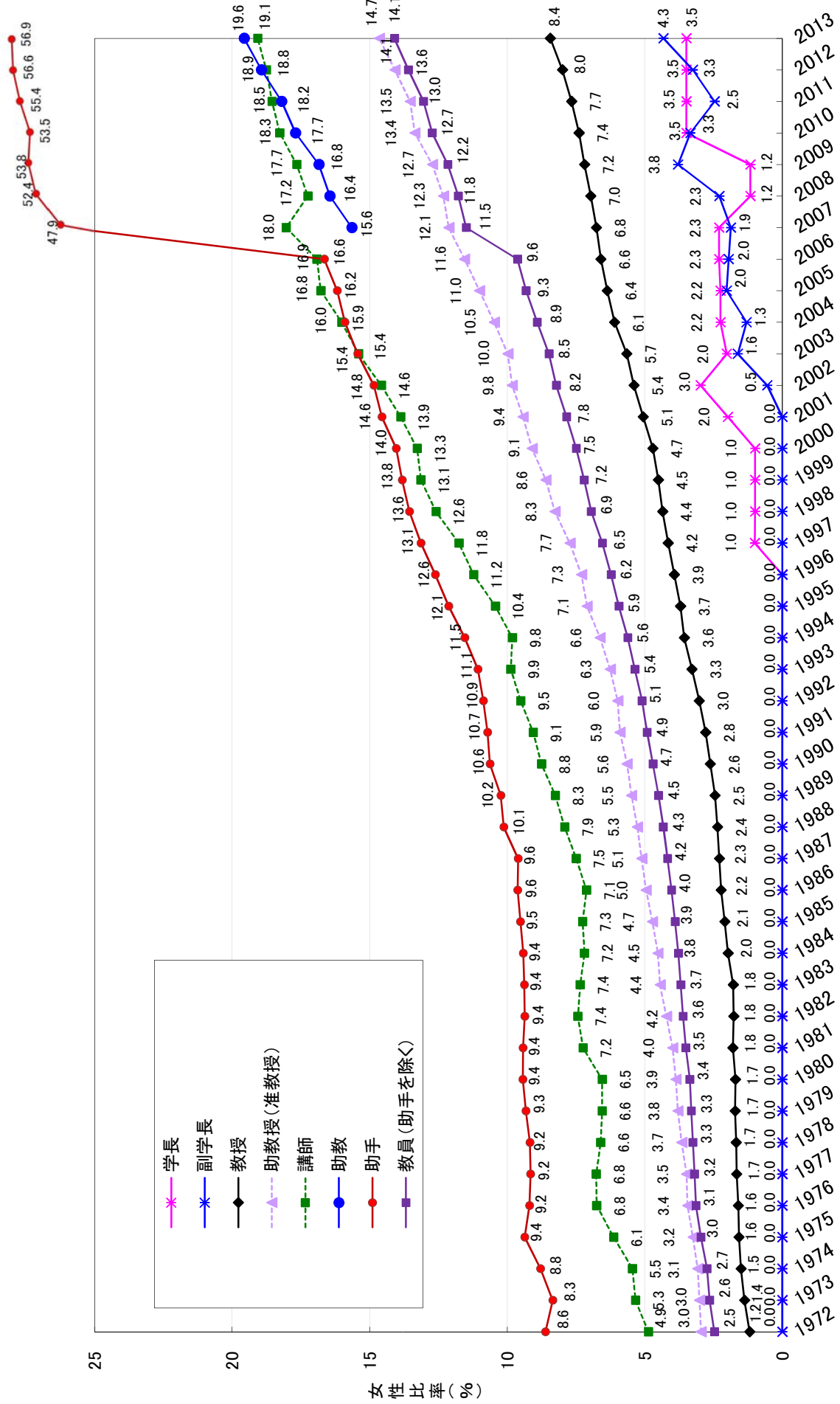
職名別の女性比率は、学長 3.5%（増減なし）、理事 2.3%（前回比 0.2 ㊦増）、副学長 6.6%（前回比 0.9 ㊦増）、教授 8.4%（前回比 0.4 ㊦増）、准教授 14.7%（前回比 0.6 ㊦増）、講師 19.1%（前回比 0.3 ㊦増）、助教 19.6%（前回比 0.7 ㊦増）と、職階が上がる毎に女性比率が低くなっている。また、年度毎の推移をみると、教授、准教授、講師、助教、助手の女性比率は微増傾向にある。但し、学長・副学長は少人数であるため、その選考状況による女性比率の変化は大きい。

表Ⅱ-1-2 職名別・性別教員数

職名	女	男	計	女性比率(%)	調査対象大学中最高女性比率(%)	調査対象大学中最低女性比率(%)
学長	3	83	86	3.5	100.0	0.0
理事	8	335	343	2.3	50.0	0.0
副学長	14	197	211	6.6	50.0	0.0
教授	1,819	19,727	21,546	8.4	40.0	1.3
准教授	2,640	15,370	18,010	14.7	47.5	0.0
講師(常勤)	936	3,972	4,908	19.1	100.0	0.0
助教	3,450	14,187	17,637	19.6	100.0	0.0
小計	8,870	53,871	62,741	14.1	-	-
助手	368	277	645	57.1	100.0	0.0
計	9,238	54,148	63,386	14.6	-	-

図Ⅱ-1-3 国立大学教員の職名別女性比率の推移

出典：学校基本調査報告書



2. 大学の意思決定機関等における女性比率

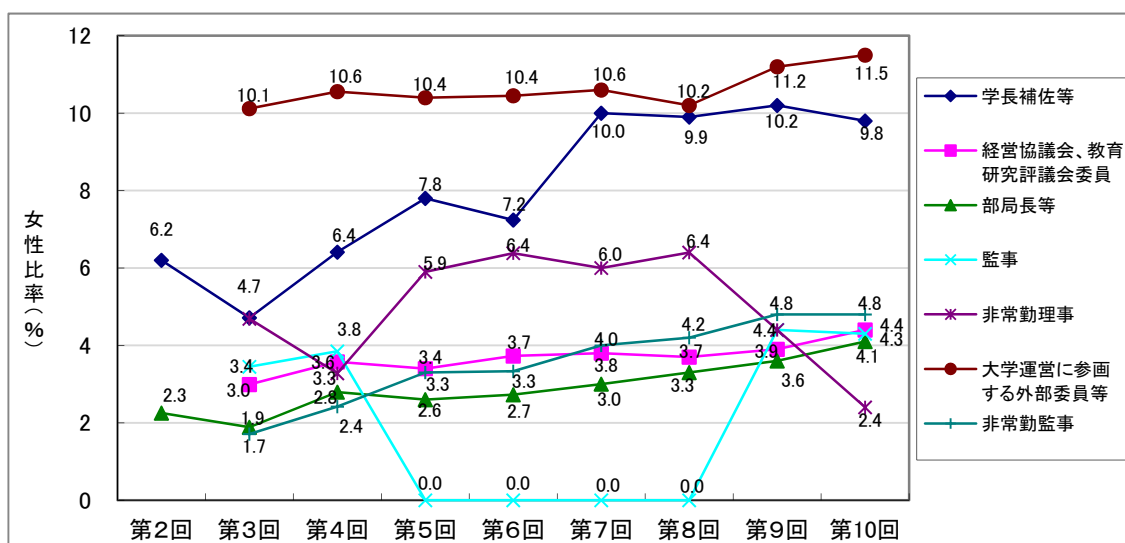
大学の意思決定機関等における女性比率を表Ⅱ-2に、その推移を図Ⅱ-2に示した。学長補佐等 9.8%（前回比 0.4 増減）、経営協議会・教育研究評議会委員 4.4%（前回比 0.5 増増）、部局長等 4.1%（前回比 0.5 増増）、監事 4.3%（前回比 0.1 増減）であった。

また推移をみると、非常勤理事を除き女性比率は微増傾向にあるが、依然として国立大学の意思決定機関等における女性比率は低い。

表Ⅱ-2 大学の意思決定機関等における性別構成

	女	男	計	女性比率 (%)	調査対象大学中最高女性比率 (%)	調査対象大学中最低女性比率 (%)
学長補佐等	53	490	543	9.8	100.0	0.0
経営協議会、教育研究評議会委員	123	2,691	2,814	4.4	32.1	0.0
部局長等	51	1,178	1,229	4.1	33.3	0.0
監事	2	45	47	4.3	100.0	0.0
小計	229	4,404	4,633	4.9	-	-
非常勤理事	1	40	41	2.4	100.0	0.0
大学運営に参画する外部委員等	81	624	705	11.5	42.9	0.0
非常勤監事	6	119	125	4.8	100.0	0.0
小計	88	783	871	10.1	-	-
計	317	5,187	5,504	5.8	-	-

図Ⅱ-2 大学の意思決定機関等における性別構成



3. 専門分野別の女性比率

専門分野別に、学生と教員の男女比率（図Ⅱ-3-1）、第1回調査からの推移（図Ⅱ-3-2）、女性教員比率別の大学数（図Ⅱ-3-3）を示した。専門分野別の傾向は以下のとおりである。

(a) 人文科学

学生の女性比率は、博士が48.9%であり、その他は男性比率を上回っている。特に、専門職大学院は79.3%と高い。推移をみると学部学生が前回から3.9%減少しているが、その他は大きな変化はない。

教員の女性比率は、助教が37.4%、講師が37.8%であり、准教授、教授の順に下がっている。また、推移をみると、学生の女性比率の変化がそれほど無いにも関わらず、助教が第7回から徐々に比率を伸ばしている。

教員の女性比率別の大学数でみると、10%～20%の大学が20校と最も多い。

(b) 社会科学

学生の女性比率は、30%から40%程度で男性より低い。推移をみると、第7回以降それほど変化はない。

教員の女性比率は、助教が32.3%、講師、准教授、教授の順に下がっている。また、推移をみると、大きな変化はないものの教員の女性比率は微増傾向にある。

教員の女性比率別の大学数でみると、10%から20%の大学が27校と最も多い。

(c) 理学

学生の女性比率は、学部が28.3%で修士、博士の順に低くなっており、推移においては大きな変化はない。

教員の女性比率は、助教が10.4%、講師が12.3%であるものの、准教授、教授とさらに下がっている。また、推移をみてもそれほど変化はない。

教員の女性比率別の大学数でみると、0%から10%の大学が35校と最も多い。

(d) 工学

学生の女性比率は、10%を僅かながら上回っており、専門職大学院が4.0%と低い。推移をみると、学部・修士はほぼ変化はないが、博士は前回に比べ1.8%上昇している。

教員の女性比率は、助教が7.8%、講師、准教授、教授の順に下がっている。また、推移をみると、第3回以降、助教、准教授、教授において少しずつ上昇している。

教員の女性比率別の大学数でみると、0%から10%の大学が61校と最も多い。

(e) 農学

学生の女性比率は、学部が43.4%で修士、博士の順に下がっている。推移をみると、第8回以降は比率が上昇しており、特に博士の伸びが大きい。

教員の女性比率は、助教が16.6%と低く、講師、准教授、教授の順で下がっている。推移をみると、助教、准教授、教授は少しずつ比率が上昇している。

教員の女性比率別の大学数でみると、0%から10%の大学が36校と最も多い。

(f)保健

学生の女性比率は、学部・修士は50%程度であるが、博士が30.4%と低い。推移をみると、毎回5%程度の幅で増減している。

教員の女性比率は、助教が24.4%で、准教授、講師、教授の順で下がっている。また、推移をみると、助教・准教授・教授は少しずつ比率が上昇している。

教員の女性比率別の大学数でみると、10%から20%の大学が29校と最も多い。

(g)商船

商船は、学生数、教員数ともに全体数が少なく、傾向をみることは難しい。

(h)家政

学生の女性比率は、90%以上と圧倒的に高い。推移をみると、学部は100%、修士・博士は90%程度を増減している。

教員の女性比率は、助教85.7%、講師71.4%、准教授48.9%、教授54.2%といずれも高い比率である。推移をみると、人数が140人程度と少ないことから増減が大きく、調査時の状況に大きく左右されていると思われる。

教員の女性比率別の大学数でみると、全ての大学において女性比率が40%以上である。

(i)教育

学生の女性比率は、学部が57.8%で、修士、博士の順に比率を下げている。推移をみると学部と修士は第7回以降横ばいであるが、博士は比率を下げている。

教員の女性比率は、助教が36.2%、講師、准教授、教授の順で下がっている。また、推移をみると、講師は横ばい、助教、准教授、教授は少しずつ比率が上昇している。

教員の女性比率別の大学数でみると、20%から30%の大学が31校と最も多い。

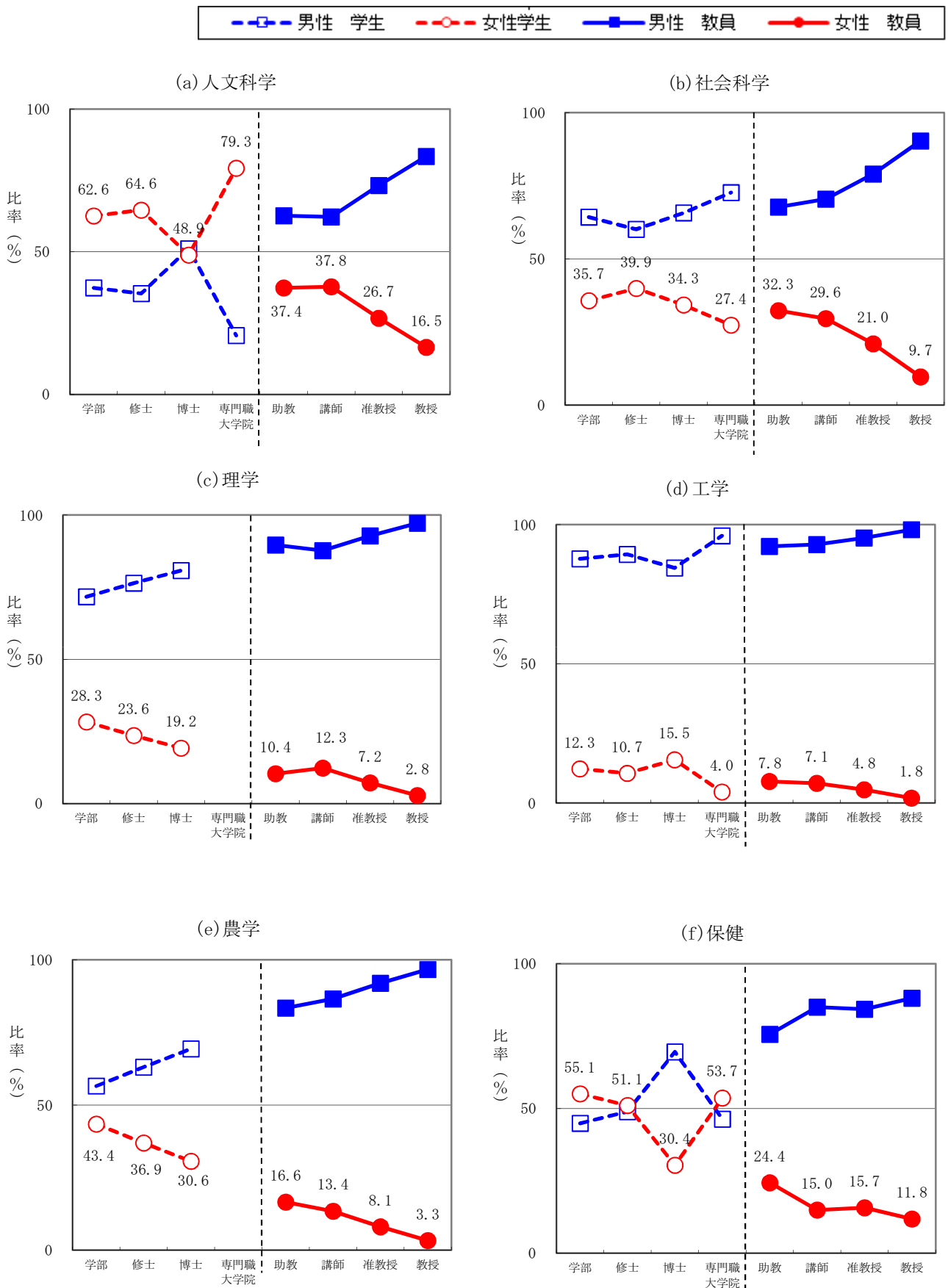
(j)芸術

学生の女性比率は、学部が70.0%で、修士、博士の順に比率を下げている。推移をみると学部は第7回で大きく比率を伸ばし、その後、70%前後で増減している。修士は段階的に増加しており、博士は学生数が少ないことから増減が大きい。

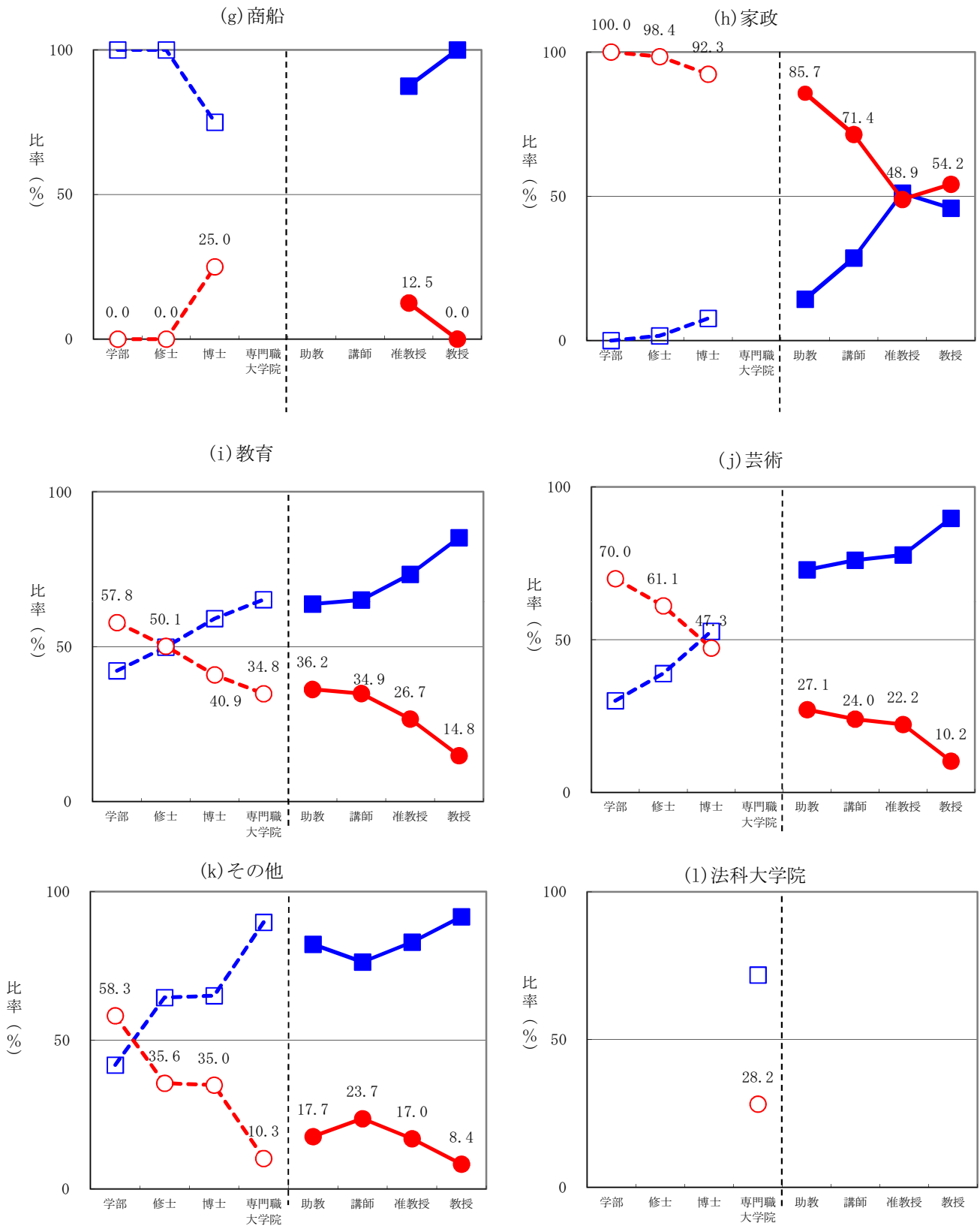
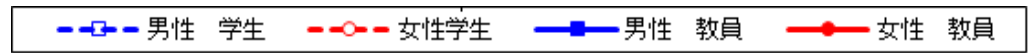
教員の女性比率は、助教は27.1%であり、講師、准教授、教授の順で下がっている。また、推移をみると、助教が僅かながら減少傾向にあり、准教授・教授が少しずつ上昇している。

教員の女性比率別の大学数でみると、10%から20%の大学が5校と最も多い。

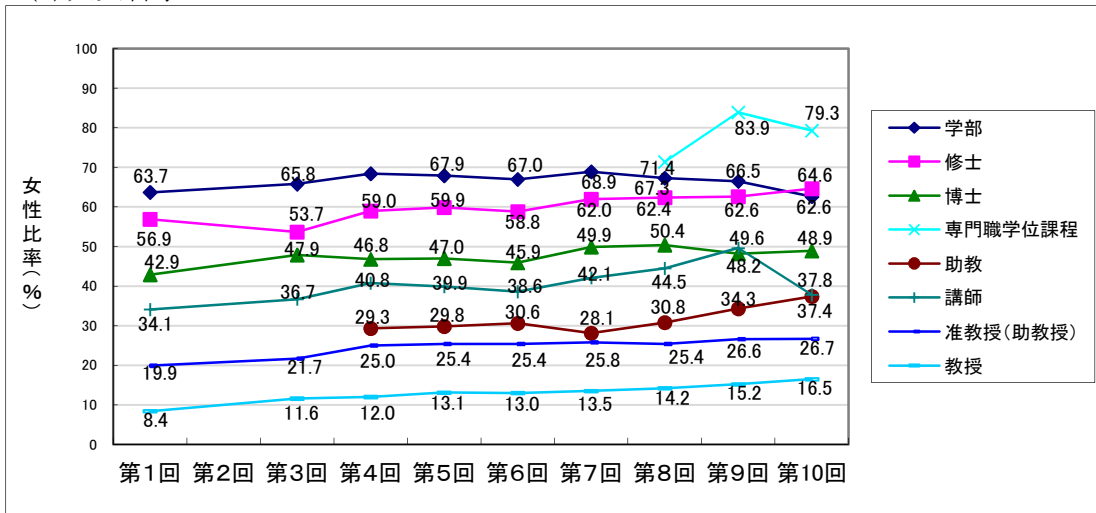
図Ⅱ-3-1 専門分野別 学部卒業、大学院修了者と職名別教員の男女比率（1）



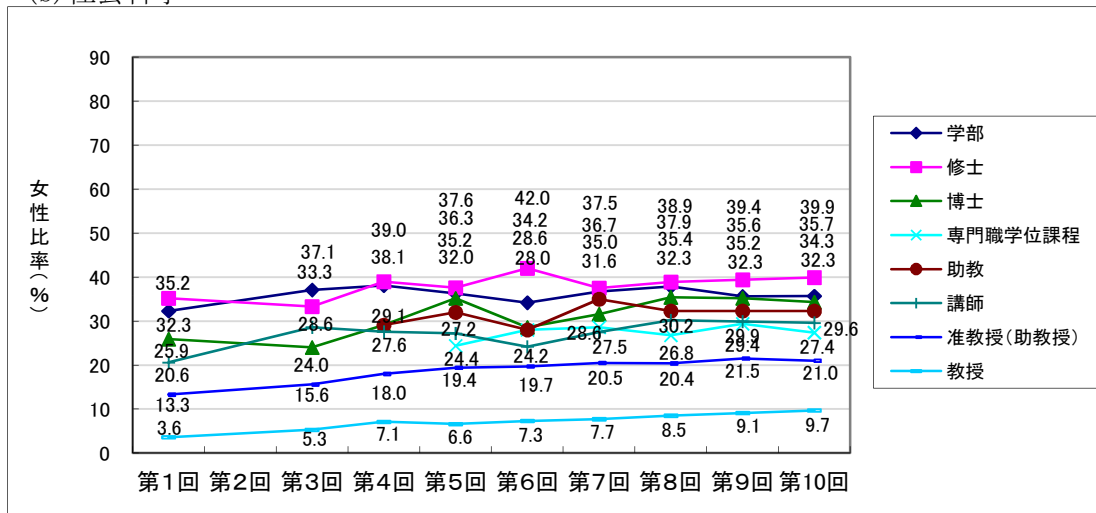
図Ⅱ-3-1 専門分野別 学部卒業、大学院修了者と職名別教員の男女比率（2）



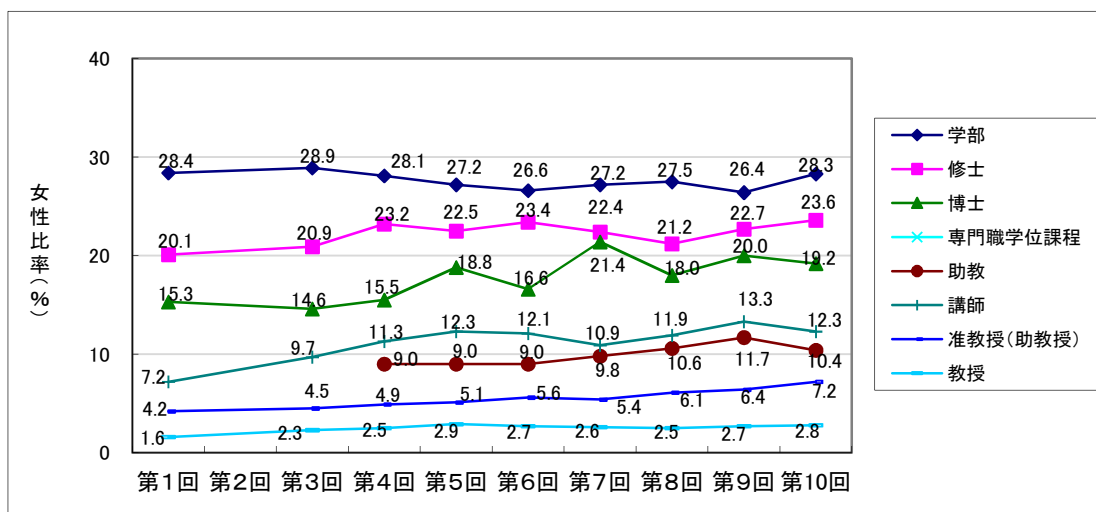
図II-3-2 専門分野別 学部卒業、大学院修了者と職名別教員の女性比率（1）
 (a) 人文科学



(b) 社会科学

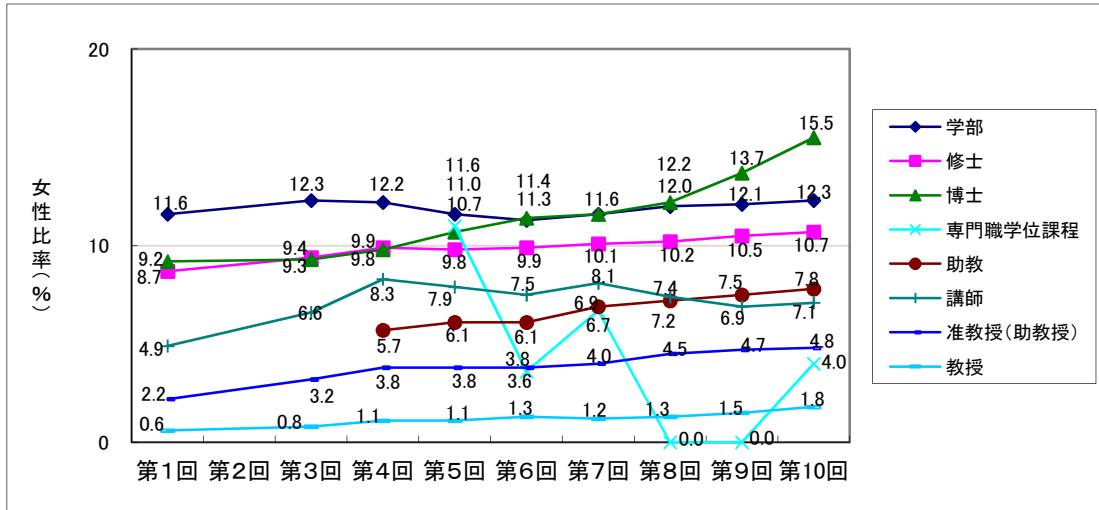


(c) 理学

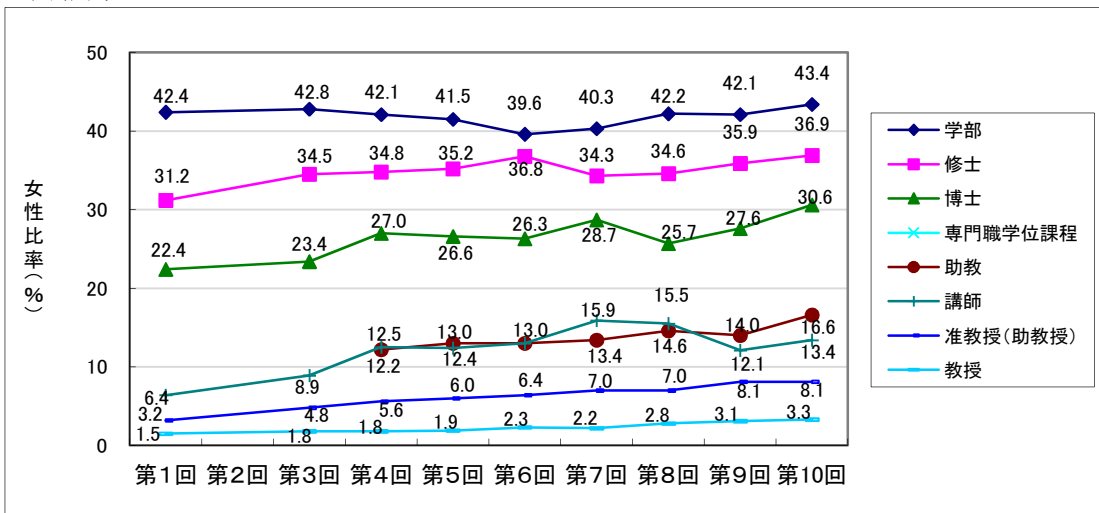


図II-3-2 専門分野別 学部卒業、大学院修了者と職名別教員の女性比率（2）

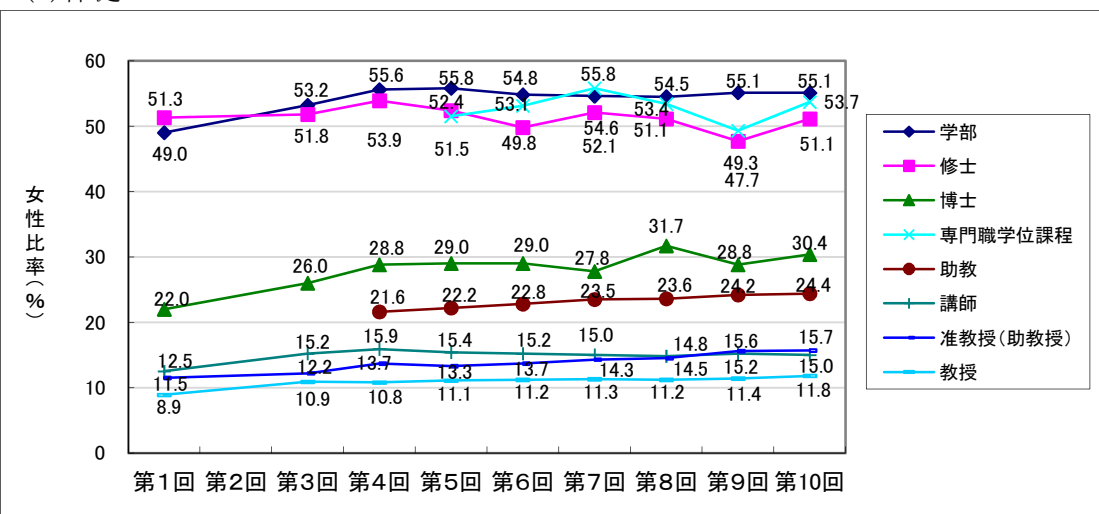
(d) 工学



(e) 農学

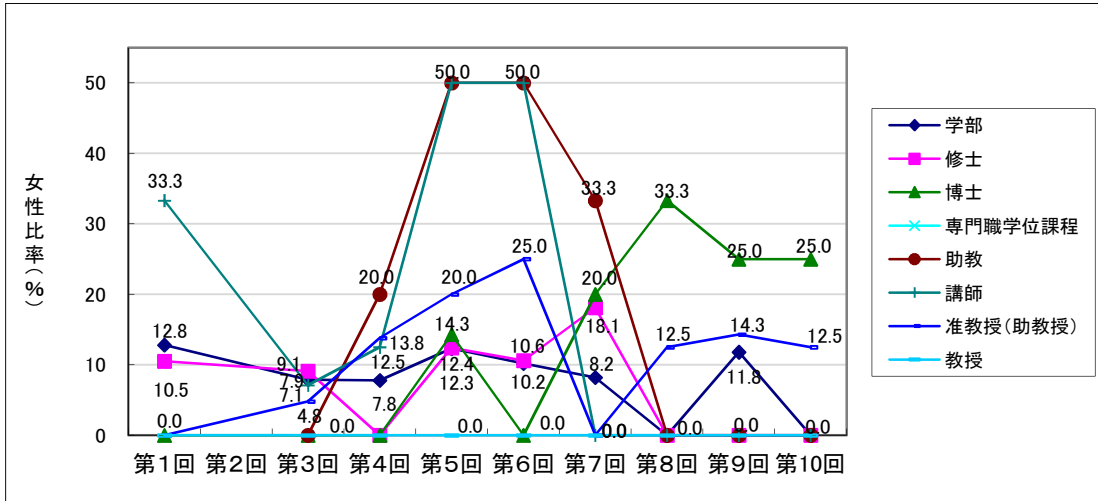


(f) 保健



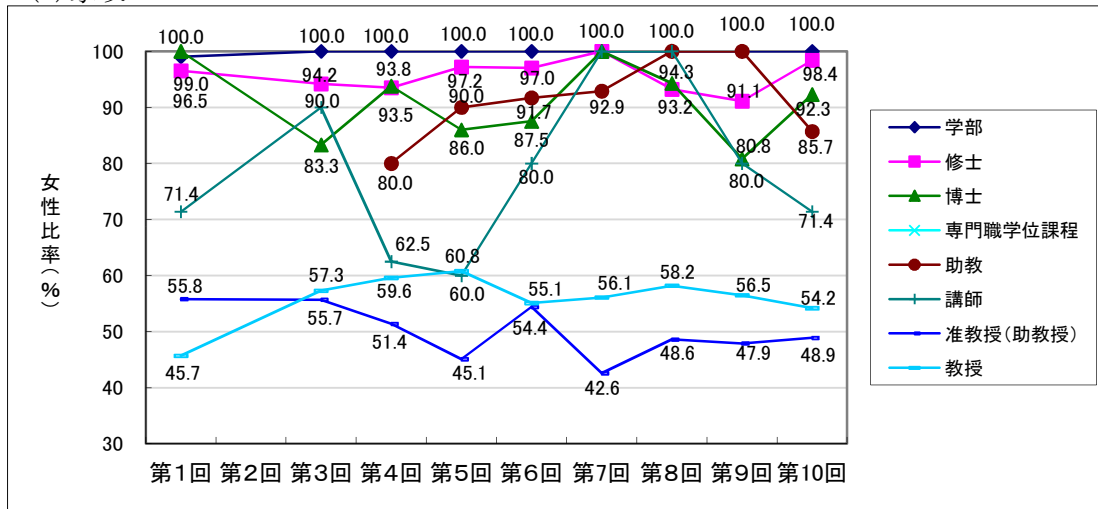
図Ⅱ-3-2 専門分野別 学部卒業、大学院修了者と職名別教員の女性比率（3）

(g) 商船

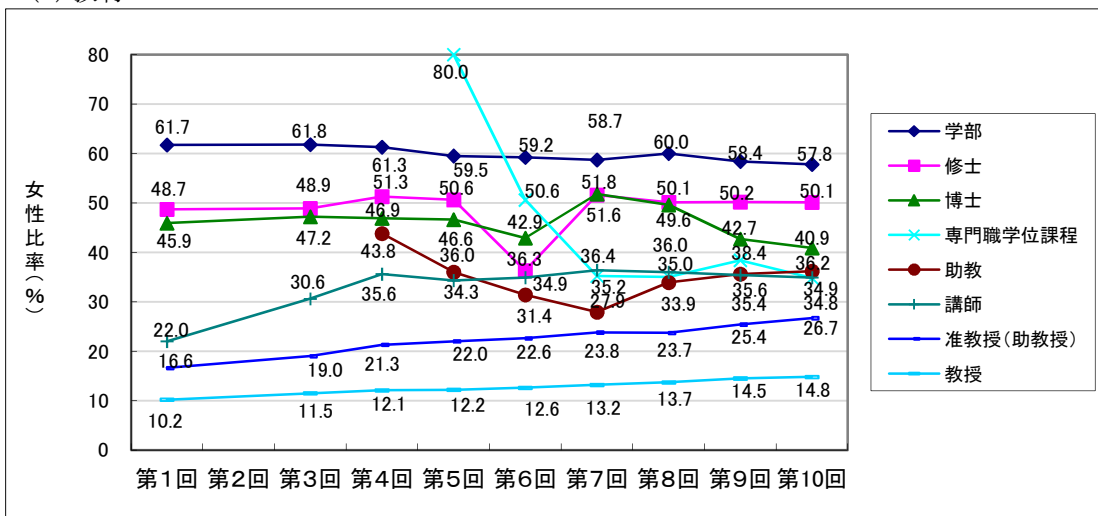


※第4回調査の修士及び博士、第6回調査の博士、第7回調査の講師、第8回調査の講師及び助教、第9回調査の講師及び助教、第10回調査の講師及び助教の数は男女ともに0人であった。

(h) 家政

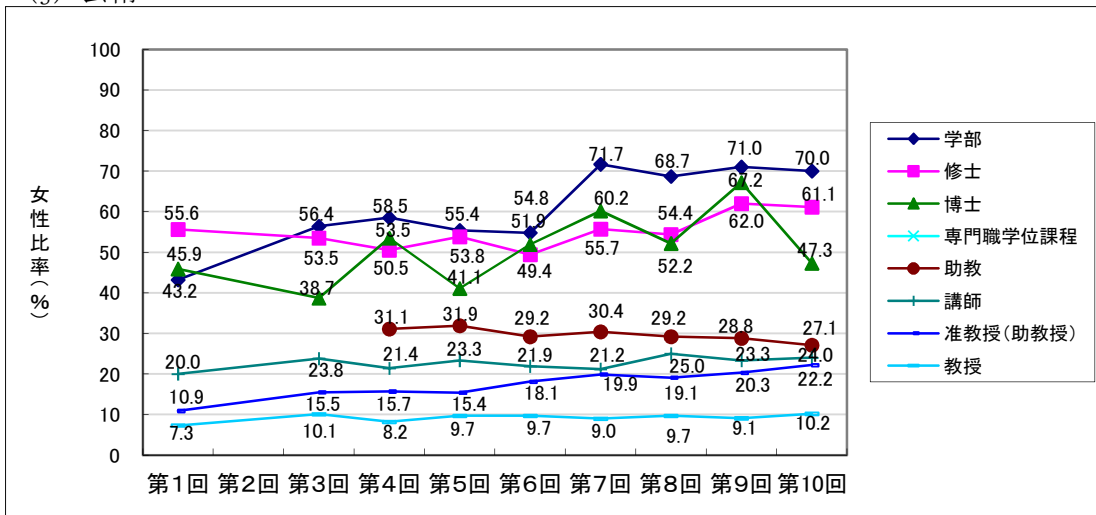


(i) 教育



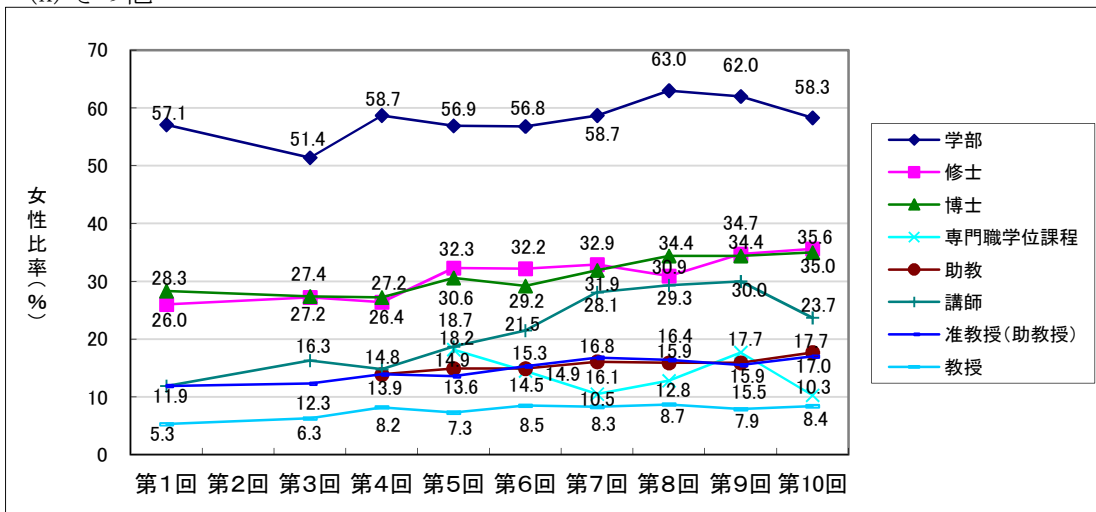
図Ⅱ-3-2 専門分野別 学部卒業、大学院修了者と職名別教員の女性比率（4）

(j) 芸術

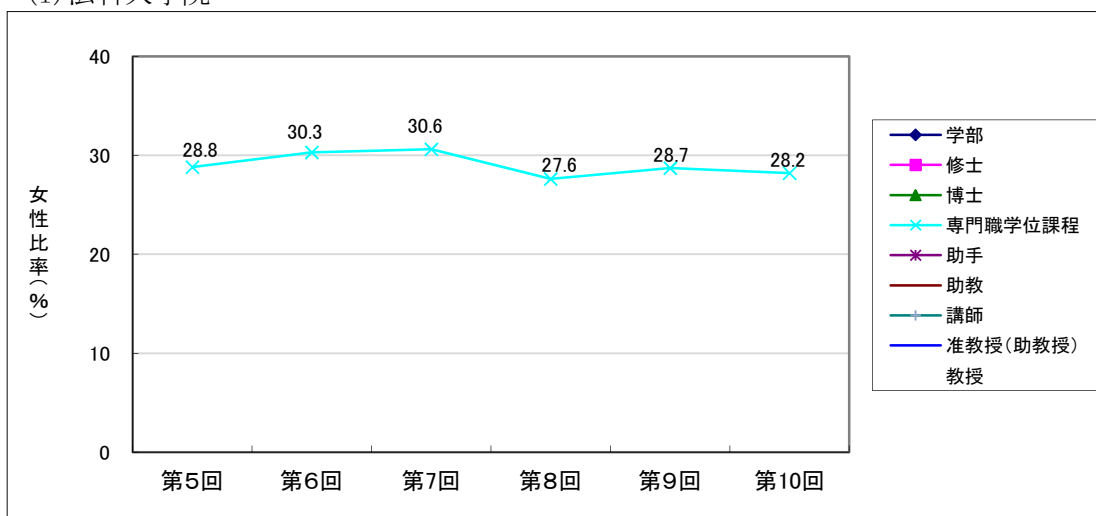


※ 第7回及び第8回調査の助手の数は、男女とも0人であった。

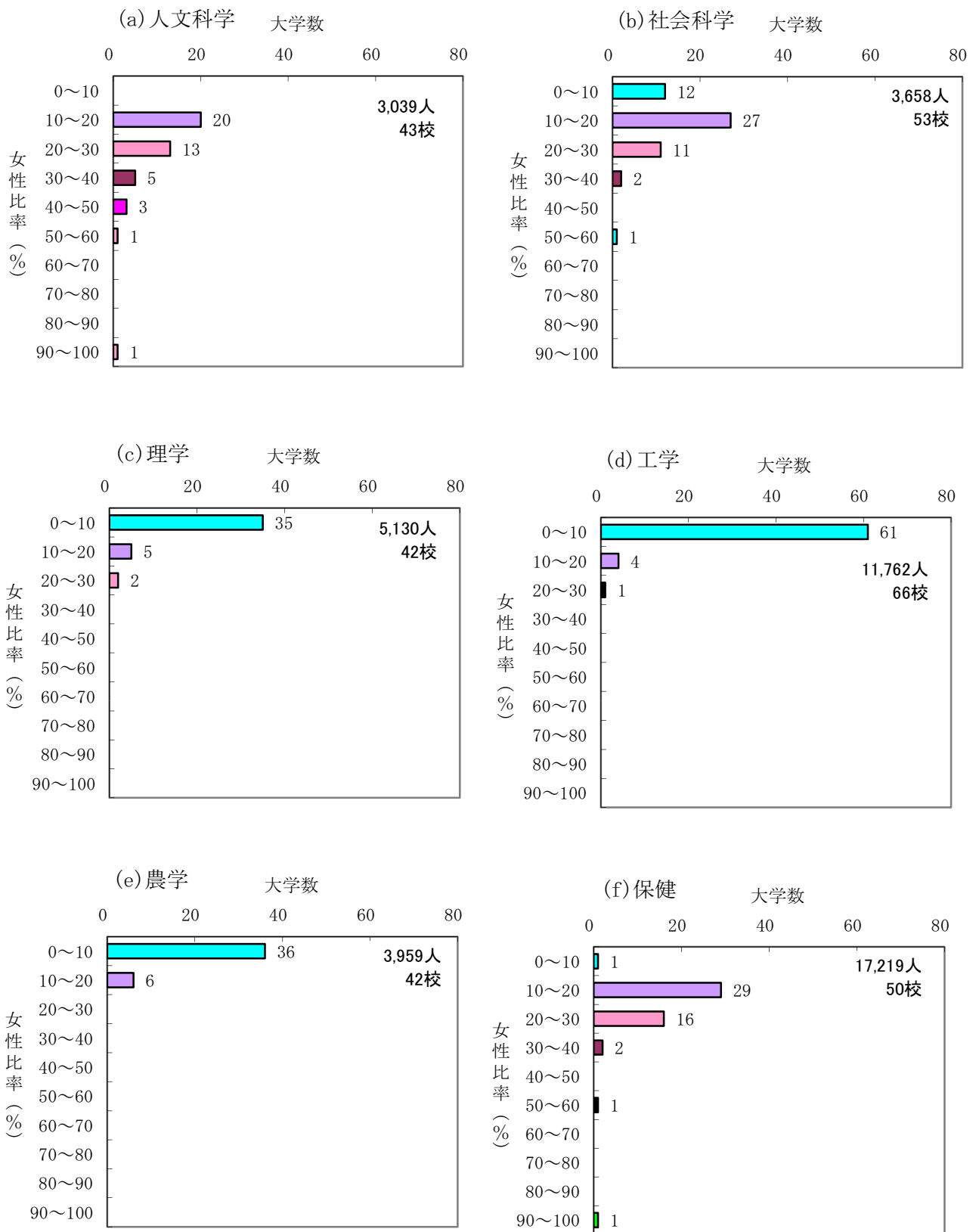
(k) その他



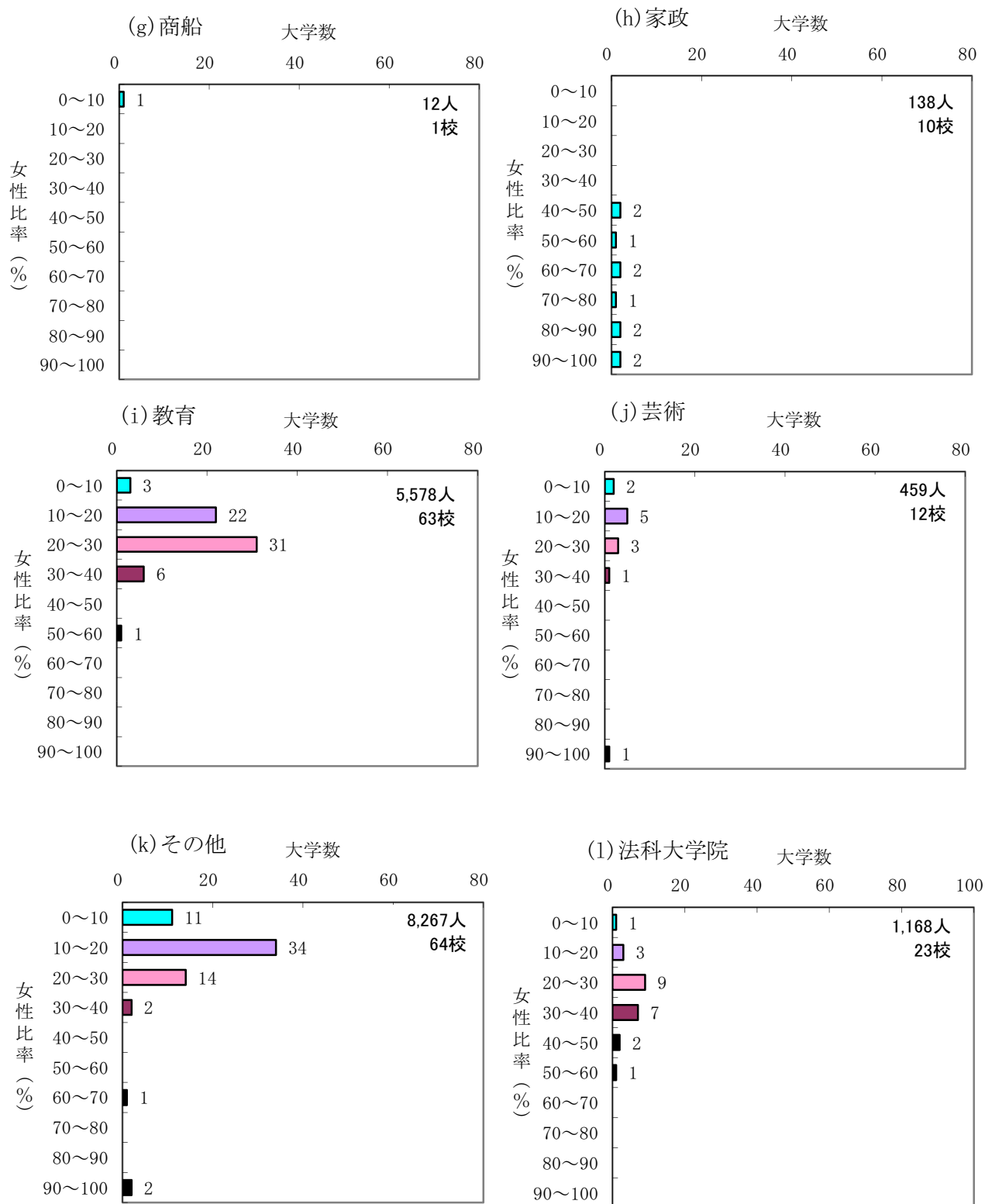
(l) 法科大学院



図Ⅱ-3-3 専門分野別・女性教員 比率別（助手を除く） 大学数（1）



図Ⅱ-3-3 専門分野別・女性教員 比率別（助手を除く） 大学数（2）



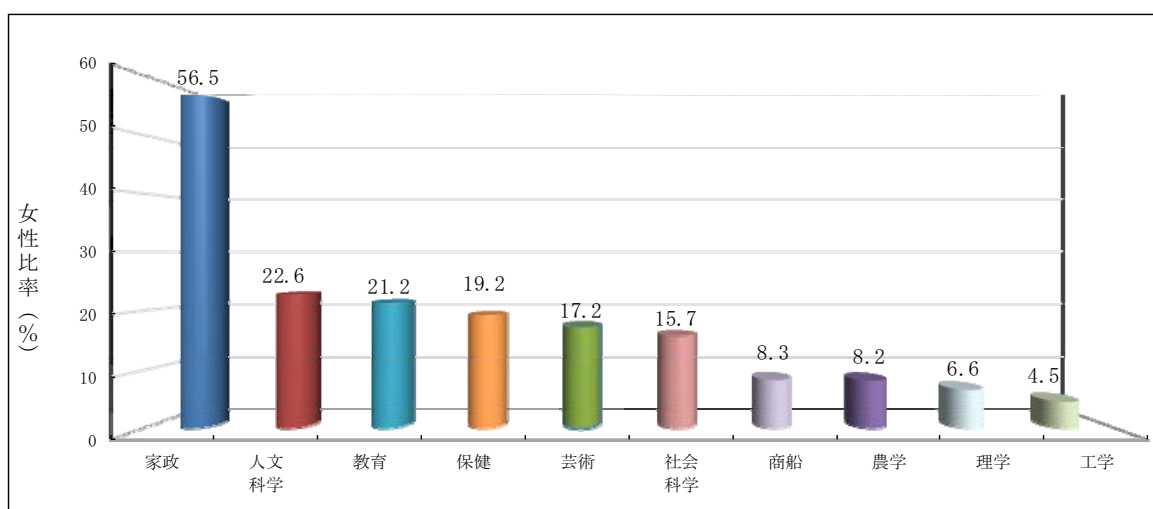
専門分野別 教員女性比率全体について

専門分野別の教員女性比率及びその推移を図Ⅱ-3-4に示した。

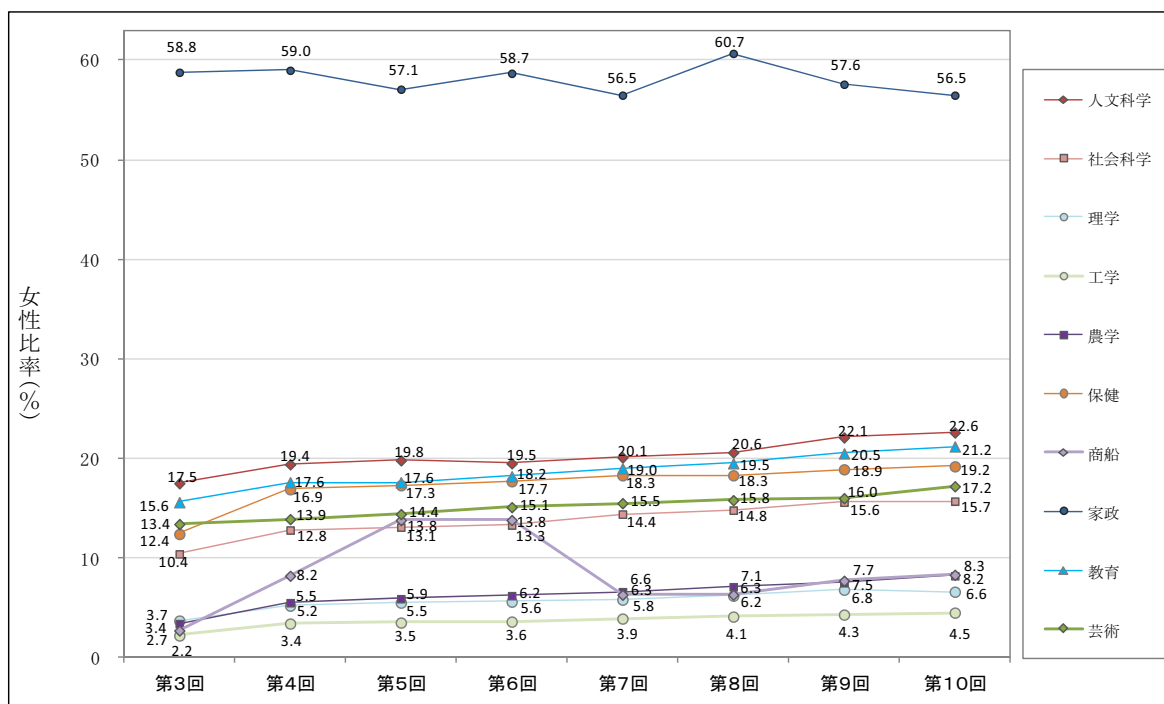
専門分野別の教員の女性比率をみると、最も高いのが家政、次いで人文科学、教育、保健、芸術、社会科学、商船、農学、理学で、最も低いのが工学であった。順位については、第3回からの推移をみると、ほとんど順位の入替えはない。

また、各専門分野の推移をみると、家政が55%~60%を増減していることと、商船の教員数が少ないため女性比率の変化が大きいことを除くと、その他の分野は、若干ではあるが、毎回増加傾向にある。但し、理学は前回と比べて0.2%減となっている。

図Ⅱ-3-4 (1) 専門分野別 教員女性比率 (助手を除く)



図Ⅱ-3-4 (2) 専門分野別 教員女性比率 (助手を除く)



4. 非常勤講師の状況

非常勤講師の構成を表Ⅱ-4に、その推移を図Ⅱ-4-1に、本務を持たない非常勤講師人数の推移を図Ⅱ-4-2に示した。

非常勤講師の女性比率は全体で22.5%、「専任教員の本務を持つ者」16.7%、「教員以外の本務を別に持つ者」15.2%、「本務を持たない非常勤講師（60歳以上）」19.6%「本務を持たない非常勤講師（60歳未満）」53.1%であった。このことから、安定的な雇用形態である本務を持つ女性比率が低いのに対し、不安定な雇用形態である本務を持たない非常勤講師の女性比率は高いといえる。

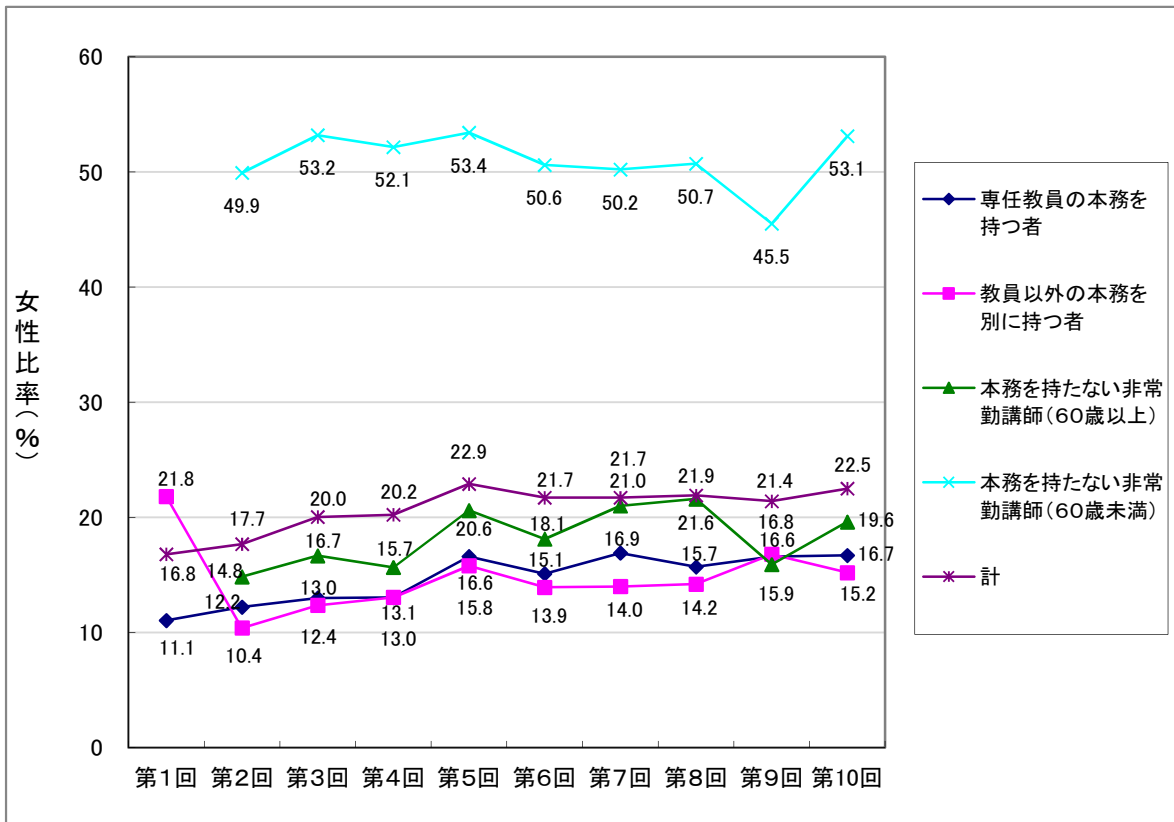
「本務を持たない非常勤講師（60歳未満）」の女性人数については、前回から104人減っているのにも関わらず、女性比率が7.6ポイント上昇している。これは「本務を持たない非常勤講師（60歳未満）」の男性人数が減少したためである。

また、男性は常勤教員54,148名に対し非常勤講師28,240名、女性は常勤教員9,238名に対し非常勤講師8,205名であることから、女性の非常勤講師の割合は高いといえる。

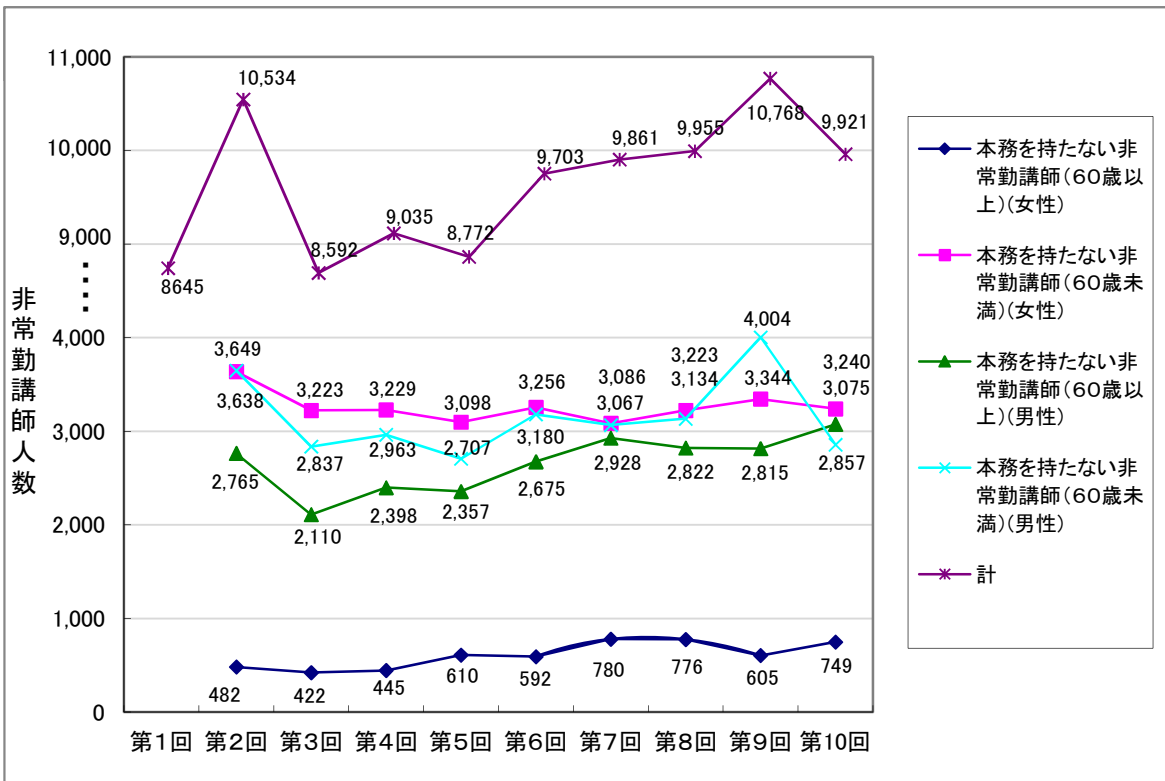
表Ⅱ-4 非常勤講師の構成

	女		男		計		女性比率 %		調査対象大学中	調査対象大学中
		うち任期付き		うち任期付き		うち任期付き		うち任期付き	最高女性比率 (%)	最低女性比率 (%)
専任教員の 本務を持つ者	1,994	29	9,913	231	11,907	260	16.7	11.2	44.4	0.0
教員以外の本務 を別に持つ者	2,222	64	12,395	396	14,617	460	15.2	13.9	45.5	0.0
本務を持たない非常 勤講師(60歳以上)	749	10	3,075	99	3,824	109	19.6	9.2	73.3	0.0
本務を持たない非常 勤講師(60歳未満)	3,240	51	2,857	58	6,097	109	53.1	46.8	100.0	0.0
計	8,205	154	28,240	784	36,445	938	22.5	16.4	-	-

図Ⅱ-4-1 非常勤講師の構成



図Ⅱ-4-2 本務を持たない非常勤講師人数



※第1回では年齢別での調査は行っていない。

5. 採用および昇任

平成 24 年度中に異動した常勤教員の採用・昇任等の状況を表 II-5 に、その推移を図 II-5 に示した。

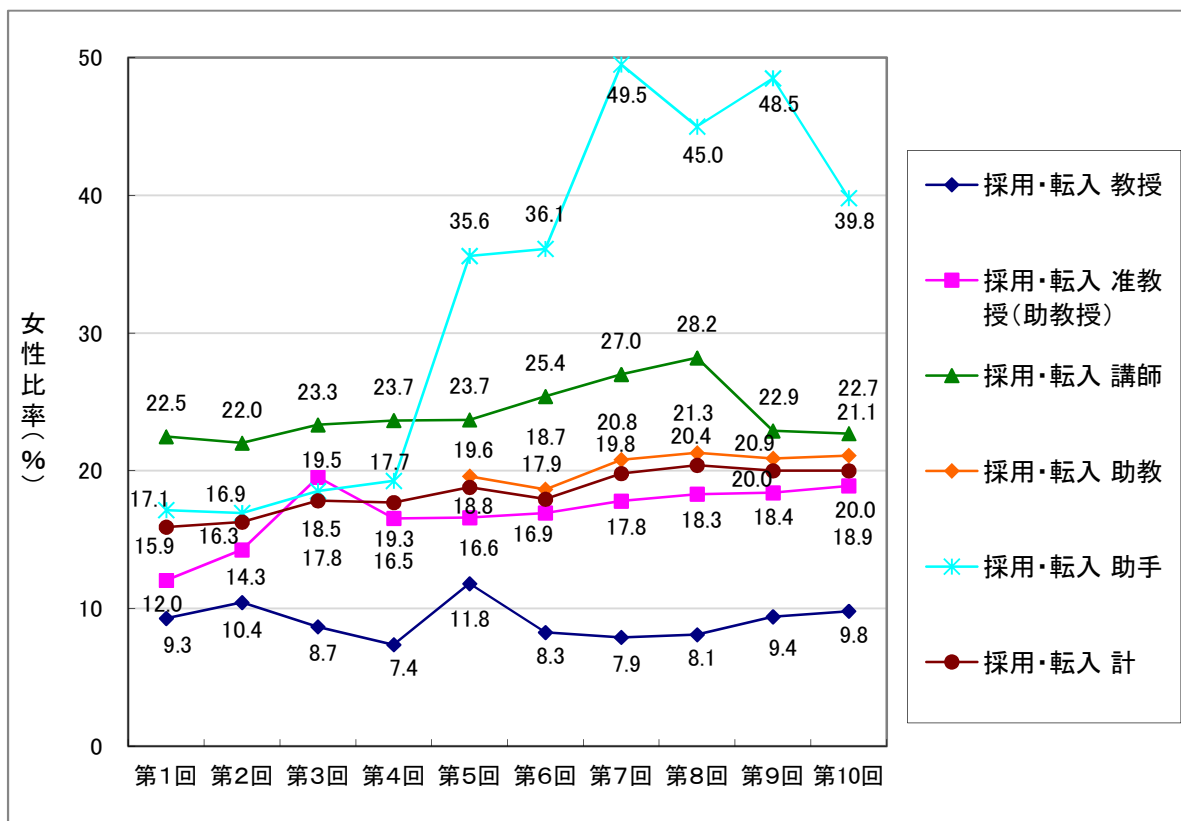
採用・転入における職名別女性比率は、教授 9.8%、准教授 18.9%、講師 22.7%、助教 21.1%、助手 39.8%で、計 20.0%であった。また、学内昇任における比率は、教授 11.0%、准教授 15.3%、講師 10.2%、助教 50.0%で、計 12.8%であった。

助手の採用・転入、助教への学内昇進の女性比率が突出して高いことがわかる。また、採用・転入と学内昇進の女性比率を比較すると、准教授、講師は採用・転入が高く、教授と助教は学内昇進が高い。

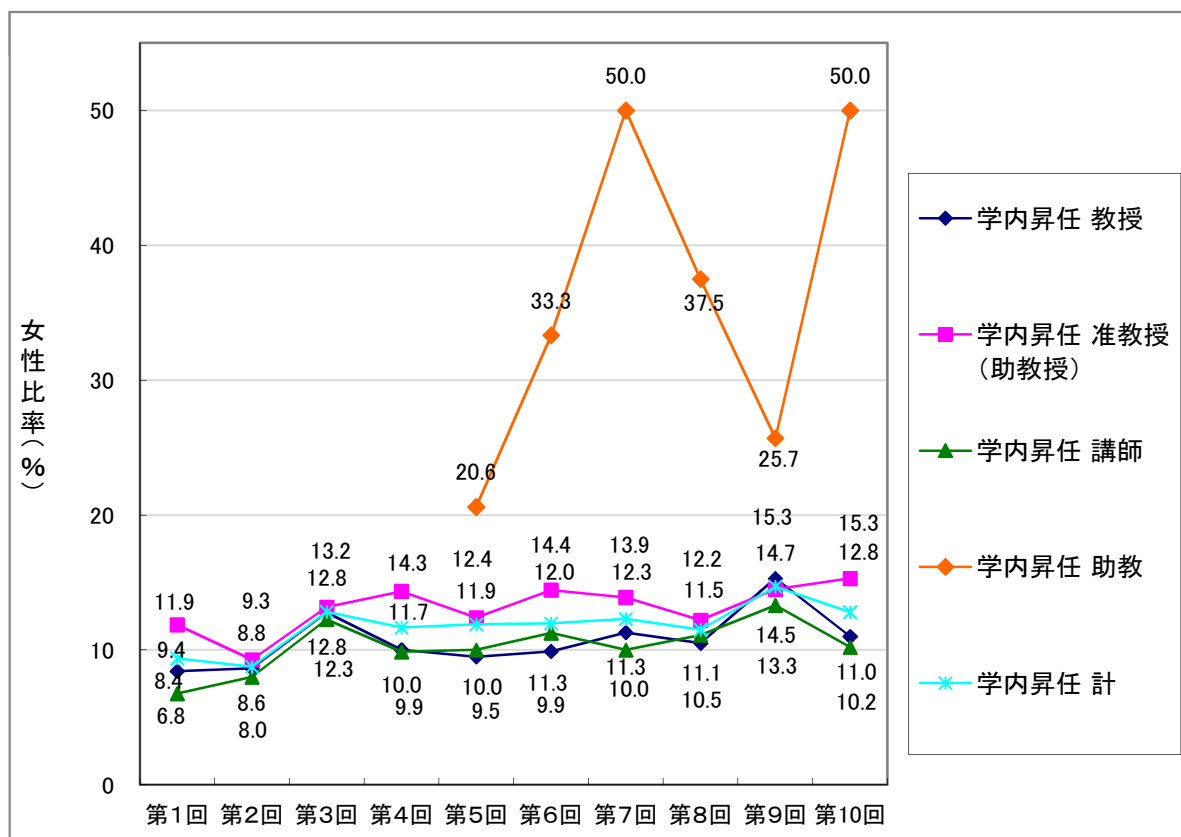
表 II-5 常勤教員の採用・昇任などの異動

任用形態	異動後の職名	女	男	計	女性比率(%)	(参考) 平成 25 年度常勤 教員の女性比率(%)
採用・転入	教授	64	591	655	9.8	8.4
	准教授	210	903	1,113	18.9	14.7
	講師	117	398	515	22.7	19.1
	助教	753	2,808	3,561	21.1	19.6
	助手	53	80	133	39.8	-
	計	1,197	4,780	5,977	20.0	14.6
学内昇任	教授	110	892	1,002	11.0	8.4
	准教授	114	630	744	15.3	14.7
	講師	50	440	490	10.2	19.1
	助教	16	16	32	50.0	19.6
	計	290	1,978	2,268	12.8	-

図II-5 (1) 採用・転入



図II-5 (2) 学内昇任



6. 職員の状況

職員の状況について、職系別・職名別職員数を表Ⅱ-6に、女性比率の推移を図Ⅱ-6に示した。

全ての職系合計の女性比率をみると、「課長相当職以上」12.3%（増減なし）、「課長補佐・専門員等」14.0%（前回比1.0%増）、「係長・専門職員等」32.8%（前回比0.5%増）、「主任等」66.7%（前回比0.7%増）、「その他の一般職員」74.6%（前回比0.4%増）であり、前回から僅かではあるが増加傾向にある。また、教員と同様に、職階が上位であるほど女性比率が低い。

女性比率を職系別で見ると、医療系が83.8%で最も高く、次いで事務系37.7%、教務系34.8%、技術技能系20.7%となっている。

事務系、技術技能系、教務系は職階が上位であるほど、女性比率が低くなっている。

医療系は、全体の女性比率が83.8%、職別の女性比率は、「その他一般職員」84.9%、「主任等」92.7%、「係長、専門職員等」68.9%、「課長補佐、専門員等」30.4%、「課長相当職以上」62.6%であり、「課長補佐、専門員等」を除いて高い比率である。

表Ⅱ-6 職系別・職名別職員数

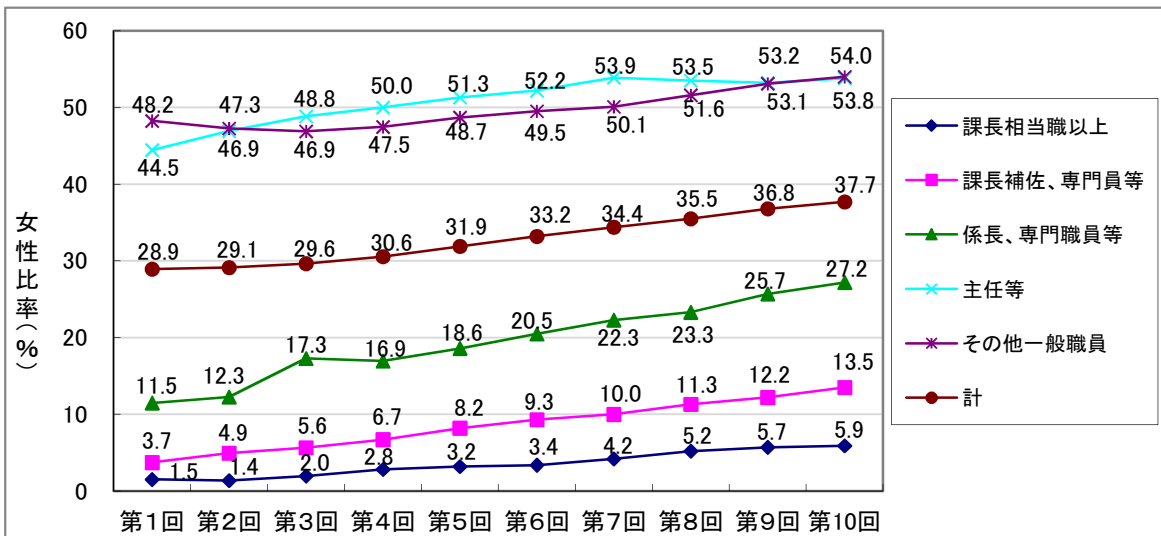
職名	事務系				技術技能系			
	女	男	計	女性 比率 %	女	男	計	女性 比率 %
課長相当職以上	142	2,250	2,392	5.9	2	203	205	1.0
課長補佐、専門員等	311	2,001	2,312	13.5	37	483	520	7.1
係長、専門職員等	2,015	5,381	7,396	27.2	532	2,482	3,014	17.7
主任等	2,344	2,010	4,354	53.8	58	267	325	17.8
その他一般職員	4,629	3,950	8,579	54.0	816	2,102	2,918	28.0
計	9,441	15,592	25,033	37.7	1,445	5,537	6,982	20.7

職名	医療系				教務系			
	女	男	計	女性 比率 %	女	男	計	女性 比率 %
課長相当職以上	219	131	350	62.6	2	20	22	9.1
課長補佐、専門員等	86	197	283	30.4	7	36	43	16.3
係長、専門職員等	1,705	769	2,474	68.9	18	101	119	15.1
主任等	2,609	204	2,813	92.7	2	4	6	33.3
その他一般職員	27,660	4,917	32,577	84.9	143	161	304	47.0
計	32,279	6,218	38,497	83.8	172	322	494	34.8

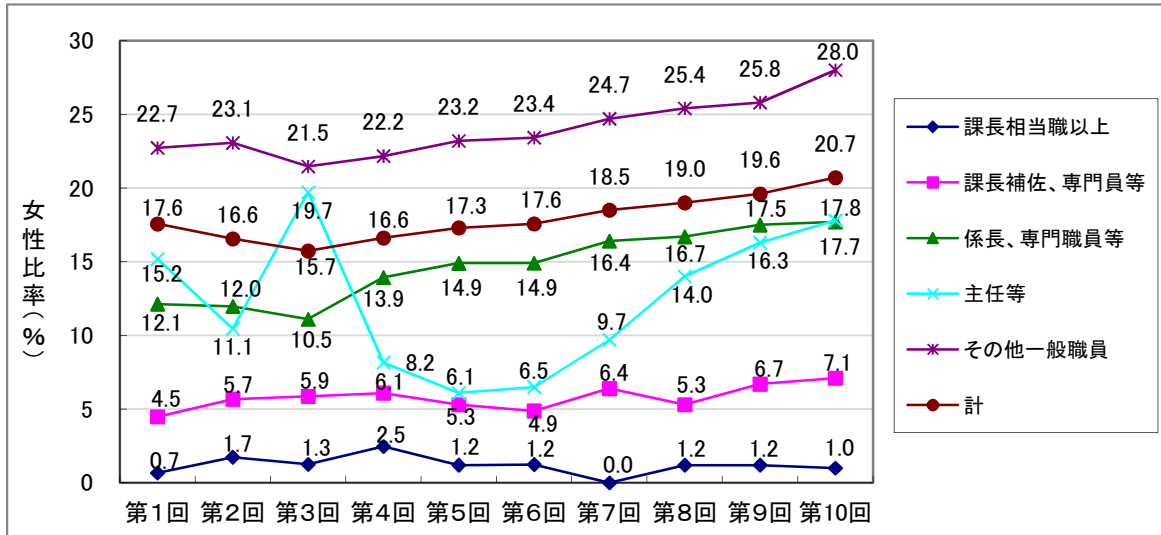
職名	その他				計			
	女	男	計	女性 比率 %	女	男	計	女性 比率 %
課長相当職以上	0	2	2	0.0	365	2,606	2,971	12.3
課長補佐、専門員等	3	7	10	30.0	444	2,724	3,168	14.0
係長、専門職員等	10	26	36	27.8	4,280	8,759	13,039	32.8
主任等	4	20	24	16.7	5,017	2,505	7,522	66.7
その他一般職員	56	239	295	19.0	33,304	11,369	44,673	74.6
計	73	294	367	19.9	43,410	27,963	71,373	60.8

図Ⅱ-6 職系別・職名別 職員女性比率

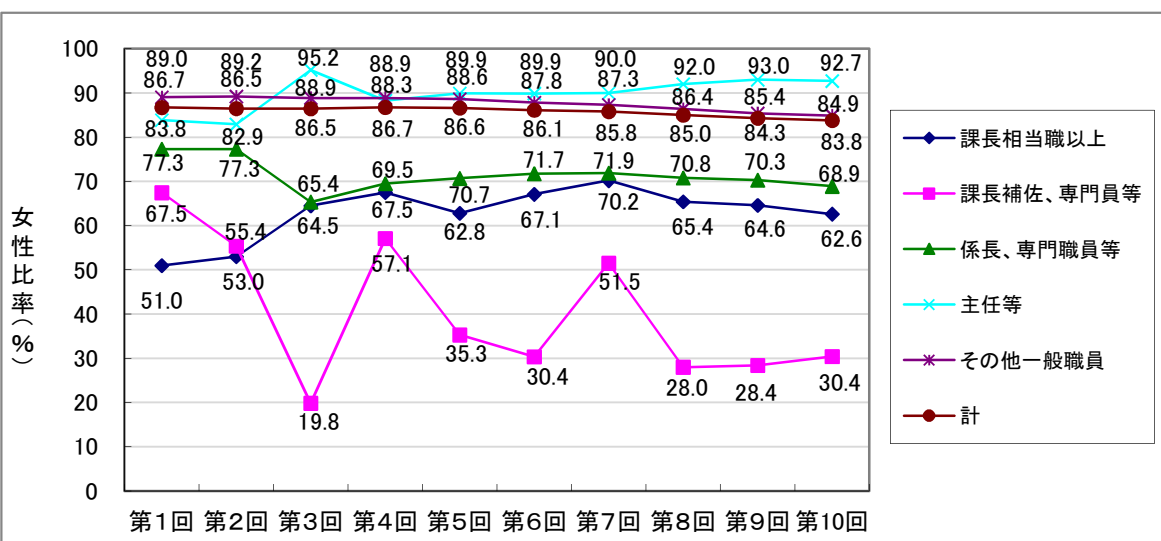
(1) 事務系



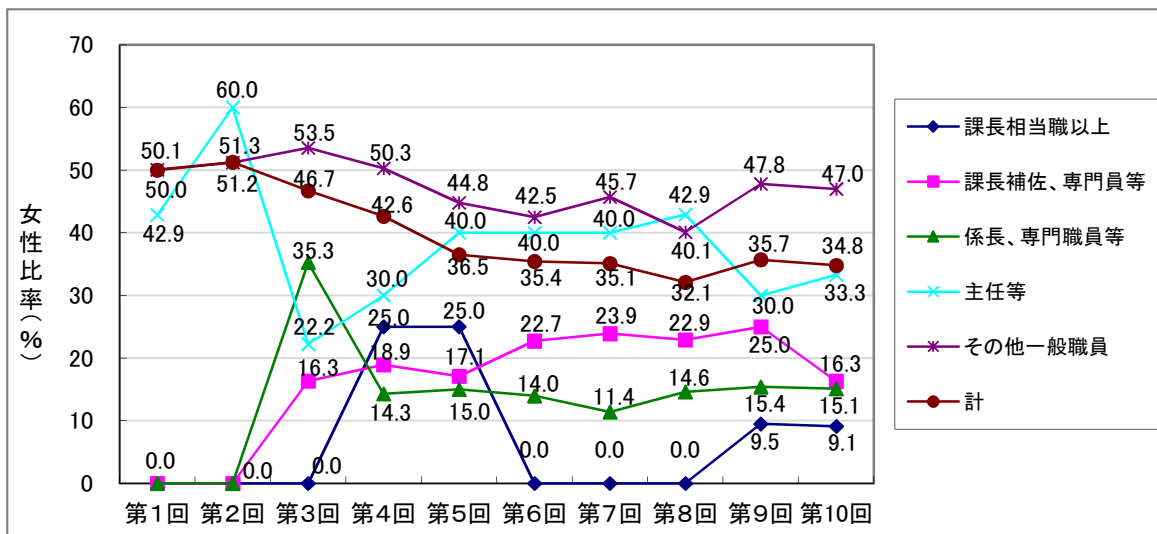
(2) 技術技能系



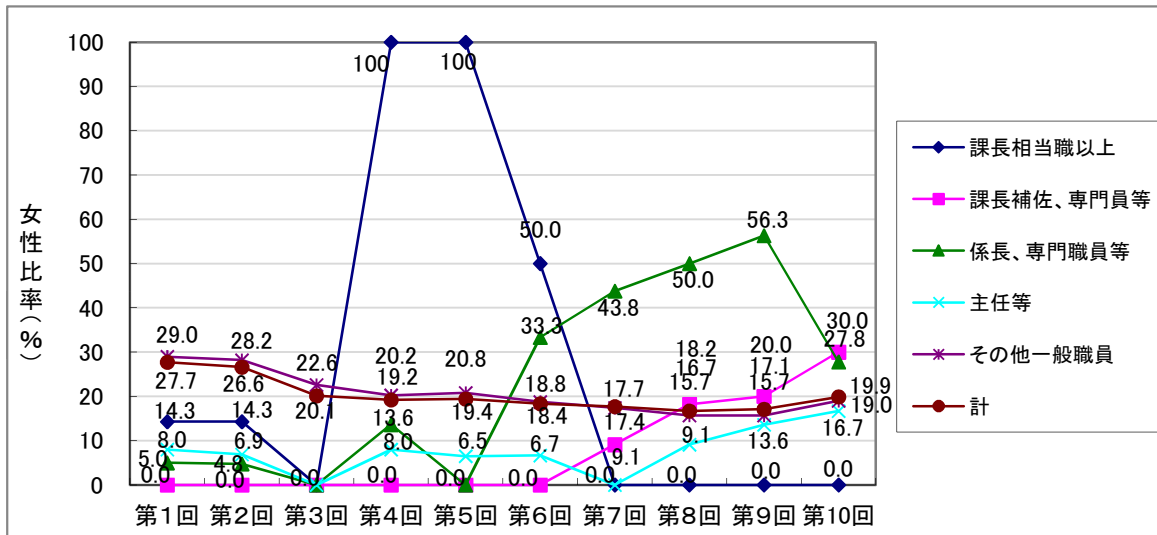
(3) 医療系



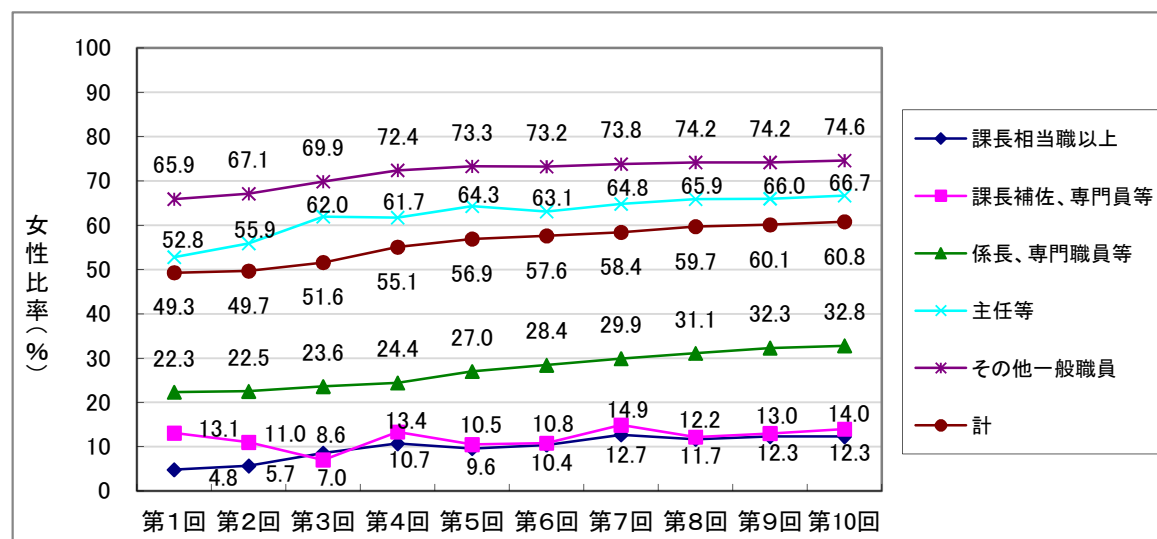
図Ⅱ-6 職系別・職名別 職員女性比率
(4) 教務系



(5) その他



(6) 計



7. 「女性学・ジェンダー研究関連授業」の開講状況

平成24年度における女性学・ジェンダー研究関連授業の開講状況を表Ⅱ-7に、担当教員および受講者の男女比率を図Ⅱ-7-1に示した。また、開講状況の推移を示したものが図Ⅱ-7-2である。

女性学・ジェンダー研究関連の科目数は1,418科目であり、第7回調査より207科目増えた。特に学部において、135科目増と大きく伸びている。

受講者は、男性26,718名、女性28,895名と男女比はほぼ変わらないが、特に博士課程においては、女性受講者が約9割と非常に高い。

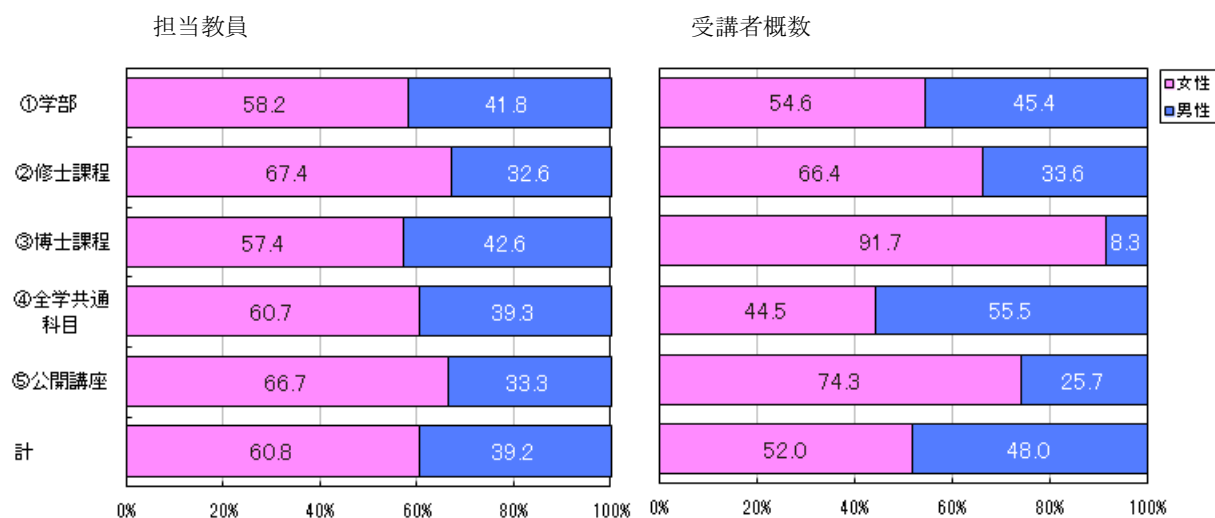
受講者数は第7回と比べ3,045人増加しており、開設科目の増加によるものと考えられる。

担当教員は男性820名、女性1,270名であり、男女比率は4:6で女性が高く、専任・非常勤比率は8:2である。

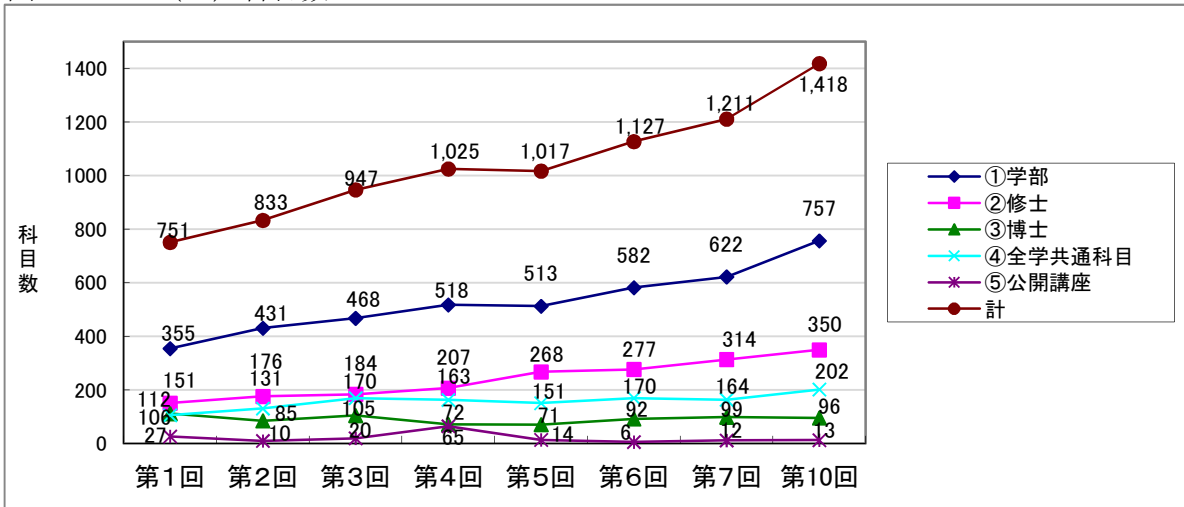
表Ⅱ-7 女性学・ジェンダー研究関連授業開講状況

課程	開講 科目数	担当教員(人)				受講者概数(人)		
		男	女	専任	非常勤	男	女	受講者計
①学部	757	433	604	840	198	16,064	19,306	35,370
②修士課程	350	140	290	387	42	589	1,162	1,751
③博士課程	96	49	66	103	12	15	166	181
④全学共通科目	202	189	292	358	122	9,956	7,989	17,945
⑤公開講座	13	9	18	19	9	94	272	366
計	1,418	820	1,270	1,707	383	26,718	28,895	55,613

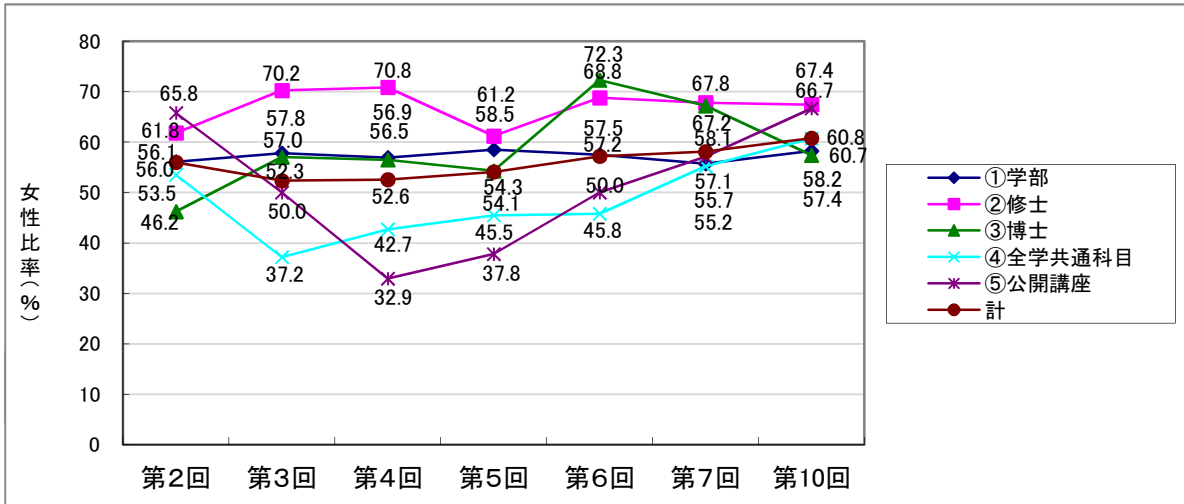
図Ⅱ-7-1 女性学・ジェンダー研究関連授業の担当教員比率・受講者の男女比率



図Ⅱ-7-2 (1) 科目数

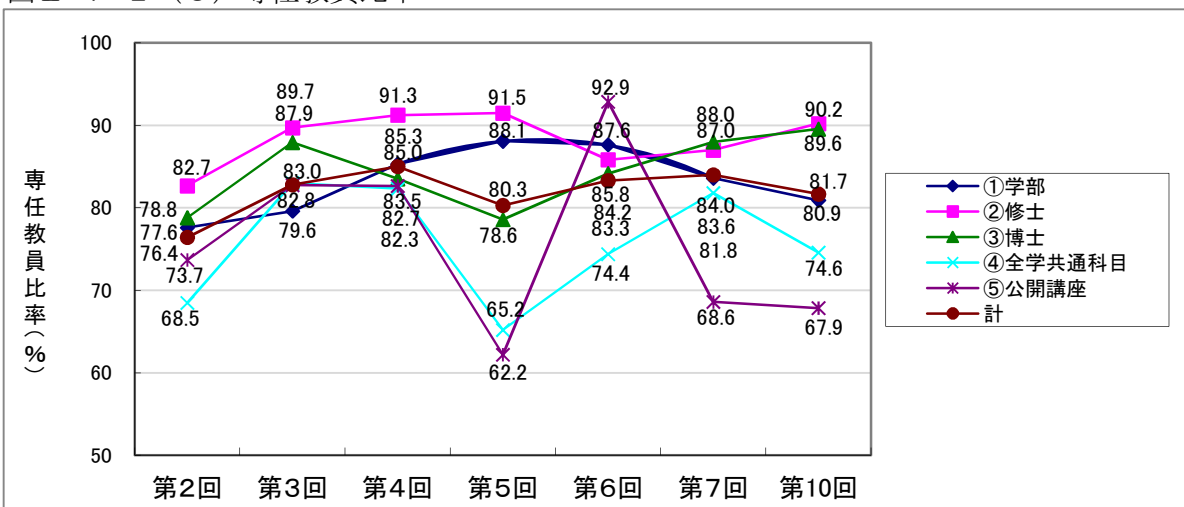


図Ⅱ-7-2 (2) 担当教員女性比率



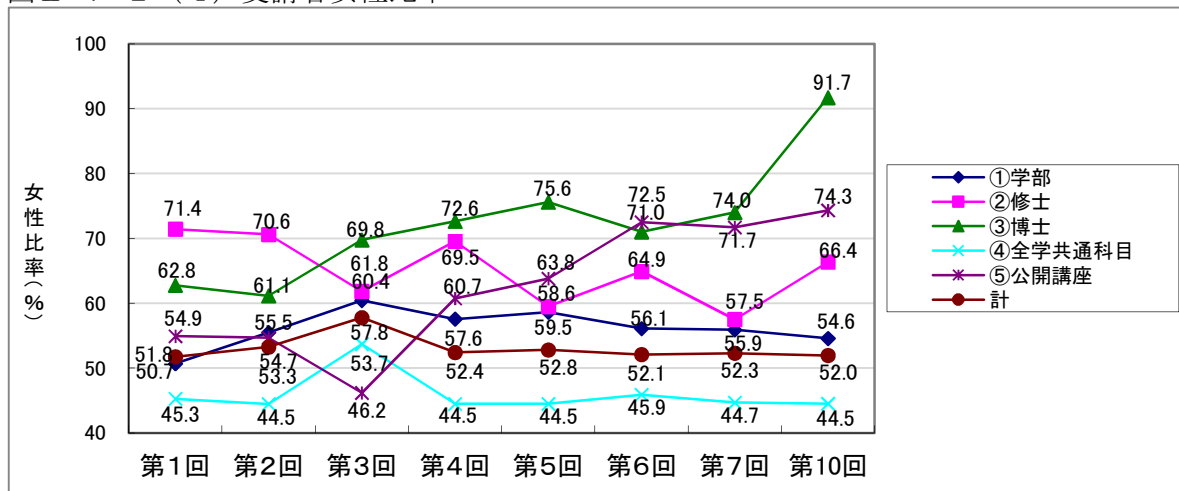
※ 第1回目については調査を行っていない。

図Ⅱ-7-2 (3) 専任教員比率

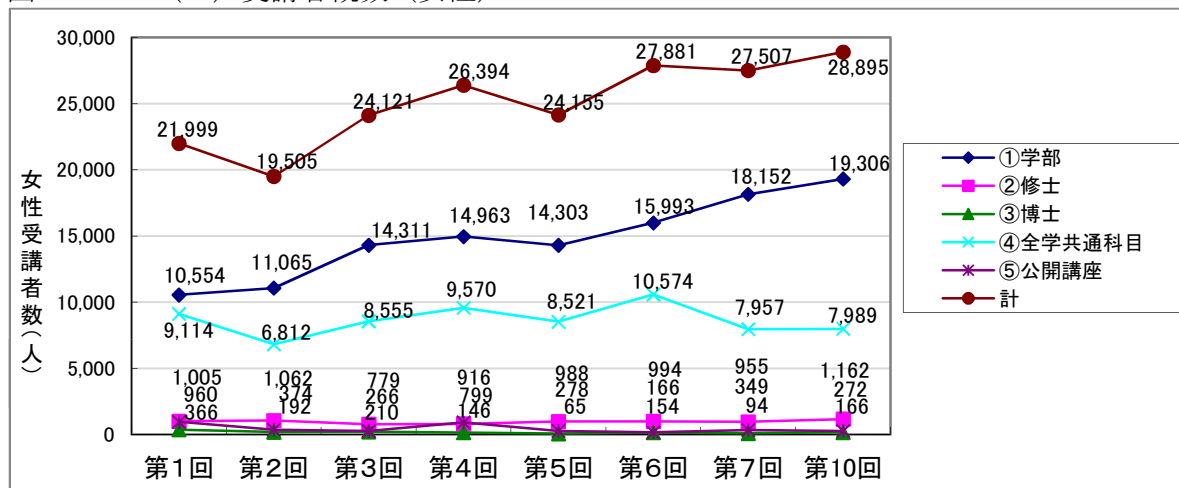


※ 第1回目については調査を行っていない。

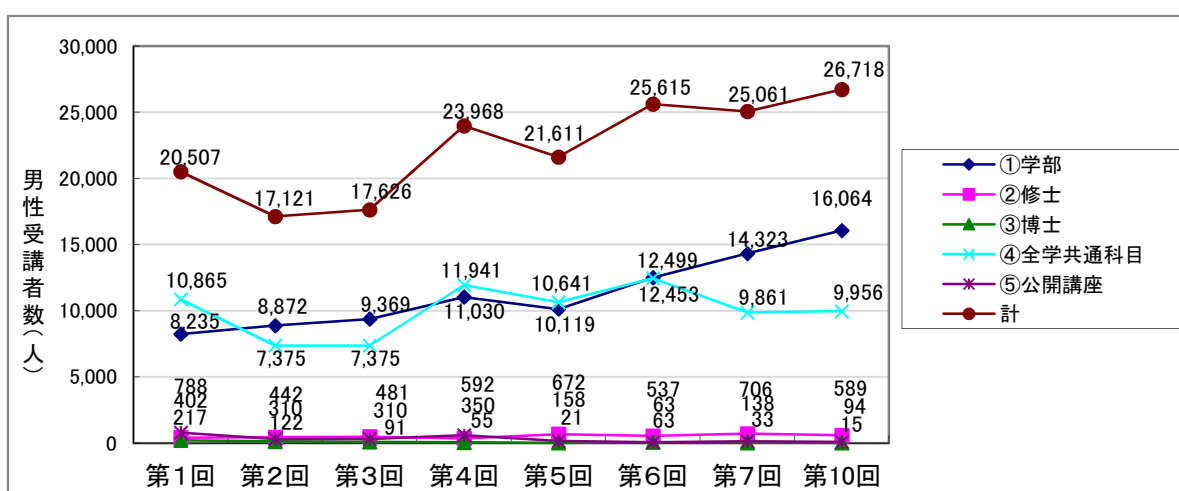
図II-7-2 (4) 受講者女性比率



図II-7-2 (5) 受講者概数 (女性)



図II-7-2 (6) 受講者概数 (男性)



8. 育児介護休業等の利用者数

平成 24 年度の育児介護休業等の利用者数を表 II-8 に示した。また、教員と職員別に、育児介護休業等利用者女性比率とその推移、利用者数などを図 II-8 に示した。

(1) 育児休業

育児休業の利用者数について、教員は女性 384 名、男性 17 名、職員は女性 4,563 名、男性 40 名で、教職員とも女性が圧倒的に多い。

第 7 回から利用者数の増減をみると、教員は女性 88 名増、男性 3 名増、職員は女性 1,976 名増、男性 21 名増となった。増加人数は圧倒的に女性が多く、男性は少ない。また、教員と職員を比較すると、職員の増加人数が非常に大きい。

育児休業の代替教員数は、女性 113 名、男性 45 名と女性の割合が高い。また、代替教員によるコマ数は 234 コマであるが、今回調査より附属学校の授業を含めずに計測したため、大きく減少した。

(2) 介護休業

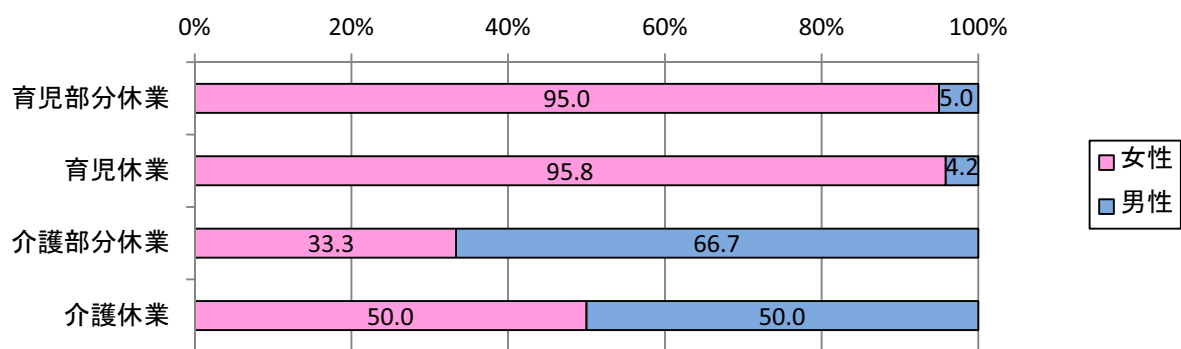
介護休業の利用者数について、教員は女性 3 名、男性 4 名、職員は女性 45 名、男性 8 名で、育児休業に比べ利用者が圧倒的に少ない。第 7 回から利用者数の増減をみると、教員は女性 5 名減、男性 1 名増、職員は女性 3 名減、男性 6 名減となった。教員男性が 1 名増加したことを除き、利用者は減少した。

また、男女比でみると、教員は大きな差はないものの、職員は約 8 割が女性である。育児休業と比べて男女差が少ないことは、介護と仕事の両立が将来的に男女問わず、大きな課題となることを示している。

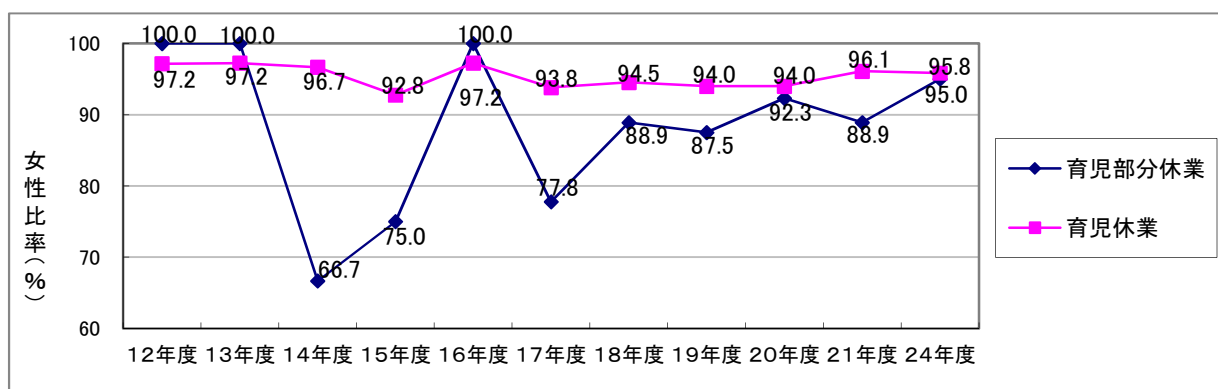
表 II-8 育児介護休業等の利用者数（平成 24 年度）

制度名		利用教員数		利用職員数		代替教員数		代替教員によるコマ数
		女	男	女	男	女	男	
育児休業	部分休業	38	2	1,224	7	1	2	5
	育児休業	346	15	3,339	33	113	45	234
	計	384	17	4,563	40	114	47	239
介護休業	部分休業	1	2	13	4	0	0	0
	介護休業	2	2	32	4	2	0	2
	計	3	4	45	8	2	0	2

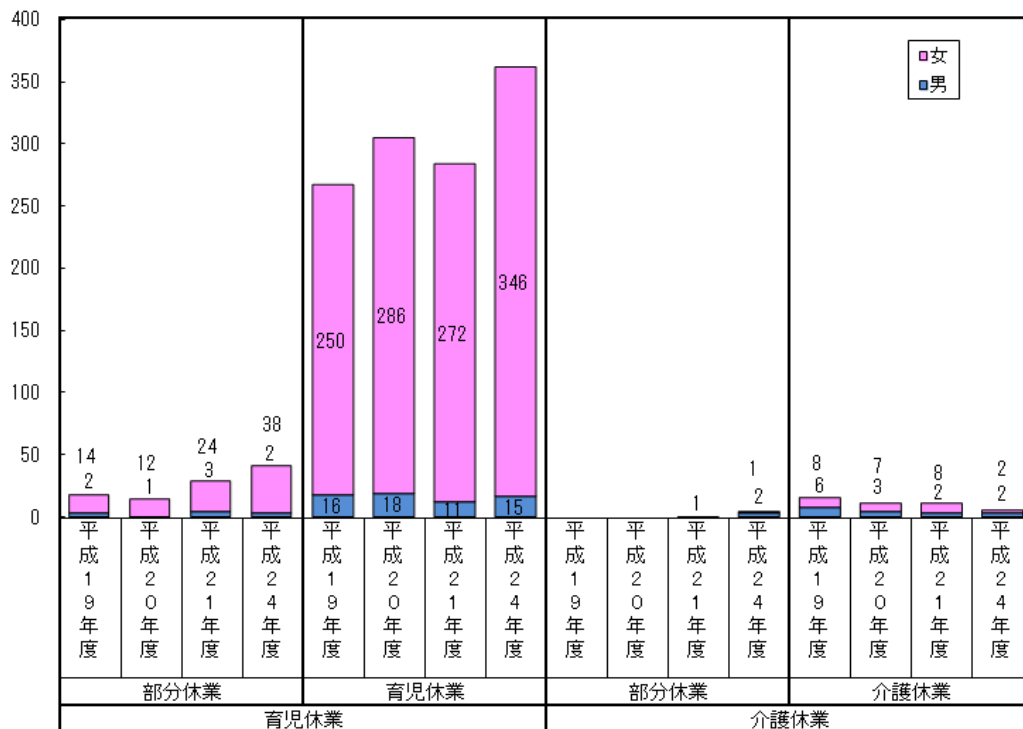
図Ⅱ-8 (1) 育児介護休業等利用者 女性比率 (教員) (平成24年度)



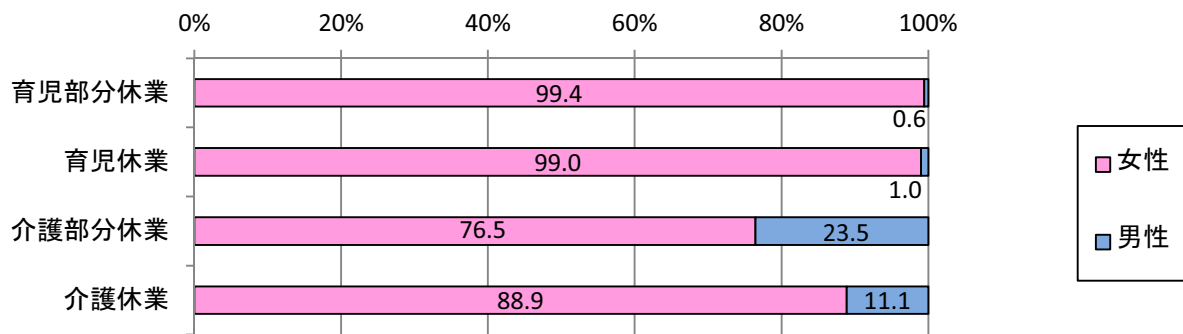
図Ⅱ-8 (2) 育児休業利用者女性比率 (教員)



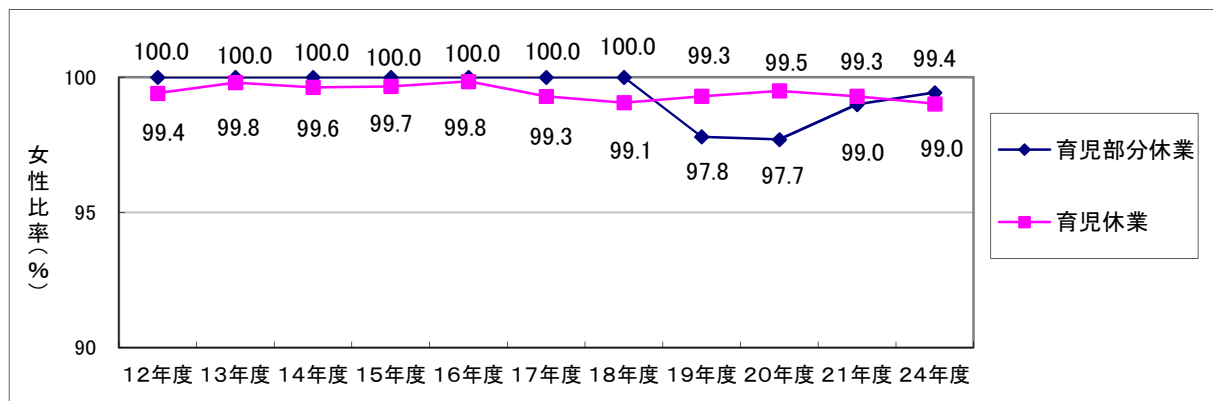
図Ⅱ-8 (3) 育児休業利用者数 (教員)



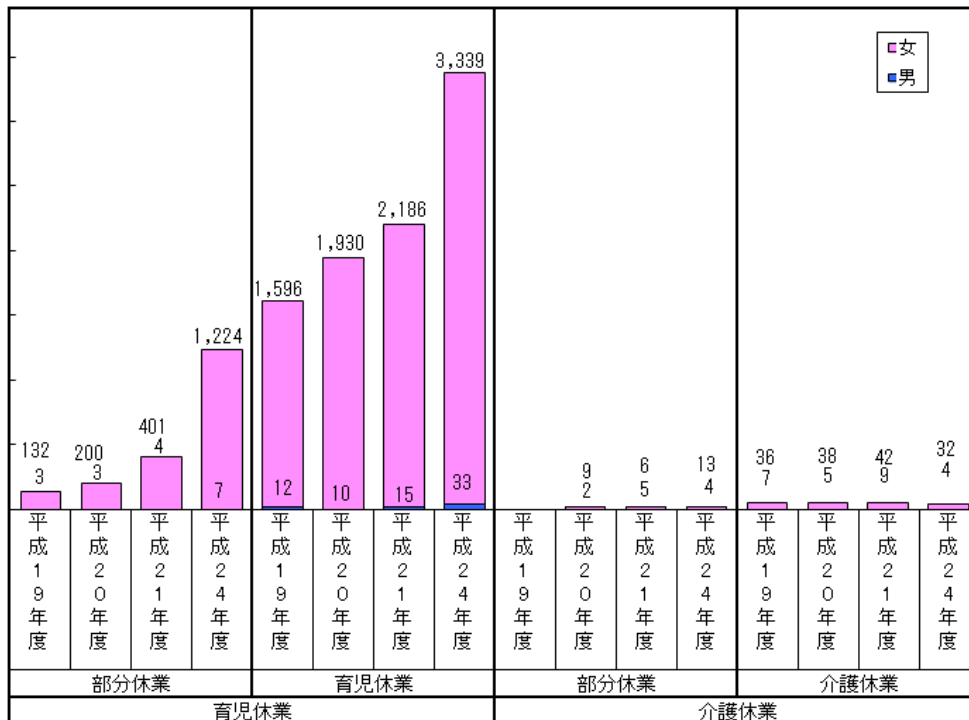
図Ⅱ-8 (4) 育児介護休業等利用者女性比率（職員）（平成24年度）



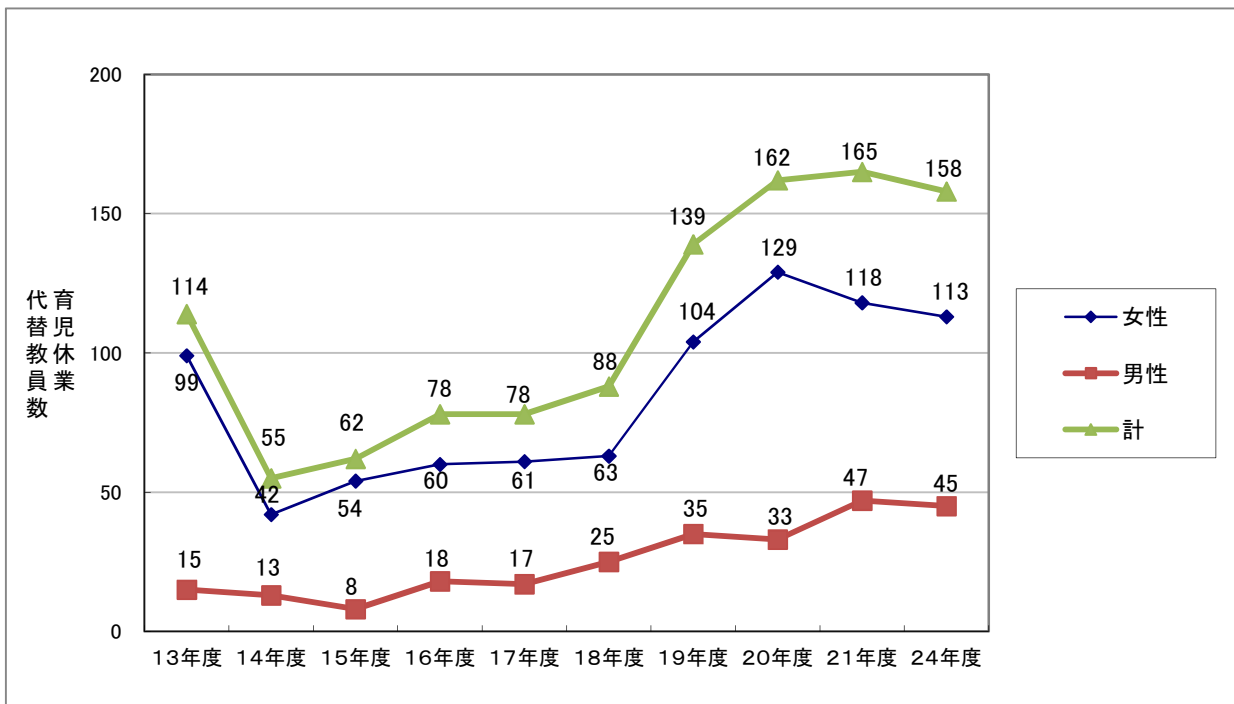
図Ⅱ-8 (5) 育児休業利用者女性比率（職員）



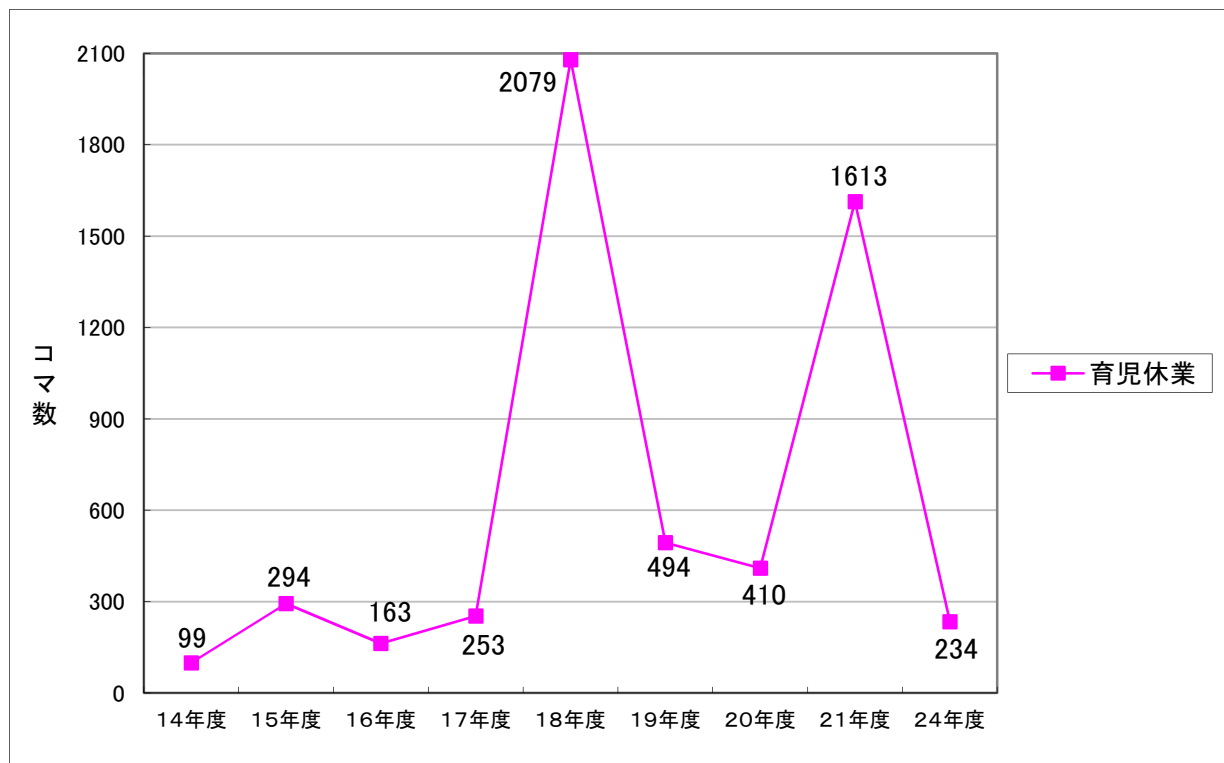
図Ⅱ-8 (6) 育児休業利用者数（職員）



図Ⅱ-8 (7) 代替教員数 (育児休業)



図Ⅱ-8 (8) 代替コマ数



※今回調査より、附属学校の授業数は含まず、大学での授業数のみをカウントとした。

9. 保育施設の設置状況

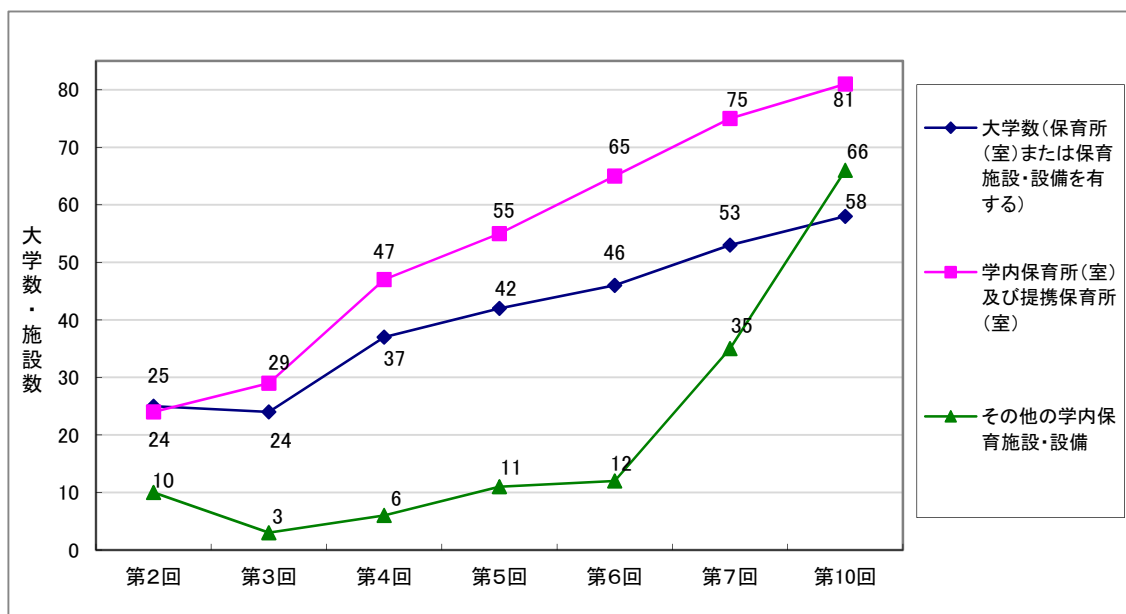
保育施設・設備の設置状況の推移を図Ⅱ-9に、保育所数や名称等を表Ⅱ-9に示した。また、各大学の保育施設・設備等の具体的な状況については、P59「各保育施設・設備等の具体的な状況」を参照願いたい。

保育所または保育施設・設備を有する大学は58大学である。そのうち、学内保育所（室）及び連携保育所（室）を有する大学は48大学81箇所、授乳室など保育施設・設備を有する大学は29大学66箇所である。

第7回からの増減をみると、保育所または保育施設・設備を有する大学は5大学増加している。そのうち、学内保育所（室）及び連携保育所（室）は1大学・6箇所増であり、保育施設・設備は13大学・31箇所増であった。

保育施設・設備の設置数は年々増加しており、特に学内保育施設・設備数が増加している。

図Ⅱ-9 保育施設・設備等の設置状況



表Ⅱ-9 保育施設・設備等の設置状況

大学名	学内及び提携 保育所(室)	その他の学内 保育施設・設備	名称または特徴等
北海道大学	3		①国立大学法人北海道大学子どもの園保育園(札幌市認可保育園) ②北大病院保育園ポプラ(業務委託) ③北海道大学事業所内保育所「ともに」(業務委託)
小樽商科大学		1	保健管理センター内に授乳できるスペースを用意している。
旭川医科大学	1		旭川医科大学 大学の森みどりの保育園
弘前大学	1		弘前大学保育園
東北大学	3	2	川内けやき保育園、星の子保育園、病後児保育室星の子ルーム、女性職員用休憩室兼授乳室(国文研)、女子休憩室内搾乳スペース(流体研)
岩手大学		1	学内保育スペース(保育のために整備されたスペース。保護者自身が託児者を手配して利用)
秋田大学	2		千秋保育園、病児・病後児保育室「ことりのおへや」
山形大学	2	9	医学部保育所すくすく(24時間託児可能)、託児ルーム(小白川キャンパス内一時預かり)、ベビーシート
福島大学		1	女性休養室(搾乳のための部屋)
筑波大学	2		国立大学法人筑波大学ゆりのき保育所 国立大学法人筑波大学そよかぜ保育所
宇都宮大学	1		宇都宮大学まなびの森保育園
群馬大学	1		群馬大学医学部附属病院保育所「ゆめのこ保育園」
埼玉大学	1		そよかぜ保育室
千葉大学	2	2	千葉大学やよい保育園、千葉大学医学部附属病院さつき保育園、マタニティコーナーを設け、授乳等を行える。
東京大学	7	4	本郷けやき保育園他3園(事業所内保育所)、いちよう保育園(事業所内特定部局保育所)、たんぼぼ保育園(文京区認可保育園)、駒場地区保育所(東京都認証保育園)、理学部育児支援室(他休養室)、医学部女性休養室、女性研究者支援相談室(いずれも授乳・搾乳が行える施設)
東京医科歯科大学	1		学内保育施設 わくわく保育園
東京学芸大学	1	1	学芸の森保育園、学芸の森保育園内に授乳室を設置
東京工業大学		2	一時保育実施場所
東京海洋大学		2	両キャンパスに授乳・おむつ替えスペース「ペンギンルーム」を設置
お茶の水女子大学	1	1	いずみナーサリー(保育施設)、ベビールーム(授乳室)
電気通信大学	1		電気通信大学保育施設「保育園どんぐり」
横浜国立大学	1		森のルーナ保育園
新潟大学	1	2	新潟大学あゆみ保育園、託児室(新大シッター利用)
山梨大学	1		どんぐり保育園

信州大学	2		信州大学医学部附属病院授乳所(保育所)・医学部附属病院病後児保育室あおぞら(病後児保育室)
富山大学	1		富山大学附属病院保育所
金沢大学	1	2	つくしんぼ保育園、授乳室、病児保育室「たんぼぼルーム」、夜間保育室「きらきらぼし」
福井大学	1		はなみずき保育園
岐阜大学	2		岐阜大学保育園ほほえみ、岐阜大学保育園すこやか
静岡大学		1	多目的保育施設を設置している。 一時保育と授業、ミーティング等で使用している。
浜松医科大学	1		医大保育所きらり
名古屋大学	5		こすもす保育園、あすなろ保育園、どんぐり保育園、ひまわり保育園、学内学童保育所(ポピンズアフタースクール)
三重大学	2		三重大学さつき保育園、学童保育所 さくら組
滋賀医科大学	1	3	国立大学法人滋賀医科大学 保育所「あゆっこ」、搾乳室
京都大学	4		社会福祉法人樹々福祉会朱い実保育園・風の子保育園、病児保育室、保育園入園待機乳児保育室
大阪大学	3		たけのこ保育園、まきば保育園、まちかね保育園
大阪教育大学		2	授乳室
神戸大学	1	1	はとぼっぼ保育所、一時預かり保育(休日に実施されるセンター試験の要因に対応するため)
奈良女子大学		13	ならっこルーム(一時預かり児専用施設) 1箇所 フィッティングルーム(授乳・搾乳室として使用可) 12箇所
奈良先端科学技術大学院大学		1	一時託児室「託児室せんたん」
鳥取大学	1		鳥取大学医学部附属病院すぎのこ保育所
島根大学	1	1	島根大学医学部附属病院うさぎ保育所、授乳室
岡山大学	1	2	保育所「なかよし園」、病児・病後児保育施設「ますかっとなり保育ルーム」、長期休暇中の学童保育施設「かいのき児童クラブ」
広島大学	2	3	広島大学ひまわり保育園、広島大学たんぼぼ保育園、学童保育室(2)※長期休業時における実施期間中のみ設備、授乳室(開室に向けて整備中)
山口大学	1		山口大学医学部附属病院保育所(たんぼぼ保育園)
徳島大学	1	2	徳島大学あゆみ保育園、徳島大学女性職員休憩室(授乳・搾乳室)
香川大学	1	1	国立大学法人香川大学三木町医学部地区事業場保育所(いちご保育園)、国立大学法人香川大学医学部附属病院病児・病後児保育室
愛媛大学	2		城北保育所、あいあいキッズ
高知大学	1		高知大学医学部附属病院院内保育所
九州大学	3		たんぼぼ保育室、ひまわり保育園、たけのこ保育園

九州工業大学		1	九州工業大学学童保育（義務教育学校の夏季休業期間中のみ、職員の子を対象に開所）
佐賀大学	1		佐賀大学病院保育園キッズパレット
長崎大学	1	1	長崎大学病院あじさい保育園、男女共同参画推進センターに子供を一時的に預かるプレイルームを設置
熊本大学	2	1	こばと保育園、医学部附属病院院内保育所、男女共同参画推進室（授乳室）
大分大学	2		大分大学なかよし保育園、大分大学病児保育室ひだまり
宮崎大学	1	2	宮崎大学保育園 くすの木保育園、搾乳（授乳）スペース
鹿児島大学	2		鹿児島大学授乳所（あおぞら保育園） 鹿児島大学さくらっ子保育園
琉球大学	1	1	いずみ保育所、病児保育室「ゆくるーむ」
計	81	66	
大学数	48	29	

Ⅲ. 総括

国立大学協会では、平成 12 年の「国立大学における男女共同参画を推進するために」に代わるものとして、平成 23 年に『国立大学における男女共同参画推進について-アクションプラン-』を策定し、平成 27 年までに女性教員比率を 17%以上にするとの目標を設定した。その進捗状況を確認するため、全国 86 大学を対象に平成 25 年 8 月から 9 月にかけて調査を実施し、以下のことが明らかになった。

国立大学における男女共同参画推進体制については、ほとんどの大学で基本方針等の作成や男女共同参画推進室等の検討推進体制を設置しており、その体制は整備されている。

大学運営における意思決定過程への女性の参画を推進している大学は、前回より 2.3 割伸ばし 65.1%となったが、大学の意思決定機関の女性比率をみると 5.8%と低く、依然として女性の意見が反映されづらい状況にあることがわかった。また、意思決定機関の女性比率が 0%の大学があった。

教員の女性比率は、前回より 0.5 割伸ばし、14.1%となった。また、女性教員比率が 17%以上の大学は、5 大学増え 27 大学となり、大学別女性教員比率の平均は前回より 0.5 割伸ばし、15.5%となった。

職別をみると、学長 3.5%、理事 2.3%、副学長 6.6%、教授 8.4%、准教授 14.7%、講師 19.1%、助教 19.6%と、職階が低くなるにつれて女性比率は上がり、目標の 17%を達成しているのは講師、助教のみであった。また、前回からの比較では、全ての職で女性比率を伸ばした。そのうち最も伸ばしたのは 0.6 割増の助教であるが、各職の伸び幅に大きな差はなかった。なお、講師・助教の女性教員比率が 0%の大学があった。

専門分野別をみると、女性比率が高い分野から家政 56.5%、人文科学 22.6%、教育 21.2%、保健 19.2%、芸術 17.2%、社会科学 15.7%、商船 8.3%、農学 8.2%、理学 6.6%、工学 4.5%であり、最も高い家政と最も低い工学の間に 52 割差が生じていた。なお、第 1 回調査から各専門分野の順位はほとんど変化していない。また、家政、人文科学等の女性教員比率が高い分野は学生の女性比率も高く、工学・理学など女性教員比率が低い分野は、学生の女性比率も低いことがわかった。

積極的に女性を採用している大学は、前回から 5.8 割伸ばし 74.4%となった。また、平成 24 年度の採用・転入及び学内昇任の女性比率は、各職の女性比率を上回った。

女性の非常勤講師は約 8 千人おり、そのうち本務を持たない者は約 4 千人であった。非常勤講師を常勤として採用等の機会を拡大している大学は、前回より 1.2 割伸ばしたものの、依然として 16.3%と低かった。

育児・介護への支援は、就労支援を整備・充実している大学は 1.2 割伸ばし 97.7%で、ほとんどの大学で実施していることがわかった。育児休業を利用している女性教員は、第 7 回から 88 名増えた。また、研究継続支援を整備・充実している大学は 10.4 割伸ばし 80.2%となった。これは、文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」に採択した大学が、取組みを充実させたことによるものと考えられる。

育児休業等からの復帰を容易にすることを含めた施設整備の設置・充実を実施している

大学は前回より 2.3 割伸ばし 76.7%となった。学内保育所又は連携保育所を有している大学は 48 大学、マタニティコーナーなど保育施設・設備を設けている大学は 29 大学であった。また、育児・介護に関わる教職員へのメンタル的なサポートの整備・充実している大学は前回より 1.2 割伸ばし 68.6%となった。

男女共同参画に対する意識啓発のためのセミナー・シンポジウム、HP・リーフレットなどの積極的な取り組みを実施している大学は、前回より 2.3 割伸ばし 83.7%となった。また、女性学・ジェンダー研究関連の科目数は、第 7 回より 207 科目増えた。しかし、博士課程受講者の男女比において、男性は 8.3%と低いことがわかった。

以上のように、今回の調査では、アクションプランで掲げた多くの取組みで充実が図られ、結果として女性教員比率を 0.5 割伸ばし 14.1%となった。しかし、目標の女性教員比率 17%に対して未だ 14.1%であり、平成 27 年までに目標を達成することが非常に困難な状況であることも明らかとなった。

そこで、今回の調査結果を踏まえ、目標を達成するため積極的に取組んでいただきたい事、特に取組みが弱いと考えられる事について述べる。

第一は、学内における男女共同参画の意識啓発である。女性教員比率を上げることが大学の課題であることを、学内に再認識してもらう取組みが必要である。また、大学の意思決定機関等への女性参画が未だ不十分なため、積極的な登用をお願いしたい。特に、意思決定機関等の女性比率が 0%である大学は、早期に検討、改善願いたい。

第二は、積極的な女性教員の採用である。

学生又は助手の女性比率が教員の女性比率より高い分野は、女性の応募者が多数いると考えられるため、積極的な採用をお願いしたい。また、理工系など学生の女性比率が低い分野は、女性の積極的な採用と女子学生を増やす取組みを強化すべきである。なお、講師・助教の女性教員比率が 0%の大学は、早期に検討、改善願いたい。

また、今回の調査で特に成果をあげた取組みとして紹介している「女性教員採用に対するインセンティブ経費配分」、「女性限定公募」など、大胆な取組みも参考にしていきたい。

第三は、仕事と子育てを両立できる環境整備である。

特に、保育所が整備されていない 38 大学については、育児している教員からの要望に応えられるよう環境を整備する必要がある。

以上が、特に積極的に取組んでいただきたい事項であるが、アクションプランに掲げているその他の提言についても、引き続き取り組んでいただきたい。

平成 25 年 6 月、日本再興戦略が閣議決定された。その中で「女性の活躍促進」が盛り込まれ、女性が活躍できる環境整備の推進が掲げられた。女性の活躍促進は、大学の活性化のための「戦略」として位置づける大学も増加している。政府の支援策の充実が期待される今こそ、女性教員の積極的拡充に取り組む絶好のタイミングではなかろうか。各大学の取組みのさらなる充実に期待する。

第二部

(資料編)

I. 第10回追跡調査の集計結果

- A. 統計調査集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
- B. 各大学の新たな取組及び第2期中期目標・中期計画における対応・・・・・・ 99
- C. アクションプランを踏まえた各大学の特に成果を上げた取組・・・・・・ 142
- D. 女性教員比率、女性教員数が増加した上位5大学・・・・・・・・・・・・ 147

II. 添付資料

- A. 国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－・・・・ 149
- B. 第10回追跡調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 155
- C. 大学別女性教員比率一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174

男女共同参画小委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176

I. 第10回追跡調査の集計結果

A. 統計調査集計

1. 男女共同参画の現状

表1.1 職階別・性別 教員数 単位:人

	女	男	計	女性 比率 %
学長	3	83	86	3.5
理事	8	335	343	2.3
副学長	14	197	211	6.6
教授	1,819	19,727	21,546	8.4
准教授	2,640	15,370	18,010	14.7
講師(常勤)	936	3,972	4,908	19.1
助教	3,450	14,187	17,637	19.6
小計	8,870	53,871	62,741	14.1
助手	368	277	645	57.1
計	9,238	54,148	63,386	14.6

表1.2 大学の意思決定機関等における性別構成 単位:人

	女	男	計	女性 比率 %
学長補佐等	53	490	543	9.8
経営協議会、教育研究評議会委員	123	2,691	2,814	4.4
部局長等	51	1,178	1,229	4.1
監事	2	45	47	4.3
小計	229	4,404	4,633	4.9
非常勤理事	1	40	41	2.4
大学運営に参画する外部委員等	81	624	705	11.5
非常勤監事	6	119	125	4.8
小計	88	783	871	10.1
計	317	5,187	5,504	5.8

表1.3 非常勤講師の構成

単位:人

	女		男		計		女性 比率 %	うち任期 付き
	うち任期 付き		うち任期 付き		うち任期 付き			
専任教員の本務を持つ者	1,994	29	9,913	231	11,907	260	16.7	11.2
教員以外の本務を別に持つ者	2,222	64	12,395	396	14,617	460	15.2	13.9
本務を持たない非常勤講師(60歳以上)	749	10	3,075	99	3,824	109	19.6	9.2
本務を持たない非常勤講師(60歳未満)	3,240	51	2,857	58	6,097	109	53.1	46.8
計	8,205	154	28,240	784	36,445	938	22.5	16.4

表1.4 部局別・性別教員数

単位:人

学部・学科	教員数(本務者)											
	教授				准教授				講師(常勤)			
	女	男	計	女性比率%	女	男	計	女性比率%	女	男	計	女性比率%
学部	722	5,474	6,196	11.7	936	3,862	4,798	19.5	260	532	792	32.8
教養部(一般教育)	4	34	38	10.5	15	49	64	23.4	8	7	15	53.3
大学院	787	10,783	11,570	6.8	1,093	8,169	9,262	11.8	322	1,304	1,626	19.8
附属病院	6	145	151	4.0	26	403	429	6.1	118	1,486	1,604	7.4
附置研究	43	1,022	1,065	4.0	65	827	892	7.3	13	73	86	15.1
その他	260	2,325	2,585	10.1	505	2,060	2,565	19.7	215	570	785	27.4
計	1,822	19,783	21,605	8.4	2,640	15,370	18,010	14.7	936	3,972	4,908	19.1

学部・学科	教員数(本務者)											
	助教				助手				小計			
	女	男	計	女性比率%	女	男	計	女性比率%	女	男	計	女性比率%
学部	485	1,427	1,912	25.4	72	25	97	74.2	2,475	11,320	13,795	17.9
教養部(一般教育)	1	7	8	12.5	0	5	5	0.0	28	102	130	21.5
大学院	1,523	6,625	8,148	18.7	202	111	313	64.5	3,927	26,992	30,919	12.7
附属病院	803	3,609	4,412	18.2	32	36	68	47.1	985	5,679	6,664	14.8
附置研究	168	1,078	1,246	13.5	13	18	31	41.9	302	3,018	3,320	9.1
その他	470	1,441	1,911	24.6	41	78	119	34.5	1,491	6,474	7,965	18.7
計	3,450	14,187	17,637	19.6	360	273	633	56.9	9,208	53,585	62,793	14.7

表1.5 専攻分野別 学部・大学院の卒業(修了)者数

単位:人

専攻分野	学部卒業生				修士課程修了者			
	女	男	計	女性比率%	女	男	計	女性比率%
人文科学	4,565	2,727	7,292	62.6	1,028	563	1,591	64.6
社会科学	5,591	10,070	15,661	35.7	912	1,374	2,286	39.9
理学	2,061	5,222	7,283	28.3	1,067	3,455	4,522	23.6
工学	3,865	27,594	31,459	12.3	2,249	18,803	21,052	10.7
農学	3,007	3,916	6,923	43.4	1,218	2,079	3,297	36.9
保健	5,903	4,812	10,715	55.1	1,215	1,164	2,379	51.1
商船	0	3	3	0.0	0	5	5	0.0
家政	301	0	301	100.0	122	2	124	98.4
教育	8,795	6,427	15,222	57.8	1,790	1,780	3,570	50.1
芸術	485	208	693	70.0	292	186	478	61.1
その他	1,665	1,191	2,856	58.3	1,316	2,381	3,697	35.6
法科大学院								
合計	36,238	62,170	98,408	36.8	11,209	31,792	43,001	26.1

専攻分野	博士課程修了者				専門職大学院修了者			
	女	男	計	女性比率%	女	男	計	女性比率%
人文科学	262	274	536	48.9	23	6	29	79.3
社会科学	160	307	467	34.3	192	510	702	27.4
理学	215	903	1,118	19.2	0	0	0	
工学	472	2,564	3,036	15.5	1	24	25	4.0
農学	285	645	930	30.6	0	0	0	
保健	1,007	2,303	3,310	30.4	44	38	82	53.7
商船	1	3	4	25.0	0	0	0	
家政	24	2	26	92.3	0	0	0	
教育	115	166	281	40.9	194	363	557	34.8
芸術	26	29	55	47.3	0	0	0	
その他	427	794	1,221	35.0	10	87	97	10.3
法科大学院			法科大学院修了者		329	839	1,168	28.2
合計	2,994	7,990	10,984	27.3	793	1,867	2,660	29.8

表1.6 専攻分野別 学部・大学院の教員数

単位:人

専攻分野	教授							
	女		男		計		女性	
		うち任期付き		うち任期付き		うち任期付き	比率%	うち任期付き
人文科学	259	4	1,307	6	1,566	10	16.5	40.0
社会科学	194	2	1,813	24	2,007	26	9.7	7.7
理学	53	1	1,839	26	1,892	27	2.8	3.7
工学	79	0	4,325	77	4,404	77	1.8	0.0
農学	52	0	1,519	15	1,571	15	3.3	0.0
保健	386	32	2,872	294	3,258	326	11.8	9.8
商船	0	0	4	1	4	1	0.0	0.0
家政	39	0	33	0	72	0	54.2	
教育	438	0	2,512	3	2,950	3	14.8	0.0
芸術	22	0	193	0	215	0	10.2	
その他	267	8	2,910	141	3,177	149	8.4	5.4
合計	1,789	47	19,327	587	21,116	634	8.5	7.4

専攻分野	准教授							
	女		男		計		女性	
		うち任期付き		うち任期付き		うち任期付き	比率%	うち任期付き
人文科学	309	18	847	35	1,156	53	26.7	34.0
社会科学	272	12	1,025	22	1,297	34	21.0	35.3
理学	122	4	1,575	28	1,697	32	7.2	12.5
工学	192	8	3,822	67	4,014	75	4.8	10.7
農学	112	2	1,279	19	1,391	21	8.1	9.5
保健	428	38	2,296	265	2,724	303	15.7	12.5
商船	1	0	7	0	8	0	12.5	
家政	22	0	23	0	45	0	48.9	
教育	559	4	1,538	6	2,097	10	26.7	40.0
芸術	38	0	133	0	171	0	22.2	
その他	469	42	2,295	137	2,764	179	17.0	23.5
合計	2,524	128	14,840	579	17,364	707	14.5	18.1

専攻分野	講師(常勤)							
	女		男		計		女性	
		うち任期付き		うち任期付き		うち任期付き	比率%	うち任期付き
人文科学	54	8	89	9	143	17	37.8	47.1
社会科学	58	7	138	16	196	23	29.6	30.4
理学	25	2	178	14	203	16	12.3	12.5
工学	28	4	365	12	393	16	7.1	25.0
農学	18	0	116	7	134	7	13.4	0.0
保健	380	40	2,160	220	2,540	260	15.0	15.4
商船	0	0	0	0	0	0		
家政	5	0	2	0	7	0	71.4	
教育	141	6	263	5	404	11	34.9	54.5
芸術	6	0	19	0	25	0	24.0	
その他	134	12	432	36	566	48	23.7	25.0
合計	849	79	3,762	319	4,611	398	18.4	19.8

専攻分野	助 教							
	女		男		計		女性 比率 %	うち任期 付き
		うち任期 付き		うち任期 付き		うち任期 付き		
人文科学	65	7	109	8	174	15	37.4	46.7
社会科学	51	7	107	7	158	14	32.3	50.0
理学	139	19	1,199	98	1,338	117	10.4	16.2
工学	230	18	2,721	160	2,951	178	7.8	10.1
農学	143	20	720	49	863	69	16.6	29.0
保健	2,119	309	6,578	1,047	8,697	1,356	24.4	22.8
商船	0	0	0	0	0	0		
家政	12	0	2	0	14	0	85.7	
教育	46	0	81	8	127	8	36.2	0.0
芸術	13	0	35	2	48	2	27.1	0.0
その他	311	64	1,449	204	1,760	268	17.7	23.9
合計	3,129	444	13,001	1,583	16,130	2,027	19.4	21.9

専攻分野	小 計							
	女		男		計		女性 比率 %	うち任期 付き
		うち任期 付き		うち任期 付き		うち任期 付き		
人文科学	687	37	2,352	58	3,039	95	22.6	38.9
社会科学	575	28	3,083	69	3,658	97	15.7	28.9
理学	339	26	4,791	166	5,130	192	6.6	13.5
工学	529	30	11,233	316	11,762	346	4.5	8.7
農学	325	22	3,634	90	3,959	112	8.2	19.6
保健	3,313	419	13,906	1,826	17,219	2,245	19.2	18.7
商船	1	0	11	1	12	1	8.3	0.0
家政	78	0	60	0	138	0	56.5	
教育	1,184	10	4,394	22	5,578	32	21.2	31.3
芸術	79	0	380	2	459	2	17.2	0.0
その他	1,181	126	7,086	518	8,267	644	14.3	19.6
合計	8,291	698	50,930	3,068	59,221	3,766	14.0	18.5

専攻分野	助 手							
	女		男		計		女性 比率 %	うち任期 付き
		うち任期 付き		うち任期 付き		うち任期 付き		
人文科学	10	1	1	0	11	1	90.9	100.0
社会科学	148	15	24	0	172	15	86.0	100.0
理学	9	0	9	1	18	1	50.0	0.0
工学	31	0	53	0	84	0	36.9	
農学	2	0	9	0	11	0	18.2	
保健	68	17	63	9	131	26	51.9	65.4
商船	0	0	4	0	4	0	0.0	
家政	0	0	0	0	0	0		
教育	6	0	3	2	9	2	66.7	0.0
芸術	2	2	0	0	2	2	100.0	100.0
その他	17	0	18	2	35	2	48.6	0.0
合計	293	35	184	14	477	49	61.4	71.4

表1.7 常勤教員の採用・昇任などの異動 単位:人

任用形態	異動後の職名	女	男	計	女性比率 %
採用・転入	教授	64	591	655	9.8
	准教授	210	903	1,113	18.9
	講師	117	398	515	22.7
	助教	753	2,808	3,561	21.1
	助手	53	80	133	39.8
	小計	1,197	4,780	5,977	20.0
学内昇任	教授	110	892	1,002	11.0
	准教授	114	630	744	15.3
	講師	50	440	490	10.2
	助教	16	16	32	50.0
	小計	290	1,978	2,268	12.8

表1.8 職系別・職名別職員数 単位:人

職名	事務系				技術技能系			
	女	男	計	女性比率 %	女	男	計	女性比率 %
課長相当職以上	142	2,250	2,392	5.9	2	203	205	1.0
課長補佐、専門員等	311	2,001	2,312	13.5	37	483	520	7.1
係長、専門職員等	2,015	5,381	7,396	27.2	532	2,482	3,014	17.7
主任等	2,344	2,010	4,354	53.8	58	267	325	17.8
その他一般職員	4,629	3,950	8,579	54.0	816	2,102	2,918	28.0
計	9,441	15,592	25,033	37.7	1,445	5,537	6,982	20.7

職名	医療系				教務系			
	女	男	計	女性比率 %	女	男	計	女性比率 %
課長相当職以上	219	131	350	62.6	2	20	22	9.1
課長補佐、専門員等	86	197	283	30.4	7	36	43	16.3
係長、専門職員等	1,705	769	2,474	68.9	18	101	119	15.1
主任等	2,609	204	2,813	92.7	2	4	6	33.3
その他一般職員	27,660	4,917	32,577	84.9	143	161	304	47.0
計	32,279	6,218	38,497	83.8	172	322	494	34.8

職名	その他				計			
	女	男	計	女性比率 %	女	男	計	女性比率 %
課長相当職以上	0	2	2	0.0	365	2,606	2,971	12.3
課長補佐、専門員等	3	7	10	30.0	444	2,724	3,168	14.0
係長、専門職員等	10	26	36	27.8	4,280	8,759	13,039	32.8
主任等	4	20	24	16.7	5,017	2,505	7,522	66.7
その他一般職員	56	239	295	19.0	33,304	11,369	44,673	74.6
計	73	294	367	19.9	43,410	27,963	71,373	60.8

2. 女性学・ジェンダー研究関連授業開講状況

表2.1 女性学・ジェンダー研究関連授業開講状況

単位:人

課程	開講科目	担当教員				受講者概数		
		女	男	専任	非常	女	男	受講者
①学部	757	433	604	840	198	16,064	19,306	35,370
②修士課程	350	140	290	387	42	589	1,162	1,751
③博士課程	96	49	66	103	12	15	166	181
④全学共通科目	202	189	292	358	122	9,956	7,989	17,945
⑤公開講座	13	9	18	19	9	94	272	366
計	1,418	820	1,270	1,707	383	26,718	28,895	55,613

3. 育児・介護支援制度の利用と施設・設備の整備状況

表3.1 育児介護休業等の利用者数

単位:人

	制度名	利用教員数		利用職員数		代替教員数		代替教員によるコマ数	
		女	男	女	男	女	男		
平成24年度	育児休業	部分休業	38	2	1224	7	1	2	5
		育児休業	346	15	3,339	33	113	45	234
	介護休業	部分休業	1	2	13	4	0	0	0
		介護休業	2	2	32	4	2	0	2

表3.2 保育施設・設備等の設置状況

施設の種類	設置数	大学数
(1)学内保育所(室)及び連携保育所(室)	81	48
(2)その他の学内保育施設・設備	66	29

表3.3 各保育施設・設備等の具体的な状況(※原則として大学からの報告をそのまま掲載)

【北海道大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人北海道大学子どもの園保育園						認可			
設置者		国立大学法人北海道大学									
運営者		国立大学法人北海道大学									
設立年/認可年		設立	2005年		認可	2005年					
施設	敷地	1639 m ²		土地無償貸与							
	建坪	490 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	7	職員室		食堂		調理室		事務室	1
児童数(定員)		60人									
保育希望児童数		※ 人								※認可保育園のため、保育希望児童数は不明。	
保育児童数(現員)		61人									
対象年齢範囲		0歳～5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長	1	保育者	11	保育士パート	2				
		主任	1	栄養師(調理師)	3	その他	3				
保育時間	平日	AM 7時 00分～		PM 6時 00分							
				延長		PM 7時 00分まで					
土曜	平日	AM 7時 00分～		PM 6時 00分							
				延長		PM 7時 00分まで					
大学等からの援助		人件費		内訳							
		光熱水費									
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他		内容							
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
その他の特記事項		札幌市の認可保育園として支給される運営費及び補助金により運営している。									

②		内 容								備 考	
保育施設名		北大病院保育園ポブラ						無認可			
設置者		北海道大学病院長									
運営者		副病院長を委員長とする運営委員会									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	1432 m ²									
	建坪	231 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室		食堂		調理室	1	事務室	1
児童数(定員)		50人									
保育希望児童数		50人									
保育児童数(現員)		50人									
対象年齢範囲		0歳～6歳									
職員数(人)		園長	1	保育者	5	保育士パート	4				
		主任		栄養師(調理師)		その他	3				
保育時間	平日	AM 0時 00分～		PM 12時 00分							
		平日延長なし		延長		PM 時 分まで					
土曜	平日	AM 0時 00分～		PM 12時 00分							
		土曜延長なし		延長		PM 時 分まで					
大学等からの援助		人件費		内訳							
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他		内容							
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別		夜間保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項		運営業務を民間に委託している									

③		内 容								備 考		
保育施設名		北海道大学事業所内保育所ともに						無認可				
設置者		国立大学法人北海道大学										
運営者		NPO法人北海道子育てワーカーズ										
設立年/認可年		設立	2010年		認可	年						
施設	敷地	2247 m ²										
	建坪	473 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室		食堂		調理室		1	事務室	1
	給食室		ホール	1	休憩室	1	会議室		その他			
児童数(定員)		60人										
保育希望児童数												
保育児童数(現員)		49人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1	保育者	4	保育士パート	7				
		主任		1	栄養師(調理師)	2	その他	11				
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 7時	00分		早朝保育 AM7:00～AM8:00			
				延長	PM 10時	00分まで						
	土曜 土曜保 育なし	AM 時		分～		PM 時	分					
				延長	PM 時	分まで						
大学等からの援助		人件費		内訳								
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品										
		その他		内容								
		その他		内容								
		その他		内容								
対応保育種別												
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項		運営業務を民間に委託している。										

【旭川医科大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		旭川医科大学 大学の森みどりの保育園						無認可			
設置者		旭川医科大学									
運営者		(株)プライムツアーズ									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	2470 m ²		土地無償貸与							
	建坪	282.27 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	1
	給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	0	
児童数(定員)		38人									
保育希望児童数		1人									
保育児童数(現員)		31人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1	保育者	2	保育士パート	4			
		主任		1	栄養師(調理師)	0	その他	0			
保育時間	平日	AM 0時		00分～		PM 0時	00分				
				平日延長なし	延長	PM 時	分まで				
	土曜	AM 0時		00分～		PM 0時	00分				
				延長	PM 時	分まで					
大学等からの援助		人件費		内訳							
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり	内容		業務運営に係る経費を補助					
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項		土日祝日を含み24時間保育を行っている。									

【弘前大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		弘前大学保育園										無認可
設置者		国立大学法人弘前大学										
運営者		国立大学法人弘前大学(保育園運営委員会)										
設立年/認可年		設立	2008年		認可						年	
施設	敷地	㎡										敷地: 大学施設内建物を改修して利用
	建坪	335㎡										
	施設等(部屋数)	保育室	3	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	1	その他	2	
児童数(定員)		40人										保育時等数(現員)は基本保育の現員数
保育希望児童数		16人										
保育児童数(現員)		40人										
対象年齢範囲		0歳～6歳		0歳からの場合産休明けから								年間保育は1歳児以上
職員数(人)		園長	1保育者		12保育士パート			3			園長は本学医学部付属病院長, その他の職員は業者委託	
		主任	0栄養師(調理師)		1その他			0				
保育時間	平日	AM 7時 30分～		PM 7時 30分							延長保育 6:30～7:30 18:30～20:30 夜間保育 18:30～7:30	
	土曜	AM 7時 30分～		PM 7時 30分								
				延長		PM 8時 30分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		業者委託費				保育園運営に係る経費は大学予算で支出している。なお、園児の親からは保育料を徴収し大学の収入としている。	
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別												
		夜間保育										
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項												

【東北大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		国立大学法人東北大学「川内けやき保育園」										無認可
設置者		総長										
運営者		理事を委員長とする運営会議										
設立年/認可年		設立	2005年		認可						年	
施設	敷地	1916㎡										その他: 医務室1、読書コーナー1
	建坪	199.53㎡										
	施設等(部屋数)	保育室	4	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	2	
児童数(定員)		30人										
保育希望児童数		31人										
保育児童数(現員)		28人										
対象年齢範囲		0歳～6歳										一時保育は生後5ヶ月から
職員数(人)		園長	0保育者		6保育士パート			7			その他: 学生アルバイト7名	
		主任	1栄養師(調理師)		1その他			7				
保育時間	平日	AM 8時 00分～		PM 7時 00分								
	土曜	AM 8時 00分～		PM 7時 00分								
		土曜延長なし		延長		PM 時 分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		約230万円					
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品										
		その他	援助あり		内容		運営委託費					
		その他	援助あり		内容		備品					
対応保育種別												
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項												

②		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人東北大学「星の子保育園」						無認可			
設置者		総長									
運営者		副学長(病院長)を委員長とする運営会議									
設立年/認可年		設立	2010年		認可				年		
施設	敷地	65878 m ²								大学病院旧西病棟1階に設置。敷地面積は、本施設を含めた病院全体の面積。その他:子育て相談室兼医務室	
	建坪	232 m ²									
	施設等(部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	1
児童数(定員)		25 人									
保育希望児童数		26 人									
保育児童数(現員)		22 人									
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから					
職員数(人)		園長	1		保育者	2		保育士パート	6		
		主任	2		栄養師(調理師)	0		その他	0		
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		30分			
				延長		PM 8時		30分まで			
	土曜	AM 7時		30分～		PM 6時		30分			
		土曜延長なし		延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他	援助あり		内容		運営委託費				
		その他	援助あり		内容		備品				
		その他			内容						
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

③		内 容								備 考	
保育施設名		東北大学病院病後児保育室「星の子ルーム」						無認可			
設置者		病院長									
運営者		病院職員で組織する運営委員会									
設立年/認可年		設立	2006年		認可				年		
施設	敷地	65878 m ²								大学病院外来棟5階に設置。敷地面積は、本施設を含めた病院全体の面積。	
	建坪	76 m ²									
	施設等(部屋数)	保育室	2	職員室		食堂		調理室			事務室
		給食室		ホール		休憩室		会議室		その他	
児童数(定員)		6 人									
保育希望児童数		408 人								保育希望児童数:平成24年度延べ利用児童数	
保育児童数(現員)		0 人									
対象年齢範囲		0歳～		9歳		生後6ヵ月から小学校3年生まで					
職員数(人)		園長			保育者	3		保育士パート	1		
		主任			栄養師(調理師)			その他			
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		00分			
				平日延長なし		延長		PM 時		分まで	
	土曜	AM 時		分～		PM 時		分			
		土曜保育なし		延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		約835万円				
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病後保育									
利用対象者											
その他の特記事項											

【秋田大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		千秋保育園										無認可
設置者		秋田大学医学部附属病院										
運営者		一般財団法人 丁西会										
設立年/認可年		設立		1964年		認可		年				
施設	敷地	1130 m ²		土地無償貸与								敷地は千秋保育園及び病児・病後児保育室を含む。
	建坪	261 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	1	
児童数(定員)		50人										
保育希望児童数		17人										
保育児童数(現員)		46人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳		0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1保育者		1保育士パート		13				保育士パートにはフルタイム非常勤職員3名を含む。
		主任		1栄養師(調理師)		1その他		1				
保育時間	平日	AM 7時		45分～		PM 6時		30分				
				延長		PM 10時		00分まで				
土曜	平日	AM 8時		00分～		PM 5時		30分				
	土曜	土曜延長なし		延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		7人分の人件費					
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品										
		その他			内容							
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別												
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

②		内 容										備 考
保育施設名		病児・病後児保育室「ことりのおへや」										無認可
設置者		秋田大学医学部附属病院										
運営者		一般財団法人 丁西会										
設立年/認可年		設立		2010年		認可		年				敷地は千秋保育園及び病児・病後児保育室を含む。
施設	敷地	1130 m ²		土地無償貸与								
	建坪	70.9 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	1	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	0	
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	3	
児童数(定員)		2人										
保育希望児童数		18人										
保育児童数(現員)		2人										
対象年齢範囲		0歳～		9歳		0歳からの場合産休明けから					小学校3年生まで	
職員数(人)		園長		0保育者		0保育士パート		0				主任は千秋保育園を兼ね、その他は看護師
		主任		1栄養師(調理師)		0その他		2				
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 6時		00分				土日祝日、年末年始の休日は除く。
				平日延長なし		延長		PM 時		分まで		
土曜	平日	AM 時		分～		PM 時		分				
	土曜	土曜保 育なし		延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		看護師2名分の人件費					
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品										
		その他			内容							
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別		病児保育										
		病後保育										
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

【山形大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		山形大学医学部保育所						無認可			
設置者		山形大学長									
運営者		山形大学医学部保育所運営委員会(委員長は学部長)									
設立年/認可年		設立	2007年			認可	2006年				
施設	敷地	1152 m ²		土地無償貸与						その他内訳 午睡室1、沐浴室1、教材庫1、配膳室1、育児相談室1	
	建坪	232 m ²									
	施設等(部屋数)	保育室	2	職員室	0	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	5
児童数(定員)		40人									
保育希望児童数		10人									
保育児童数(現員)		28人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳		0歳からの場合産休明けから					
職員数(人)		園長	1		保育者	8		保育士パート	2		
		主任	0		栄養師(調理師)	0		その他	0		
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		30分		土日祝日(12/29～1/3除く)、 終夜保育(18:30～7:00)24時間 保育(オンコール対応可)	
				延長		PM 8時		30分まで			
土曜	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		30分			
				延長		PM 8時		30分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		委託契約料金			保育業務は委託しており毎月の 契約料金のほか、運営に必要 な備品・消耗品、光熱水費、 施設及び備品の維持管理費を 大学が負担している。	
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		夜間保育									
利用対象者		教職員 学生									
その他の特記事項											

【筑波大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人筑波大学ゆりのき保育所						無認可			
設置者		国立大学法人筑波大学									
運営者		同上									
設立年/認可年		設立	2006年			認可	年				
施設	敷地	1302 m ²								(その他) 保育室、安静室、沐浴室、倉庫、トイレ	
	建坪	606 m ²									
	施設等(部屋数)	保育室	4	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール	1	休憩室		会議室		その他	7
児童数(定員)		60人									
保育希望児童数		56人									
保育児童数(現員)		47人									
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから					
職員数(人)		園長	1		保育者	6		保育士パート	8		
		主任	1		栄養師(調理師)	0		その他	2		
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 8時		30分		(下記時間帯も延長を含む (平日・土曜)) AM7時から7時30分まで	
				延長		PM 9時		00分まで			
土曜	平日	AM 7時		30分～		PM 8時		30分			
				延長		PM 9時		00分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		事務補佐員、看護師				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり		内容		什器、保育物品等				
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

②		内 容										備 考	
保育施設名		国立大学法人筑波大学よかけ保育所								無認可			
設置者		国立大学法人筑波大学											
運営者		株式会社サクセスアカデミー											
設立年/認可年		設立		2011年		認可				年			
施設	敷地	m ²											
	建坪	890 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室		食堂		調理室	1	事務室	1		
		給食室		ホール	1	休憩室		会議室		その他	1		
児童数(定員)		60人											
保育希望児童数		0人											
保育児童数(現員)		34人											
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1保育者		9		保育士パート		4			
		主任		1栄養師(調理師)		2		その他		2			
保育時間	平日	AM 7時 30分～				PM 9時 30分							
		延長				PM 10時 00分まで							
	土曜	AM 7時 30分～				PM 9時 30分							
		延長				PM 10時 00分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		看護師および事務補佐員						
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他			内容								
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別													
		夜間保育											
利用対象者		教職員											
その他の特記事項													

【宇都宮大学】

①		内 容										備 考	
保育施設名		宇都宮大学まなびの森保育園								認可			
設置者		社会福祉法人 峰陽会											
運営者		理事長 金崎 芙美子										宇都宮大学名誉教授	
設立年/認可年		設立		2006年		認可				2006年			
施設	敷地	2820 m ²											
	建坪	807 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	7	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	1		
		給食室	1	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	3		
児童数(定員)		90人											
保育希望児童数		138人										保育希望児童数は、第一希望のみの人数。	
保育児童数(現員)		108人											
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1保育者		19		保育士パート		4			
		主任		3栄養師(調理師)		3		その他		5			
保育時間	平日	AM 7時 00分～				PM 6時 00分							
		延長				PM 7時 00分まで							
	土曜	AM 7時 00分～				PM 6時 00分							
		土曜延長なし				延長 PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費			内訳								
		光熱水費											
		設備											
		消耗品											
		その他	援助あり		内容		グラウンドの利用						
		その他	援助あり		内容		行事の際の備品等の利用						
		その他	援助あり		内容		会議室等の利用						
対応保育種別													
		学童保育											
利用対象者		教職員											
		学生											
		一般											
		その他										特定保育・学会等開催時	
その他の特記事項		保育園は一般の児童も入所可能であるが、大学教職員・学生の児童を、定員の37%受け入れている。一方、大学からは、それぞれの分野の教職員から専門的な指導や援助を受け、共同研究の場として利用している。											

【群馬大学】

①		内 容								備 考
保育施設名		群馬大学医学部附属病院保育所「ゆめのこ保育園」						無認可		
設置者		国立大学法人群馬大学 学長								
運営者		国立大学法人群馬大学医学部附属病院 附属病院長								業務委託
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年				
施設	敷地	384 m ²								
	建坪	271 m ²								
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	2	事務室
	給食室	0	ホール	2	休憩室	1	会議室	0	その他	
児童数(定員)		38 人								
保育希望児童数		23 人								
保育児童数(現員)		34 人								
対象年齢範囲		0歳～		6歳						生後43日目から
職員数(人)		園長	1 保育者		6 保育士パート		16			看護師1 看護師パート2
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他		3			
保育時間	平日	AM 7時 30分～		PM 8時 00分						
		平日延長なし		延長		PM 時 分まで				
土曜	平日	AM 8時 30分～		PM 6時 00分						
		土曜延長なし		延長		PM 時 分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		2/3を大学(附属病院)		1/3を両立支援助成金	
		光熱水費	援助あり							
		設備	援助あり							
		消耗品	援助あり							
		その他			内容					
		その他			内容					
		その他			内容					
対応保育種別		病児保育								
		病後保育								
利用対象者		教職員								
		学生								
その他の特記事項										

【埼玉大学】

①		内 容								備 考
保育施設名		そよかぜ保育室						無認可		
設置者		特定非営利活動法人そよかぜ								
運営者		特定非営利活動法人そよかぜ								
設立年/認可年		設立	2009年		認可	年				
施設	敷地	876 m ²								
	建坪	146 m ²								
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室
	給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		32 人								
保育希望児童数		36 人								
保育児童数(現員)		32 人								
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから				
職員数(人)		園長	1 保育者		6 保育士パート		3			
		主任	1 栄養師(調理師)		1 その他		0			
保育時間	平日	AM 8時 30分～		PM 6時 00分						午前7時30分～8時30分まで も延長可
		延長		PM 8時 00分まで						
土曜	平日	AM 時 分～		PM 時 分						土日祝祭日は閉室日
		延長		PM 時 分まで						
大学等からの援助		人件費			内訳					
		光熱水費								
		設備								
		消耗品								
		その他			内容					
		その他			内容					
		その他			内容					
対応保育種別										
利用対象者		教職員								
		学生								
		一般								
その他の特記事項										

【千葉大学】

①		内 容										備 考	
保育施設名		千葉大学やよい保育園										無認可	
設置者		国立大学法人千葉大学											
運営者		株式会社サクセスアカデミー											
設立年/認可年		設立		2006年		認可		年					
施設	敷地	129 m ²		土地無償貸与								施設等の「その他」はトイレ	
	建坪	129 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室		食堂		調理室	1	事務室			
児童数(定員)		20人										他、特定保育は定員10人、現員4人	
保育希望児童数		14人											
保育児童数(現員)		17人											
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから				小学校就学前まで			
職員数(人)		園長		1保育者		3保育士パート		3					
		主任		栄養師(調理師)		その他							
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 6時		00分					
				延長		PM 10時		00分まで					
土曜	土曜	AM 時		分～		PM 時		分まで					
	土曜保育なし			延長		PM 時		分まで					
大学等からの援助		人件費		内訳									
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他	援助あり	内容		運営費							
		その他		内容									
		その他		内容									
対応保育種別													
利用対象者		教職員											
		学生											
その他の特記事項													

②		内 容										備 考	
保育施設名		千葉大学医学部附属病院さつき保育園										無認可	
設置者		千葉大学医学部附属病院											
運営者		株式会社サクセスアカデミー											
設立年/認可年		設立		2003年		認可		年					
施設	敷地	m ²		土地無償貸与								施設等の「その他」はトイレ	
	建坪	683 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	9	職員室		食堂		調理室	2	事務室			
児童数(定員)		83人										他、特定保育は定員10人、現員4人	
保育希望児童数		43人											
保育児童数(現員)		75人											
対象年齢範囲		0歳～		6歳		0歳からの場合産休明けから				小学校就学前まで			
職員数(人)		園長		1保育者		12保育士パート		11					
		主任		1栄養師(調理師)		その他		2					
保育時間	平日	AM 7時		16分～		PM 10時		00分					
				延長		AM 7時		15分まで					
土曜	土曜	AM 7時		16分～		PM 5時		30分					
	土曜延長なし			延長		PM 時		分まで					
大学等からの援助		人件費		内訳									
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他	援助あり	内容		運営費							
		その他		内容									
		その他		内容									
対応保育種別		病児保育											
		病後保育											
		夜間保育											
利用対象者		教職員											
		学生											
その他の特記事項													

【東京大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		東大本郷けやき保育園								無認可		
設置者		東京大学										
運営者		民間業者に委託										
設立年/認可年		設立		2008年		認可		年				
施設	敷地	270 m ²										
	建坪	200 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
	給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	1		
児童数(定員)		30人										
保育希望児童数		95人										
保育児童数(現員)		11人										
対象年齢範囲		0歳～		3歳		0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1保育者		6保育士パート		3				その他:看護師1、調理補助1
		主任		0栄養師(調理師)		1その他		2				
保育時間	平日	AM 8時		30分～		PM 7時		00分				延長時間はAM7:30～PM9:00のうち 基本保育時間以外 基本保育A AM8:30～PM6:30 基本保育B AM9:00～PM7:00
				延長		PM 9時		00分まで				
	土曜	AM 8時		30分～		PM 7時		00分				
土曜延長なし		延長		PM 時		分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		職員分				業務委託料及び建物修繕等 を含む保育園運営にかかる全 ての費用	
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別												
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項		外国籍の園児に対応するため、保育士に英会話ができる者を配置										

②		内 容										備 考
保育施設名		東大白金ひまわり保育園(旧 医科学研究所臨時授乳室)								無認可		
設置者		東京大学										
運営者		民間業者に委託										
設立年/認可年		設立		2008年		認可		年				
施設	敷地	271 m ²										
	建坪	172 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
	給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	0		
児童数(定員)		30人										
保育希望児童数		61人										
保育児童数(現員)		13人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳		0歳からの場合産休明けから						小学校就学前まで
職員数(人)		園長		1保育者		6保育士パート		8				その他:調理補助
		主任		0栄養師(調理師)		1その他		1				
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 7時		00分				延長時間はAM7:30～PM9:00のうち 基本保育時間以外 基本保育A AM8:00～PM6:00 基本保育B AM8:30～PM6:30 基本保育C AM9:00～PM7:00
				延長		PM 9時		00分まで				
	土曜	AM 8時		00分～		PM 7時		00分				
土曜延長なし		延長		PM 時		分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		職員分				業務委託料及び建物修繕等 を含む保育園運営にかかる全 ての費用	
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別												
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項		外国籍の園児に対応するため、保育士に英会話ができる者を配置										

③		内 容								備 考	
保育施設名		東大駒場むくのき保育園						無認可			
設置者		東京大学									
運営者		民間業者に委託									
設立年/認可年		設立	2008年		認可	年					
施設	敷地	342 m ²									
	建坪	212 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		30人									
保育希望児童数		54人									
保育児童数(現員)		13人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから				小学校就学前まで		
職員数(人)		園長	1保育者		4保育士パート		4			その他:調理補助	
		主任	0栄養師(調理師)		1その他		1				
保育時間	平日	AM 8時		30分～		PM 7時	00分			延長時間はAM7:30～PM9:00のうち 基本保育時間以外 基本保育A AM8:30～PM6:30 基本保育B AM9:00～PM7:00	
				延長		PM 9時	00分まで				
	土曜	AM 8時		30分～		PM 7時	00分				
		土曜延長なし		延長		PM 時	分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		職員分		業務委託料及び建物修繕等 を含む保育園運営にかかる全 ての費用		
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項		外国籍の園児に対応するため、保育士に英会話ができる者を配置									

④		内 容								備 考	
保育施設名		東大柏どんぐり保育園						無認可			
設置者		東京大学									
運営者		民間業者に委託									
設立年/認可年		設立	2008年		認可	年					
施設	敷地	2036 m ²									
	建坪	296 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	2
児童数(定員)		30人									
保育希望児童数		38人									
保育児童数(現員)		18人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから				小学校就学前まで		
職員数(人)		園長	1保育者		5保育士パート		2			その他:調理補助	
		主任	0栄養師(調理師)		1その他		1				
保育時間	平日	AM 8時		30分～		PM 7時	00分			延長時間はAM7:30～PM9:00のうち 基本保育時間以外 基本保育A AM8:30～PM6:30 基本保育B AM9:00～PM7:00	
				延長		PM 9時	00分まで				
	土曜	AM 時		分～		PM 7時	00分				
		土曜保 育なし		延長		PM 時	分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		職員分		業務委託料及び建物修繕等 を含む保育園運営にかかる全 ての費用		
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項		外国籍の園児に対応するため、保育士に英会話ができる者を配置									

【東京医科歯科大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		学内保育施設 わくわく保育園						無認可			
設置者		国立大学法人 東京医科歯科大学									
運営者		ビジョンハーツ株式会社									
設立年/認可年		設立	2010年		認可	年					
施設	敷地	208 m ²		土地無償貸与						大学敷地(45,115m ²)内	
	建坪	208 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール		休憩室		会議室		その他	
児童数(定員)		27 人									
保育希望児童数		32 人									
保育児童数(現員)		21 人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから				未就学児		
職員数(人)		園長		1	保育者		5	保育士パート	3		
		主任		0	栄養師(調理師)		2	その他			
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		00分		平日AM7:00～AM7:30 延長保育有	
	土曜 土曜保育なし	AM 時		分～		PM 時		分まで			
				延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費		内訳						運営委託費(人件費、光熱費、設備費、消耗品費を含む)として年間3700万円を、運営者であるビジョンハーツ株式会社に支払っている。	
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【東京学芸大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		学芸の森保育園						無認可			
設置者		学長 村松泰子									
運営者		学長 村松泰子									
設立年/認可年		設立	2010年		認可	年					
施設	敷地	959 m ²									
	建坪	330.67 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	2	職員室	0	食堂	1	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		30 人									
保育希望児童数		33 人									
保育児童数(現員)		11 人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1	保育者		0	保育士パート	3		
		主任		0	栄養師(調理師)		1	その他			
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 6時		00分		月～金曜日 朝7時～8時 時間外 土曜日は、開園していない。	
	土曜	AM 0時		00分～		PM 0時		00分			
				延長		PM 0時		00分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		非公開					
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
		その他	近隣地域住民								
その他の特記事項											

【お茶の水女子大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		いずみナーサリー						無認可			
設置者		国立大学法人 お茶の水女子大学									
運営者		国立大学法人 お茶の水女子大学									
設立年/認可年		設立	2002年		認可	年					
施設	敷地	337 m ²									
	建坪	175 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	2	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	1
		給食室	0	ホール	0	休憩室	1	会議室	1	その他	0
児童数(定員)		26 人									
保育希望児童数		26 人									
保育児童数(現員)		26 人									
対象年齢範囲		0歳～2歳									
職員数(人)		園長	1		保育者	3		保育士パート	4		
		主任	1		栄養師(調理師)	0		その他	2		
保育時間	平日	AM 8時 30分～			PM 5時 30分			土曜日の保育は実施せず。			
		延長			PM 6時 00分まで						
土曜	AM 時	:分～			PM 時						
		延長			PM 時			分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育士 4名				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
		その他									
		科目等履修生、聴講生、研究生等									
その他の特記事項		利用対象者が一般の方は、学内関係者の紹介が必要									

【電気通信大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		電気通信大学保育施設「保育園どんぐり」						無認可			
設置者		電気通信大学長 梶谷 誠									
運営者		電気通信大学長 梶谷 誠									
設立年/認可年		設立	2012年		認可	年					
施設	敷地	345 m ²									
	建坪	100 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	1
児童数(定員)		10 人									
保育希望児童数		14 人									
保育児童数(現員)		5 人									
対象年齢範囲		0歳～6歳									
		0歳からの場合産休明けから									
職員数(人)		園長	1		保育者	0		保育士パート	1		
		主任	0		栄養師(調理師)	0		その他	0		
保育時間	平日	AM 8時 00分～			PM 6時 00分			平日のみ土曜日は開園せず			
		延長			PM 7時 00分まで						
土曜	AM 0時	00分～			PM 0時 00分						
		延長			PM 0時 00分まで						
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【横浜国立大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		森のルーナ保育園						認可			
設置者		社会福祉法人 明真会									
運営者		社会福祉法人 明真会									
設立年/認可年		設立	2012年			認可	2011年				
施設	敷地	1300 m ²		土地無償貸与							
	建坪	425 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	8	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	0	ホール	2	休憩室	1	会議室	0	その他	
児童数(定員)		60 人									
保育希望児童数		43 人									
保育児童数(現員)		65 人									
対象年齢範囲		0歳～5歳									
職員数(人)		園長	1 保育者			9 保育士パート			7		
		主任	1 栄養師(調理師)			1 その他			4		
保育時間	平日	AM 7時 00分～			PM 8時 00分						
		平日延長なし			延長			PM 時 分まで			
	土曜	AM 7時 00分～			PM 7時 00分						
		土曜延長なし			延長			PM 時 分まで			
大学等からの援助		人件費				内訳					
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他				内容					
		その他				内容					
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
その他の特記事項											

【新潟大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		新潟大学あゆみ保育園						無認可			
設置者		新潟大学長									
運営者		株式会社 サクセスアカデミー									
設立年/認可年		設立	2010年			認可	年			設立年は現体制(業務委託)による運営開始年である。	
施設	敷地	1164 m ²		敷地は大学敷地内							
	建坪	465 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	5	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	6
児童数(定員)		60 人									
保育希望児童数		11 人									
保育児童数(現員)		57 人									
対象年齢範囲		0歳～6歳 0歳からの場合産休明けから									
職員数(人)		園長	1 保育者			11 保育士パート			7		
		主任	0 栄養師(調理師)			4 その他			0		
保育時間	平日	AM 7時 30分～			PM 6時 30分						
		延長			PM 7時 30分まで						
	土曜	AM 7時 30分～			PM 6時 30分						
		延長			PM 10時 00分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり			内訳			大学が全額負担		
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他				内容					
		その他				内容					
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【山梨大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		どんぐり保育園								無認可		
設置者		国立大学法人 山梨大学										
運営者		株式会社 子ども企画										
設立年/認可年		設立		2007年		認可		年				
施設	敷地	備考		㎡		土地無償貸与						医学部敷地内に設置しており、境がないため敷地面積の算出が不可能
	建坪	198		㎡								
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	2	
児童数(定員)		20 人										
保育希望児童数		26 人										
保育児童数(現員)		18 人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳		0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1		保育者		5		保育士パート		4
		主任		1		栄養師(調理師)		1		その他		3
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 8時		00分まで				
	土曜	AM 7時		00分～		PM 12時		00分				
		土曜延長なし		延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育料等で賄えない部分を補助					
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他	援助あり		内容		保健衛生費(園児健診)					
		その他			内容							
	その他			内容								
対応保育種別		病後保育										
		夜間保育										
利用対象者		教職員										
その他の特記事項												

【信州大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		信州大学医学部附属病院授乳所								無認可		
設置者		信州大学医学部附属病院										
運営者		一般財団法人 信和会										運営委託(受託者)
設立年/認可年		設立		1965年		認可		年				
施設	敷地	918		㎡		土地無償貸与						
	建坪	361.46		㎡								
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	0	
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	0	
児童数(定員)		60 人										
保育希望児童数		53 人										
保育児童数(現員)		51 人										
対象年齢範囲		0歳～		4歳		0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1		保育者		17		保育士パート		3
		主任		0		栄養師(調理師)		3		その他		1
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 7時		30分まで				
	土曜	AM 時		分～		PM 時		分				
				延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳							
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他	援助あり		内容		消耗品以外の備品					
		その他	援助あり		内容		1万円以上の消耗品					
	その他			内容								
対応保育種別												
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

②		内 容								備 考	
保育施設名		信州大学医学部附属病院病後児保育所あおぞら						無認可			
設置者		信州大学医学部附属病院									
運営者		一般財団法人 信和会								運営委託(受託者)	
設立年/認可年		設立	2011年		認可	年					
施設	敷地	-	m ²		土地無償貸与					既存建物の1室を利用(43㎡)	
	建坪	-	㎡								
	施設等 (部屋数)	保育室	1	職員室	0	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		4人								病後児をその都度保育するため希望者数・現員はなし。	
保育希望児童数		-									
保育児童数(現員)		-									
対象年齢範囲		0歳		～		12歳					
職員数(人)		園長	0		保育者	0		保育士パート	2		
		主任	0		栄養師(調理師)	0		その他	2		
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		00分			
				延長		PM 時		分まで			
土曜	AM 時	分～		PM 時		分					
			延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		パート職員給与				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病後保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【富山大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		富山大学附属病院保育所						無認可			
設置者		国立大学法人富山大学附属病院長 塚田一博									
運営者		国立大学法人富山大学附属病院長 塚田一博									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	899 m ²									
	建坪	278 ㎡									
	施設等 (部屋数)	保育室	5	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール		休憩室		会議室		その他	1
児童数(定員)		40人									
保育希望児童数		31人									
保育児童数(現員)		31人									
対象年齢範囲		0歳		～		6歳		0歳からの場合産休明けから			
職員数(人)		園長			保育者			保育士パート			
		主任			栄養師(調理師)			その他	外部委託(保育士13名, その他2名)		
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		30分			
				延長		PM 8時		30分まで			
土曜	AM 7時	30分～		PM 6時		30分					
	土曜延長なし		延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり		内容		外部委託費				
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育									
		病後保育									
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【金沢大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		つくしんぼ保育園						認可			
設置者		社会福祉法人 すぎなの会									
運営者		社会福祉法人 すぎなの会									
設立年/認可年		設立	1967年			認可	1975年				
施設	敷地	1205 m ²		土地無償貸与							
	建坪	666 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	1	ホール	1	休憩室	1	会議室	1	その他	2
児童数(定員)		60人									
保育希望児童数		62人									
保育児童数(現員)		62人									
対象年齢範囲		0歳～6歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長	1保育者			12保育士パート			4		
		主任	1栄養師(調理師)			2その他					
保育時間	平日	AM 7時 00分～		PM 8時 00分							
		平日延長なし		延長		PM 時 分まで					
土曜	AM 7時 00分～	PM 5時 30分									
	土曜延長なし		延長		PM 時 分まで						
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
		その他									
		保護者急病等の際の一時保育等									
その他の特記事項		金沢大学附属病院と協力して院内に設置されている病児保育室の運営を行っている。									

【福井大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		はなみずき保育園						無認可			
設置者		国立大学法人福井大学									
運営者		国立大学法人福井大学									
設立年/認可年		設立	2009年			認可	年				
施設	敷地	1935 m ²									
	建坪	234.7 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室		食堂		調理室	1	事務室	1
		給食室		ホール	1	休憩室		会議室		その他	
児童数(定員)		30人									
保育希望児童数		30人									
保育児童数(現員)		18人									
対象年齢範囲		0歳～6歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長	1保育者			3保育士パート			10		
		主任	1栄養師(調理師)			3その他			1		
保育時間	平日	AM 8時 00分～		PM 6時 30分							
		延長		PM 10時 00分まで							
土曜	AM 時 分～	PM 時 分									
	延長		PM 時 分まで								
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり		内容		運営委託費				
		その他			内容						
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【岐阜大学】

①		内 容										備 考	
保育施設名		岐阜大学保育園ほほえみ								無認可			
設置者		大学											
運営者		園長を委員長とする運営協議会.											
設立年/認可年		設立		2008年				認可				年	
施設	敷地	1165 m ²		土地無償貸与									
	建坪	271 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	1	食堂		調理室	2	事務室	1		
		給食室	1	ホール		休憩室		会議室		その他			
児童数(定員)		30人											
保育希望児童数		1人											
保育児童数(現員)		30人											
対象年齢範囲		2歳～5歳											
職員数(人)		園長		1保育者				2保育士パート		3			
		主任		1栄養師(調理師)				2その他		2			
保育時間	平日	AM 7時 30分～				PM 7時 00分							
						延長 PM 10時 00分まで							
土曜 土曜保 育なし		AM 時 分～				PM 時 分							
						延長 PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		2施設で約1千960万円						
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別													
		夜間保育											
利用対象者		教職員											
		学生											
その他の特記事項													

②		内 容										備 考	
保育施設名		岐阜大学保育園すこやか								無認可			
設置者		大学											
運営者		園長を委員長とする運営協議会.											
設立年/認可年		設立		2010年				認可				年	
施設	敷地	295 m ²		土地無償貸与									
	建坪	155 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	2	職員室	1	食堂		調理室		事務室			
		給食室		ホール		休憩室	1	会議室		その他			
児童数(定員)		20人											
保育希望児童数		23人											
保育児童数(現員)		23人											
対象年齢範囲		0歳～1歳 0歳からの場合産休明けから											
職員数(人)		園長		1保育者				2保育士パート		5			
		主任		1栄養師(調理師)				その他					
保育時間	平日	AM 7時 30分～				PM 7時 00分							
		平日延長なし				延長 PM 時 分まで							
土曜 土曜保 育なし		AM 時 分～				PM 時 分							
						延長 PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳								
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別													
利用対象者		教職員											
		学生											
その他の特記事項													

【浜松医科大学】

①		内 容										備 考	
保育施設名		医大保育所さきり										無認可	
設置者		浜松医科大学長											
運営者		株式会社サクセスアカデミー											
設立年/認可年		設立		2007年			認可		2007年				
施設	敷地	429.25 m ²		土地無償貸与									
	建坪	299.25 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	0		
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	3		
児童数(定員)		35人											
保育希望児童数		2人											
保育児童数(現員)		35人											
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1保育者			15保育士パート			0			
		主任		0栄養師(調理師)			3その他			0			
保育時間	平日	AM 6時 30分～			PM 6時 30分								
		延長			PM 8時 30分まで								
土曜	平日	AM 6時 30分～			PM 6時 30分								
		延長			PM 8時 30分まで								
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳			不明					
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別													
		夜間保育											
利用対象者		教職員											
その他の特記事項		特になし											

【名古屋大学】

①		内 容										備 考	
保育施設名		こすもす保育園(東山地区)										無認可	
設置者		名古屋大学											
運営者		名古屋大学											
設立年/認可年		設立		2006年			認可		年				
施設	敷地	1103 m ²		土地無償貸与									
	建坪	456 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	2		
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	1		
児童数(定員)		60人											
保育希望児童数		57人											
保育児童数(現員)		46人											
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		0保育者			9保育士パート			3			
		主任		1栄養師(調理師)			2その他			1			
保育時間	平日	AM 7時 30分～			PM 7時 00分								
		延長			PM 9時 00分まで								
土曜	平日	AM 7時 30分～			PM 7時 00分								
		延長			PM 9時 00分まで								
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳			保育業務委託料					
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別		病後保育											
利用対象者		教職員											
		学生											
その他の特記事項		保育に係る業務は託児業者に委託											

②		内 容								備 考	
保育施設名		名古屋大学あすなろ保育園						無認可			
設置者		名古屋大学									
運営者		名古屋大学									
設立年/認可年		設立		2009年		認可				年	
施設	敷地	1023 m ²		土地無償貸与							
	建坪	622 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	2	食堂	0	調理室	1	事務室	0
		給食室	1	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	2
児童数(定員)		80 人									
保育希望児童数		53 人									
保育児童数(現員)		50 人									
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから					
職員数(人)		園長	0		保育者		9		保育士パート		8
		主任	1		栄養師(調理師)		3		その他		2
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 7時		00分			
				延長		PM 10時		00分まで			
	土曜	AM 7時		30分～		PM 7時		00分			
				延長		PM 10時		00分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育所維持運営費				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

③		内 容								備 考	
保育施設名		どんぐり保育園(東山地区)						認可			
設置者		社会福祉法人緑の丘福祉会									
運営者		社会福祉法人緑の丘福祉会									
設立年/認可年		設立		1976年		認可				1976年	
施設	敷地	1125 m ²		土地無償貸与							
	建坪	593.79 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	8	職員室	0	食堂	1	調理室	1	事務室	1
		給食室	1	ホール	1	休憩室	1	会議室	1	その他	1
児童数(定員)		90 人									
保育希望児童数		0 人									
保育児童数(現員)		97 人									
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから					
職員数(人)		園長	1		保育者		13		保育士パート		6
		主任	3		栄養師(調理師)		2		その他		1
保育時間	平日	AM 7時		15分～		PM 6時		15分			
				延長		PM 8時		15分まで			
	土曜	AM 7時		15分～		PM 6時		15分			
		土曜延長なし		延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他	援助あり		内容		土地の無償貸与				
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病後保育									
利用対象者		一般									
その他の特記事項											

④		内 容								備 考			
保育施設名		学童保育所(ポピンズアフタースクール)(東山地区)						無認可					
設置者		名古屋大学											
運営者		株式会社ポピンズコーポレーション											
設立年/認可年		設立		2009年		認可		年					
施設	敷地	1103 m ²		土地無償貸与									
	建坪	121 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	1	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	0		
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	0		
児童数(定員)		60 人											
保育希望児童数		人											
保育児童数(現員)		32 人											
対象年齢範囲		7歳～		12歳									
職員数(人)		園長	0		保育者	2		保育士パート	0				
		主任	1		栄養師(調理師)	0		その他	0				
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 7時		00分					
				延長		PM 9時		00分まで					
	土曜	AM 7時		30分～		PM 7時		00分					
		延長		PM 9時		00分まで							
大学等からの援助		人件費			内訳								
		光熱水費											
		設備											
		消耗品											
		その他	援助あり		内容		建物の無償貸与						
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別													
		学童保育											
利用対象者		教職員											
		学生											
その他の特記事項		こすもす保育園の建物の2階部分を使用											

【三重大学】

①		内 容								備 考			
保育施設名		三重大学さつき保育園						無認可					
設置者		国立大学法人 三重大学長											
運営者		国立大学法人 三重大学医学部附属病院長											
設立年/認可年		設立		1973年		認可		年					
施設	敷地	296 m ²		土地無償貸与								さつき保育園分室(病院内)を含む	
	建坪	451 m ²											
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	2		
		給食室	2	ホール	0	休憩室	1	会議室	0	その他	8		
児童数(定員)		65 人											
保育希望児童数		16 人											
保育児童数(現員)		71 人											
対象年齢範囲		0歳～		6歳								生後57日より	
職員数(人)		園長	1		保育者	3		保育士パート	16				
		主任	0		栄養師(調理師)	0		その他	1				
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		30分					
				延長		PM 8時		30分まで					
	土曜	AM 8時		00分～		PM 6時		30分					
		土曜延長なし		延長		PM 時		分まで					
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育士17名,看護師1名,保育従事者3名						
		光熱水費	援助あり										
		設備	援助あり										
		消耗品	援助あり										
		その他			内容								
		その他			内容								
		その他			内容								
対応保育種別		病児保育											
		病後保育											
		夜間保育											
利用対象者		教職員											
その他の特記事項													

②		内 容								備 考	
保育施設名		三重大学医学部附属病院学童保育所 さくら組						無認可			
設置者		三重大学医学部附属病院									
運営者		三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援センター									
設立年/認可年		設立	2013年		認可	年					
施設	敷地	65 m ² 土地無償貸与									
	建坪	65 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	1	職員室	1	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	1	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		15 人								保育児童数(現員)8人 ※ただし常時は1人、7人はス ポット利用	
保育希望児童数		9 人									
保育児童数(現員)		8 人									
対象年齢範囲		小1 歳 ~ 小4 歳									
職員数(人)		園長	0 保育者		2 保育士パート		0			学生アルバイト数名	
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他			0			
保育 時間	平日	AM 12時 30分 ~			PM 7時 00分			土曜日は、女性医師が日直の 場合のみ対応			
		延長			PM 9時 30分まで						
	土曜	AM 8時 30分 ~			PM 5時 15分						
土曜延長なし			延長 PM 時			分まで					
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		指導員2人		平成26年度までは、全体経費 の1/2が県からの補助金 (子育て医師等復帰支援事 業)		
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
		学童保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項		子育て医師等の学童保育									

【滋賀医科大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人滋賀医科大学保育所「あゆっこ」						無認可			
設置者		国立大学法人滋賀医科大学									
運営者		学長 馬場 忠雄									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	2007年					
施設	敷地	831 m ²									
	建坪	287 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	5	職員室	0	食堂	0	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	3
児童数(定員)		40 人								保育希望児童数(H24年度) 月極保 育26名、一時保育34名 保育児童数(H25年5月1日現在) 月 極保育21名、一時保育33名	
保育希望児童数		60 人									
保育児童数(現員)		54 人									
対象年齢範囲		0歳 ~ 6歳		0歳からの場合産休明けから						生後57日目から	
職員数(人)		園長	1 保育者		8 保育士パート		5				
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他			2			
保育 時間	平日	AM 7時 30分 ~			PM 8時 00分			早朝保育 AM 7:00 ~ 7:30			
		延長			PM 9時 00分まで						
	土曜	AM 7時 30分 ~			PM 8時 00分						
延長			PM 9時 00分まで								
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		委託人件費				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり		内容		備品				
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育									
		病後保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【京都大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		朱い実保育園						認可			
設置者		社会福祉法人樹々福祉会									
運営者		理事長 加藤 利三									
設立年/認可年		設立		1969年		認可		1973年		法人認可昭和52年(1977年)	
施設	敷地	1578 m ²		土地無償貸与							
	建坪	1131 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	10	職員室	1	食堂	1	調理室	1		事務室
		給食室	1	ホール	1	休憩室	2	会議室		その他	1
児童数(定員)		133 人								前年度継続児113人・4月新入園19人・5月入園1人入園希望は福祉事務所が把握している。年度途中の入所希望多数。	
保育希望児童数		人									
保育児童数(現員)		133 人									
対象年齢範囲		0歳～5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1 保育者		24 保育士パート		5			
		主任		1 栄養師(調理師)		3 その他		1			
保育時間	平日	AM 7時 30分～		延長		PM 6時 00分					
						PM 7時 30分まで					
	土曜	AM 7時 30分～		延長		PM 6時 00分					
土曜延長なし		延長		PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費		内訳				建物1311m ² のうち185m ² を無償貸与			
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他	援助あり	内容		土地の無償貸与					
		その他	援助あり	内容		建物一部無償貸与					
		その他		内容							
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
その他の特記事項											

②		内 容								備 考	
保育施設名		風の子保育園						認可			
設置者		社会福祉法人樹々福祉会									
運営者		理事長 加藤 利三									
設立年/認可年		設立		1973年		認可		1973年			
施設	敷地	1568 m ²		土地無償貸与							
	建坪	854 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	11	職員室		食堂	1	調理室	1		事務室
		給食室	1	ホール	1	休憩室	2	会議室	1	その他	1
児童数(定員)		90 人								前年度からの継続児86人、新規入所希望30人	
保育希望児童数		人									
保育児童数(現員)		105 人									
対象年齢範囲		0歳～5歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1 保育者		19 保育士パート		4			
		主任		1 栄養師(調理師)		3 その他		1			
保育時間	平日	AM 7時 10分～		延長		PM 6時 00分					
						PM 7時 10分まで					
	土曜	AM 7時 30分～		延長		PM 6時 00分					
土曜延長なし		延長		PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費		内訳				建物1311m ² のうち185m ² を無償貸与			
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他	援助あり	内容		土地の無償貸与					
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
その他の特記事項											

③		内 容								備 考	
保育施設名		京都大学女性研究者支援センター保育園入園待機乳児保育室						無認可			
設置者		京都大学女性研究者支援センター									
運営者		京都大学女性研究者支援センター									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	m ²								京都大学女性研究者支援センター内に設置。	
	建坪	40 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	2	職員室	0	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	1
児童数(定員)		12 人								合計14名の利用あり。	
保育希望児童数		14 人									
保育児童数(現員)		12 人									
対象年齢範囲		歳 ~ 歳		0歳からの場合産休明けから						生後9週目から15ヶ月まで	
職員数(人)		園長	0 保育者		2~4 保育士パート		0			保育は外部に委託。	
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他			0			
保育時間	平日	AM 9時 00分 ~		PM 6時 00分		時間外保育					
		平日延長なし		延長		PM 時 分まで					
	土曜 土曜保育なし	AM 時 分 ~		PM 時 分		18:00~20:00					
		延長		PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		全額			外部委託により運営	
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者											
		その他 女性研究者・女子学生									
その他の特記事項		開室期間は9月~3月のため、H24年度の状況を記載しました。									

④		内 容								備 考	
保育施設名		女性研究者支援センター病児保育室						無認可			
設置者		京都大学女性研究者支援センター									
運営者		京都大学女性研究者支援センター									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	m ²								京都大学附属病院内に設置。 その他:隔離室あり	
	建坪	58 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	1	職員室	0	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	1
児童数(定員)		5 人								5月の1日平均利用者数 :1.8人	
保育希望児童数		人									
保育児童数(現員)		人									
対象年齢範囲		歳 ~ 歳								生後6ヶ月から小学校3年生まで	
職員数(人)		園長	0 保育者		3 保育士パート		0			その他:看護師2、小児科医1	
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他			3			
保育時間	平日	AM 8時 15分 ~		PM 7時 00分							
		平日延長なし		延長		PM 時 分まで					
	土曜 土曜保育なし	AM 時 分 ~		PM 時 分							
		延長		PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		全額				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育 病後保育									
利用対象者		教職員 学生									
		その他 学術振興会特別研究員									
その他の特記事項											

【大阪大学】

①		内 容										備 考
保育施設名		たけのこ保育園								無認可		
設置者		大阪大学										
運営者		大阪大学										
設立年/認可年		設立		2008年		認可				年		
施設	敷地	1730 m ²										その他:保健室・安静室
	建坪	662 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	0	
		給食室	0	ホール	0	休憩室	1	会議室	2	その他	1	
児童数(定員)		80人										
保育希望児童数		10人										
保育児童数(現員)		63人										
対象年齢範囲		2歳～		5歳								5歳とは就学前まで
職員数(人)		園長		1保育者		10		保育士パート		6		職員は全員が受託運営会社の社員
		主任		1栄養師(調理師)		7		その他		9		
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 6時		00分		早朝保育あり (月～金曜日) 7:30～8:00		
				延長		PM 8時		00分まで				
	土曜	AM 8時		00分～		PM 6時		00分				
土曜延長なし		延長		PM 時		分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育業務委託費				運営は外部委託(民間の受託運営会社)	
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他	援助あり		内容		警備費					
		その他	援助あり		内容		リース(寝具、カーテン)					
		その他	援助あり		内容							
対応保育種別												
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項		無										

②		内 容										備 考
保育施設名		まきば保育園								無認可		
設置者		大阪大学										
運営者		大阪大学										
設立年/認可年		設立		2008年		認可				年		
施設	敷地	427 m ²										
	建坪	168 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	0	
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	0	
児童数(定員)		45人										
保育希望児童数		36人										
保育児童数(現員)		45人										
対象年齢範囲		0歳～		1歳		0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1保育者		9		保育士パート		10		栄養師(調理師)とその他は、 たけのこと兼務
		主任		1栄養師(調理師)		7		その他		9		
保育時間	平日	AM 8時		00分～		PM 6時		00分		早朝保育あり (月～金曜日) 7:30～8:00		
				延長		PM 8時		00分まで				
	土曜	AM 8時		00分～		PM 6時		00分				
土曜延長なし		延長		PM 時		分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育業務委託費				運営は外部委託(民間の受託運営会社)	
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他	援助あり		内容		警備費					
		その他	援助あり		内容		リース(寝具、カーテン)					
		その他	援助あり		内容							
対応保育種別												
利用対象者		教職員 学生										
その他の特記事項		無										

③		内 容								備 考	
保育施設名		まちなか保育園						無認可			
設置者		大阪大学									
運営者		大阪大学									
設立年/認可年		設立	2012年		認可	年					
施設	敷地	2186 m ²								その他:保健・安静室	
	建坪	739 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	0	食堂	0	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	0	休憩室	1	会議室	1	その他	1
児童数(定員)		60人									
保育希望児童数		16人									
保育児童数(現員)		36人									
対象年齢範囲		0歳～5歳		0歳からの場合産休明けから						5歳とは就学前まで	
職員数(人)		園長	1保育者		6保育士パート		9				
		主任	1栄養師(調理師)		2その他		3				
保育時間	平日	AM 8時 00分～		PM 6時 00分							
		延長		PM 8時 00分まで							
	土曜	AM 8時 00分～		PM 6時 00分							
土曜延長なし		延長		PM 時		分まで		早期保育あり (月～金曜日) 7:30～8:00			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育業務委託費		運営は外部委託(民間の受託運営会社)		
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり		内容		警備費				
		その他	援助あり		内容		リース(寝具、カーテン)				
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項		無									

【神戸大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		神戸大学はとぼっぼ保育所						無認可			
設置者		国立大学法人神戸大学									
運営者		学長 福田秀樹									
設立年/認可年		設立	2011年		認可	年					
施設	敷地	m ²								鉄骨造4階建て (1階、2階および4階の一部)	
	建坪	522 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	8	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール	1	休憩室	1	会議室		その他	2
児童数(定員)		50人									
保育希望児童数		12人									
保育児童数(現員)		38人									
対象年齢範囲		0歳～5歳		0歳からの場合産休明けから						就学前まで	
職員数(人)		園長	1保育者		9保育士パート		9				
		主任	1栄養師(調理師)		3その他		3				
保育時間	平日	AM 8時 00分～		PM 6時 00分							
		平日延長なし		延長		PM 時		分まで			
	土曜	AM 8時 00分～		PM 6時 00分							
土曜延長なし		延長		PM 時		分まで		平日の延長は、AM7時から、PM8時まで。 祝日についても、土曜日と同様の保育時間にて実施。			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病後保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
		その他								日本学術振興会特別研究	
その他の特記事項											

【鳥取大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		鳥取大学医学部附属病院すぎのこ保育所						無認可		届出保育施設	
設置者		鳥取大学医学部附属病院									
運営者		(株)アイプランに運営委託									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	㎡									
	建坪	700㎡									
	施設等 (部屋数)	保育室	5	職員室		食堂		調理室	1	事務室	1
		給食室		ホール		休憩室		会議室		その他	15
児童数(定員)		95人									
保育希望児童数		46人									
保育児童数(現員)		86人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳						生後43日以降	
職員数(人)		園長	1		保育者	16		保育士パート	8		
		主任			栄養師(調理師)	3		その他	1		
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 8時		00分		夜間保育有 PM8:00～AM7:00	
		平日延長なし		延長		PM 時		分まで			
土曜	AM 7時	00分～		PM 8時		00分					
	土曜延長なし		延長		PM 時		分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		運営委託費 大学負担				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育									
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【鳥根大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		鳥根大学医学部附属病院うさぎ保育所						無認可			
設置者		国立大学法人鳥根大学									
運営者		国立大学法人鳥根大学									
設立年/認可年		設立	2006年		認可	年					
施設	敷地	1370㎡									
	建坪	530㎡									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	0	食堂	0	調理室	3	事務室	1
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	22
児童数(定員)		75人									
保育希望児童数		25人									
保育児童数(現員)		54人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳						生後8週間以上(基本保育)	
職員数(人)		園長	1		保育者	11		保育士パート	6		
		主任	1		栄養師(調理師)	2		その他	4		
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 7時		00分		業務委託しており、契約に基づき、人件費等を支払っている。	
		平日延長なし		延長		PM 9時		00分まで			
土曜	AM 7時	30分～		PM 7時		00分					
	土曜延長なし		延長		PM 9時		00分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育									
		病後保育									
		夜間保育									
		学童保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【岡山大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		岡山大学保育所「なかよし園」						無認可			
設置者		岡山大学長									
運営者		岡山大学保育所運営委員会									
設立年/認可年		設立	1976年		認可	年					
施設	敷地	959 m ²									
	建坪	458 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	5	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1
		給食室	0	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	2
児童数(定員)		90人									
保育希望児童数		97人									
保育児童数(現員)		71人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	1		保育者	13		保育士パート	2		
		主任	1		栄養師(調理師)	4		その他	2		
保育時間	平日	AM 7時 30分～			PM 6時 00分						
		延長			PM 9時 00分まで						
土曜	AM 時	分～			PM 時 分						
		延長			PM 時 分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		人件費不足分補填				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
		学生									
		その他									
		研究生等									
その他の特記事項											

【広島大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		広島大学ひまわり保育園						無認可			
設置者		広島大学									
運営者		広島大学									
設立年/認可年		設立	2008年		認可	年					
施設	敷地	1293 m ²									
	建坪	252 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	0
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		30人									
保育希望児童数		44人									
保育児童数(現員)		39人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	1		保育者	5		保育士パート	1		
		主任			栄養師(調理師)	3		その他			
保育時間	平日	AM 7時 30分～			PM 7時 00分						
		延長			PM 8時 00分まで						
土曜	AM 時	分～			PM 時 分						
		延長			PM 時 分まで						
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他	援助あり		内容		運営費全般				
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
その他の特記事項		なし									

②		内 容								備 考	
保育施設名		広島大学たんぼぼ保育園						無認可		H21.10より本学直営化	
設置者		広島大学									
運営者		広島大学									
設立年/認可年		設立	1971年		認可	年					
施設	敷地	554 m ²									
	建坪	257 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	1	食堂	0	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		72人									
保育希望児童数		90人									
保育児童数(現員)		68人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	1保育者		19保育士パート		0				
		主任	0栄養師(調理師)		3その他		1				
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 7時	00分				
				延長		PM 8時	00分まで				
土曜	AM 7時	30分～		PM 7時	00分						
			延長		PM 8時	00分まで					
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他	援助あり		内容		運営費全般				
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
その他の特記事項		なし									

【山口大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		山口大学医学部附属病院保育所(たんぼぼ保育園)						無認可			
設置者		国立大学法人山口大学(医学部附属病院)病院長									
運営者		病院長が指名する診療科長等を委員長とする保育所運営委員会									
設立年/認可年		設立	1982年		認可	年					
施設	敷地	655 m ²								敷地面積655.26m ² 【内訳】建坪262.08m ² , 園庭373.02m ² , 中庭20.16m ²	
	建坪	262 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	1	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		30人									
保育希望児童数		30人									
保育児童数(現員)		23人									
対象年齢範囲		0歳～		4歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	0保育者		0保育士パート		10				
		主任	0栄養師(調理師)		1その他		1				
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時	00分				
				延長		PM 8時	00分まで				
土曜	AM 7時	30分～		PM 6時	00分						
			土曜延長なし		延長	PM 時	分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		給与、健康保険、介護保険、厚生年金保険、労働保険		人件費7人分		
		光熱水費									
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員 学生									
その他の特記事項		特になし									

【徳島大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		徳島大学あゆみ保育園						無認可			
設置者		特定非営利活動法人徳島大学あゆみ保育園									
運営者		特定非営利活動法人徳島大学あゆみ保育園									
設立年/認可年		設立	2008年		認可	年			平成20年NPO認証		
施設	敷地	1747 m ²		土地無償貸与							
	建坪	571 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	6	職員室	1	食堂	0	調理室	0	事務室	0
		給食室	1	ホール	2	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		80 人									
保育希望児童数		46 人									
保育児童数(現員)		80 人									
対象年齢範囲		0歳～		5歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	1 保育者		9 保育士パート			8			
		主任	1 栄養師(調理師)		3 その他			0			
保育時間	平日	AM 7時		45分～		PM 6時		30分			
				延長		PM 12時		00分まで			
	土曜 土曜保 育なし	AM 時		分～		PM 時		分			
				延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他	援助あり		内容		運営委託費				
		その他	援助あり		内容		建物増築・補修経費				
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
		一般									
その他の特記事項											

【香川大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人香川大学三木町医学部地区事業場保育所(いちご保育園)						無認可			
設置者		国立大学法人香川大学長 長尾 省吾									
運営者		国立大学法人香川大学医学部附属病院長 千田 彰一									
設立年/認可年		設立	2008年		認可	年					
施設	敷地	783.75 m ²									
	建坪	231.72 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	1	食堂	0	調理室	1	事務室	0
		給食室	0	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	1
児童数(定員)		50 人									
保育希望児童数		19 人									
保育児童数(現員)		26 人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	0 保育者		3 保育士パート			6			
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他			1			
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		30分			
				延長		PM 8時		30分まで			
	土曜	AM 7時		30分～		PM 6時		30分			
		土曜延長なし		延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳						
		光熱水費	援助あり		業者委託により運営しており、委託料として大学が支出。保護者からは保育料として定額を徴収。						
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項		業者委託により運営しており、委託料として大学が支出。保護者からは保育料として定額を徴収。									

②		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人香川大学医学部附属病院病児・病後児保育室						無認可			
設置者		国立大学法人香川大学長 長尾 省吾									
運営者		国立大学法人香川大学医学部附属病院長 千田 彰一									
設立年/認可年		設立	2012年		認可	年					
施設	敷地	783.75 m ²								いちご保育園に併設	
	建坪	69 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	0		事務室
		給食室	0	ホール	2	休憩室	0	会議室	0	その他	0
児童数(定員)		6 人									
保育希望児童数		120 人									
保育児童数(現員)		0 人									
対象年齢範囲		0歳～		10歳	0歳からの場合産休明けから				小学校4年生まで		
職員数(人)		園長	0 保育者		0 保育士パート		0		看護師1名		
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他		1				
保育時間	平日	AM 7時 30分～		PM 6時 00分							
		平日延長なし		延長	PM 時	分まで					
	土曜 土曜保育なし	AM 時 分～		PM 時 分							
		延長		PM 時	分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		業者委託により運営しており、委託料として大学が支出。保護者からは保育料として定額を徴収。		業者委託により運営しており、委託料として大学が支出。保護者からは保育料として定額を徴収。			
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他		内容							
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別		病児保育									
		病後保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【愛媛大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		城北保育所						無認可			
設置者		国立大学法人 愛媛大学									
運営者		株式会社 ニチイ学館									
設立年/認可年		設立	2011年		認可	年					
施設	敷地	300 m ²		土地無償貸与							
	建坪	207 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	2	職員室	0	食堂	0	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	2
児童数(定員)		20 人									
保育希望児童数		10 人									
保育児童数(現員)		19 人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	1 保育者		3 保育士パート		3		園長は保育者兼任		
		主任	0 栄養師(調理師)		1 その他		0				
保育時間	平日	AM 7時 30分～		PM 6時 00分							
				延長	PM 9時 30分まで						
	土曜 土曜保育なし	AM 時 分～		PM 時 分							
		延長		PM 時	分まで						
大学等からの援助		人件費		内訳							
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他	援助あり	内容		委託料, 備品					
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別		夜間保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

②		内 容								備 考	
保育施設名		あいあいキッズ						無認可			
設置者		国立大学法人 愛媛大学									
運営者		株式会社マミーズファミリー									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	1360 m ²									
	建坪	570 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	10	職員室	0	食堂	0	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	3	休憩室	0	会議室	0	その他	1
児童数(定員)		80 人								学童保育を除く	
保育希望児童数		27 人									
保育児童数(現員)		59 人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	1 保育者		6 保育士パート		1				
		主任	4 栄養師(調理師)		3 その他						
保育時間	平日	AM 6時		30分～		PM 6時	30分			6:30～7:30も延長保育 水・金のみ夜間保育あり (18:30～翌朝7:30)	
				延長		PM 8時	30分まで				
	土曜	AM 6時		30分～		PM 6時	30分				
				延長		PM 8時	30分まで				
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他	援助あり		内容	委託料, 備品					
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病児保育									
		病後保育									
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【高知大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		高知大学医学部附属病院院内保育所						無認可			
設置者		国立大学法人高知大学									
運営者		株式会社マミーズファミリー									
設立年/認可年		設立	2006年		認可	年					
施設	敷地	408 m ²									
	建坪	328 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール	1	休憩室		会議室		その他	7
児童数(定員)		45 人									
保育希望児童数		27 人									
保育児童数(現員)		30 人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳							
職員数(人)		園長			4 保育者		2				
		主任			1 栄養師(調理師)		1 その他				
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時	30分			※延長(平日・土曜) AM6時30分～AM7時30分	
				延長		PM 8時	30分まで				
	土曜	AM 7時		30分～		PM 6時	30分				
				延長		PM 8時	30分まで				
大学等からの援助		人件費			内訳						
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他			内容						
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【九州大学】

①		内 容								備 考		
保育施設名		たんぼぼ保育室						無認可				
設置者		国立大学法人九州大学										
運営者		株式会社テクノ・コーポレーション										
設立年/認可年		設立	2009年		認可	年						
施設	敷地	㎡								九州大学創立十周年記念講堂内に保育室を設置		
	建坪	㎡										
	施設等(部屋数)	保育室	1	職員室		食堂		調理室			事務室	
児童数(定員)		10人								保育希望児童数は把握していない		
保育希望児童数		人										
保育児童数(現員)		5人										
対象年齢範囲		0歳～		2歳	0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1	保育者		2	保育士パート				
		主任			栄養師(調理師)			その他				
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 7時		00分まで				
土曜	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 7時		00分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		保育料で不足する分						
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他		内容								
		その他		内容								
		その他		内容								
対応保育種別												
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項		認可保育園に入園できない児童(待機児童)のための保育施設										

②		内 容								備 考		
保育施設名		ひまわり保育園						無認可				
設置者												
運営者												
設立年/認可年		設立	2009年		認可	年						
施設	敷地	835㎡								授乳室、調理室、沐浴室等		
	建坪	430㎡										
	施設等(部屋数)	保育室	5	職員室	1	食堂	1	調理室	1		事務室	
児童数(定員)		60人								保育希望児童数は把握していない		
保育希望児童数		人										
保育児童数(現員)		52人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳	0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長		1	保育者		15	保育士パート		その他は看護師		
		主任			栄養師(調理師)		2	その他	1			
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 10時		00分まで				
土曜	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 10時		00分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		保育料で不足する分						
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他		内容								
		その他		内容								
		その他		内容								
対応保育種別		病後保育										
		夜間保育										
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

③		内 容								備 考		
保育施設名		たけのこ保育園						無認可				
設置者												
運営者												
設立年/認可年		設立		2009年		認可				年		
施設	敷地	404 m ²										授乳室、調乳室、沐浴室等
	建坪	310 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	1	食堂	1	調理室	1	事務室	1	
児童数(定員)		60人										保育希望児童数は把握していない
保育希望児童数												
保育児童数(現員)		34人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳		0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長		1		保育者		8		保育士パート		
		主任		0		栄養師(調理師)		1		その他		
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 10時		00分まで				
土曜	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 10時		00分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育料で不足する分					
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他			内容							
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別												
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

【佐賀大学】

①		内 容								備 考		
保育施設名		佐賀大学病院保育園キッズバレット						無認可				
設置者		国立大学法人佐賀大学										
運営者		(株)テノ・コーポレーション										
設立年/認可年		設立		2013年		認可				年		
施設	敷地	2486.7 m ²										
	建坪	417.9 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	1	
		給食室	0	ホール	0	休憩室	1	会議室	0	その他	4	
児童数(定員)		20人										
保育希望児童数		6人										
保育児童数(現員)		6人										
対象年齢範囲		0歳～		6歳								
職員数(人)		園長		1		保育者		5		保育士パート		
		主任		0		栄養師(調理師)		1		その他		
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 10時		00分まで				
土曜	平日	AM 7時		00分～		PM 6時		00分				
				延長		PM 10時		00分まで				
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		大学が業者に委託、運営のため全額大学負担					
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他	援助あり		内容		大学が負担することが相当と考えられる費用					
		その他			内容							
		その他			内容							
対応保育種別		病児保育										
		病後保育										
		夜間保育										
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

【長崎大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		長崎大学病院あじさい保育園						無認可			
設置者		国立大学法人 長崎大学 学長 片峰 茂									
運営者		株式会社 テノ、コーポレーション									
設立年/認可年		設立	2009年		認可	年					
施設	敷地	297.67 m ²								※院内保育所としては昭和46年4月1日より運営していたが、平成21年12月21日に「あじさい保育園」として新たに開園した。	
	建坪	174.14 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール		休憩室		会議室		その他	5
児童数(定員)		50 人									
保育希望児童数		23 人									
保育児童数(現員)		37 人									
対象年齢範囲		0歳～6歳									
職員数(人)		園長	1 保育者		3 保育士パート			12			
		主任	0 栄養師(調理師)		0 その他			0			
保育時間	平日	AM 7時 00分～		PM 6時 00分		※水曜日のみ、夜間保育実施のため24時間開園					
				延長 PM 8時 00分まで							
土曜	平日	AM 7時 00分～		PM 6時 00分							
				延長 PM 8時 00分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		29,854,440円		4月～7月までの保育料・宿直料が、9,951,480円のため、年間29,854,440円。			
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他		内容							
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別		病後保育									
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
		学生									
その他の特記事項											

【熊本大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		国立大学法人熊本大学こばと保育園						無認可			
設置者		国立大学法人熊本大学長									
運営者		国立大学法人熊本大学									
設立年/認可年		設立	2009年		認可	年					
施設	敷地	1708 m ²								前身の医学部附属病院設置のこばと保育園は昭和45年設立	
	建坪	356 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	4	職員室	1	食堂	0	調理室	1		事務室
		給食室	0	ホール	1	休憩室	1	会議室	0	その他	7
児童数(定員)		42 人									
保育希望児童数		55 人									
保育児童数(現員)		42 人									
対象年齢範囲		0歳～6歳		0歳からの場合産休明けから						小学校就学前まで	
職員数(人)		園長	1 保育者		6 保育士パート			5			
		主任	1 栄養師(調理師)		2 その他			2			
保育時間	平日	AM 7時 10分～		PM 6時 00分							
				延長 PM 8時 00分まで							
土曜	平日	AM 時 分～		PM 時 分							
	土曜保育なし			延長 PM 時 分まで							
大学等からの援助		人件費		内訳				大学直営のため、保育料等の収入で賄えないすべての経費について、大学が支出する。			
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他		内容							
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別											
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

②		内 容								備 考	
保育施設名		熊本大学医学部附属病院院内保育所						無認可			
設置者		熊本大学医学部附属病院									
運営者		株式会社テクノ・コーポレーション									
設立年/認可年		設立	2013年		認可	年					
施設	敷地	m ²								その他は便所、洗濯機置き場、倉庫本院建物の一部を利用しているため敷地は存在しない。	
	建坪	78 m ²									
	施設等(部屋数)	保育室	1	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール	1	休憩室	1	会議室		その他	3
児童数(定員)		15 人								全ての入園申込みが平成25年4月以降のため保育希望児童数は0人	
保育希望児童数		0 人									
保育児童数(現員)		5 人									
対象年齢範囲		歳 ~ 2歳		0歳からの場合産休明けから							
職員数(人)		園長	1 保育者		1 保育士パート		5			園長は病院長が兼務	
		主任	1 栄養師(調理師)		その他						
保育時間	平日	AM 7時	00分 ~		PM 7時	00分				年中無休(利用者がいない場合のみ休園)で、日曜・祝日等も平日・土曜と同じ保育時間である。火曜・金曜は15時~翌日10時までの夜間保育を実施している。	
			延長		PM 10時	00分まで					
	土曜	AM 7時	00分 ~		PM 7時	00分					
			延長		PM 10時	00分まで					
大学等からの援助		人件費		内訳						外部委託により運営しているが、光熱水費・設備・消耗品については、一部を除いて大学が負担している。	
		光熱水費									
		設備									
		消耗品									
		その他		内容							
		その他		内容							
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

【大分大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		大分大学なかよし保育園						無認可			
設置者		大分大学									
運営者		大分大学医学部附属病院									
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年					
施設	敷地	835 m ²									
	建坪	280 m ²									
	施設等(部屋数)	保育室	3	職員室		食堂		調理室	1		事務室
		給食室		ホール		休憩室		会議室		その他	2
児童数(定員)		37 人									
保育希望児童数		72 人									
保育児童数(現員)		56 人									
対象年齢範囲		0歳 ~ 6歳									
職員数(人)		園長			5 保育士パート		12				
		主任	栄養師(調理師)		その他						
保育時間	平日	AM 7時	00分 ~		PM 7時	00分					
			延長		PM 8時	00分まで					
	土曜	AM 7時	00分 ~		PM 7時	00分					
			延長		PM 8時	00分まで					
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		外部委託					
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他	援助あり	内容		運営費					
		その他		内容							
対応保育種別											
		夜間保育									
利用対象者		教職員									
その他の特記事項											

②		内 容								備 考		
保育施設名		大分大学病児保育室ひだまり						無認可				
設置者		大分大学										
運営者		大分大学医学部附属病院										
設立年/認可年		設立	2013年		認可	年						
施設	敷地	68 m ²										
	建坪	68 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	1	食堂		調理室		事務室		その他
児童数(定員)		4 人										
保育希望児童数		人										
保育児童数(現員)		人										
対象年齢範囲		0歳～9歳										
職員数(人)		園長		保育者		保育士パート	2					
		主任		栄養師(調理師)		その他	2					
保育時間	平日	AM 7時 30分～		PM 5時 30分								
		平日延長なし		延長	PM 時	分まで						
	土曜 土曜保 育なし	AM 時 分～		PM 時 分								
				延長	PM 時	分まで						
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		外部委託						
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他	援助あり	内容		運営費						
		その他		内容								
		その他		内容								
対応保育種別		病児保育										
		病後保育										
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

【宮崎大学】

①		内 容								備 考		
保育施設名		宮崎大学保育園 くすの木保育園						無認可				
設置者		宮崎大学										
運営者		株式会社テクノ・コーポレーション								委託		
設立年/認可年		設立	2007年		認可	年						
施設	敷地	973 m ²								その他:安静室、便所		
	建坪	225 m ²										
	施設等 (部屋数)	保育室	2	職員室	1	食堂	0	調理室	1		事務室	0
児童数(定員)		32 人										
保育希望児童数		32 人										
保育児童数(現員)		22 人										
対象年齢範囲		0歳～6歳 0歳からの場合産休明けから										
職員数(人)		園長		1 保育者		0 保育士パート	3			その他:看護師		
		主任		0 栄養師(調理師)		0 その他	1					
保育時間	平日	AM 7時 00分～		PM 6時 00分						火・木曜日は、24時間保育		
				延長	PM 7時 00分まで							
	土曜	AM 7時 00分～		PM 6時 00分								
				延長	PM 7時 00分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		12,890,522円						
		光熱水費	援助あり									
		設備	援助あり									
		消耗品	援助あり									
		その他		内容								
		その他		内容								
		その他		内容								
対応保育種別		病児保育										
		病後保育										
		夜間保育										
利用対象者		教職員										
		学生										
その他の特記事項												

【鹿児島大学】

①		内 容								備 考	
保育施設名		鹿児島大学授乳所(あおぞら保育園)						無認可			
設置者		鹿児島大学教職員組合									
運営者		鹿児島大学教職員組合									
設立年/認可年		設立	1971年		認可	年					
施設	敷地	167 m ²		土地無償貸与							
	建坪	58 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	1	職員室	0	食堂	0	調理室	1	事務室	0
		給食室	0	ホール	0	休憩室	0	会議室	0	その他	2
児童数(定員)		10人									
保育希望児童数		3人									
保育児童数(現員)		3人									
対象年齢範囲		0歳～		3歳	0歳からの場合産休明けから						
職員数(人)		園長	0		保育者	0		保育士パート	4		
		主任	0		栄養師(調理師)	0		その他	0		
保育時間	平日	AM 8時		30分～		PM 5時		30分		平日延長無し、土曜保育なし	
				延長		PM 時		分まで			
	土曜	AM 時		分～		PM 時		分			
				延長		PM 時		分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		2名分(単価時給800円)			労災、雇用保険含む	
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品									
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別											
利用対象者		教職員 学生									
その他の特記事項											

②		内 容								備 考	
保育施設名		鹿児島大学さくらっ子保育園						無認可			
設置者		国立大学法人鹿児島大学									
運営者		国立大学法人鹿児島大学さくらっ子保育園運営委員会									
設立年/認可年		設立	2008年		認可	年					
施設	敷地	731 m ²									
	建坪	223 m ²									
	施設等 (部屋数)	保育室	3	職員室	0	食堂	0	調理室	0	事務室	1
		給食室	0	ホール	1	休憩室	0	会議室	0	その他	3
児童数(定員)		31人									
保育希望児童数		34人									
保育児童数(現員)		23人									
対象年齢範囲		0歳～		6歳							
職員数(人)		園長	1		保育者	6		保育士パート	6		
		主任	0		栄養師(調理師)	0		その他	0		
保育時間	平日	AM 7時		00分～		PM 7時		00分		水曜日・木曜日24時間保育有り	
				延長		PM 9時		00分まで			
	土曜	AM 7時		00分～		PM 7時		00分			
				延長		PM 9時		00分まで			
大学等からの援助		人件費	援助あり		内訳		保育士2名相当分				
		光熱水費	援助あり								
		設備	援助あり								
		消耗品	援助あり								
		その他			内容						
		その他			内容						
対応保育種別		病後保育 夜間保育									
利用対象者		教職員 学生									
その他の特記事項											

【琉球大学】

①		内 容										備 考			
保育施設名		いずみ保育所										無認可			
設置者		琉球大学医学部附属病院													
運営者		琉球大学医学部附属病院いずみ保育所父母会													
設立年/認可年		設立		1982年		認可		年							
施設	敷地	m ²		土地無償貸与								敷地については、詳細な面積は不明。附属病院敷地内の一部ということになっている。			
	建坪	164 m ²													
	施設等(部屋数)	保育室	5	職員室		食堂		調理室	1	事務室	1				
児童数(定員)		40人										保育希望児童数については、正確に把握していない。			
保育希望児童数		人													
保育児童数(現員)		32人													
対象年齢範囲		0歳～		2歳											
職員数(人)		園長		主任		保育者		栄養師(調理師)		保育士パート		7			
								2		その他		1			
保育時間	平日	AM 7時		30分～		PM 6時		30分		延長		PM 7時		00分まで	
		AM 7時		30分～		PM 12時		30分							
	土曜	土曜延長なし		延長		PM 時		分まで							
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		職員8名中3名負担									
		光熱水費	援助あり												
		設備	援助あり												
		消耗品	援助あり												
		その他		内容											
		その他		内容											
		その他		内容											
対応保育種別															
利用対象者		教職員													
		学生													
その他の特記事項															

②		内 容										備 考			
保育施設名		病児保育室「ゆくるーむ」										無認可			
設置者		琉球大学医学部附属病院													
運営者		琉球大学医学部附属病院													
設立年/認可年		設立		2013年		認可		年							
施設	敷地	m ²										その他内訳 給湯室1 洗濯室1			
	建坪	54 m ²													
	施設等(部屋数)	保育室	2	職員室		食堂		調理室		事務室	1				
児童数(定員)		4人										保育及び希望児童数については未定数			
保育希望児童数		人													
保育児童数(現員)		人													
対象年齢範囲		0歳～		5歳		0歳からの場合産休明けから									
職員数(人)		園長		主任		保育者		栄養師(調理師)		保育士パート		3			
										その他					
保育時間	平日	AM 8時		30分～		PM 5時		15分		延長		PM 時		分まで	
		平日延長なし		延長		PM 時		分							
	土曜	AM 時		分～		PM 時		分		延長		PM 時		分まで	
大学等からの援助		人件費	援助あり	内訳		職員3名中3名負担									
		光熱水費	援助あり												
		設備	援助あり												
		消耗品	援助あり												
		その他		内容											
		その他		内容											
		その他		内容											
対応保育種別		病児保育													
		病後保育													
利用対象者		教職員													
その他の特記事項															

4. 男女共同参画推進の取組状況について

1. 男女共同参画の推進体制の整備	回答数			単位：%		
	実施中	検討中	未検討	実施中	検討中	未検討
(1) 男女共同参画推進の基本方針、宣言等の作成、提示	84	2	0	97.7	2.3	0.0
(2) 室、委員会、ワーキング・グループ等の検討推進体制の設置・充実	83	3	0	96.5	3.5	0.0

2. 女性教員・研究者の拡大	回答数			単位：%		
	実施中	検討中	未検討	実施中	検討中	未検討
(1) 採用時におけるポジティブアクションの実施	64	11	11	74.4	12.8	12.8
(2) 昇任・給与・研修等の男女機会均等の推進	47	8	31	54.7	9.3	36.0
(3) 意思決定過程への女性の参画の拡大	56	13	17	65.1	15.1	19.8
(4) 次世代研究者へのロールモデルの提供	66	6	14	76.7	7.0	16.3
(5) 非常勤講師の待遇の改善の促進等	14	11	61	16.3	12.8	70.9

3. 就業環境の整備・充実	回答数			単位：%		
	設置済	検討中	未検討	実施中	検討中	未検討
(1) 就労支援制度の整備・充実	84	2	0	97.7	2.3	0.0
(2) 研究継続支援制度の整備・充実	69	8	9	80.2	9.3	10.5
(3) 施設設備の設置・充実	66	8	12	76.7	9.3	14.0
(4) メンタル的なサポート体制の整備・充実	59	14	13	68.6	16.3	15.1

4. 意識啓発の推進	回答数			単位：%		
	実施中	検討中	未検討	実施中	検討中	未検討
(1) 性別役割分担意識の解消や職場慣行の見直しと改善	58	10	18	67.4	11.6	20.9
(2) 男女共同参画を推進する諸制度の学内外への積極的広報	76	1	9	88.4	1.2	10.5
(3) 教育研究の推進と啓発セミナー・シンポジウム等の開催	64	6	16	74.4	7.0	18.6
(4) 両立支援制度の活用可能な雰囲気醸成	72	4	10	83.7	4.7	11.6

B. 各大学の新たな取組及び第2期中期目標・中期計画における対応
 (※原則として大学からの報告をそのまま掲載している)

大学名	北海道大学				
学長名	山口 佳三				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	11.7 %	総教員数	2359名中	女性教員数	277名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
男女共同参画社会基本法並びに雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律の趣旨に則り、男女共同参画を推進する。					
①「ポイント制教員人件費管理システム」を活用した女性教員の新規採用に対する人件費ポイント付与制度を強化する。 ②教職員等に対する子育て支援を強化する。 ③女性研究者の育成を推進する。特に、理工系分野での次世代女性研究者の育成を強化する。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
○昨年度からの新たな取り組み ・平成18年度から導入している「女性教員の積極的採用のためのポジティブアクション北大方式」をさらに強化するため、平成23年度から女性教員等雇用促進経費を創設し、女性教員を採用した部局に対して人件費ポイントの付与を倍増したほか、付与ポイントの配分方法に柔軟性を持たせ、付与ポイント分で博士研究員及び学術研究員も雇用できるようにした。また、平成23年度より、女性に特化した「テニュアトラック普及・定着事業」として、女性教員の新規採用を行っている。 ・昨年度についても、上記の方策を活用しており、女性教員の割合を増やすための新規採用活動への取り組みを引き続き行っている。 ○現状に対する課題 ・管理職層における女性比率が低い現状を踏まえつつ、女性教員等の増加を図る方策の他、女性の教授、部局長、事務の管理職について増加を図れるよう体制を整備していくことが必要であるほか、子育て支援の強化や現行の支援制度の改善についても引き続き検討が必要である。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.hokudai.ac.jp/jimuk/soumubu/jinjika/kyoudosankaku/					

大学名	北海道教育大学				
学長名	本間 謙二				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.9 %	総教員数	397名中	女性教員数	71名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
中期目標「男女共同参画を積極的に推進するとともに、教員構成の多様化の推進に向けて環境や条件を整備する」及び中期計画「国立大学協会が掲げる女性教員の割合20%を目指し、女性教員を着実に増加させることにより、男女共同参画を推進する」を受け、平成24年度に女性教員採用促進のためのポジティブ・アクションを策定した。今年度は、策定したポジティブ・アクションに基づき、育児等の両立支援策を実施し、その他の方策についても具体的に検討する予定である。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
○ポジティブ・アクションの策定及びそれに基づく育児等の両立支援策の実施 ○「平成23年度男女共同参画推進会議作業部会活動報告書」の作成					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.hokkyodai.ac.jp/cooperate/					

大学名	室蘭工業大学
-----	--------

学長名	佐藤 一彦
-----	-------

平成25年5月1日現在の女性教員比率	4.1 %	総教員数	193名中	女性教員数	8名
--------------------	-------	------	-------	-------	----

第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応
<p>中期目標:3 その他の目標</p> <p>(4)男女共同参画に関する目標</p> <p>① 男女共同参画を積極的に推進する。</p> <p>中期計画: I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(4)男女共同参画に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 男女共同参画推進室(仮称)を設置し、基本計画を立案して実施する。</p>

<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学の昨年度の具体的な取組みとしては、年間事業計画に基づいて、男女共同参画トップセミナー及び女子学生向けセミナーをそれぞれ開催し、本学教職員及び学生の男女共同参画推進に対する啓発活動を積極的に行った。また、新たな取組みとして、ダイバーシティ支援部門の設置準備及び女性研究者支援事業への申請に関する検討を行った。</p> <p>現状に対する主な課題として、以下が挙げられる。</p> <p>1)学内における男女共同参画に対する活動が見えにくい。また、女性教員採用に対する積極的な意識が低い。</p> <p>2)近い将来、出産・育児・介護支援を必要とする研究者が存在するため、環境整備が急務である。</p> <p>3)教員公募において、女性研究者の応募数が少ないが、これは、広報活動が十分ではないことに起因している可能性があるため、広報活動の更なる充実が必要である。等</p>
--

男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL
http://www.muroran-it.ac.jp/guidance/about/genderequality.html

大学名	小樽商科大学
-----	--------

学長名	山本 真樹夫
-----	--------

平成25年5月1日現在の女性教員比率	11.7 %	総教員数	128名中	女性教員数	15名
--------------------	--------	------	-------	-------	-----

第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応
<p>本学では第2期中期目標・中期計画において、下記のとおり対応する旨を記載している。</p> <p>【中期目標】</p> <p>(II業務運営の改善及び効率化に関する目標)</p> <p>(1組織運営の改善に関する目標)</p> <p>②男女共同参画を推進する。</p> <p>【中期計画】</p> <p>②-ア 男女共同参画に関する法令を遵守し、ワークライフバランスとジェンダーバランスの改善に取り組む。</p>

<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>【昨年度からの新たな取り組み】</p> <p>①次世代女性職業人の育成を図るため、女子学生のための就職ガイダンスの開催</p> <p>②教職員向けに育児等に係る休暇の取得促進を目的としたパンフレットの作成を行い、男女ともに働きやすい環境の整備</p> <p>【現状に対する課題】</p> <p>女性教員比率が昨年度から約3%ポイント向上したものの、国立大学協会の目標値(2015年まで17%)の達成には至っておらず、引き続き女性教員比率の向上の取り組みが必要である。</p>

男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL

大学名	帯広畜産大学				
学長名	長澤 秀行				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	9.2 %	総教員数	130名中	女性教員数	12名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>教職員の構成の多様化と能力向上策を推進するため(中期目標), 教員の採用計画に添って, 計画的に女性教員を採用する(中期計画)こととしている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し, 平成24年度より段階的(3年度間)に女性教員・研究者等の就業環境の整備を行っている。</p> <p>また, 本学の特性を活かし, 教員については, 役員が随時男女共同参画推進に関し意見交換を実施し, 事務系, 技術系及び非常勤職員については, 担当課(総務課)が個別具体的に男女共同参画推進に関する要望等をくみ取っている。</p> <p>教員の採用については, 公募する研究分野に女性研究者が極めて少ないなど, 女性教員の採用増について苦慮しているが, 平成24年度に複数名の女性教員を採用したことにより, 女性教員の採用を昨年同時期の調査時点に比し, 女性教員比率が上昇した。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p>					

大学名	旭川医科大学				
学長名	吉田晃敏				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.1 %	総教員数	348名中	女性教員数	56名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>女性教員の割合を増加させる施策として、「復職・子育て・介護支援センター」(略称、二輪草センター)の機能を充実させ、当センターの活動により、医療従事者の就労と家庭生活の両立をサポートする。</p> <p>当センターの事業内容としては、</p> <p>①医師及び看護師等の職場定着及び復帰支援②子育て・介護支援セミナー及び二輪草セミナーの開催</p> <p>③職員に対する病児一時預かりの実施④学童保育サポートの一環としてキッズスクールの実施</p> <p>⑤登録された休業または休業予定の医師・看護師に対する、自学支援を行う復職支援の実施</p> <p>⑥病後児保育室の運営⑦看護職員の子供の急病時にバックアップナースが代理勤務する制度の実施</p> <p>⑧就労と家庭生活の両立に関する悩み相談カウンセリングの実施⑨学生に対するワークライフバランスの授業⑩ワークライフバランスやキャリア支援に関する交流会の開催⑪潜在看護師のための復職支援研修の実施⑫短時間で勤務可能な医員制度の実施⑬妊娠中の医師へのマタニティ白衣のレンタル制度の実施</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>・短時間で勤務可能な医員制度は、従来、小学校就学までのお子さんの養育している医師を対象としていたが、小学校3年生まで拡大した。</p> <p>・妊娠中の医師・医学生に「マタニティ白衣」の貸出を行った。従来はそれぞれ購入していたが、使用期間が限られていることから「レンタルできるシステムがあったらいい」というご要望があり開始したところ、好評を得ている。</p> <p>・常勤職員(教員及び看護職を除く)を対象とした産前・産後の特別休暇を取る職員の代替措置として、期間雇用職員の雇用する制度を導入した。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/index.html</p>					

大学名	北見工業大学				
学長名	鮎田 耕一				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	4.5 %	総教員数	154名中	女性教員数	7名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>中期計画において、新規に採用する教員の10%程度を女性教員又は外国人教員とすることを努力目標として掲げ、この方針に沿って女性教員及び外国人教員の採用に努めることとした。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学の教員公募に対する女性の応募は、以前から極めて少ない現状となっており、女性教員の比率が低い状況が続いている。そこで、上記のとおり、第2期中期目標・中期計画に具体的な努力目標を盛り込むとともに、男女共同参画社会基本法に則った選考を行う旨の明示や、女性限定での教員公募を行うなど、女性教員の積極的な採用に努めるとともに、女性教職員の就労環境整備にかかる取り組みについて、他大学等の実施例を踏まえ、検討を行っている。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.kitami-it.ac.jp/general_affairs/outline/about_kit/post_3.html					

大学名	弘前大学				
学長名	佐藤 敬				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.68 %	総教員数	722名中	女性教員数	106名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>2期中期目標・中期計画では、「男女共同参画を推進するための取組を充実する」という目標を掲げ、次のような計画を策定している。</p> <p>①男女共同参画の現状把握と今後の展開のため、教育・研究及び職場環境の現状調査と分析の実施。 ②男女共同参画への意識啓発及び男女共同参画の推進を図るための諸事業の展開。 実施に当たっては、平成21年8月に策定した弘前大学「男女共同参画推進のための行動計画」に基づき、全学的な体制を整えて進めている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>・研究支援員制度を新たに設け、研究者(とりわけ女性研究者)に対するワーク・ライフ・バランス支援を行った。 ・ワーク・ライフ・バランスを推進するため、各部署(18部署)における男女共同参画推進の取組状況の調査を実施した。「公的会議の勤務時間内における開催」に取り組んでいる部署は11部署で、平成23年度より4部署増えたが、カリキュラムの関係上「勤務時間内開催」は困難な部署もあることが明らかとなったことから、部署ごとに達成目標を設定することを検討している。 各種取り組みの結果、女性研究者比率は着実に向上しているが、男女共同参画の推進には、継続的・発展的に実施していくための財源の確保や推進の中心となる人材の育成等が課題である。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/					

大学名	岩手大学				
学長名	藤井 克己				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	11.2 %	総教員数	403名中	女性教員数	45名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
当該事項については、本学の第2期中期目標・中期計画において、下記のとおり掲げている。					
<p>中期計画 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>②若手研究者への研究費支援や女性研究者への研究遂行支援等を通じて、研究活動を整備する。</p> <p>中期計画 II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>③ワーク・ライフ・バランスに配慮し、男女、様々な年代層が働きやすい環境を整備する。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>昨年度からの新たな取り組みのうち、主なものは下記のとおり。</p> <p>現状に対する課題は、理系分野の教員公募において女性の応募者を増やすことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「配偶者転勤等同伴休業に関する規則」制定 ・女性研究者支援の取り組み波及のための北東北・岩手県内高等教育機関、研究機関、企業等との連携構築・強化 ・「岩手大学優秀女性大学院生学長表彰」実施 ・男女共同参画行動計画(2013年度～2017年度)実施 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.iwate-u.ac.jp/gender/					

大学名	東北大学				
学長名	里見 進				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	10.9 %	総教員数	2939名中	女性教員数	321名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>男女共同参画の推進のための措置として、第2期中期目標・中期計画にて「男女共同参画の推進に向けて、目標の設定、育児と仕事の両立支援策の導入など、総合的・計画的な取組を推進する。」と設定している。</p> <p>男女共同参画委員会及び女性研究者育成支援推進室(担当理事が委員長/室長を兼ね、学内各部署より委員/室員を選出)が中心となり、各部署における男女共同参画の取組状況や分野の特性を踏まえつつ、全学的な女性教員比率向上及び育児と仕事の両立支援策などについて検討している。</p> <p>また、学内における部局評価において、数値指標に女性教員比率(在籍比率・採用比率)を盛り込み、各部署における女性教員比率の向上を図るとともに、併せて、男女共同参画の推進状況をヒアリング項目に盛り込むことで、男女共同参画の意識の醸成を図っている。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>本学では、平成25年度に女子学生入学100周年を迎え、また男女共同参画委員会が設置され10年が経つことから、平成24年度より男女共同参画委員会内にプロジェクトチームを設置し、女子学生入学100周年記念事業を展開している。事業の一環として、記念シンポジウムの開催、記念ロゴマークを制定など、女性研究者支援及び男女共同参画の推進について全学における男女共同参画意識の醸成を図り、併せて「男女共同参画推進のための行動指針」を策定し、仕事と育児の両立支援、女性リーダー育成や次世代支援など7項目に渡って今後10年間ほどの目標を設定する。</p> <p>一方で、女性研究者の養成・採用加速を目的とした文部科学省科学技術人材育成費補助金「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」及び学内経費による「杜の都女性研究者ハードリング支援事業」が、平成25年度末で5年の事業期間を終えることから、より一層の男女共同参画の推進につながるよう、これまでの取り組みの検証及び課題の抽出を通じて、平成26年度以降の展開を十分に検討していくことが当面の課題である。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/					

大学名	宮城教育大学				
学長名	見上 一幸				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15.3 %	総教員数	118名中	女性教員数	18名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
男女共同参画を推進するための体制を整備し、女性教職員の能力の活用や活躍できる職場環境の整備など、具体的な取り組み方針や計画等を策定する。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
平成16年度に第一次男女共同参画プロジェクトを設置し、平成20年度に第二次男女共同参画プロジェクトを設置してきたところであるが、平成25年3月に第三次男女共同参画プロジェクトの設置が決定した。教育・研究機関として、男女共同参画の実現のため社会をリードしていくことが責務として課せられている本学として、具体的な諸施策の検討並びに速やかな行動を行うことが喫緊の課題となっており、その実現が本プロジェクトの使命となっている。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/disclosure/ct3.html					

大学名	秋田大学				
学長名	吉村 昇				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.6 %	総教員数	569名中	女性教員数	100名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>① 「男性職員の育児休業取得への関心と理解を促すポスター」及び「ワークライフバランスの実現等を促すポスター」を作成し教職員の意識改革を促した。</p> <p>② 秋田大学優秀女性研究者表彰要項に基づき、2名の女性研究者を表彰した。</p> <p>③ 秋田大学研究支援員取扱要項に基づき、3名の女性教員に6名の研究支援員の配置を決定した。</p> <p>④ 「女性研究者が働きやすい職場環境」及び「出産・育児や介護と仕事・研究の両立」の実現のために教職員との意見交換の場として「第2回coloconi talking」を開催した。</p> <p>⑤ 教職員からさまざまな意見・要望を聞き、個々人自ら望むワークライフバランスを実現できる職場づくりを考える機会として「秋田大学男女共同参画推進フォーラム」を実施した。</p> <p>⑥ 女性の採用拡大、職域拡大に向けたポジティブ・アクションの取り組みが認められ「均等・両立推進企業表彰、均等推進企業部門、秋田労働局長優良賞」を受賞した。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>① 女性教員比率向上を目標に、従来の取り組みを継続・強化するとともに、新たな方策についても調査・検討を行う。</p> <p>② 研究支援員制度などの男女共同参画推進のための従来の取り組みを一層充実させるとともに、新たな推進策を調査・検討・実施する。</p> <p>③ フォーラムの充実等を通じ、男女共同参画推進に関する職員の一層の意識向上を図る。</p> <p>④ 秋田大学保育施設(千秋保育園)の更なる充実策を検討する。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.akita-u.ac.jp/coloconi					

大学名	山形大学				
学長名	結城章夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	12.6 %	総教員数	868名中	女性教員数	109名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標・中期計画(期間:平成22年4月1日～平成28年3月31日) 「組織運営の改善に関する目標」の中に、「『男女共同参画基本計画(第2次)』(平成17年12月閣議決定)を踏まえ、男女共同参画を推進する。」を設定し、目標を達成するための措置として「男女共同参画を推進するため、ワーク・ライフ・バランスに配慮した就業環境を整備する。」としている。具体的には、「山形大学男女共同参画基本計画」(10ヶ年計画)を平成22年6月に策定し、全学体制を整えて推進している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>○昨年度からの新たな取組 ・これまでの女性研究者支援に加えて、ワーク・ライフ・バランスの支援を男女教職員に広げ、巡回相談の申込やランチミーティングの参加を広く呼びかけている。これにより巡回相談やランチミーティングの参加者が性別・職種を超えて広がっている。 ・医学部保育所に加え、3学部のある小白川キャンパスにも保育所の設置が決定し、今年度、改装工事を行い、平成26年4月から入園児を受け入れる。 ○現状に対する課題 ・教員公募への女性応募者比率は年々向上し平成24年度は13.5%と過去最多になったが、男性と比べると少ないため、採用比率は17.9%に留まっている。山形大学の研究環境の魅力をもっとアピールするなど、女性の応募を促す努力を続ける。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/</p>					

大学名	福島大学										
学長名	入野 修										
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.5 %	総教員数	236名中	女性教員数	39名						
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応											
<p>本学では、第2期中期目標・中期計画において、標記目標・計画を以下のように設定し、男女共同参画推進に向け、毎年度の年度計画において取り組みを行っている。</p> <p>○福島大学第2期中期目標・中期計画(該当箇所抜粋)</p> <table border="0"> <tr> <td>中期目標</td> <td>中期計画</td> </tr> <tr> <td>【Ⅰ-②】 研究活動を推進するための体制・環境を整える。</td> <td>【27】 若手研究者や女性研究者に対する研究支援を強化する。</td> </tr> <tr> <td>【Ⅱ-③】 教育研究の活性化及び職員の能力開発のため、柔軟で多様な人事制度を構築するとともに職場環境の改善を図る。</td> <td>【43】 教育研究の活性化及び職員の能力開発のため、人材確保や養成等に関する適切な人事制度を構築するとともに、女性が働きやすい職場環境を整備する。</td> </tr> </table>						中期目標	中期計画	【Ⅰ-②】 研究活動を推進するための体制・環境を整える。	【27】 若手研究者や女性研究者に対する研究支援を強化する。	【Ⅱ-③】 教育研究の活性化及び職員の能力開発のため、柔軟で多様な人事制度を構築するとともに職場環境の改善を図る。	【43】 教育研究の活性化及び職員の能力開発のため、人材確保や養成等に関する適切な人事制度を構築するとともに、女性が働きやすい職場環境を整備する。
中期目標	中期計画										
【Ⅰ-②】 研究活動を推進するための体制・環境を整える。	【27】 若手研究者や女性研究者に対する研究支援を強化する。										
【Ⅱ-③】 教育研究の活性化及び職員の能力開発のため、柔軟で多様な人事制度を構築するとともに職場環境の改善を図る。	【43】 教育研究の活性化及び職員の能力開発のため、人材確保や養成等に関する適切な人事制度を構築するとともに、女性が働きやすい職場環境を整備する。										
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>昨年度からの新たな取り組みとしては、大学入試センター試験当日に臨時託児の制度を設けたが、希望者がおらず実施はしていない。また、全教員に対して男女共同参画に関するアンケートを実施し、研究支援施策および、教育・学務施策として、どのようなニーズがあるのか調査を行った。 現状に対する課題としては、実施したアンケート調査の結果を基に、ニーズの高い施策や支援について制度化することが想定される。また、今後も研修等を通じて、継続的に意識啓発を行うことも課題となっている。</p>											
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/guide/info/danjosankaku.html</p>											

大学名	東京大学				
学長名	濱田 純一				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	11 %	総教員数	3749名中	女性教員数	414名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
性別、年齢、国籍、障害の有無等にとらわれない、教職員の多様性を促進し、能力・適性に応じた雇用・人事を行う。男女共同参画の推進の観点から、女性教職員の割合を高めていくため、総長裁量枠を活用し、特に女性教員の採用割合が低い分野である理学系、工学系、農学系の女性教員の養成を推進している。また、学生の女性比率を上げるため、女子学生を対象とした情報発信を積極的に進めている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
【課題】 理学系、工学系、農学系分野に限らず、女性研究者比率が低い研究分野における理解が必要である。					
【取組(継続)】 平成22年度に採択された科学技術人材育成費補助金事業「女性研究者養成システム改革加速」により理学系、工学系、農学系分野における女性教員の採用を推進している。また、学生の女性比率向上を目的として、本学女子学生による母校訪問を実施し進路選択への情報提供を行っている。学生の女性比率向上には、親元を離れての大学進学に際しての不安を解消することが、学生のみならず保護者にとっても重要なこととなる。平成23年度からは、理系の10研究組織を中心に女子中高生を対象としたシンポジウムの開催、研究施設の見学、研究者との交流を継続して行っている。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/					

大学名	東京医科歯科大学				
学長名	大山喬史				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	20.9 %	総教員数	741名中	女性教員数	155名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
本学の第二期中期目標・計画(平成22年3月認可)において、女性研究者の継続的研究を支援するためのシステムを構築することを掲げている。 その点に関連し、女性研究者支援を拡大させるための取り組みとして、文部科学省科学技術振興調整費により採択された女性研究者支援モデル育成事業「女性研究者への革新的支援」(平成20年度～平成22年度)に基づき、「女性研究者支援対策会議」および「女性研究者支援室」を設置し、女性研究者に対する様々な支援を行ってきた(平成23年度～平成24年度)。 また、平成25年度からは、「女性研究者支援室」は、「学生支援・保健管理機構 学生・女性支援センター 女性支援部」として常置され、活動を行っている。 組織が常置化されたことにより、今後も、女性研究者支援を継続的かつ発展的に行っていく基盤が整ったと言える。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・「女性研究者支援室」が改組され、「学生支援・保健管理機構 学生・女性支援センター 女性支援部」として常置化され、事務的なサポートを行う「キャリア・女性支援掛」が新設されたことにより、恒常的な女性支援を行う基盤が整った。また、学内の各部署の教員で構成する「女性支援専門委員会」が設置され、女性研究者支援策の検討および改善策の提案を行っている。 ・ワーク・ライフ・バランスやキャリアデザイン、コミュニケーションやダイバーシティに関するセミナーやシンポジウムを活発に実施し、男女共同参画に関する意識啓発活動を学内外へ向け広く行っている。 ・派遣型病児保育事業および在宅研究支援事業においては、ニーズ調査を行い、事業内容の改善と利用対象の拡大を行った。 ・搾乳や授乳が可能な「女性休養室」の設置を今後の課題としており、学内で審議を重ねている最中である。 ・こども未来財団の実施するベビーシッター育児支援事業を導入する予定である。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://www.tmd.ac.jp/ang/					

大学名	東京外国語大学				
学長名	立石 博高				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	33.7 %	総教員数	243名中	女性教員数	82名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>本学の中期目標・中期計画では、次のように記載している。</p> <p>【中期目標】 (教職員人事の適正化) 優れた研究に裏打ちされた豊かな学識と教育能力を有するとともに、学生と豊かな人間関係・信頼関係を構築することのできる教員を採用する。創造的な大学経営に参加できる人材を養成する。</p> <p>【中期計画】 (女性教員、外国人教員への支援に関する具体的方策) 多数在籍する女性教員、外国人教員が、働きやすい環境づくりのための取組を推進する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>学長特別補佐を部会長とする男女共同参画推進部会のもと、平成23年度は、仕事と生活の両立という観点から、本学教職員の実態アンケート調査を行った。</p> <p>このアンケートにおいて、仕事と生活の両立を図る上で困っていることとして「会議や打合わせ時間が長時間または不規則」という事項が最も多く挙げられたことをうけ、アンケートのフォローアップとして、平成24年度末に会議を効率化するための提案を行った。平成25年度は、この提案を受けた当該案件の改善状況を確認する。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					

大学名	東京学芸大学				
学長名	村松泰子				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	22.5 %	総教員数	329名中	女性教員数	74名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>2006年に男女共同参画推進本部が設置され、以後、着実に男女共同参画の推進が図られているので、2012年の新たに取組む内容を記した中期目標・中期計画には盛り込まない。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>新たな取り組み：教員・学生のためのメンター制度利用者枠の拡大；学内の制度・サービスを紹介するリーフレット改訂版発行・配布；学生の理数科目に関する意識調査の実施及び報告書の刊行・送付；病後児保育利用補助制度の対象サービスの拡大；子育て交流会開催；附属学校初任者研修における男女共同ワークショップ実施；ジェンダー勉強会の開催；学外シンポジウムへの参加、ポスター展示；大学・大学院説明会におけるポスター展示、理系女学生との交流ブース設置、ミニ講演会実施；学芸フロンティア科目の開講；女子学生学術論文投稿支援制度の実施；女性研究者の公募におけるポジティブ・アクション実施；女性研究者の競争的資金獲得支援の方策検討；内閣府男女共同参画局「チャレンジ・キャンペーン」への参加</p> <p>課題：ライフイベントと両立可能なワークスタイルを確立するための制度等の整備；上位職女性研究者を増加させるための昇任人事などの方策の検討；ジェンダー学の副専攻化に向けた制度の整備</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/					

大学名	東京農工大学				
学長名	松永 是				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	12 %	総教員数	407名中	女性教員数	49名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<ul style="list-style-type: none"> ・若手研究者育成のためのテニュアトラック制度、女性研究者の育成・支援システム等をより一層充実させる。 ・各部局においては、中期目標期間における人件費管理計画に基づき、採用計画を策定する。その際、採用計画において女性教育職員の採用目標値を設定する。 					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学では全学採用計画及び科学技術人材育成補助事業「女性研究者養成システム改革加速事業」に基づいて、女性教員を採用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術人材育成費補助事業「女性研究者養成システム改革加速事業」による平成24年度採用者：1名 ・平成23年度全学採用計画による平成24年度採用者：2名 ・平成24年度全学採用計画による平成24年度採用者：2名 <p>平成24年度の女性教員採用結果については上記のとおり計5名となる。また、科学技術人材育成補助事業「女性研究者養成システム改革加速事業」に基づき、新たに3名の女性教員を採用することを決定した。</p> <p>これにより、補助事業の当初目標である採用数の22名（採用割合21%）を上回る27名（採用率24.8%）となった。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.tuat.ac.jp/~dan-jo/index.html					

大学名	東京芸術大学				
学長名	宮田 亮平				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.5 %	総教員数	229名中	女性教員数	40名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<ul style="list-style-type: none"> ・任期制、公募制により教員を採用する方式を着実に実施するとともに、女性教員、外国人教員等の能力の活用に努める。 ・学科専攻の特性に合わせて、積極的に女性教員、外国人教員を採用している。 					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>次世代育成支援行動計画を策定、平成22年度から実施している。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					

大学名	東京工業大学				
学長名	三島 良直				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	6.3 %	総教員数	1095名中	女性教員数	69名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>男女共同参画推進について、第2期中期計画に「男女共同参画やワーク・ライフ・バランス等に対する取組(女性研究者への支援、子育て支援等)を実施することにより意識の醸成・涵養を図るとともに、環境整備を行う。」と明記し、平成24年度は、「1)育児支援事業を継続的に実施するとともに、教職員に対し、育児支援制度の積極的活用を促す方策を実施する。2)理工系女性研究者プロモーションプログラム事業の効果的な継続検討と併せて、学内関係組織との協力体制を検討する。3)子育てを行う教職員の実情に応じた柔軟な勤務形態や育児補助のための支援を検討する。」という年度計画を達成した。平成25年度は、「1)育児等支援事業を継続的に実施するとともに、必要に応じて見直しを行う。2)男女共同参画の定着に向けて、学内関係組織との協力体制構築を始めるとともに、理工系女性研究者プロモーションプログラムの事業を効果的に継続する。3)子育てを行う教職員の実情に応じた柔軟な勤務形態や育児補助のための支援を検討し、可能なものから実施する。」という年度計画を着実に実施し、男女共同参画を推進している。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p><新たな取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシスタント配置プログラムにおいて、若手研究者が研究と育児を両立できるよう、支援対象を研究員にも拡充する検討を行い、平成25年度より申請に対応することとした。 ・環境整備の一環として、学内の女性休養室の整備状況を調査し、整備に関する支援を行った(新設2か所、拡充1か所)。 <p><現状に対する課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する意識改革 ・女性研究者増員方策の推進 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.gec.jim.titech.ac.jp/index.php					

大学名	東京海洋大学				
学長名	岡本 信明				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	12.9 %	総教員数	240名中	女性教員数	31名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標の中で</p> <p>「海洋科学技術とその周辺領域の研究を促進する優れた研究者(外国人や女性を含む。)を確保するとともに、若手・中堅教員を戦略的に育成する」「教員人事の流動性・多様性を高め、教育分野の特色等に合わせて適切な人材を求めるため、その採用は公募制を原則とし、また、任期付き教員及び年俸制雇用教員の範囲の拡大の方向性について検討する」と、明記した。</p> <p>中期目標達成のため、教員公募に「東京海洋大学は、『男女共同参画宣言』を定め、女性研究者支援を含めた男女共同参画を推進しています。本公募においても女性研究者の応募を歓迎いたします」との文言を盛り込む予定。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p><新たな取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24年5月より、両立支援のために研究支援員を派遣するRS制度を本格始動した。活用事例を学内に周知し、利用者及びRS拡充に努める。 ・本学の教職員向けに、ライフイベント時(特に出産・育児)の仕事と研究の両立の支援として本学の規則や制度について簡単にまとめた『出産・育児支援ポケットガイド』を作成し、全学に配布した。 ・代替職員の育児休業取得制限の緩和等及び育児休業取得者の早期復帰を可能にするために、育児休業制度の改正を行った(H24年12月改正) ・育児休暇取得後の非常勤職員の早期職場復帰をサポートした。 <p><現状に対する課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性教員比率を上げる。・学内の教職員、学生に対し男女共同参画意識の浸透および理解を深める。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://uminamnet.jp					

大学名	お茶の水女子大学
-----	----------

学長名	羽入 佐和子
-----	--------

平成25年5月1日現在の女性教員比率	43.1 %	総教員数	197名中	女性教員数	85名
--------------------	--------	------	-------	-------	-----

<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>[大学の基本的な目標]: 世界屈指の女子大学として、21世紀の社会に必要とされる高度な教養と専門性を備えた女性リーダーを育成する。加えて女性のライフスタイルに即応した教育研究のあり方を開発し、その成果を社会に還元することで、女性の生涯にわたる生き方に関するモデルの供給源となって、男女共同参画社会を実現し、豊かで自由かつ公正な社会の実現に寄与する。</p> <p>[大学の教育研究等の質の向上に関する目標]: 女性が進出できる研究分野を開拓し、女性の社会進出の加速化を実現する教育システムを構築する。さらに女性ライフスタイルに即した教育課程・方法の開発により就学環境を改善する。また、それに即した研究環境や研究体制を整備する。社会人教育については、特に社会人女性の勉学再開とその成果の社会還元を支援する。</p> <p>[業務運営の改善及び効率化に関する目標]: 男女共同参画推進のために職務規程等の人事制度をより充実させる。</p>
--

<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学は、女性研究者の資質を高め、リーダーシップを身につけた女性の育成を通して、わが国の科学技術立国としての発展と国際的ステータスの向上に寄与することを目指している。平成20年度にリーダーシップ養成を継続的に行う組織的基盤として、「リーダーシップ養成教育研究センター」を創設し、活動をしている。本学の女性教員の割合が43%（平成25年5月1日現在）であり、国立大学協会が設定した女性研究者割合目標（2010年までに20%）、第三期科学技術基本計画で設定された目標値（自然科学系の女性研究者割合を5年間で25%）のいずれも上回っている。本学は、優れた女性研究者を輩出し、わが国全体の目標達成に寄与したいと考えており、設備や制度面では、学内保育施設、育児支援奨学金制度等の支援制度を以前より整え、さらに男女共同参画社会の基盤として、ワーク・ライフ・バランスのとれた社会環境が重要であり、業務の効率を良くするために、学内の会議形態の合理化や定時帰宅の曜日を決めて、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組んでいる。また、本学のいっそうの男女共同参画推進のために、男女共同参画企画室を平成25年4月に設置した。</p>
--

<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.ocha.ac.jp/danjo/index.html</p>

大学名	電気通信大学
-----	--------

学長名	梶谷 誠
-----	------

平成25年5月1日現在の女性教員比率	5.5 %	総教員数	307名中	女性教員数	17名
--------------------	-------	------	-------	-------	-----

<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>第2期中期目標で「業務運営の改善及び効率化に関する目標」の「組織運営の改善に関する目標」において、男女共同参画推進のための組織体制及び環境を整備し、その実現を目指す。ことを目標として、中期計画の「目標を達成するための措置」として、男女共同参画を推進する組織体制を整備するとともに、具体的な取組方針、計画等を策定し実施することとしている。</p>

<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成25年度の女性研究者研究活動支援事業（一般型）に応募し選定された。この事業を通じて、女性研究者のライフイベントによる研究中断を避けるための研究環境改善や研究能力の向上を図っていく。国立女性教育会館の協力により女性のキャリア形成や家庭問題等のさまざまなテーマについて図書のみとめて貸し出すパッケージ貸出サービスを受け、本学図書館で利用に供することとした。内閣府の女子高校生・女子学生の理工系分野への選択を応援する「チャレンジ・キャンペーン」に従来の協力団体から関連事業を行う共催団体として参加することとし、オープンラボやオープンキャンパスにおいて女性教員の研究案内等を行った。</p>

<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.uec.ac.jp/gender/</p>

大学名	一橋大学				
学長名	山内 進				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.6 %	総教員数	337名中	女性教員数	56名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>事務局内に保育園に関する調査検討ワーキンググループを設置し、国立大学及び大学周辺における保育施設の設置状況、本学職員の出産・育児休業等の状況並びに周辺自治体の保育所入所待機児童数について調査・分析等を行った。その後、全学的な検討の組織として、男女共同参画に関する懇談会を立ち上げ、研究科ごとの女性教員比率を高める数値目標及び女性教員採用の促進に係る検討状況を取りまとめるとともに、研究と出産・育児の両立を支援する方策を検討した。また、教職員の未就学児にかかる子育て環境に関する調査を実施した。さらに、男女共同参画推進のための具体的方策の企画立案、実施に関する業務等を行うため、「男女共同参画推進室」を設置した。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する懇談会の設置 ・男女共同参画推進室の設置 ・教職員の未就学児にかかる子育て環境に関する調査を実施 ・ベビーシッター利用料の一部補助 					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p>					

大学名	政策研究大学院大学				
学長名	白石 隆				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	18.2 %	総教員数	77名中	女性教員数	14名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>第2期中期計画において、「会議の開催時間や、子育て期間中の業務時間帯への配慮など、特に、女性研究者に配慮した環境整備に取り組む」ことを掲げており、そのための対応として、以下の取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性研究者の育児状況を考慮し、時間割を作成。 ・未就学児を持つ女性教員及び児童(小学生)を持つ女性教員についてそれぞれ要望に従い、早朝の時間帯(1時間目)や夕方の時間帯(5,6時間目)、土曜日を避けるなど優先的に対応。 ・任期付きの教員が育児休業、産前産後休暇を取得した場合に任期を延長できるよう教員任期規則の改正を行った。 ・女性研究者が委員となっている会議の開催時間を育児状況を考慮した時間帯で設定。 					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学における女性教職員の在職者の割合(平成25年3月1日現在)は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員 20.7% 職員 56.4% 全体 32.75% <p>となっており、平成23年2月10日に公表の「国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－」における達成目標(国立大学の女性教員比率を20%以上に引き上げることを目指しつつ、少なくとも2015年度までに17%以上に引き上げること達成目標として設定すること)を達成していることから、引き続き、現状を維持しつつ、さらに男女共同参画を推進してまいりたい。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p>					

大学名	茨城大学				
学長名	池田幸雄				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	11.4 %	総教員数	491名中	女性教員数	56名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
第2期中期計画では、「男女共同参画事業を推進し、女性教職員を積極的に活用する施策を導入する。」を掲げており、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画(平成23年10月決定)、各学部等の意見等の聴取などを通じ、より現実的な女性教職員を積極的に活用する施策や、採用促進計画を策定すべく、男女共同参画委員会を中心に鋭意検討を進めている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
(新たな取り組み) 地方自治体との連携を図るため、また、地方公共団体における男女共同参画の取組について知見を深めるため、茨城大学出身であり茨城県政史上初の女性副知事(本学経営協議会委員)による男女共同参画講演会を計画し、平成25年1月に実施した。役員・教職員・学生を含め約90名の参加があった。 このほか、大学キャンパスが所在する水戸市との共催による学内講演会の開催について調整を進めている。					
(現状に対する課題) 女性研究者を採用することに対しての、インセンティブを基軸とした男女共同参画の取り組みを継続実施するための経費確保。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://kyodo-sankaku.admb.ibaraki.ac.jp/index.htm					

大学名	筑波大学				
学長名	永田恭介				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.4 %	総教員数	1806名中	女性教員数	296名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
第2期中期目標・中期計画に、男女共同参画社会実現に関する具体的方策として、「大学全体の意識改革に取り組み、出産・育児・介護等で休業する教職員の代替措置を講ずるなど、女性が能力を最大限発揮しうる環境を整備する。」と明記し、意識改革や環境整備等を柱に、勤務体制の改善、FD/SDセミナー、ニーズヒアリング、WLBのための相談サポート事業等、様々な男女共同参画推進事業を実施している。また、第3次男女共同参画基本計画を踏まえ、「柔軟で多様な人事制度の構築と優れた教職員の確保・育成」すべく、若手・女性・外国人に配慮した教職員配置を促進し、人員構成の適正化と人材育成の実現を図る方針を策定することとし、男女共同参画社会実現に向けた取り組みを継続的に実施中である。 更に、「筑波大学ダイバーシティの推進に係る基本理念・基本方針」、及び、実施企画を6年間とする「筑波大学ダイバーシティ推進行動計画」を策定し、中長期的に男女共同参画を推進する基盤を確立した。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
○「筑波大学ダイバーシティ推進行動計画」を学内に浸透するための周知活動を実施中である。 ○系長・研究科長を訪問し、各部局が抱える課題や要望などのヒアリングを行い、必要な支援策を講じた。 ○構成員の抱える問題を「大学として対処すべき問題」とするため、問題解決型の「ランチョンミーティング」を実施し、課題の共有化を図り、必要な支援策の構築に繋げている。 ○筑波大学で実施している男女共同参画推進事業が、地域においても広く波及効果をもたらすよう、男女共同参画・ダイバーシティをテーマに「筑波大学重点公開講座」を連続開催している。 ○研究者の裾野拡大・キャリア支援事業にも、引き続き力を入れている。大学院生向けの科目を増設し、さらに、女子中高生向けの理系進路を支援するためのプログラムも実施中である。 ○HPをリニューアルし、より使いやすい親しみやすいウェブサイトにするべく、日々リニューアルを重ねている。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://diversity.tsukuba.ac.jp					

大学名	筑波技術大学				
学長名	村上 芳則				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.9 %	総教員数	112名中	女性教員数	20名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>本学は、聴覚及び視覚障害者のために創られた我が国唯一の4年制国立大学であるという性質上、教員の配置に関しては、第一に、障害に対して十分に理解がある人材が求められているという面があるが、上記基本方針等に基づいて、女性の教員採用を促進している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>次世代育成対策推進法に準じて昨年度策定した行動計画に基づき、引き続き男女共同参画を推進した。具体的には教員公募(昨年度5件)に当たっては、男女共同参画を推進していることを明記し、女性研究者を広く公募した。女性の応募は少ない中で5件中2件の採用を行い、女性教員比率は18%弱に達した。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
<p></p>					

大学名	宇都宮大学				
学長名	進 村 武 男				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15 %	総教員数	333名中	女性教員数	50名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>○男女共同参画に配慮し、出産・育児・介護等の特定期間中において代替教員、TA等を適切に配置する。</p> <p>○職員の人事評価システムを構築するとともに、柔軟で多様な人事制度の導入や男女共同参画社会にも配慮した人事を行う。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成24年10月に宇都宮大学男女共同参画推進室を設置し、平成25年2月に開設記念公開シンポジウムを開催した。また、平成25年度女性研究者研究活動支援事業に申請し、採択された。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
<p>http://www.utsunomiya-u.ac.jp/danjo-kyoudou/index.php</p>					

大学名	群馬大学				
学長名	高田 邦昭				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.9 %	総教員数	843名中	女性教員数	126名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期計画の中で、大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置として、適切な人員配置を行うこととしている。具体的には、教員の採用について客観性・透明性を高めるために公募制を採用するとともに、ポジティブ・アクションを実施し業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用することとし、男女共同参画の推進に努めている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>昨年度からの新たな取り組みとして、男女共同参画推進委員会、男女共同参画推進室を設置した。また、現状としては、部局間で男女共同参画に係る取り組みに大きな差が生じており、こうした状況を是正するための体制整備が課題である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.gunma-u.ac.jp/html/dannzyokyoudou_0.html</p>					

大学名	埼玉大学				
学長名	上井 喜彦				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.1 %	総教員数	453名中	女性教員数	73名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>○「埼玉大学男女共同参画宣言」を制定し、目標達成に向けた教職員の意識の共有を図った。</p> <p>○教職員・学生を対象とした「男女共同参画推進に関する意識実態調査」を実施し、その結果を分析し取りまとめ、報告会を実施した。</p> <p>○「教職員のための育児・介護支援制度ガイドブック」の作成、「男女共同参画室ホームページ」の開設、男女共同参画室講演会の開催等の啓蒙活動を実施した。</p> <p>○ハラスメント防止について、「埼玉大学ハラスメント防止宣言」の制定、「ハラスメント防止のためのガイドライン」の作成、「人権、ハラスメントに関する教育プログラム」の開発等を行い、教職員及び相談員に対する研修会をそれぞれ実施した。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>○昨年度からの新たな取り組みとして、授業等で全学研修会に出席が困難な教員のために、各学部の教授会に出向きハラスメント防止研修を実施した。</p> <p>○男女共同参画の推進には、制度や慣行などの見直し、就業環境の整備、構成員の意識改革など予算、人員、時間を要する側面があり、継続的に実施していくための財源の確保、推進の中心となる人材の育成等が課題である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://park.saitama-u.ac.jp/~kyodo-sankaku/index.html</p>					

大学名	千葉大学				
学長名	齋藤 康				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	18.5 %	総教員数	1188名中	女性教員数	220名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>中期計画において、「男女共同参画支援体制を充実させ、女性教員がその能力を発揮できる環境を整備し、女性教員の比率を向上させる。」という目標を掲げている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>年度計画において、「理系女性教員キャリア支援プログラム」に基づき、理系女性教員の採用を促進するとともに、既在籍理系女性教員の研究活動を支援する。また、育児中又は介護中の教員に、研究支援要員を配置し、研究・教育活動との両立を支援する。」という目標を掲げるとともに、同計画の人事に関する計画においても「理系女性教員キャリア支援プログラム」に基づき、採用された理系女性教員に対し、能力を発揮できる環境を確保するため、研究支援要員を配置し、女性教員の比率向上を図る。」として、女性教員の研究環境の向上を図っており、若干ではあるが、女性教員の比率も向上した。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/					

大学名	横浜国立大学				
学長名	鈴木 邦雄				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15 %	総教員数	584名中	女性教員数	88名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>・女性(男女共同参画の推進)、外国人等に配慮し、多様性を考慮した人事の方策を整備する。</p> <p>・教員のワーク・ライフ・バランスの推進、研究支援者の研究設備の整備等により、研究支援環境を充実する。</p> <p>・次世代を担う若手研究者(女性、外国人含む)育成のための制度を充実させ、資源配分などの面で若手研究者への支援を強化する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>・男女共同参画推進室の業務を行うため、平成24年11月から事務補佐員を1名配置した。</p> <p>・女性研究者や学生を対象として、女性特有の悩みを相談できるように非常勤のカウンセラーを平成24年11月から1名、12月には更に1名を配置した。</p> <p>・女性研究者のニーズにきめ細かく対応するため、平成25年1月から男女共同参画推進室にコーディネーター2名を配置した。</p> <p>・平成25年4月に女性研究者支援体制の強化を図るため、男女共同参画推進室を全学教育研究組織である男女共同参画推進センターに改組し、支援体制の更なる強化を図った。</p> <p>・平成25年7月に男女共同参画推進センター内に体調の悪い女性研究者が休憩するためのスペースを確保した。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.sankaku.ynu.ac.jp/					

大学名	総合研究大学院大学				
学長名	高畑 尚之				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	27.6 %	総教員数	29名中	女性教員数	8名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>中期計画において、「○ 社会的に重要な問題に対して戦略的な基礎研究を展開し、その成果を社会に分かり易く伝えることにより、社会への成果の還元を図るため、次の措置を講ずる。③地域と連携した男女共同参画事業の企画と実施」と位置づけ、事業を実施することを予定している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学は、教職員の採用・昇任について能力本位で行っており、事実、教職員に占める女性の割合も高い。そのため労働環境及び教育研究環境等の改善を行うことが、ひいては男女共同参画推進に資する取組になるものと考えられる。また、平成25年度より保育支援WG(構成員:教員、事務員)を立ち上げ、男女共同参画の観点から、よりスマートな保育支援の検討を行っている。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					

大学名	新潟大学				
学長名	下條 文武				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.6 %	総教員数	1101名中	女性教員数	161名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>「Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」、「1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置」として、中期目標にて「男女共同参画の推進のための環境を整備する。」ことを掲げ、中期計画において「企画戦略本部女性研究者支援室を男女共同参画推進室に再編し、積極的な女性登用などのポジティブアクションの取組を推進する。」としている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性リーダーに必要なコミュニケーションスキルとマネジメント力の向上を図ることを目的に、五十嵐キャンパスと旭町キャンパスの両キャンパスにおいて、女性教職員向けのキャリアアップセミナーを開催する。 ・本学における男女共同参画を一層進めるためには、取り組みの周知や制度等に対する理解を深めるためのさらなる活動が必要である。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.niigata-u.ac.jp/geo/index.html					

大学名	長岡技術科学大学
-----	----------

学長名	新原 皓一
-----	-------

平成25年5月1日現在の女性教員比率	6 %	総教員数	218名中	女性教員数	13名
--------------------	-----	------	-------	-------	-----

第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応 特になし

<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>女子中学生や女子高校生を含めた理工系の進路に関心がある中高生及びその父母に対して、将来の自分を明確にイメージし、理工系への進学や就職に向けた進路選択のヒントとなる情報提供をすることを目標とし、講演会を企画した。(今年10月実施予定)</p>
--

<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.nagaokaut.ac.jp/j/annai/danjo/danjo.html</p>

大学名	上越教育大学
-----	--------

学長名	佐藤 芳徳
-----	-------

平成25年5月1日現在の女性教員比率	21.6 %	総教員数	167名中	女性教員数	36名
--------------------	--------	------	-------	-------	-----

<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>男女共同参画を推進する観点から、大学教員の2割以上が女性であることに配慮しつつ、女性教職員が活躍できる環境づくりを推進する旨を掲げている。</p>
--

<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>○取組 ・教職員の職業生活と介護活動の両立支援の一環として、上越市男女共同参画推進センター出前講座と連携し、「介護」をテーマに男女共同参画推進講演会を実施した。</p> <p>○課題 ・教職員及び学生に対し、男女共同参画に関する認識を深め定着させるための広報・啓発活動を継続して行う必要がある。</p>

<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/020danjo/index.html</p>

大学名	山梨大学				
学長名	前田 秀一郎				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15.5 %	総教員数	710名中	女性教員数	110名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>・「女性・外国人・若手の教員の能力を一層活かせるよう、採用・昇進などにおける取組を進めるとともに、女性教職員の働きやすい条件の整備に努める」ことを中期目標に、「教員の採用・昇任において、性別、国籍、年齢にかかわらず優れた人材が活かされるよう、各学部等で人事方針を取りまとめ、公表する」こと、並びに「教職員が性別にかかわらず能力を活かせる職場環境や機会の整備を進める」ことを中期計画に掲げ、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>・公表した人事方針に基づいた採用計画等が実施されるよう、大学のホームページに掲載し、各学部等において人事選考を進めている。</p> <p>・文部科学省が実施する「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、9月に女性研究者支援室を開設し女性研究者支援の取り組みを強化した。</p> <p>・次世代育成支援対策行動計画を策定（平成25年2月26日）し、学内外に公表した。</p> <p>・工学部の教員公募に、「山梨大学では「女性研究者研究活動支援事業」を推進しています。学内には、女性研究者支援室を設置し、女性研究者に対する全学的なサポート体制を整備しています。」と明記し、女性研究者にとって労働環境が整っていることをアピールしている。今後は、他学部においても、女性を積極的に受け入れることをアピールするように呼びかけることとしている。</p> <p>・女性研究者への支援の一環として、近隣保育園と一時預かり事業等の連携を開始し、学内への周知を図った。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.yamanashi.ac.jp/modules/ymsprofile/index.php?content_id=201 http://www.conohana.yamanashi.ac.jp/					

大学名	信州大学				
学長名	山沢 清人				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	12.6 %	総教員数	1043名中	女性教員数	131名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期計画では、「女性教員、外国人教員が一層能力を発揮できるよう、条件整備を進める」ことを掲げている。平成23年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の採択を契機に発足した男女共同参画推進委員会及び女性研究者支援室を中心に種々の活動を展開した。男女共同参画推進委員会は、学長が委員長を務め、女性研究者の増員策について重点的に審議し、各学部等が採用目標数値に向けて努力した。一学部が女性限定公募を行ったことは、学内の意識変化である。女性研究者への直接支援策として平成23年度から開始したライブイベント中の研究者に研究補助者を配置する制度の実施により研究者及び研究補助者の双方に研究成果があった。また、意識啓発のための男女共同参画シンポジウム開催、ニュースレター及び事業紹介パンフレットの発行、ホームページによる情報発信を行った。学内の認可外保育施設の拡大要望に応え、就業環境等の向上を目指して、老朽化した園舎の建替え及び利用対象者を拡大することを決定した。新宮準備を行い、平成25年11月に、新園舎で運営開始予定である。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>・教職員の意識向上を目的とした男女共同参画シンポジウムを実施し、他大学の男女共同参画事業に係る講師を迎え、先行事例から学ぶ取組を行った。</p> <p>・ライブイベント中の研究者の研究支援に研究補助者制度を継続し、利用者からは今後の継続を要望されている。</p> <p>・教員公募の要領に「業績等が同等であれば女性を採用する」と記載するとともに、女性限定枠を設け公募を行った。</p> <p>・女性研究者の支援・相談体制として、メンター研修を行い、13名のメンターが登録し、メンター制度を確立した。</p> <p>・学内保育施設の拡充を決定した。</p> <p>・今後の課題として、女性教員の上位職登用について検討をしている。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/					

大学名	富山大学				
学長名	遠藤俊郎				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.3 %	総教員数	901名中	女性教員数	147名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応 大学の組織運営の改善・発展に関連した男女共同参画の推進(富山大学機能強化プラン)					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>【新たな取り組み】平成25年3月に女性医師を対象とした交流会(ジョン会)を開催した。今後、全学男女共同参画ワークショップの開催や医学部医学科の5年生を対象としたキャリアデザインに関する講義の実施を予定している。また、平成25年度富山県男女共同参画チーフ・オフィサー並びに男女共同参画推進認証事業所へ応募した結果、いずれも認可されたことのほか、富山県主催の「元気とやま働く女性ネットワーク『煌めく女性リーダー塾』」へ応募し、女性職員1名が、現在受講中である。</p> <p>【現状に対する課題】平成25年4月には、2名の女性学部長、5月には、女性の学長補佐が就任した。本学は、実質的にも大学運営に関与する女性管理職の登用によって、女性の教員はもとより、職員においても、上司力の発揮が期待される。一方、キャンパスが3つに分散していることから、相互理解や情報の交流を深化する必要がある。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://www.u-toyama.ac.jp/outline/gender-equal/index.html					

大学名	金沢大学				
学長名	中村 信一				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15.1 %	総教員数	1005名中	女性教員数	152名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応 【中期目標の関連箇所】 優れた人材が参集する大学を目指し、優秀な人材の確保と育成を推進する。 【中期計画の関連箇所】 優秀な女性研究者の確保と育成のための研究環境の整備及び制度の構築を行う。					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>【昨年度からの新たな取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金沢大学女性教員の現状と課題」を指針としてとりまとめ、女性研究者の登用・養成計画について検討を行っている。 ・附属図書館内に男女共同参画関係書籍のコーナーを設け、「男女共同参画関係」・「女性の働き方」・「理系進学関係等」の書籍の貸出を行っている。 <p>【現状に対する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画に関するアンケート」を実施し、結果の分析等(現状及びニーズの把握)を行っている。今後は女性研究者支援の在り方を検証し、必要に応じて改善を行う予定。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/(男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)					

大学名	北陸先端科学技術大学院大学				
学長名	片山卓也				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	4.7 %	総教員数	190名中	女性教員数	9名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
第2期中期計画において、男女共同参画を推進する観点から、中期目標期間中に女性教員等を15%程度とするよう積極的な採用に取り組むことについて明記し、具体策を検討することとしている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>出産・育児時に係る両立支援策を検討し、次の支援を行うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性教員の育児期間に研究補助者を配置 ・ベビーシッター育児支援事業の活用 ・女性教員の育児期間中における学内用務の負担軽減 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
該当なし					

大学名	福井大学				
学長名	眞弓 光文				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.7 %	総教員数	537名中	女性教員数	79名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
学問動向、社会ニーズ、特徴的分野の変遷などに対応した教育研究組織の見直しを図り、教育研究等の活性化に資する人員配置、人事制度の構築について、全学的な視点から機動的に推進する。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>全学的な男女共同参画推進および女性研究者支援の強化に向け、全学組織として男女共同参画推進センターに改組し、学長のリーダーシップのもと男女共同参画活動が積極的に推進できる体制をとした。</p> <p>また、ライフイベント期間中の女性研究者の研究活動を支援する研究支援者の配置や、男女共同参画に関する全学シンポジウムを開催するなど取り組みを進めている。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://danjyo.ad.u-fukui.ac.jp/					

大学名	岐阜大学				
学長名	森 秀樹				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.9 %	総教員数	764名中	女性教員数	114名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
第2期中期計画において、「男女共同参画計画を策定し、全学的に男女共同参画を計画的に推進する」と定めている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
文部科学省科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業(女性研究者支援モデル育成)(課題名:多様性活力発揮に向けての女性研究者支援)では、「在職教職員の意識改革」「女性研究者育成」「女性研究者支援」「人的資源循環支援」を4本柱とし、多様な人材の活用を推進することを目的として様々な事業に積極的に取り組み、最終年度を終了した。事業終了後は、自主経費により継続して事業を推進している。本学の女性教員比率を2015年までに17%以上に引き上げることを達成目標とし、各部局における数値目標設定及び達成のための取組内容を計画し、年度末に達成状況を確認した。工学部、応用生物科学部の教員公募において、女性限定公募を実施した。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/					

大学名	静岡大学				
学長名	伊東 幸宏				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	13.2 %	総教員数	704名中	女性教員数	93名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
中期目標に「男女共同参画憲章に基づいて男女共同参画を推進する」ことを掲げ、そのための中期計画として「女性教職員の採用及び管理職への登用を推進する」と、「ワークライフバランス(仕事と家庭の両立)に向けた労働環境の改善を進める」ことを掲げている。 毎年、年度計画を立てて取り組み、自己評価を重ねてきているが、平成24年度の自己評価では、前者が「Ⅲ当初の目標を達成」であり、後者が「Ⅳ所期の目標をこえる取組」であった。 実施体制としては、引き続き、男女共同参画担当副学長を置き、全学委員会としての男女共同参画推進委員会と男女共同参画推進室を置いている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
平成23年3月に「女性研究者支援モデル育成事業」が終了してからも多くの事業を継続発展させてきたが、浜松キャンパスにおける学童保育所運営に関して、平成25年春休みから運営を外部委託化し、事業実施の効率化を図った。また、オープンキャンパスにおける女子高校生を対象とした相談コーナーを従前は工学部のみで開設していたが、平成25年度は工学部に加え、農学部と理学部でも開設した。さらに、学会参加時に要した保育費用の一部助成制度を拡充し、平成25年度から入試業務従事の際の保育費用も助成対象とした。このような中、平成25年7月には、2回目の「くるみん」を取得した。 男女共同参画推進の体制としては、平成25年度から男女共同何画推進室を学則上の組織として位置付けた。 今後の課題としては、平成24年4月に定めた5つのアジェンダ「女性教職員の採用と登用」「ワークライフバランス」「学生の参加」「地域連携」「意識改革」を進めていく予定である。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/					

大学名	浜松医科大学				
学長名	中村 達				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.3 %	総教員数	323名中	女性教員数	56名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
男女共同参画に関する意識調査の結果、要望が多かった仕事と家庭の両立に関するワークライフバランスの啓発を目的とした講演を行い、その結果をフィードバックした。また、本学で初めて常勤の男性職員が1ヶ月の育児休業を取得した。また、子育てを行う職員の仕事と家庭の両立を支援するため、学内保育施設において夜間保育を開始した。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
平成24年12月5日に男女共同参画に関する講演会「女性にも男性にも快適な環境に～ライフイベントと仕事について～」を開催し、男女共同参画の啓発に努めた。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					

大学名	名古屋大学				
学長名	濱口 道成				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.8 %	総教員数	2166名中	女性教員数	321名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
中期目標：組織運営システムの機能強化を図る。 中期計画：国内外の多様な人材を活用する。 具体的には、男女共同参画の一層の推進を図り、女性教職員の比率を高めることとしている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
文部科学省科学技術人材育成費補助金(採択当時：科学技術振興調整費)「名古屋大学方式 女性研究者採用加速・育成プログラム」事業等を活用し、理・工・農学系分野の女性教員の採用、女性研究者へのスキルアップ等の取組みを行っている。 学内の男女共同参画推進に関する委員会及びワーキンググループの設置を働きかけ、学生及び院生を擁する主要部局については、同委員会の設置を完了し、全学をあげての今後の連携協力体制を整備した。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/					

大学名	愛知教育大学				
学長名	松田 正久				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.9 %	総教員数	251名中	女性教員数	45名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応 特になし					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2007年に作成した本学の男女共同参画マスタープランについて、男女共同参画社会への取り組みを促進するため、2013年4月に改訂を行った。 ・男女共同参画推進オフィスを設け、教職員・学生・児童生徒等のすべての構成員による理解と協力を得ながら、男女共同参画を全学的に推進します。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://www.aichi-edu.ac.jp/intro/action/gender.html					

大学名	名古屋工業大学				
学長名	高橋 実				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	6.7 %	総教員数	360名中	女性教員数	24名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>(1) 第2期中期目標 戦略的・効果的な人的資源の活用や多様な人材の登用を行う。</p> <p>(2) 第2期中期計画 女性、外国人、若手等の比率を考慮し教員構成を多様化する。 女性教員については、第1期中期目標期間終了時の女性教員比率を上回る割合で新規採用を行う。</p> <p>(3) 平成25年度年度計画 教員構成の多様化を図るため、引き続きベビーシッター利用料補助制度及び研究支援員制度の周知を図るとともに、女性教員の採用を積極的に行う。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>(1) 昨年度からの新たな取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究者支援として、研究者支援員制度及びベビーシッター利用料補助制度の広報と運用。 ・男女共同参画推進室HPIに女子高校生応援サイトを開設。 ・男女共同参画に関する図書の閲覧及び貸出しを開設。 <p>(2) 現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所設置に向けての検討 ・男女共同参画についての意識啓発の伝播 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://www.nitech.ac.jp/gender/index.html					

大学名	豊橋技術科学大学				
学長名	榎 佳之				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	5.8 %	総教員数	225名中	女性教員数	13名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>優れた教職員を確保するための人事計画に基づき、全学的な視点からの採用等人事を計画的、戦略的に実施するとともに、任期制の拡充・普及、テニユア・トラック制の導入及び男女共同参画の推進等により流動性、多様性を推進する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>昨年度からの新たな取り組みとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の女子学生同士が集い意見交換及び情報収集を目的とした「TUT女子会」を開催（第1回：24.6.15、女子学生の進路・就職・学生生活に関する意見交換及び情報収集）（第2回：24.11.16「自己防衛方法を学ぼう」と題した講習会の開催。） ・女子中学生を対象とした理系進路支援事業において、「ブロックでロボット工作」を新たに追加した。 ・学会大会へ本学会議室を託児スペースに提供（24.9.19～22：C-101会議室）した。 ・豊橋市の出前講座を利用して、デートDV（ドメスティック・バイオレンス）の特別講演を実施した。 					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.equal.tut.ac.jp/</p>					

大学名	三重大学				
学長名	内田 淳正				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15 %	総教員数	787名中	女性教員数	118名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>中期計画上、各部署と本部組織との一体的かつ機能的な運営体制の構築を図り、学長のリーダーシップ体制の強化策として、平成23年4月に女性研究者育成事業の支援組織であった「女性研究者支援室」を「男女共同参画推進室」への改編を行った。さらに平成24年度には男女共同参画推進活動を一層強化するため、学長を委員長とする「三重大学男女共同参画推進委員会」及び、理事を委員長とする実践的活動組織としての「三重大学男女共同参画推進専門委員会」の規程等の改正を行い、3つのワーキング・グループ、「理工系の女性支援・ロールモデル研究部門」、「意識改革・啓発活動部門」、「連携部門」を設置し、三重県、フレンテみえなど、産官学民との連携を深め本学の男女共同参画活動をより一層推進するための体制作りを行っている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学の男女共同参画の視点に立った人材輩出責任として、男女共同参画推進専門委員会委員の教員で、平成24年度に開講した共通教育講義・前期「男女共同参画推進基礎編」、後期「啓発イベント実践」「ライフ・プランニングと社会参画」に引続き、今年度は、前期「男女共同参画基礎」、後期「男女共同参画実践」を開講した。内容として、男女共同参画の持続的発展を目指し、三重県内で男女共同参画社会のモデル化できる人材を育成している。</p> <p>女性企業家による講演会、男性の育児参加と輝く女性をテーマとしたトークセッション、地方自治体とNPOとの連携による学習会、情報発信、資料集作成など、さまざまな側面から男女共同参画活動について積極的な展開を行っており、さらに、男女が動きやすい職場を目指して、三重県が推進する「男女がいきいきと働いている企業」認証取得に向けた準備を行っている。</p> <p>これら本学の取組が厚生労働省三重労働基準局雇用均等室発行の「三重における男性育児休業事例と両立支援取組企業好事例集」に掲載された。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>www.mie-u.ac.jp/danjo/</p>					

大学名	滋賀大学				
学長名	佐和 隆光				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	20.6 %	総教員数	218名中	女性教員数	45名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>中期計画において「社会人や現職教員など、多様な人材を教育スタッフとする制度を整備する。」という事項を設け、25年度計画においては「多様な人材を教育スタッフとして活用するとともに、引き続きその教育効果及びその問題点の改善に着手する。」としている。計画の取り組みの中で、男女共同参画の推進として、女性教員の採用促進に向けた取り組み等を行い、女性教員の比率の向上を目指していく。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学における教育研究支援基金による支援事業において、平成24年度までは女性研究者の特色ある教育研究活動・プロジェクトを支援することを目的として女性研究者教育研究助成を設けていたが、男女共同参画社会の実現という観点から、平成25年度からは男女共同参画推進研究助成に改め、性別に関係なく研究者が研究活動を中断することなく出産・育児又は介護に携われるようにした。平成25年度においては、1名に助成した。</p> <p>また、財団法人こども未来財団が実施する「ベビーシッター育児支援事業」を利用し、本学教職員が在宅保育サービスを利用する際の料金の一部を助成する「滋賀大学ベビーシッター育児支援事業」を開始した。</p> <p>課題としては、男女共同参画推進体制の確立と積極的な意識啓発活動である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.shiga-u.ac.jp/information/cooperation-planning/</p>					

大学名	滋賀医科大学				
学長名	馬場 忠雄				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.6 %	総教員数	363名中	女性教員数	64名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標に「創造的で前向きな組織になるべく、教職員の意識改革や仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)により、継続的に充実感を感じる職場環境の構築を目指す」こととしており、中期計画による「滋賀医科大学のいきいきワーク・ライフ・プラン」の策定を検討中であるが、男女共同参画の推進について、平成21年策定のマスタープランに基づき、保育所定員の拡充、男女共同参画推進室の設置、相談制度、メンター制度の創設、女性教員の多い部署への特任助教の配置、病児保育室の開設や園庭の拡張及び全土曜開所等保育所機能の充実、ベビーシッター補助金の活用、搾乳室の設置などを進めてきている。また教職員の要望把握のためのアンケートや意識啓発、関係機関との連携のためのシンポジウム等も継続的に実施している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組みは、下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産後の女性教職員のための搾乳室を、平成24年10月に大学内に1か所、病院内に2か所、計3か所に設置した。 ・平成24年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に選定され、女性研究者支援担当学長補佐及び男女共同参画推進室にチーフコーディネーターを配置し、女性研究者支援チームの活動を開始した。 ・本学教職員の要望の高かった病児保育室を、平成25年1月より学内保育所に併設した。 ・託児だけでなく充実した保育の提供を考慮し、平成25年4月に学内保育所の園庭を拡張した。 ・平成25年4月にジェンダー平等と女性のエンパワーメントの国連機関より講師を迎え、学内講演会を開催、また同年8月に県民参加のシンポジウムを開催し、男女共同参画推進の啓発を行った。 ・平成25年9月に子育て及び介護中の女性研究者を対象とした研究支援員の配置、及び同年10月に優秀な女性研究者を表彰し、ワーク・ライフ・バランスの支援と女性研究者のロールモデルの構築を目指す。 <p>現状の課題としては、県内13大学との連携の効率的な促進が必要である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://danjokd.shiga-med.ac.jp/</p>					

大学名	京都大学				
学長名	松本 紘				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	10.6 %	総教員数	3413名中	女性教員数	361名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>以下のとおり中期計画に記載した。</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置</p> <p>・女子学生のニーズに応じた支援を拡充するとともに、障害のある学生に対する支援体制を強化する。</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>・若手、女性、外国人等の研究者が能力を発揮しやすい環境を整備する。</p> <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>・能力開発や専門性向上のための研修を実施するとともに、女性や若手職員の登用を考慮しつつ、職員のモチベーションの向上を図るための人事システムを整備する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成21年度から平成25年度までの5年間を対象とした「男女共同参画推進アクション・プラン」において、「多様性こそが今後の教育・研究の活力の源泉であるとの信念の下、男女共同参画を推進し、女性教職員や女子学生を含めた多様な人材がいきいきと活躍できる環境を構築する」ことを目指しており、本プランにおける理念をもとに、全学における環境整備と共に男女共同参画の推進をはかり、項目毎に毎年度実施状況のフォローアップを行っている。</p> <p>平成23年度・24年度・25年度は、上記プランにおける重点テーマに「男女共同参画の視点に立った教育・研究および就業の確立」を掲げ、各部局教授会において男女共同参画推進室のメンバーがプレゼンテーションを行い、女性教員採用に關しての意識啓発活動を行った。女性研究者支援センターにおいては、女子学生・若手研究者を対象としたシンポジウム・研究会をはじめ、円滑な人間関係構築のための講習会「自己主張トレーニング」等を開催し、新入生ならびに学部学生を対象としたジェンダー関連科目(3コマ)を提供し、啓発活動に努めた。また、工学研究科においては、女子学生の工学系への進学を促す取り組みとして「テク女子」をオープンキャンパスにおいて開催した。さらに理学部においては、自然科学の分野で活躍しようとする女子学生を支援・育成することを目的とした竹腰賞を設けて、女子学生の顕彰を行っている。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://geco.adm.kyoto-u.ac.jp/index.html</p>					

大学名	京都教育大学				
学長名	位藤 紀美子				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	22.5 %	総教員数	129名中	女性教員数	29名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期計画に、「教職員の人事については、全学的・長期的視点から、人員管理を行う。また、採用にあたっては、女性、若手等の比率を考慮した教職員構成を目指す。」と記載している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成24年度は男女共同参画推進のための基本理念と基本方針に基づき、以下の通りアクションプランを策定した。</p> <p>(1) 環境整備</p> <p>a. 終業時刻後に会議を原則として開催しない。</p> <p>b. 教職員向けの休養室を整備する。</p> <p>c. 大学に学生向けの休憩室を整備する。</p> <p>(2) 意識啓発</p> <p>a. 人権委員会で実施している新規採用者・転入者研修において、男女の人権に対する意識啓発を行う。</p> <p>b. 残業の削減、有給休暇の取得率向上に関する研修会を全教職員に対して行う。</p> <p>(3) 教育・研究</p> <p>a. 大学において「ジェンダー論」、「人権と法」、「人権問題論I」、「性倫理と性教育」など、男女共同参画に関連する授業科目の内容を充実させる。</p> <p>b. 大学において学部科目「人権問題論I」を学科・センターでの分担実施とし、全学的・組織的な教育体制に移行する。</p> <p>c. 附属図書館に「男女共同参画コーナー」の設置を検討する。</p> <p>(4) 地域連携・地域貢献</p> <p>a. 大学公式HPを通じて、本学の男女共同参画推進に関する取り組みを、より積極的に発信する。</p> <p>b. 平成25年度の京都教育大学公開講演会を男女共同参画推進に関わる年間テーマで開催する。</p> <p>c. 地域の子育て支援等のため、ふれあい伏見フェスタや藤陵祭その他事業においてキャンパス開放を積極的に実施する。</p> <p>d. 地域の子育て支援等のため、「うたとおはなしの会」を継続的に実施する。</p> <p>e. 地域の子育て支援等のため、改修後の図書館に「児童書(絵本)コーナー」を設置する。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/</p>					

大学名	京都工芸繊維大学				
学長名	古山 正雄				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	9.87 %	総教員数	304名中	女性教員数	30名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期計画には、以下のとおり定めている。</p> <p>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>2) 人事制度の改善に関する計画</p> <p>③ 女性・外国人の教職員採用を促進し、教職員構成の多様性の向上を進めるとともに、特任教員や特任専門職など多様な雇用形態を活用して、教育研究及びその他の業務を更に充実する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成24年度文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業」に本学の取組が選定され、具体的に以下のとおり事業を進めている。</p> <p>他の工科系大学に比して女子学生比率が高い本学の特殊性を踏まえ、女性研究者や女子学生のキャリアパスやワークライフバランスに配慮するための支援組織として、①担当理事(副学長)をトップとする「KIT男女共同参画推進センター」を設置し、専任コーディネータ1名を配置、②実験補助や育児期間の業務負担軽減等を担う研究支援員の配置、③女性教職員等が相互に相談できる学内ネットワークの構築、④女子大学との学外ネットワーク活用、⑤ベビーシッター育児支援拡充、⑥講演会等、啓発活動の充実等を総合的に推進し、女性研究者からの意見等ニーズをダイレクトかつタイムリーに踏まえつつ支援の重点化・加速化を図る。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.sankaku.kit.ac.jp/</p>					
大学名	大阪大学				
学長名	平野 俊夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	12.6 %	総教員数	3116名中	女性教員数	392名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>男女共同参画について、中期目標においては「大学の多様な諸活動を支えるため、教職員人事の活性化と人事制度の柔軟な運用を推進する」と記載されているとともに、中期目標においては「男女共同参画や障害者雇用など社会が求める雇用の環境改善に努め、多様な人材を確保する」と記載している。</p> <p>これらを踏まえ、平成24年4月には「大阪大学男女共同参画推進基本計画」を策定し、性別を問わず有能な人材がその能力を最大限発揮できる大学づくりに向けて、女性研究者の積極的な採用・昇任や、そのための環境整備や意識啓発に取り組んでいるところ。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>○昨年度からの新たな取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の取組を学内外に広報する「男女共同参画だより」を発行(平成24年9月～)。 ・新たに3施設目となる学内保育園(まちなね保育園)を開園(平成24年10月)。 ・シンポジウム・研修会等開催時における臨時託児室の設置を推奨(平成25年3月)。 ・ロールモデル集を作成(平成25年4月)。 <p>○現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪大学男女共同参画基本計画」に基づく施策の着実な実施。 ・特に、環境整備だけでなく、大学の全構成員に対する意識啓発にも重点を置く必要がある。 					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity</p>					

大学名	大阪教育大学				
学長名	長尾 彰夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	23.9 %	総教員数	259名中	女性教員数	62名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>大阪教育大学では、第2期中期計画において、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」として、男女共同参画推進への対応として「女性等の能力の一層の活用など多様な人材の大学教員の任用に努める」としています。総合的な男女共同参画推進の取組は、第2期中期期間中に責任ある推進体制を構築し、大学の指標とすべき指針とその行動計画を作成した上で個別懸案に対応することとしています。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>第1期中期における本学の男女共同参画推進状況を分析し、第2期中期では、男女共同参画の計画的推進を充実させるため、昨年度は以下の取組を実施した。</p> <p>○昨年度、2012年2月14日に策定した男女共同参画行動計画の周知のため解説小冊子を作成し、全教職員に配布した。</p> <p>○ジェンダーの視点を取り入れた教育研究活動を奨励するため、男女共同参画に関連した教育活動・研究活動及び実践活動に対する助成事業(学内向け)を新たに行った。</p> <p>○現状に対する課題</p> <p>策定した行動計画に沿って如何にアクションを起こし、実現させていくか。また、有効な教育・啓発活動の方略について検討し、継続的な実施を行うことが今後の課題である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/jinji/danjokyodosankaku11.html</p>					

大学名	兵庫教育大学				
学長名	加治佐哲也				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	21.8 %	総教員数	156名中	女性教員数	34名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標・中期計画に特に組み入れてはいないが、21年度に策定した「兵庫教育大学男女共同参画推進基本方針」に沿って順次対応を進めている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成22年度、育児休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、関係規定の改正を行った。また、男女共同参画に関する意識啓発について男女共同参画推進室を中心に検討を行い、平成23年度に、男女共同参画に関するウェブサイトを公開し、男女共同参画の推進に努めている。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.hyogo-u.ac.jp/gender/index.php</p>					

大学名	神戸大学				
学長名	福田 秀樹				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.9 %	総教員数	1513名中	女性教員数	226名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画への対応は、大きく以下の4項目である。①教職員の人的構成における男女格差の是正、②大学運営における意思決定への女性の参画拡大、③研究・教育・就労・修学と家庭生活との両立支援、④地域や国際機関との連携を含んだ男女共同参画に関する教育、広報・啓発活動、であり、具体的な取り組みは次の通りである。①は、神戸大学全体で女性教員の採用比率30%という目標を掲げ、女性教員比率の向上に努める。中でも理工農学系の女性教員の採用については、一定枠を設け、女性限定の採用を行っている。②は、男女別、職階別データをHP上で公開するなど、ジェンダー統計の整備・公表を進めている。③については、「常勤パート研究職制度」「子育て中の男女研究者支援制度」「ベビーシッター割引券配布／派遣料金の一部を補助するサービス」等の両立支援制度(サービス)を、より多くの構成員が利用できるように適宜内容の整備・見直しを行う。④については、男女共同参画をテーマにした授業の開講、定期的なニュースレターの発行、ユネスコと連携した国際シンポジウムを開催している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>【新たな取り組み】</p> <p>①神戸大学の女性研究者採用比率の目標値を20%から30%に見直した(2012年5月24日 教育研究評議会決定)、②「ベビーシッター派遣料金の一部を補助するサービス」の見直しを行い、利用できるサービスに5限目の授業および休日業務を加えた、③本学が取り組む男女共同参画活動のより一層の理解を進めていくために、各部局、教職員を対象に「男女共同参画活動に関する説明会」を実施した。学長補佐による「各部局への男女共同参画実施状況調査(ヒアリング)」を行い、課題を析出中である。</p> <p>【現状に対する課題】</p> <p>①「男女共同参画に関する部会」体制の整備や、各部局で行う「男女共同参画活動に関する説明会」などを通して学内の意識啓発は以前より進んだが、まだ十分とは言えない。効果的な方法を今後も検討していく必要がある。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/</p>					

大学名	奈良教育大学				
学長名	長友 恒人				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	20.2 %	総教員数	114名中	女性教員数	23名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>教育研究組織の柔軟かつ機動的な編成・見直しや人事制度の改善、それらの実効性を担保するための戦略的な学内資源配分など組織運営の改善に関する目標のため、男女共同参画基本方針および次世代育成支援行動計画を計画的に推進し環境改善を進めていく。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学は、人権教育を積極的に推進してきた歴史があり、男女共同参画社会作りについては、ハラスメントの防止及び対応に関する指針に規定し、実現に努めているところである。教職員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境をつくることにより、次の世代を担う子どもたちが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図ることを目的に次世代育成支援行動計画を策定している。今後さらに、大学として具体的な取組みを計画的に推進し、男女共同参画、育児支援等の環境改善を順次進めていく。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.nara-edu.ac.jp/guide/gender.html</p>					

大学名	奈良女子大学				
学長名	今岡 春樹				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	33.2 %	総教員数	208名中	女性教員数	69名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>本学の基本理念に基づく大学の基本的な目標として、「社会のリーダーとして男女共同参画社会の実現に貢献し活躍する女性人材を育成するとともに、女性のライフサイクルに配慮した教育、研究環境の整備、女性教員比率の向上を図り、男女共同参画社会実現の先行モデルとなる」と定め、教育に関する目標においても、「教養教育・専門教育・キャリア教育等の体系的連携を推進し、社会のリーダーとして活躍できる豊かな人間性を備えた女性人材育成のための教育を実施する」と定めている。</p> <p>これらの目標の下に、男女共同参画の一層の推進のために、平成23年5月に次の5つの男女共同参画の基本方針を定めている。</p> <p>1) 女性人材の育成の促進、2) 学生及び教職員の学習・研究・職業生活と私的生活の両立支援、3) 教職員の雇用等における男女の均等な機会と待遇の確保、4) 男女共同参画社会形成のための意識改革、5) 男女共同参画推進体制の整備・強化。男女共同参画推進に関する目標を達成するための具体的方策を掲げ、男女共同参画推進機構に於いて4本部体制でこれを推進している。特に、教職員の人事に関しては、第2期中期目標・中期計画として「女性教員比率を30%以上にする」という数値目標を定め、平成25年5月現在33.5%に達している。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成24年12月に、「男女共同参画推進室」を従来の4本部体制を維持した上で、「男女共同参画推進機構」に改編し、大学における男女共同参画推進の取組みの重要性を一層明確に位置づけた。</p> <p>4本部のうち、「キャリア開発事業本部」では、実践的講義、職業人との交流を通じて社会に於ける付加価値を高めた女性ポストドクターを涵養し、平成24年度より女性ポストドクターの長期インターンシップ派遣を開始した。平成24年度は9名を派遣し、平成25年度は現時点で11名の派遣が確定している。多様な生き方、働き方に対する視野を広げ、「キャリアの壁」を打開した高度職業人の育成・輩出を目的とした活動である。今後の課題は、インターンシップ体験者の高度職業人としての定着率を高めるための取組みを進めることである。</p> <p>また、「女性研究者共助支援事業本部」では、子育て支援システムの改善に取り組み、平成24年度より附属幼稚園・附属小学校での一時預かりの本格的実施を開始し、非常に高い利用実績を挙げ、このような取組みに対する社会的要請の高いことを改めて確認した。また、学生・院生を対象とした育児奨学金制度を開始した。今後の課題としては、奨学金制度が上記高度職業人育成にも寄与するような柔軟な利用制度策定など、利用資格の見直しなどが挙げられる。</p>					
<p>男女共同参画に関する取組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://gepo.nara-wu.ac.jp/</p>					

大学名	奈良先端科学技術大学院大学				
学長名	小笠原直毅				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	9.5 %	総教員数	190名中	女性教員数	18名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>本学の第2期中期目標としては「男女共同参画を推進する」とし、その具体的な取組みとして中期計画では「男女共同参画室を中心として、学生・ポストドクを含む女性研究者のキャリア教育、女性研究者・女性職員が活躍できる環境整備、けいはんな地区の女性研究者ネットワーク形成等」に取り組み、男女共同参画を推進する」としている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>本学においては、平成21年度～23年度の間は、主に女性研究者支援モデル育成事業により、男女共同参画推進事業を行ってきた。</p> <p>この間、本事業では、女性研究者のワークライフバランスを向上させ、その結果として、研究成果の生産性の向上や、女性研究者のキャリアアップの加速を目指し、全学的男女共同参画支援、女性研究者支援、意識啓発・情報交換などの諸活動を行ってきた。</p> <p>平成24年度は同事業が終了した直後の年度であったため、これまでの支援事業活動をどのように進めていくかが大きな課題となっており、新たに取組んだ事業はないが、本学で学内経費を措置し、ほぼ全ての支援事業活動を平成24年度以降も引き継ぐことになった。</p>					
<p>男女共同参画に関する取組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.naist.jp/gender/index.html</p>					

大学名	和歌山大学				
学長名	山本健慈				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	18.8 %	総教員数	303名中	女性教員数	57名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応 教職員の男女共同参画に対する意識と状況を的確に把握し、本学にふさわしい男女共同参画推進を目指している。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題 男女共同参画基本方針を作成し公表した。					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://www.wakayama-u.ac.jp/equal/					

大学名	鳥取大学				
学長名	豊島 良太				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15.7 %	総教員数	741名中	女性教員数	116名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応 第2期中期計画において「男女共同参画基本計画の趣旨を踏まえ、大学における男女の対等な参画をより一層推進する。」ことを掲げており、短時間勤務制度の活用等による多様な働き方を工夫するとともに、研修を充実させ職員の能力向上を促進するため、男女共同参画推進室等において女性教員の雇用増加につながる支援対策、育児支援に関する制度の周知等の啓発活動を行うこととしている。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題 【取組】 ・男女共同参画推進室のコーディネーターとなる専任教員を雇用 ・育児・介護等のライフイベント中の女性研究者に対して、研究支援員を配置 ・ホームページをリニューアルし、女性研究者が必要とする育児・介護に関する支援を広く検索するための手段を提供 ・男女共同参画に関する意識啓発を行うことを目的として講演会、セミナー、及び研修会を開催 ・男女共同参画推進室専任教員を相談員として、相談窓口を開設 【課題】 ・女性研究者の採用人数及び上位職女性研究者を増加させる取り組みとして、部局ごとに女性教員採用目標の設定					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/					

大学名	島根大学				
学長名	小林 祥泰				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.8 %	総教員数	748名中	女性教員数	133名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
平成20年に設置した男女共同参画推進室が、男女共同参画推進委員会と連携し、本学の男女共同参画推進・女性研究者支援事業を進めている。また、仕事と家庭の両立支援のための学内環境の整備に取り組んでいる。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、教職員を問わず、男女共同参画推進やワーク・ライフ・バランスについての提案や要望の収集、意見交換等を行う「さぼっとカフェ」を開催した。 ・先輩女性医師からの経験に基づくロールモデルの紹介などを通じて、将来医師を目指す学生、出産・育児を経ながら働くことを目指す医師への意識啓発及び交流の場として、島根県医師会との共催で「男女共同参画フォーラム ―医学生、研修医等をサポートするための会―」を開催した。 ・女子学部生の大学院進学支援の一環として、女子大学院生と女子学部生の交流会「島大女子会」を開催した。 ・各種取組により、男性の育児休業や年次休暇取得日数が増加したことが評価され、平成25年1月に、島根県では6例目となる『子育てサポート企業』に認定され、「認定マーク“くるみん”」を取得した。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://gender.shimane-u.ac.jp/					

大学名	岡山大学				
学長名	森田 潔				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.2 %	総教員数	1285名中	女性教員数	182名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>以下のとおり、優秀な人材の確保・育成という観点から、男女共同参画推進への対応を行っている。 [中期目標]</p> <p>優秀な研究人材の確保・育成に関する目標：優秀な若手研究者の確保及び育成制度を充実させるとともに、女性研究者、外国人研究者等多様な人材が活躍しやすい環境を整備する。 [中期計画]</p> <p>優秀な研究人材の確保・育成に関する具体的方策：育児・介護等にあたる研究者のニーズを踏まえ、サポートグループ等による研究サポート体制を構築するとともに、保育施設の整備等を促進する。 人材の確保、人材の養成など</p> <p>についての計画：教員については、広く公募することを原則都市、テニユア・トラック制の導入、女性研究者や外国人研究者の研究サポート体制の構築などにより、優秀な人材の確保及び養成に努める。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>[昨年度からの取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀な女性教員増加の目標達成に向け、WTT(ウーマン・テニユア・トラック)教員制およびWTT教員の研究活動を学内に広く周知するため、WTT教員研究発表会を実施。また、WTT教員雇用ポスト(助教)確保にあたり、各部署におけるテニユアトラック制導入についてヒアリングを実施。 ・女性サポート相談室において、メンタルヘルス研修を実施し、多面的な支援活動を実施。 ・男性教職員のワークライフバランスの向上を目的としたイベントの開催 <p>[現状に対する課題]</p> <p>女性教員比率の向上、大学運営における意志決定組織への女性の参画、女性管理職員の増加など改善すべき課題も多々あるが、意識改革は進みつつある。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/index.html					

大学名	広島大学				
学長名	浅原 利正				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.7 %	総教員数	1785名中	女性教員数	263名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>教職員のワークライフ・バランスを推進し、大学運営における意思決定の場に女性を積極的に登用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と生活が両立できる多様な制度を整備・充実し、それを活用しやすい環境を創出する。 ・女性教員割合を14%程度にするとともに、女性管理職の割合を高くする。 					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>新たな取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内保育施設における待機児童を解消するため、保育士を増員して解消に努めた。 <p>現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識改革及び取組み状況をより一層学内へ浸透させ、女性教員割合及び女性管理職の割合を高くする。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku/					

大学名	山口大学				
学長名	国立大学法人山口大学長 丸本 卓哉				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14 %	総教員数	942名中	女性教員数	132名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標・中期計画の中で、「男女共同参画社会の実現を目指して、女性職員がその能力を最大限に発揮できる取組を推進するとともに、職場環境の向上を図り、優秀な人材を確保する。」という中期計画を掲げている。そのもとで、平成25年度は「男女共同参画推進室において、女性職員の就業支援、職場環境の充実及びワークライフバランスの支援を推進する。」という年度計画を策定し、具体的に検討している。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進及びハラスメント対策については、従前は「イコール・パートナーシップ委員会」において取り組んできたが、男女共同参画に関する取組をより充実させるために、学内有識者の協力を得て、「男女共同参画推進室」を平成24年12月に設置した。同推進室では、ワークライフバランス支援等の実施を検討し、職場の就労環境の充実を図り、優秀な人材の確保について検討・推進することとなった。 ・組織の活性化をより推進するため、新たに副課長級1名、係長級3名の学内女性事務職員を登用し、今年度においては課長級2名、副課長級6名、係長級29名の女性事務職員を配置した。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
なし					

大学名	徳島大学				
学長名	香川 征				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	18.1 %	総教員数	965名中	女性教員数	175名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>○研究実施体制等に関して、「世界的水準の研究拠点及び若手研究者を中心とする未来発達型研究拠点等の形成のため、研究体制を整備する。」ことを目標とし、これを達成するため、「優秀な研究者を採用するとともに優れた若手研究者・女性研究者・外国人研究者を育成する。」こととしている。</p> <p>○組織運営の改善に関して、「大学の理念、基本構想を実現させる優秀な教職員を確保する。」ことを目標とし、これを達成するため、「教職員の個性と能力を十分に発揮させるため、男女共同参画を推進する。」こととしている。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>○工学系女性研究者特別プロジェクトとして、学長裁量経費により工学部に女性助教2名を配置した。</p> <p>○蔵本キャンパスの女性職員休憩室に続き、常三島キャンパスに子育て支援室を新設した。</p> <p>○徳島大学AWA(OUR)サポートシステムをさらに推進し、地域に普及するため、徳島大学が拠点となって徳島県内の他大学、企業および地域・行政機関等と連携して女性研究者支援活動の輪を拡げる取組を行うこととした。</p> <p>○これまでに構築してきた男女共同参画推進の取組により、男女を問わず、優秀な教職員の確保や研究業績の向上、女性研究者の上職位への登用等、実効性のあるポジティブ・アクションを推進することが重要である。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.awasapo.tokushima-u.ac.jp/					

大学名	鳴門教育大学				
学長名	田中 雄三				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	20 %	総教員数	155名中	女性教員数	31名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>男女共同参画推進のため、効果的な意識啓発、支援制度の周知に努めるとともに、本学に必要な施策を講じる。</p> <p>平成26年3月に終期を迎える、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の見直しを行う。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
・休日勤務(入学試験等)に伴う託児サービスの実施					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.naruto-u.ac.jp/information/05/005html					

大学名	香川大学				
学長名	長尾 省吾				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	17.7 %	総教員数	639名中	女性教員数	113名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標・中期計画における業務運営改善及び効率化に関する目標として、「ジェンダーバランスを考慮した多様な人材の登用により、組織を活性化する」をあげており、目標達成にむけて「男女共同参画を推進するため、女性教職員の採用及び管理的職種への登用を積極的に行う」ことを措置として実施している。</p> <p>目標に達していない部局については、女性教員の増員に向け、5か年計画を立て、部局ごとに取り組みを進めている。平成22年度より、ジェンダーバランスを配慮した採用を実施している旨を公募要項に記載し、大学ホームページ等でも広報した。平成23年度に、教員の退職について人件費適正化にむけ不補充期間を設けたが、女性限定公募を実施する部局についてはそれを免除し、女性限定公募への理解を促した。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>新たな取組として、平成24年度は、①公募要項へ女性優遇に関する表記、②女性教員の少ない部局の希望に応じて、女性教員の限定公募を実施(工学部・経済学部・保健管理センター)、③教員のポイント制の導入に当たり、女性限定公募については、ポイント制を除外 ④女性教員を採用した部局には、インセンティブ経費(研究費)を配分、⑤採用された女性教員に対してもスタートアップ研究費を配分、⑥大学独自の女性限定のテニュアトラック制を実施(平成25年度農学部において公募中)を行った。</p> <p>女性の管理職的職種への積極的な登用については、課題が残っており、改善に向けてヒアリング調査を実施する予定である。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/index.html					

大学名	愛媛大学				
学長名	柳澤康信				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	13.8 %	総教員数	849名中	女性教員数	117名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>「愛媛大学における男女共同参画を推進するための提言」に基づき、理系学部等における女性教員の採用拡大と女子学生の拡充、仕事と家庭の両立支援、啓発活動等について年次計画を策定し、男女共同参画を推進している。平成24年度年度計画における研究者の配置と育成に関する目標を達成するための措置では、女性研究者数拡大のため、ポジティブアクションを推進した。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>平成24年4月1日からダイバーシティ推進本部を設置し、その中の構成組織として、男女共同参画室、女性未来育成センター、高齢者雇用推進室、障害者雇用推進室を置き、多様な人材の活用について一体的に全学体制で取り組んできた。なお、平成25年4月1日からは、更に実働組織として機能していくよう、男女共同参画室を女性未来育成センターに統合し取組を継続推進している。環境整備としては、重信キャンパス保育所での定員増員及び放課後学童保育が開始された。また、昼食時にセンター長と対話する「だべりんぐタイム」や女性の為のキャリア相談を行う「ひめルーム相談室」など、気軽に交流や相談ができる機会を設け、女性職員や子育て世代の男性職員からも支持されている。女性未来育成センターの活動によって、学内でも気運が高まり、医学部では女性医師及び女性研究者が長くキャリアを築ける環境をサポートする組織「あいサポート」が立ち上がり、また、地域の男女共同参画関連機関との協働イベントや交流も行っている。現状の課題としては、離れた3つのキャンパスの連携強化、男女共同参画についての講義の拡充などがあげられる。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://hime.adm.ehime-u.ac.jp/					

大学名	高知大学				
学長名	脇口 宏				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.8 %	総教員数	659名中	女性教員数	111名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>第2期中期目標 優秀な人材を確保し・育成して組織を活性化するために、職場環境及び各種制度を整備・充実する。</p> <p>第2期中期計画 次世代育成支援に係る各種制度やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた職場環境を整備・充実し、これらの取組をもとに次世代育成企業認証を取得する。</p> <p>平成25年度計画 平成24年度に採択された女性研究者研究活動支援事業に基づき、特に「育児・介護支援」における課題に対する各種方策を検討し、順次実施する。また、平成22年度に取得した高知県次世代育成企業認証の更新取得する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動支援事業に採択(H24.8) ・仕事と生活の両立、女性のキャリア形成のための相談コーナーを開設(H24.12) ・研究支援員制度、力仕事サポーター制度を開始(H25.1) ・女性研究者支援キックオフシンポジウム「自分も幸せに、みんなも幸せに暮らせる社会づくり」(H25.2) ・共通教育科目「男女共同参画社会を考える」の開講(H25.2) ・高知大学における男女共同参画に関する意識調査を実施(H25.2) ・リーフレット「仕事とプライベートのハーモニー 安心して働くための休暇制度のご案内」を発行(H25.2) ・ワークライフバランス講座の開始(H25.2) ・ロールモデル講演会の開始(H25.2) ・男女共同参画推進室(しあわせふんたん)ホームページの開設(H25.3) 					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.kochi-u.ac.jp/sankaku/</p>					
大学名	福岡教育大学				
学長名	寺尾 慎一				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	22.4 %	総教員数	196名中	女性教員数	44名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>次世代育成支援と男女共同参画の推進に向けて、教職員の採用・登用及び就業支援に関する取組体制を充実させる。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>育児・介護支援及びワーク・ライフバランスを推進する。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.fukuoka-edu.ac.jp/view.rbz?of=1&pnp=14&ik=0&cd=326</p>					

大学名	九州大学				
学長名	有川節夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	11.6 %	総教員数	2328名中	女性教員数	271名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>第2期中期計画には「学術研究活動の高度化を促進するために、戦略的見地に立った公正で透明性の高い人事を遂行し、優秀な研究者を確保する。また、女性研究者比率を10%以上に増加させる。優れた若手研究者・女性研究者を養成するために、組織的支援体制を強化する。」と記載している。</p> <p>また、平成22年度に男女共同参画の基本方針・基本施策を具体的に記載した「九州大学における男女共同参画」を新たに策定し、男女共同参画推進に取り組んでいる。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進室を充実させるため、平成25年度から室員の選出方法を変更し、各部局から選出することとした。 ・女性教員の増加を目的として、従前から部局への予算配分において傾斜配分の項目に部局の女性教員比率を加えていたが、大規模部局に対しては効果が少なかったため、それを改善するため、平成25年度から直接的な効果が期待される女性教員の採用人数実績を傾斜配分項目に加えることとした。 ・平成22年度に策定した「九州大学における男女共同参画」(22年度～27年度)に係る過去3年間の取組、進捗状況等について中間評価を実施し、今後の推進に向けての課題、施策等について検討しているが、平成21年度から実施している補助金による「女性研究者養成システム改革加速」事業が来年度から自主的取組となるため、その実績を踏まえた継続が求められている。 					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/ (男女共同参画推進室)</p> <p>http://sofre.kyushu-u.ac.jp/ (女性研究者キャリア開発センター)</p>					

大学名	九州工業大学				
学長名	松永 守央				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	6.2 %	総教員数	371名中	女性教員数	23名
<p>第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応</p> <p>教員を採用する際、広く公募を行ない、女性の採用を促進しているところではあるが、工学系の専門分野の現状から女性研究者の応募が少ないという困難な面もあり、引き続き、女性教員が活躍できる環境づくりに取り組んでいくとともに、女性教員の確保に努めることとしている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>昨年度から新たに取り組んだ主な内容は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性研究者ネットワークW3(ダブルキュービック)との共同主催で、女性研究者・技術者の研究活動の促進及び次世代女性研究者の育成を目的とした理工系女性研究者シンポジウムについて、平成25年度に学内で実施することを決定した。 ・資生堂との共同主催で、女性科学者の活躍を身近に感じてもらうこと等を目的としたサイエンスカフェについて、平成25年度に学内で実施することを決定した。 ・一般社団法人明専会(本学OB組織)との共同主催で、在学生と社会で活躍されている本学OGとのフリーディスカッションによる交流を目的とした明専女子塾を実施した。 <p>また、女性教員の比率が低いという現状の課題に対し、引き続き、女性教員が活躍できる環境づくりに取り組んでいくこととしている。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.kyutech.ac.jp/information/gender/</p>					

大学名	佐賀大学				
学長名	佛淵 孝夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15.7 %	総教員数	669名中	女性教員数	105名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>男女共同参画の推進に関する目標 男女共同参画の理念に基づく教育研究・職場環境を整備する。 男女共同参画の推進に関する目標を達成するための措置 男女共同参画の基本方針を踏まえ、男女共同参画を推進する体制を整備し、教育研究環境の整備を進める。</p> <p>研究環境の整備に関する目標 競争的研究環境の醸成と多様な研究者が活躍できる環境を整備し、研究全般の活性化を図る。 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置 女性研究者が働き易い研究環境を整備し、女性研究者を支援する事業を展開する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成23年度で終了する女性研究者支援事業「三世代サポート型佐大女性研究者支援」の成果の検証を行い、検証結果に基づき、平成24年4月以降の男女共同参画の事業及び推進体制を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性研究者支援室で展開している3つの事業(キャリア支援、育児支援、介護支援)は、「ワーク・ライフ・バランス」事業、「キャリア支援」事業及び「意識啓発・広報」事業の3事業として再編する。 ・新たに再編される3つの事業は、男女共同参画推進委員会の下で推進することとし、そのため、同委員会の下に、「男女共同参画推進室」を設置し、事業実施体制を整備した。 <p>今後は、男女共同参画推進委員会とその事業実施組織である男女共同参画推進室、並びに部局の男女共同参画実施組織が有機的に連携し、男女共同参画推進の具体化にどうつなげていくかが課題。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.saga-u.ac.jp/geo/index.html</p>					

大学名	長崎大学				
学長名	片峰 茂				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.8 %	総教員数	1103名中	女性教員数	185名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>中期目標では「①男女共同参画推進のための啓発活動を行うとともに、男女共同参画を担当する職員を配置し、女性教員によるメンター制度を導入して、業務と家庭の両立支援や相談体制を整備する。」及び「②教員の新規採用に際しては、女性採用率30%を達成する。」の2項目を掲げている。</p> <p>①については、昨年度3週間の試行を実施した学内学童保育について夏休み中5週間の本格実施を行い、参加児童数は延べ330名超となる。研究支援員(テクニカルスタッフ)制度は引き続き継続しており、11名が現在制度を利用中である。メンター制度については過去の利用状況を検証の上、今後の更なる改善案を検討すべく全学の教職員及び大学院生を対象としたアンケートを実施予定である。また、女性研究者拡大の為にロールモデル集第Ⅲ版の発行及びオープンキャンパスへの出展を行い、意識啓発及びキャリア支援の為にセミナーを開催する。②については、各部局で女性教員新規採用30%を目指すことを基盤に、新学部での女性優先採用と各部局が拠出したポイントによる女性限定採用を行うなどして、女性教員新規採用30%達成を推進する。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>昨年試行実施した学内学童保育について関係各所より好評を得たことから本格実施となった。7月22日から8月30日までのお盆期間を除いた5週間実施し、児童数29名、保護者数25名の参加があり、述べ人数では332名(8月29日時点予定)の利用があり、来年度以降も継続実施となる見込みである。また、ロールモデル集第Ⅲ版を発行し、今回より理系のみではなく文系の研究者もロールモデルとして掲載した。学内の教職員を対象としたキャリア支援では、女性研究者を対象とした助成金について一覧表をホームページに掲載の上、今後、英語論文のセミナーを開催予定である。また、意識啓発の一環としてコミュニケーションに関する講演を講師招聘の上開催予定である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.cge.nagasaki-u.ac.jp/</p>					

大学名	熊本大学				
学長名	谷口 功				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16 %	総教員数	926名中	女性教員数	148名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>○中期目標「Ⅰ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標／2 研究に関する目標／(2) 研究実施体制等に関する目標／1) 質の高い研究及び基盤的研究を推進するため、人材を確保・育成する体制を整備・強化する。」ための措置の一つとして、「女性教員の積極的参画を実現するため、熊本大学男女共同参画推進基本計画を推進する。また、女性教員の任用を促進し、中期目標期間中に女性教員の割合を概ね15%に増加させる。」こととしている。</p> <p>○中期目標「Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標／1 組織運営の改善に関する目標／2) 全学的に人材の多様性を高め、教育研究等の活動を活発に行うために、人事・給与制度改革を継続するとともに、男女共同参画を推進する。」ための措置の一つとして、「男女共同参画推進基本計画に基づく事業の組織的推進を継続して、男女の機会均等の実現や、政策・方針決定過程への女性の参画を拡大する。」こととしている。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>【新たな取り組み】 学会等の開催に伴う託児事業において、対象を大学院入試及びセンター試験まで拡大し、教職員の利便性を高めた。 平成25年2月22日、基準適合一般事業主として認定され、「くるみんマーク」を取得した。</p> <p>【現状に対する課題】 継続的に男女共同参画に係る取り組みを実施するための財源を確保する。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://gender.kumamoto-u.ac.jp/					

大学名	大分大学				
学長名	北野 正剛				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	16.2 %	総教員数	582名中	女性教員数	94名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>本学の中期計画には、「大学の更なる発展に向けて、男女共同参画の推進及び国内外の優秀な人材の確保を目指す。」と掲げており、より積極的に推進するために、従前の男女共同参画推進体制を全面的に見直し、平成25年4月から「女性研究者サポート室」を「男女共同参画推進室」に改編して人員も強化するとともに、男女共同参画行動計画(第2期)を策定し、男女共同参画推進の対応を行っている。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>男女共同参画を推進するため、以下の取組を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・且野原キャンパスの一角に「男女共同参画推進本部棟」を新設するとともに、この本部棟の開所記念行事として、一般公開セミナーを実施し、本学の取組の地域への周知を図った。 ・各階層を対象とした男女共同参画等に関する意識調査を実施した。学内では、研究者(大学院生を含む。)だけでなく、全学部学生や職員、さらには、学外の一高等学校の協力を得て、1, 2年生全員を対象とした調査を実施し、今後の活動の基礎資料を得るとともに、新たな啓発誌を作成した。 ・挟間キャンパスでの実施を検討していた「病児保育」は、学内関係者の理解を得て、新たな施設に規模を拡大し、さらに、受入児の病状を制限しないという画期的な内容で実現した。 ・現状に対する課題としては、男女共同参画行動計画(第1期)に掲げた女性教員比率(20%)の数値目標が達成できていないことであり、このため、平成24年11月に本学独自の女性教員増加策である「ミッションコンプリート案」を策定し、平成25年度から実施することとした。 					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.fab.oita-u.ac.jp/					

大学名	宮崎大学				
学長名	菅沼 龍夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	15.1 %	総教員数	654名中	女性教員数	99名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
教員の採用や配置に当たり、女性の比率を考慮した教員構成の多様化や、女性等の能力の一層の活用に努める。					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成「逆風を順風に 宮崎大学女性研究者支援モデル」(平成20～22年度)の事業期間終了後、学長裁量経費により取り組んでいた女性研究者支援ならびに男女共同参画推進事業について、平成24年度からは大学運営費交付金で実施している。</p> <p>平成24年8月に大学初の試みとして、教職員・学生の児童(小学1～6年生)を対象とした学童保育「宮崎大学きつずサマースクール」を実施し、好評を得た。すでに行っている学内保育所の運営、女子高校生を対象としたサイエンス体験講座などとともに、連続性のあつる次世代育成の取組が実現しつつある。</p> <p>既存の取組を現状・成果を踏まえ、さらに全学的な男女共同参画推進を実現するため、男女共同参画基本計画の策定に取り組んだ。今後は、同計画に基づいた取組を進めることによる働きやすい・学びやすい宮崎大学の実現を目指す。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/					
大学名	鹿児島大学				
学長名	前田 芳實				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.3 %	総教員数	1106名中	女性教員数	158名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>中期目標:「学長のリーダーシップ機能を高め、戦略的かつ機動的な大学マネジメントを行う。」</p> <p>中期計画:「男女共同参画事業を推進するために、組織体制の整備や行動計画の策定等を行う。」</p> <p>平成22年1月に策定した男女共同参画基本理念及び行動指針を受けて、平成23年3月に男女共同参画推進に係る長期(10年)及び短期(3年)行動計画を策定し、戦略的計画的に男女共同参画の推進を図っているところである。</p> <p>また、平成23年度に採択になった文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」により女性研究者の採用・登用増に向けた取組のほか、女性研究者支援及び次世代女性研究者育成等に係る取組を推進している。</p>					
貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題					
<p>平成24年度9月に部局・学内共同教育研究施設等が「部局等における男女共同参画推進に係る方針等」を策定し、短期・中期的スパンの男女共同参画推進に関する目標・計画を策定した。さらに平成25年度から男女共同参画推進センターを3部会体制にして、事業の企画立案・実施を機動的に行うとともに、各部局に男女共同参画担当責任者(副部局長等)を配置することにより、センターと各部局との連携強化による男女共同参画推進体制の強化を図った。</p> <p>また、女子中高生の理系進路選択支援事業として、理系5学部(理・工・農・水産・共同獣医)による「女子中高生のための鹿大科学体験塾～理系女子(リケジョ)ってカッコイイ!」を実施した。</p> <p>文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」が平成25年度で終了することとなり、事業終了後の女性研究者支援を含めた男女共同参画推進事業やその推進体制のあり方について検討することとしている。</p>					
男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL					
http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/					

大学名	鹿屋体育大学				
学長名	福永 哲夫				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	11.1 %	総教員数	63名中	女性教員数	7名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>本学の第2期中期目標・中期計画においては、女性教職員の登用や教員構成の多様化等に取り組むこととしている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>平成20年度に基本方針を定め、平成21年度は同方針を具体化するための行動計画を策定した(H22.1.21日付け)。平成22年度からは女性研究者支援についても検討を開始し、平成23年度は文部科学省が募集する「女性研究者研究活動支援事業」に応募したが採用されなかった。体育の分野はもともと女性が少ないこともあり、女性研究者数の増加は依然困難な状況であるが、平成25年度に入り改めて女性研究者支援検討会を再開し、女性大学院学生等との意見交換会を実施するなどの取り組みを行っている。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.nifs-k.ac.jp/outline/summary/gender.html</p>					

大学名	琉球大学				
学長名	大城 肇				
平成25年5月1日現在の女性教員比率	14.8 %	総教員数	831名中	女性教員数	123名
第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応					
<p>国立大学法人琉球大学中期計画、研究実施体制等に関する目標を達成するための措置に、「若手研究者、女性研究者及び外国人研究者を支援するシステム及び若手研究者育成プログラムを整備する。」とある。さらに、人事に関する計画の人材育成方針に、「男女共同参画室を中心に女性教職員の環境整備・人材育成を行う。」と記載されている。</p> <p>これらの中期目標・中期計画達成のために、男女共同参画室では、下記に示すように、琉球大学うない研究者支援センターを中心に、女性研究者の積極的採用に向けた取り組みや女性研究者研究活動支援を行っている。さらに女性研究者だけでなく、すべての教職員の働く環境整備につながる次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画等の取り組みも行っている。</p>					
<p>貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題</p> <p>●平成24年度からの新たな取組み 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択されたことを受け、男女共同参画室の下に、「うない研究者支援センター」を設置した。同センターに、コーディネーター及び事務補佐員を配置し、研究補助員配置制度、インセンティブ経費の配分、英文校閲・国際学会派遣費用助成事業、スキルアップセミナー、女性研究者のネットワークを構築するためのゆいカフェ、附属図書館における“うない文庫”の常設、育児や介護に関するガイドブックの作成、キックオフシンポジウム、トップセミナー、附属小・中学校の児童を対象とした自然科学系分野の紹介等、女性研究者支援体制の整備・充実のために様々な取り組みや情報発信を進めてきた。</p> <p>●現状に対する課題 女性教員比率上昇に向けた取り組みを行っているが、自然科学系分野の女性教員比率は、依然として低い。そのため自然科学系部局の男女共同参画意識の推進をはじめ、実効性のある方策の検討が、今後の課題である。</p>					
<p>男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイトURL</p> <p>http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/（男女共同参画室） http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/（うない研究者支援センター）</p>					

C. アクションプランを踏まえた各大学の特に成果を上げた取組
 (※原則として大学からの報告をそのまま掲載している)

1. 男女共同参画の推進体制の整備について	
「筑波大学ダイバーシティ推進行動計画」は、男女共同参画を具体的に進めることを内外的に約した計画であり、本学の男女共同参画を中長期的に計画的に進める上で、その効果は非常に大きい。	(筑波大学)
男女共同参画推進委員会及び男女共同参画推進室(H25.7.18)が発足し、現在基本計画を作成中である。	(群馬大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・「女性研究者支援室」が改組され、「学生支援・保健管理機構 学生・女性支援センター 女性支援部」として常置化されたことにより、恒常的な女性支援を行う基盤が整った。 ・学内各部署の教員で構成する「女性支援専門委員会」が設置されたことにより、女性研究者のみならず、本学に所属する女性を支援する全学的な体制が整った。 ・「女性支援部」と「女性支援専門委員会」の活動を事務的にサポートする「キャリア・女性支援掛」が新設されたことにより、男女共同参画の推進に向けた取組を学内で実現化させるための機動力が高まった。 	(東京医科歯科大学)
平成25年3月に男女共同参画推進のための具体的方策の企画立案、実施に関する業務等を行うため、「男女共同参画推進室」を設置した。	(一橋大学)
平成25年4月に男女共同参画推進室を全学教育研究組織である男女共同参画推進センターに改組し、女性研究者の支援体制の更なる強化を図った。	(横浜国立大学)
「男女共同参画推進室」を学則上の組織とした。	(静岡大学)
平成24年10月:KIT男女共同参画推進センターの設置	(京都工芸繊維大学)
男女共同参画の実現を目指して、ワークライフバランス支援等を実施することにより、職場の労働環境の整備・充実を図り、もってより優秀な人材の確保等に寄与することを目的とし、平成24年12月に男女共同参画推進室を設置した。	(山口大学)
男女共同参画推進室を充実させるため、室員の選出方法を変更し、各部局から選出することとした。これにより各部局と緊密な情報共有が可能となり、各部局における積極的な取組が進んだ。	(九州大学)
組織体制の見直しにより、新たに設置した男女共同参画推進室においては、「男女共同参画キャリア部門」、「両立支援部門」及び「男女共同参画広報・地域連携部門」の3部門制を敷くこととした。これにより、従前と比較して2倍以上の教職員が部門委員として携わることになり、より大きな推進力が得られた。	(大分大学)
男女共同参画基本計画の策定 平成23年3月に提示された「宮崎大学における男女共同参画推進のための『菅沼プラン』」による取組をさらに展開することを目指し、基本計画の策定に取り組んだ。平成25年4月に策定した同計画では女性教員比率の数値目標を設定するなど具体的な取組を進める予定である。	(宮崎大学)
平成24年9月に、各部局及び学内共同教育研究施設等が男女共同参画推進に関する目標・行動計画に相当する「部局等における男女共同参画推進に係る方針等」を策定し、一部の部局においては、女性研究者増に向けたポジティブアクション(女性教員限定公募、女性教員に対するインセンティブの付与、プラスファクター方式による教員公募)の導入又は検討が盛り込まれ、女性教員の増が図られた。またその他男女共同参画推進に係る意識啓発や就業環境整備等に関する取組が掲げられるなどして、全学的な男女共同参画推進に向けた体制が整備されつつある。	(鹿児島大学)
男女共同参画の推進に向けて、平成24年2月にアクションプランを制定した。	(琉球大学)
2. 女性教員・研究者の拡大について	
女性教員比率向上のための促進策として、女性教員を積極的登用し、平成24年8月1日現在の女性教員比率に対して平成25年4月1日現在で2%以上増加が達成されたと認められる部局に対してインセンティブ経費を配分した。また、公募による採用又は女性教員比率向上を目的とした採用と認められる女性教員に対して、スタートアップ経費を付与した。	(秋田大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・大学・大学院説明会での男女共同参画ブース設置や改訂版リーフレットの作成・配布を通して支援活動の周知をさらに進めた。 ・男女共同参画に関する調査およびジェンダーに焦点をあてた理数科目に関する調査を実施し、女性の理数系 教員・研究者増加に向けた取り組みに活用開始した。 ・女性役員(理事・副学長)が1名増員した。 	(東京学芸大学)
新規採用教員の女性研究者割合が36.7%に増加した。	(横浜国立大学)
「女子学生のためのキャリアパスセミナー」を定期的に開催。卒業生に講師を依頼したことにより、ロールモデルと直接相談懇談ができる場として好評を得た。	(東京海洋大学)
教員公募要領に「業績等が同等であれば女性を採用する」と記載するとともに、女性限定枠を設け、教員公募を実施した結果、1名が採用された。セミナーの開催、オープンキャンパスでのパネル展示や交流会の実施、ロールモデル集の作成と配布等、女子学生・大学院生のキャリア形成支援と裾野拡大に向けて活動した。	(信州大学)

<p>・本学女性教員比率を2015年までに17%以上に引き上げるという目標達成のため、部局ごとに数値目標を定め、毎年度達成度を確認することとした。目標達成のために、工学部、応用生物科学部において、女性限定公募を実施した。</p> <p>・女性研究者のロールモデルを提供するため、「サイエンス夢追い人育成プロジェクト(女子大学院生による出前講義)」を継続して実施した。さらに、発展型として、出前講義に参加し研究に興味を持った理系の女子高校生を対象に、研究室見学会を実施した。</p>	(岐阜大学)
<p>大学の組織運営の改善・発展に関連した男女共同参画の推進により、平成25年4月には、2名の女性学部長、5月には、女性の学長補佐が就任し、大学運営に関与する女性管理職が登用された。</p>	(富山大学)
<p>他大学と共同開催で女子学生専用のオープンキャンパスを開催する。</p> <p>名古屋工業大学では、100名の定員でしたが、100名を超える応募があった。</p>	(名古屋工業大学)
<p>【提言2(4)】に関して、本学は夏に女子高校生向けのオープンキャンパス(理系志望者向け)を実施し、プログラムの中で、女子高校生と本学女子大学院生のグループディスカッションの時間を設定している。例年に比べ本学女子学生の人数を倍増した結果、女子高校生から「大学での研究や研究者の魅力などを具体的にイメージしやすくなった」という意見が多く寄せられ、次世代研究者の裾野拡大に寄与したと思われる。</p>	(神戸大学)
<p>女子学生に対して、研究職を身近に感じてもらい、将来の選択肢としてのキャリアパスイメージを醸成してもらうために、本学のキャリアセンターと連携して1泊2日の日程で研究機関見学会を実施。参加者のアンケート結果から高い満足度が示された。</p>	(鳥取大学)
<p>女性研究者拡大に向けた対策としては、平成25年度よりロールモデル集及びオープンキャンパスでのブース出展の際の対象を理系にとどまらず文系の研究者にまで広げたことで、より多くの反応が得られた。</p>	(長崎大学)
<p>平成25年4月1日付で女性副学長が就任した。</p>	(熊本大学)
<p>・平成24年度予算から開始した部局長裁量経費の傾斜配分による女性教員増加促進策(インセンティブ付与)により、着実に女性教員の採用が進んでおり、平成25年5月現在の本学における女性教員比率は17.3%と、前年同期より1.2ポイント増加した。</p> <p>・平成24年11月に策定した本学独自の女性教員増加策である「ミッションコンプリート案」は、全学部を対象に、教員定員の一部を強制的に学長預かりとするもので、学部にとっては厳しい策であるが、学内の合意が得られて、平成25年度から実施することとなり、女性教員の増加がより着実に進むことが期待できる。</p>	(大分大学)
<p>3. 就業環境の整備・充実について</p>	
<p>策定したポジティブ・アクションに基づき、育児等の両立支援策を実施した。</p>	(北海道教育大学)
<p>・短時間で勤務可能な医員制度は、従来、小学校就学までのお子さんの養育している医師を対象としていたが、小学校3年生まで拡大した。</p> <p>・妊娠中の医師・医学生に「マタニティ白衣」の貸出を行った。従来はそれぞれ購入していたが、使用期間が限られていることから「レンタルできるシステムがあったらいい」というご要望があり開始したところ、好評を得ている。</p> <p>・常勤職員(教員及び看護職を除く)を対象とした産前・産後の特別休暇を取る職員の代替措置として、期間雇用職員の雇用する制度を導入した。</p>	(旭川医科大学)
<p>育児期や介護期にある本学に勤務する女性研究者および女性研究者を配偶者にもつ男性職員を対象に、「研究支援員」を派遣し、ワーク・ライフ・バランスを図った。延べ7名が利用し、この支援が論文掲載や外部資金獲得につながった。</p>	(弘前大学)
<p>医学部保育所に次ぐ2つ目の保育所の設置が決定した。平成26年4月開所の予定である。</p>	(山形大学)
<p>平成25年度女性研究者研究活動支援事業に申請し、採択された。</p>	(宇都宮大学)
<p>・ライフイベント時の支援として、サポート要員を配置する制度をH24年度から本格稼働させ、人的サポート体制の向上をはかった。女性特有の悩みにアドバイザーが対応できるようにした。</p> <p>・大学の育休規定を改定し早期復帰の申出に対応する手続きを規則の中で明記したことにより、非常勤職員の煩瑣な事務手続きを女性研究者支援機構がサポートし、早期職場復帰を実現させることができた。</p> <p>・本学内で開催する学会、セミナーやイベントにおいて、授乳・オムツ替えスペースを設置した(ポスターに明記)。多くの利用者があった。</p>	(東京海洋大学)
<p>メンター制度の利用者対象枠や病後児保育利用補助制度の対象サービスを拡大し、制度利用を促進した。女性教員の会で競争的資金獲得のための説明会を実施し、獲得に向けた具体策の共有や情報交換が促された。</p> <p>女性教員の交流会や子育て中の教職員の交流会を実施し、学内ネットワーキングを促進した。</p>	(東京学芸大学)

<p>平成23年度より、学内研究者の産休育休明け・介護・看護のための一時支援を行っているが、今年度より随時受付型という名称の一時支援を実施し、産休育休明け・介護・看護のための支援を緊急に必要とする研究者のための支援枠を作り、より多くの研究者への多様な支援を行っている。</p> <p>この随時受付型の支援により、新規採用や新たに支援が必要になった研究者の支援が広がり、平成25年度前期の随時受付型だけでも4名の支援を行った。</p>	(お茶の水女子大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・学内にある保育園との連絡会を定期的実施した。 ・平成24年7月に学内にある保育園で保育学の実習を実施した。 ・平成25年1月に男女共同参画推進室にコーディネータを2名配置し、女性研究者のニーズに対応した。 	(横浜国立大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会福祉法人やNPO法人と連携して「子育て支援事業」を実施した。 ・浜松キャンパスの学童保育の運営を外部委託化した。 ・「学会参加時保育支援制度」を充実させた。 ・2回目の「くるみん」を取得した。 	(静岡大学)
<p>就業環境の整備充実として、研究補助員(研究支援者)配置制度を継続して実施し、介護に従事する女性研究者に支援を拡大した。また、事務系職員育児休業者交流会を実施した。</p>	(岐阜大学)
<p>相談体制の支援として、メンター研修を実施し、メンター制度を確立した。大学入試センター試験の際に、教職員のための一時保育を実施し、2日間で延べ19名の利用があった。既存の保育施設の建替えを機に、保育施設の拡充が決定した。教職員を対象にベビーシッター育児支援制度の利用を可能にした。</p>	(信州大学)
<p>妊娠・出産、育児、介護などライフイベントを迎えている女性研究者(ライフイベント中の女性研究者を配偶者とする男性研究者を含む)に対し、キャリアアシスタント(研究活動のサポーター、主に学部学生及び大学院生)を派遣し、研究支援活動を行うことにより「ライフイベントを迎えても研究キャリアを停滞させにくい環境の実現」が図られている。また、キャリアアシスタントにとってもロールモデルとして参考になると好評を得ている。</p>	(山梨大学)
<p>一旦活動を中断していた「金沢大学人材バンク」を再開させ、育児・介護等により研究活動を制限されやすい研究者が、業務の補助を依頼するため、「一時的に仕事から離れたが自身のキャリアを活かすため、再就職を希望する人材」を探す際に役立つよう、雇う側及び雇われる側の希望をマッチングさせるシステムを運用し、登録が増えつつある。</p>	(金沢大学)
<p>子育て支援事業に関しては、鶴舞地区の保育園において、本学医学部附属病院の協力のもと、病児保育を開始した。また、本学を含む地域の待機児童対策という観点から、特に名古屋市と情報の共有及び協力関係の構築を積極的に行い、子育て支援情報の英訳についても連携を図った。</p>	(名古屋大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・研究者支援員制度の利用や問い合わせがある。 ・ベビーシッター利用料補助制度の利用や問い合わせがある。 	(名古屋工業大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年6月8日に開設した相談窓口には、平成24年度は9件、平成25年度においては9月2日現在8件の相談があり、複数の相談員及び関連部署の協力を得て教職員が抱える問題の対処に当たった。 ・平成24年度に滋賀県地域医療再生事業補助金の交付を受け、12歳未満の子供を持つ医師を対象に一時預かり等を含むベビーシッター料金の補助を実施し、5名の医師に対し補助金の交付があった。子ども3人世帯の医師から、本補助金が大変有効であると好評を得た。 ・平成25年1月7日に開室した病児保育室は、平成25年9月2日現在、46名の乳幼児の登録があり、病児保育室利用者からは子供の発病時においても安心して業務及び研究に従事できると大変好評である。保育所及び病児保育室については、本学での勤務希望者から参考のための問い合わせが多くある。 ・平成25年4月1日に保育所の園庭拡張により、園児のみならず保護者から好評を得ている。 ・平成25年5月7日に開始したメンター・ピア制度においては、同年6月に1件の申し込みがあり、本学の教員である女性メンターがメンタリングを担当し、申込者から自身の進路と子育ての両立について大変参考になったとの報告があった。 	(滋賀医科大学)
<p>地域の子育て支援等のため、大学会館に「授乳室」を設置し、施設案内を兼ねた学内マップを学園祭で配布した。図書館に「児童書(絵本)コーナー」を設置した。</p>	(京都教育大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年11月:研究支援員制度の実施(育児・介護支援) ・平成25年2月:KIT交流サロンの開所(女性研究者等の交流促進) 	(京都工芸繊維大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・介護等のライフイベントと研究活動の両立を支援するため、「研究支援員制度」を設立し、制度利用者の報告書から、研究活動とワークライフバランスの双方が改善されたことが示された。 ・ワークライフバランスの充実及び優秀な人材の確保を目的として、育児休業の取得要件を緩和し、有期契約職員を含む全職員に適用した。 	(鳥取大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・学内保育所の入所定員増 ・特別休暇の取得要件等の拡大(配偶者出産休暇・育児参加休暇・子の看護養育休暇) 	(岡山大学)

<p>子育て中の教職員のために、学内の男女共同参画推進室に託児ルームを開設。学生の託児サポーターを養成し、安価での短期の預かりを実施している。サポーターの学生にとっても、子どもとの触れ合いを通して、貴重な育児経験にもつながり、大変好評である。</p>	(香川大学)
<p>男女共同参画推進委員会の下の男女共同参画推進室を中心に、ワークライフバランス支援やキャリア支援・女性研究者支援に関する各種の事業を展開し、それに部局が連携する形で全学的な男女共同参画推進に取り組んでいる。</p> <p>平成25年5月1日現在女性教員の比率は15.9%と年々増加傾向にあり、各種の取り組みの成果が表れている。</p>	(佐賀大学)
<p>平成24年7月より試行実施し平成25年度に本格実施を行った学内学童保育は大変多くの利用があり、学内の学部や関係者等から協力を得て多くのイベントを実施し、好評を博している。</p>	(長崎大学)
<p>・本学医学部附属病院では、育児休業取得者・産休取得者の職場復帰支援や大学直営の「こばと保育園」の定員がいっぱいとなったことなどで保育施設がないことを理由とする職員の離職防止などを目的として、平成25年5月1日(水)に院内保育所を開園した。</p> <p>・本学主催研究会等の開催に伴う託児事業において、対象を大学院入試及びセンター試験まで拡大し、教職員の利便性を高めた。</p> <p>・子どもが病気の場合でも勤務することができるように実施している病児保育事業において、本学負担の利用回数を1人2回までから3回までに引き上げ、支援内容を手厚くした。</p>	(熊本大学)
<p>狭間キャンパスでの病児保育の実施は、多くの教職員のニーズに応えた内容となり、開所早々から利用されている。また、事前登録者は既に80名に及んでいる。</p>	(大分大学)
<p>○学童保育の実施</p> <p>平成24年8月に教職員・学生の児童(小学1～6年生)を対象とした学童保育「宮崎大学きつずサマースクール」を開催した。延べ190名ほどの児童が参加し、学習・室内での遊び、体育施設を利用した遊びに加え、本学各学部の協力によるプログラムを提供した。保護者からは「学内で多彩なプログラムが体験できてよかった」「安心して仕事に行くことができた」、参加児童からも「もっとたくさん参加したかった」といった好意的な声が多く挙がった。</p>	(宮崎大学)
<p>平成24年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、より一層、男女共同参画の推進に向けた取り組みを行っている。出産・育児又は介護に携わる女性研究者等を支援するため「研究補助員配置制度」を実施しており、研究活動の活性化を促進している。さらに、女性研究者支援のための様々な助成事業を行っており、環境整備の改善及び充実を図ることに努めている。</p>	(琉球大学)
<p>4. 意識啓発の推進について</p>	
<p>平成24年10月に宇都宮大学男女共同参画推進室を設置し、平成25年2月に推進室開設記念公開シンポジウムを開催した。また、平成25年度女性研究者研究活動支援事業に申請し、採択された。</p>	(宇都宮大学)
<p>・くるみんマークを取得したことにより、学内において男女共同参画推進の意識を向上させるための体制が整った。</p> <p>・内閣府男女共同参画局のHPIに、ポジティブ・アクションに関する計画を公開した。 http://www.gender.go.jp/policy/positive_act/data/university/u02.html</p>	(東京医科歯科大学)
<p>女性の教職員を主な対象として、ランチタイムセミナーを月2回、H24年度より約20回開催し、女性研究者同士の学部や職位を越えた交流の場を提供した。</p>	(東京海洋大学)
<p>平成25年度の女性研究者研究活動支援事業(一般型)に応募することとした。また、図書館で女性のキャリア形成や家庭問題等のさまざまなテーマの図書について、国立女性教育会館の協力によりまとめて貸し出すパッケージ貸出サービスを受けることとし、男女共同参画推進の啓発するに資することとなった。内閣府の女子高校生・女子学生の理工系分野への選択を応援する「チャレンジ・キャンペーン」に従来の協力団体から関連事業を行う共催団体として参加することとした。</p>	(電気通信大学)
<p>「女性研究者研究活動支援事業」の採択を受け、女性研究者支援室を開設したことにより、学内環境整備や女性研究者支援について、積極的な広報が可能となった。</p>	(山梨大学)
<p>・意識啓発の推進として、ワーク・ライフ・バランス及び多様性人材の活用についての啓発ポスターを作成し掲示した。また男女育児経験者の談話や介護等の情報を掲載した「自分らしくいきいきと岐阜大学Happy Life応援Book」を発行した。</p> <p>・教員の理解を深めるために、教育学部、地域科学部、応用生物科学部においてFDを実施した。</p>	(岐阜大学)
<p>男女共同参画シンポジウムの開催、学部巡回説明会、学長と女性研究者の懇話会、各キャンパスでのランチミーティング等交流の場を設け、意識啓発活動を推進した。子育て・介護の支援制度を1冊にまとめたガイドブックを作成し、現行制度の利用促進を図るために学内に配付した。</p>	(信州大学)

<p>学外との連携事業としては、あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラム(会員:愛知県・名古屋市・愛知県経営者協会・名古屋大学)共催企画として、待機児童対策の現状に関する勉強会を開催し、情報の共有と協力関係の構築を図った。</p>	(名古屋大学)
<p>女性教職員が出産・子育て・介護と研究を両立するための従来のWLBのパンフレットの最新版作成について推進専門委員会WGにおいて取り掛かった。女性研究者研究活動の支援をさらに推進し普及するためWLBガイドブックについて内容の充実をはかってリニューアル版を作成中である。</p>	(三重大学)
<p>・本学の男女共同参画推進のためのアクションプランを策定し、ホームページで公表するとともにアクションプランの実現に向けて全学で取り組んでいる。 ・平成25年度京都教育大学公開講演会を男女共同参画推進に関わる年間テーマで開催している。</p>	(京都教育大学)
<p>平成25年2月:センターHPの開設(広報・啓発活動の推進)</p>	(京都工芸繊維大学)
<p>PDCAサイクルを活用したアクションプランとして、男女共同参画推進機構のHPをリニューアルし、機構の取り組み内容や、提供する各種支援制度の利用手続きを学外者にも分かりやすくした。また、利用者の個人情報漏れの無いようにセキュリティ強化に取り組んでいる。 進捗状況に記載した附属幼稚園・附属小学校での一時預かりの実施もアクションプランを踏まえたものである。 更に、女性のライフサイクルに配慮した教育研究環境の整備状況について教職員・学生を対象としたアンケート調査を実施し、彼女たちを取り巻く問題を認識し、学生・職員の育児・介護に関連する課題に向き合うと共に、男性研究者も含めた教職員のワーク・ライフ・バランスを実践するための意識改革に取り組んでいる。</p>	(奈良女子大学)
<p>男性教職員のワークライフバランスの向上を目的とした「岡大パパの育児エッセイ集Vol2」発刊</p>	(岡山大学)
<p>医学部附属病院医療人育成センター男女共同参画支援部門において、今後の取り組みの方向性の定めるため、「職員の勤務環境の現況に関する調査(アンケート)」を実施した。また、平成24年12月21日に「男女共同参画シンポジウムin小串」を開催し、前述のアンケート結果の一部も発表した。</p>	(山口大学)
<p>一般社団法人明専会(本学OB組織)との共同主催で、在学生と社会で活躍されている本学OGとのフリーディスカッションによる交流を目的とした明専女子塾を実施した結果、企業における女性の仕事やワークライフバランス等について貴重な情報交換があり、工学系分野の職業に対する理解を深まることができた。</p>	(九州工業大学)
<p>平成24年11月には九州大学の上瀧准教授を招聘し、学長以下執行部及び部局長等を対象としたトップセミナー「男女共同参画の更なる推進に向けて」を開催し、九州大学における女性枠の設定について講演を行った。</p>	(長崎大学)
<p>意識啓発のためのシンポジウムの開催やHP等による情報発信を行い、男女共同参画意識の醸成等に努めている。</p>	(琉球大学)
5. その他	
<p>平成25年度に女子学生入学100周年を迎え、また男女共同参画委員会が設置され10年が経つことから、平成24年度より男女共同参画委員会内にプロジェクトチームを設置し、女子学生入学100周年記念事業を展開している。事業の一環として、記念シンポジウムの開催し、記念ロゴマークを制定など、女性研究者支援及び男女共同参画の推進について全学における男女共同参画意識の醸成を図り、併せて「男女共同参画推進のための行動指針」を策定し、仕事と育児の両立支援、女性リーダー育成や次世代支援など7項目に渡って今後10年間ほどの目標を設定する。</p>	(東北大学)
<p>教員に対する男女共同参画に関するアンケートを実施することで、男女共同参画推進のための学内制度の検討につながった。</p>	(福島大学)
<p>系長・研究科長訪問による課題・要望のヒアリングについては、学内においても高く評価されている。実際に現場を訪問し直接話を聞いた上で課題を共有することにより、その内容は数々の事業に反映されている。例)「女子学生の理系離れ」を改善するための裾野拡大事業の展開、男女共同参画事業のパンフレットの作成、HPのリニューアル等</p>	(筑波大学)
<p>役員と女性研究者との意見交換会を定期的実施した。</p>	(横浜国立大学)
<p>静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞を受賞した。</p>	(静岡大学)
<p>H25.1には、女性がいきいきと活躍できる職場環境の整備を行っているとして、名古屋市から「平成24年度名古屋市女性の活躍推進企業」に認定・表彰された。</p>	(名古屋大学)
<p>高知大学の男女共同参画推進の取組に対して、高知市男女共同参画推進企業表彰を受賞(H25.7)</p>	(高知大学)

D. 女性教員比率、女性教員数が増加した上位5大学

前回調査より女性教員比率が増加した上位5大学

1位 小樽商科大学 2.9 割合増 (8.8%→11.7%) 女性教員数 4名増

- ・次世代女性職業人の育成を図るため、女子学生のための就職ガイダンスの開催した。
- ・教職員向けに育児等に係る休暇の取得促進を目的としたパンフレットの作成を行い、男女ともに働きやすい環境を整備した。

2位 兵庫教育大学 2.1 割合増 (19.6%→21.7%) 女性教員数 3名増

- ・関係規定の改正を行った。
- ・男女共同参画に関する意識啓発について男女共同参画推進室を中心に検討した。
- ・男女共同参画に関するウェブサイトを公開した。

3位 筑波技術大学 2.0 割合増 (15.9%→17.9%) 女性教員数 2名増

- ・教員公募の際、男女共同参画を推進していることを明記し、女性研究者を広く公募した。女性の応募は少ない中で、5名中2名の採用を行った。

4位 帯広畜産大学 1.8 割合増 (7.4%→9.2%) 女性教員数 3名増

- ・随時、役員が男女共同参画推進について意見交換を実施している。

5位 滋賀医科大学 1.8 割合増 (15.8%→17.6%) 女性教員数 10名増

- ・搾乳室を、大学内に1か所、病院内に2か所設置した。
- ・「女性研究者研究活動支援事業」により、女性研究者支援担当学長補佐及び男女共同参画推進室にチーフコーディネーターを配置、女性研究者支援チームの活動を開始した。
- ・本学教職員の要望の高かった病児保育室を、平成25年1月より学内保育所に併設した。
- ・平成25年4月に学内保育所の園庭を拡張した。
- ・平成25年4月にジェンダー平等と女性のエンパワーメントの国連機関より講師を迎え、学内講演会を開催、また同年8月に県民参加のシンポジウムを開催し、男女共同参画推進の啓発を行った。
- ・子育て及び介護中の女性研究者を対象とした研究支援員の配置、優秀な女性研究者の表彰し、ワーク・ライフ・バランスの支援と女性研究者のロールモデルの構築を目指した。

前回調査より女性教員数が増加した上位5大学

1位 東北大学 31名 (290名→321名) 女性教員比率 10.9% (0.7%増)

- ・女子学生入学100周年、男女共同参画委員会設置から10年経過により、平成24年度より男女共同参画委員会内にプロジェクトチームを設置し、女子学生入学100周年記念事業を展開している。
- ・記念シンポジウムの開催、記念ロゴマークを制定など、全学的に男女共同参画意識の醸成を図った。
- ・「男女共同参画推進のための行動指針」を策定、今後10年間の目標を設定した。

1位 神戸大学 31名 (195名→226名) 女性教員比率 14.9% (1.7%増)

- ・女性研究者採用比率の目標値を20%から30%に見直した。
- ・「ベビーシッター派遣料金の一部を補助するサービス」を拡充した。
- ・各部署、教職員を対象に「男女共同参画活動に関する説明会」を実施した。
- ・学長補佐による「各部署への男女共同参画実施状況調査（ヒアリング）を行い、課題を析出中である。

3位 大阪大学 29名 (363名→392名) 女性教員比率 12.6% (0.9%増)

- ・学内外へ広報する「男女共同参画だより」の発行した。
- ・3施設目となる学内保育園（まちかね保育園）を開園した。
- ・シンポジウム・研修会等開催時における臨時託児室の設置を推奨した。
- ・ロールモデル集を作成した。

4位 京都大学 25名 (336名→361名) 女性教員比率 10.6% (0.7%増)

- ・「男女共同参画推進アクション・プラン」において、項目毎に毎年度実施状況のフォローアップを行っている。
- ・男女共同参画推進室メンバーがプレゼンテーションを行い、各部署教授会で意識啓発活動を行った。
- ・女性研究者支援センターが女子学生・若手研究者を対象としたシンポジウム・研究会、円滑な人間関係構築のための講習会「自己主張トレーニング」等を開催した。
- ・新入生・学部学生を対象としたジェンダー関連科目（3コマ）を開設した。
- ・工学研究科で女子学生の進学を促すためオープンキャンパスにて「テク女子」を開催した。
- ・理学部で女子学生を支援・育成するため竹腰賞を設け女子学生を顕彰した。

5位 東京大学 21名 (394名→415名) 女性教員比率 11.0% (0.5%増)

- ・工学系、農学系分野における女性教員の採用を推進している。
- ・学生の女性比率向上を目的として、本学女子学生による母校訪問を実施し進路選択への情報提供を行っている。
- ・理系の10研究組織を中心に女子中高生を対象としたシンポジウムの開催、研究施設の見学、研究者との交流を継続して行っている。

Ⅱ. 添付資料

A. 国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－

国立大学における男女共同参画推進について －アクションプラン－

平成23年2月10日

(社)国立大学協会 教育・研究委員会

男女共同参画推進を促すための提言

1 背景

高等教育への進学意欲が全体的に高まる中で、女性の進学率は大学院を含めて上昇しており、今後、大学等の教員や研究者としての採用を含む、女性の能力を発揮できる環境の一層の整備に取り組むことは、我が国の発展と成長にも大きく資するものと考えられる。

これまで、大学における男女共同参画を推進していくために数値目標が掲げられてきた。その代表的なものは、「2010年までに女性教員比率20%（国立大学協会2000年）」、「2020年までに指導的立場の女性比率30%（第2次男女共同参画基本計画2005年）」、「この5年間で自然科学系女性研究者の採用割合25%（第3期科学技術基本計画2005年）」などであるが、これらの計画に掲げられた数値目標と現状の数値との乖離は大きく、目標達成に向けて、何らかの方策を施す必要がある。

2 達成目標とタイムテーブルの設定

大学は重要な雇用組織として、他の雇用組織に対しても、男女平等という社会的価値の推進者としての役割を果たすべきである。それだけでなく、教育機関として、次世代を担う学生たちに対して、新たな男女共同参画モデルを示す必要がある。そのためにも、引き続き、女性教員増加の具体的な達成目標とタイムテーブルを設定することが必要である。

2000年に国立大学協会で、将来の研究者の養成機関である博士課程における女性比率が当時23.6%（国立大学においては21.6%、公立大学23.0%、私立大学29.6%）であり、将来さらに上昇することを予測し「2010年までに国立大学の女性教員比率を20%に引き上げることを達成目標として設定することが適切であると思われる。」とした。これまで個々の国立大学が様々な男女共同参画の推進に努めてきたものの、2010年5月1日現在の女性教員比率は12.7%であり未達成となっている。このことに鑑み、引き続き、国立大学の女性教員比率を20%以上に引き上げることを目指しつつ、少なく

とも 2015 年までに 17%以上（各大学において 1 年ごとに 1%以上）に引き上げることを達成目標として設定することが適切であると思われる。

また、2001 年 6 月の国立大学協会第 3 常置委員会において、大学における女性の雇用および教育関連の実情把握のための調査資料の整備、共通のデータベースの構築と必要に応じて各大学への情報提供を行えるような情報の集積を目的に、今後 10 年間にわたって男女共同参画推進状況の追跡調査を継続的に行うことが決定され、今回が区切りの 10 年目である。前述したように目標を到達していない状況であり、目標達成に向け国立大学における男女共同参画を推進するため、次に提言している大学が取り組むべき事項の実施状況についてフォローアップをしつつ、今後も引き続き追跡調査を行うこととする。調査にあたっては、大学の負担軽減を考慮し、毎年調査すべきものと隔年あるいは 3 年ごとに調査するものの調査項目や収集すべき情報を精選し、簡素化を図ることとする。

3 大学が取り組むべき事項

男女共同参画の推進において直面する課題は、個々の大学によってさまざまである。それぞれの大学における問題点を洗い出し、改善に向けた具体的な行動計画を立案するとともに実行に移し、それを評価していくシステムを構築していくことが求められる。

目標の達成に向けた大学が取り組むべき男女共同参画推進のための取組としては、次のようなものが考えられる。

【提言 1】 男女共同参画の推進体制の整備

- (1)男女共同参画推進の基本方針、宣言等の作成、提示
- (2)室、委員会、ワーキング・グループ等の検討推進体制の設置・充実

【提言 2】 女性教員・研究者の拡大

- (1)採用時における積極的是正措置（ポジティブアクション）の実施
 - ・採用時に、業績や能力が同等と認められる場合には、積極的に女性を採用
 - ・部局や分野ごとの女性教員比率の年次計画や最終目標（努力目標）の設定
 - ・女性教員を採用した部局等に対する人件費ポイント制等におけるインセンティブの付与

- ・女性研究者を採用する場合、配偶者の採用にも配慮したシステムの整備
- (2)昇任・給与・研修等の男女機会均等の推進
- ・教職員の業績評価に当たって、出産、育児、介護等に従事したことにも配慮
- (3)大学運営における意思決定過程への女性の参画の拡大
- ・役員、部局執行部、全学委員会等の大学の意思決定組織における女性比率の向上
 - ・教授職への女性の積極的登用
 - ・大学関連団体である諸学会と連携した男女共同参画の意識啓発と推進（学会規約に明記するなど）
- (4)女子学生や若手女性研究者、女子中高生など次世代研究者へのロールモデルの提供
- ・大学の研究や研究者の魅力などを紹介する女子中高生対象のセミナー、フォーラム等の開催
 - ・女子学生の卒業後の進路に関するキャリアガイダンスの開催
 - ・女性研究者による次世代女性研究者へのメンター制度の設立や交流会の開催
- (5)女性に多い非常勤講師の待遇の改善の促進等
- ・特定校に数年にわたって非常勤講師として勤務し、事実上常勤化している場合、常勤の教員として採用することへの一層の努力
 - ・非常勤講師が専任になる機会の拡大を支援するため、研究環境の改善、教員との交流等を通じたネットワークへの参加、研究上有益な情報へのアクセスの拡大のための配慮
 - ・非常勤講師が常勤の教員との共同プロジェクトに参加できるよう積極的な配慮

【提言3】 就業環境の整備・充実

- (1) 育児・介護等との両立を支援するための就労支援制度の整備・充実
- ・育児、介護等に適応した勤務時間制度や特別休暇制度の導入及び積極的活用
 - ・学生等を活用した幼児教育及び保育ニーズの両面をカバーする制度の整備
 - ・配偶者（男性）の育児休暇の取得の促進及び意識改善
- (2) 育児・介護等との両立を支援するための研究継続支援制度の整備・充実
- ・育児・介護等に携わる研究者に対する研究補助者の配置や雇用経費の助成
 - ・地域内の大学等と連携した代替要員制度の構築など、育児休業が取りやすくなるような代替教員の保障とそのPR
 - ・休業中の教職員に対するICT等を活用した在宅での双方向ネットワークの構

築

- (3) 育児休業等からの復帰を容易にすることを含めた施設設備の設置・充実
- ・病児・病後及び学童保育等の多様な保育ニーズに対応できる学内保育施設の整備
 - ・更衣室・休憩室・マタニティコーナー等の整備及びベビーベッドを備えたトイレ等の設備の整備・改修
 - ・夜間等における安全確保など防犯体制の整備
- (4) 女性研究者が不安や悩みを相談できるようなメンタル的なサポート体制の整備・充実
- ・教職員が、キャリアプランや育児、介護などの相談ができる総合相談窓口の設置などの体制の整備
 - ・女性研究者の現状を把握するためのメンターや巡回相談員を配置
 - ・女性研究者等が、相互に問題点の共有及びQ&Aが可能なネット上のフォーラムやメーリングリストの構築

【提言4】 意識啓発の推進

- (1) 男女の固定的な性別役割分担意識の解消や職場慣行の見直しと改善
- (2) 男女共同参画を推進する諸制度の学内外への積極的広報
- ・両立支援制度の大学ホームページへの掲載
 - ・教職員を対象にした両立支援制度の説明会の開催
- (3) 男女共同参画に係る教育研究の推進と啓発セミナー・シンポジウム等の開催
- ・地域等と連携した男女共同参画推進の取組の企画・実施、シンポジウム等の開催
- (4) 両立支援制度（育児・介護休業等）の活用可能な雰囲気醸成
- ・両立支援制度の取得を促すポスター・リーフレットの作成
 - ・ワーク・ライフ・バランスの観点から、年次休暇等の積極的取得を促進する通知の発出
 - ・育児休業を取得した教員が所属する部局へのインセンティブの付与

4 国等による支援

それぞれの国立大学が男女共同参画を進めていくためには、文部科学省を始めとする政府機関の支援も必要である。国等による支援として、次のようなことが期待される。

ア 国にあつては、働きやすい環境の整備のための財政支援の拡充等を実施すること。

(1)人件費削減政策の撤廃

(2)施設設備の整備・改善

- ・学内保育施設等の整備

(3)女性研究者の支援

- ・育児休業取得に伴う研究費支援制度の構築

- ・介護休業取得に伴う柔軟な支援制度の構築

- ・女性研究者のライフステージにあわせたトータルな支援システムの構築

- ・新規の女性研究者及び研究補助者に係る人件費の補助

イ 地方自治体にあつては、働きやすい環境の整備のための財政支援の拡充等を実施すること。

(1)大学近辺への公的な保育施設・介護施設の設置の促進・誘致

(2)利用に係る料金の低廉化

(3)保育施設におけるニーズに応じた保育時間の配慮

(4)大学と自治体との連携・協力体制の強化

国大協企画第 81 号
平成 25 年 8 月 7 日

各会員代表者 様

国立大学協会 教育・研究委員会
男女共同参画小委員会委員長
谷口 功（熊本大学長）

国立大学における男女共同参画の推進状況に関する調査（第 10 回）について（依頼）

国立大学協会は、平成 12 年 6 月の総会において『国立大学における男女共同参画を推進するために（報告書）』を採択し、翌年の 6 月総会時に開催された第 3 常置委員会において、10 年間にわたって男女共同参画の推進状況を継続的に調査することを決定いたしました。さらには、平成 23 年 2 月に教育・研究委員会で策定した「国立大学における男女共同参画推進について-アクションプラン-」において、今後も追跡調査を継続することとし、これまで 9 回の追跡調査を実施してきました。

本追跡調査は、平成 18 年度より現在の教育・研究委員会男女共同参画小委員会に引き継がれており、昨年に引き続き、本小委員会により第 10 回の追跡調査を実施させていただきます。

各国立大学長の皆様におかれましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケートの各構成部分について、別添ファイル（男女共同参画調査票）の回答欄にご記入の上、平成 25 年 9 月 6 日（金）までに、国立大学協会事務局宛てご回答いただきますよう、協力方よろしくお願い申し上げます。

◎ アンケートの構成

第Ⅰ部 統計調査

学内の人事構成の状況を把握されている事務担当者に数値等をご記入いただくことを期待しています。

第Ⅱ部 男女共同参画の推進状況に関する報告

学内で男女共同参画の推進を担当しておられる責任者（理事・副学長、学長補佐、担当委員会の委員長など）にご記入いただくことを期待しています（学長自らご執筆いただいても構いません）。

なお、この部分につきましては、原則としてご記入いただいたものをそのまま報告書に掲載いたしますので、ご了承願います。

男女共同参画推進の取組状況について

平成23年2月10日に公表しました「国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－」において、大学が取り組むべき事項として提言しました内容の実施状況について、参考のため現状確認を行うものですので、ご協力願います。

学内で男女共同参画の推進を担当しておられる責任者（理事・副学長、学長補佐、担当委員会の委員長など）にご記入いただくことを期待しています。

- ◎ なお、男女共同参画の推進や女性研究者支援等の施策、また、それに伴う財務省への予算折衝等に活用するため、関係機関及び関係省庁から、調査データの提供依頼があった場合は、各大学の個別データを提供することについてあらかじめご了承願います。

**『男女共同参画の推進状況に関する調査(第10回)』
調査票のご案内**

国立大学協会 教育・研究委員会
男女共同参画小委員会

●本ファイルのシート構成

シート名	内 容
ご案内	本シートです。
回答ご担当者	貴大学・回答ご担当者名を入力していただくシートです。
I. 調査-1現状	アンケートの回答をご入力していただくシートです。
I. 調査-2授業状況	〃
I. 調査-3整備状況	〃
II. 状況報告	〃
取組状況	〃
回答状況	エラーの有無等をご確認いただくシートです。

●回答方法(入力方法)

- ① 選択肢が用意されている項目は、該当の○ボタン、□ボタンをクリックしてください。
② 白色のセルに数値、文字をご記入ください。

●メッセージ

不適切なご回答には赤字でメッセージが表示されますので注意をして入力してください。

●ご確認

回答された内容は、各回答シートや「回答状況」シートでご確認をお願いします。
赤字のメッセージが残っていれば、表示されないように訂正してください。

●ファイルの保存

元のファイル名の先頭に貴大学名を付けた形で保存をお願いいたします。
(例:ABC大学の場合 → ABC大学男女共同参画調査票.xls)

●電子メールによるファイルの送信

電子メールの標題 (Subject)	最初に「貴大学名」、その後続けて「男女共同参画調査票」として ください。 (例:ABC大学の場合 → ABC大学男女共同参画調査票)
電子メールの本文	大学名とご担当者氏名・連絡先電話番号を記載してください。
添付ファイル	本調査票ファイルを添付してご送信ください。 送信される前に、エラー等のメッセージがアンケート調査票に表示 されていないことをご確認ください。
再送信	訂正等で再送信される場合は、標題(Subject)の最後に 「再送」と入力してください。

●問合せ先・送信先アドレス

担 当 者 (回答送付先・問合せ先)	国立大学協会企画部 福井 祐一
電 話	03-4212-3516
E-メールアドレス	chosa@janu.jp
電子メールで、平成25年9月6日(金)までにご回報(送信)ください。	

『男女共同参画の推進状況に関する調査』

貴大学名、ご担当者名等をご記入ください。

大 学 名	<input type="text"/>	大学名を選択してください
-------	----------------------	--------------

全体取りまとめ、協会への回答(送信)ご担当者

部 署	<input type="text"/>	部署名を入力してください
役 職	<input type="text"/>	役職名を入力してください
氏 名	<input type="text"/>	お名前を入力してください
T E L	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>	TEL番号を入力してください
F A X	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>	FAX番号を入力してください
Eメールアドレス	<input type="text"/>	Eメールアドレスを入力してください

各シートの回答(記入)等ご担当者をご記入ください。

I. 調査- 1現状	役職	<input type="text"/>	役職名を入力してください
	氏名	<input type="text"/>	お名前を入力してください
I. 調査- 2授業状況	役職	<input type="text"/>	役職名を入力してください
	氏名	<input type="text"/>	お名前を入力してください
I. 調査- 3整備状況	役職	<input type="text"/>	役職名を入力してください
	氏名	<input type="text"/>	お名前を入力してください
II 状況報告	役職	<input type="text"/>	役職名を入力してください
	氏名	<input type="text"/>	お名前を入力してください
取組状況	役職	<input type="text"/>	役職名を入力してください
	氏名	<input type="text"/>	お名前を入力してください

『回答ご担当者』シートの大学名を選択してください！

【I. 統計調査】1. 男女共同参画の現状

大学の教員および意思決定機関の構成員、非常勤講師、学生、職員の現状について平成25年5月1日現在で記入してください。

表1.1 職階別・性別 教員数 単位：人

	男	女	計	女性比率 %
学長				
理事 *				
副学長 **				
教授				
准教授				
講師(常勤)				
助教				
小計				
助手				
計				

* 非常勤理事は除いてください。

* 理事が副学長を兼ねている場合は、理事の欄にのみ記入し、副学長の欄には記入しないでください。

** 理事又は副学長が教授を兼ねている場合は、理事あるいは副学長の欄にのみ記入し、教授の欄には記入しないでください。

*** 学校基本調査と同じ数値を記入し、その際、学校基本調査にない、「理事」の取り扱いに注意してください。

表1.2 大学の意思決定機関等における性別構成 単位：人

	男	女	計	女性比率 %
学長補佐等 *				
経営協議会、教育研究評議会委員**				
部局長等				
監事 **				
小計				
非常勤理事				
大学運営に参画する外部委員等 ***				
非常勤監事				
小計				
計				

* 理事及び副学長は除いてください。

** 学外委員、非常勤理事等は除いてください。

*** 経営協議会の学外委員等の数を記入してください。

表1.3 非常勤講師の構成

単位：人

	男		女		計		女性比率 %	
	うち 任期 付き ***		うち 任期 付き ***		うち 任期 付き ***		うち 任期 付き ***	
専任教員の本務を持つ者								
教員以外の本務を別に持つ者*								
本務を持たない非常勤講師(60歳以上)**								
本務を持たない非常勤講師(60歳未満)**								
計								

* 企業、国公私立研究機関、予備校その他の機関における常勤の勤務者数を記入してください。

** 勤務先が全て非常勤の場合はここに入れてください。

*** 「うち任期付き」の欄には、有期限の外部資金で雇用され、雇用される期間が決められている任期付き教員数のみを記入してください。

I. 調査-1現状

表1.4 部局別・性別教員数

単位:人

学部・学科	教員数(本務者)													
	教授		准教授		講師(常勤)		助教		助手		小計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	女性比率%
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
学部														
教養部(一般教育)														
大学院														
附属病院														
附置研究所														
その他														
計														

平成25年度学校基本調査 様式第7号「学生教職員等状況表 4 教員数(本務者) Bカード」に記載した人数を記入してください。

表1.5 専攻分野別 学部・大学院の卒業(修了)者数

単位:人

専攻分野*	学部卒業者				修士課程修了者				博士課程修了者				専門職大学院修了者			
	男	女	計	女性比率%	男	女	計	女性比率%	男	女	計	女性比率%	男	女	計	女性比率%
人文科学																
社会科学																
理学																
工学																
農学																
保健																
商船																
家政																
教育																
芸術																
その他																
合計																
合計(自動計算)																

* 専攻分野の分類は、学校基本調査に従ってください。

** 法科大学院の修了者は表右下のピンク色の欄に、その他の社会科学分野の専門職大学院の修了者については、表の社会科学の欄にご記入ください。

表1.6 専攻分野別 学部・大学院の教員数

単位:人

専攻分野 **	教授		准教授				講師(常勤)		助教	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***
人文科学										
社会科学										
理学										
工学										
農学										
保健										
商船										
家政										
教育										
芸術										
その他										
合計										
合計(自動計算)										

専攻分野 **	小 計				助 手	
	男	女	計	女性比率 %	男	女
	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***	うち 任期 付き ***
人文科学						
社会科学						
理学						
工学						
農学						
保健						
商船						
家政						
教育						
芸術						
その他						
合計						
合計(自動計算)						

* 専攻分野の分類は、学校基本調査に従ってください。

** 同上。担当する学生の分類に従って、学部・大学院の教員の合計を記入してください。

*** 「うち任期付き」の欄には、有期限の外部資金で雇用され、雇用される期間が決められている任期付き教員数のみを記入してください。

表1.7 常勤教員の採用・昇任などの異動

単位:人

任用形態	異動後の職名	男	女	計
採用・転入 *	教授			
	准教授			
	講師			
	助教			
	助手			
	小計			
学内昇任 **	教授			
	准教授			
	講師			
	助教			
	小計			

平成24年度中に異動した教員数を記入してください

* 他機関からの昇任・転任を含めて記入してください。

** 学内者であっても、技官や非常勤教員等、本務教員以外からの異動の場合は採用に入れてください。

I. 調査-1現状

表1.8 職系別・職名別職員数

単位:人

職名	事務系*		技術技能系*		医療系*		教務系*		その他*		計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	女性比率%
課長相当職以上														
課長補佐、専門員等														
係長、専門職員等														
主任等														
その他一般職員														
計														

* 職系の分類は、学校基本調査に従ってください。

** 技術長、技術部主任、看護師長、看護主任等の役職者は、対応する職名(課長、係長、主任等)の欄に、その外は「その他の一般職員」の欄に記入してください。対応する職名の判断は各大学組織の実情に合わせて決めてください。

(参考例)

	事務系		技術技能系		医療系		
課長相当職以上	一般職	級以上			看護部長、副看護部長	技師長	
課長補佐、専門員等	"	級以上	技術専門官			副技師長	副薬剤部長
係長、専門職員等	"	級以上	技術専門職員、主任技術職員		看護師長	主任技師	薬剤主任
主任等	"	級以上			副看護師長		
その他一般職員					看護師、看護助手	技師	薬剤師

I. 調査-2授業状況

『回答ご担当者』シートの大学名を選択してください！

【I. 統計調査】 2. 女性学・ジェンダー研究関連授業開講状況
 平成24年度の女性学・ジェンダー研究関連授業開講状況を表2.1に記入してください。
 なお、女性学・ジェンダー研究関連授業には男女共同参画に関連する授業も含まれます。

表2.1 女性学・ジェンダー研究関連授業科目の開講状況

① 学部

単位：人

部局名	科目名	担当教員				受講者概数	
		男	女	専任	非常勤	男	女
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
学部							
合計数	開講科目数						

I. 調査-2授業状況

④ 全学共通科目

単位:人

部局名	科目名	担当教員				受講者概数	
		男	女	専任	非常勤	男	女
合計数	開講科目数						

⑤ 公開講座

単位:人

部局名	科目名	担当教員				受講者概数	
		男	女	専任	非常勤	男	女
合計数	開講科目数						

『回答ご担当者』シートの大学名を選択してください！

【I. 統計調査】 3. 育児・介護支援制度の利用と施設・設備の整備状況

育児介護休業等の利用者数及び代替教員数を、表3. 1に記入してください。

保育施設・設備等の設置状況を、表3. 2に記入してください。

学内保育施設又は提携保育施設のそれぞれの具体的状況を、表3. 3に記入してください。

表3. 2及び表3. 3に記載した保育施設・設備等以外に、学外の保育機関との協力体制があれば、その内容を表3. 4に記入してください。

表3. 1 育児介護休業等の利用者数(平成24年度)

	制度名		利用教員数		利用職員数		代替教員数*		代替教員によるコマ数
			男	女	男	女	男	女	
24年度	育児休業	部分休業							
		育児休業							
	介護休業 **	部分休業							
		介護休業							

* 休業期間中の講義、演習、実験等教育を代行する教員(非常勤含む)を採用した場合に記入してください。

** 介護休業を取得した延べ人数を記入してください。

表3. 2 保育施設・設備等の設置状況

施設の種類	設置数	名称または特徴等
(1)学内保育所(室)及び提携保育所(室) *		
(2)その他の学内保育施設・設備 **		

* 父母会、運営委員会等大学が関与している保育所(室)及び社会福祉法人等が運営している大学関連の保育所(室)

** 上記以外の施設・設備(例:授乳室等)

I. 調査-3整備状況

表3.3 各保育施設・設備等の具体的な状況

表3.2の(1)について、保育施設毎に記入してください。(①~④)

○、□ボタンは該当項目をクリックしてください。

平成25年5月1日現在でご記入ください。

①		内 容					備 考
保育施設名					<input type="radio"/> 認可 <input type="radio"/> 無認可		
設置者*							
運営者*							
設立年/認可年		設立 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 西暦	年	認可	<input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 西暦	年	
施設	敷地	m ²	<input type="checkbox"/> 土地無償貸与				
	建坪	m ²					
	施設等 (部屋数)	保育室	職員室	食堂	調理室	事務室	
		給食室	ホール	休憩室	会議室	その他	
児童数(定員)		人					
保育希望児童数**		人					
保育児童数(現員)		人					
対象年齢範囲		歳 ~ 歳	<input type="checkbox"/> 0歳からの場合産休明けから				
職員数(人)		園長	保育者		保育士パート		
		主任	栄養師(調理師)		その他		
保育時間	平日	<input type="radio"/> AM 時 分 ~ <input type="radio"/> PM 時 分	<input type="radio"/> AM 時 分 <input type="radio"/> PM 時 分				
		延長	<input type="radio"/> AM 時 分まで <input type="radio"/> PM 時 分まで				
	土曜	<input type="radio"/> AM 時 分 ~ <input type="radio"/> PM 時 分	<input type="radio"/> AM 時 分 <input type="radio"/> PM 時 分				
		延長	<input type="radio"/> AM 時 分まで <input type="radio"/> PM 時 分まで				
大学等からの援助 (複数回答可)		人件費	<input type="checkbox"/> 援助あり	内訳			
		光熱水費	<input type="checkbox"/> 援助あり				
		設備	<input type="checkbox"/> 援助あり				
		消耗品	<input type="checkbox"/> 援助あり				
		その他	<input type="checkbox"/> 援助あり	内容			
		その他	<input type="checkbox"/> 援助あり	内容			
対応保育種別 (複数回答可)		<input type="checkbox"/> 病児保育					
		<input type="checkbox"/> 病後保育					
		<input type="checkbox"/> 夜間保育					
		<input type="checkbox"/> 学童保育					
利用対象者 (複数回答可)		<input type="checkbox"/> 教職員					
		<input type="checkbox"/> 学生					
		<input type="checkbox"/> 一般					
		<input type="checkbox"/> その他					
その他の特記事項							

* 設置者や運営の主体者の組織等を記入してください。

(例 設置者:共同保育所、運営:病院長を委員長とする運営委員会、父母会、教職員組合 など)

** 平成24年度中に入園申込みのあった児童数を記入し、把握していない場合は、備考欄に記入してください。

表3.4 その他の学外保育機関との協力体制

その他の学外保育機関との協力体制 *

* 表3.2、3.3に記載した以外の学外保育機関との協力体制について記入してください。

『回答ご担当者』シートの大学名を選択してください！

【Ⅱ. 男女共同参画の推進状況に関する報告】

男女共同参画に関する現状・課題及び第2期中期目標・計画における対応

貴大学での第2次中期目標・中期計画における男女共同参画推進に向けた対応は、どのような取り組みですか。また、これまでどのような取り組みを行ってこられ、今後の課題についてどのようにお考えですか。

以下の「現在の女性教員比率」の欄に数値を記入した上で、「第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応」及び「貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題」について、ご自由にご記入ください。

貴大学における男女共同参画に関する取り組みなどを紹介するウェブサイトが公開されている場合には、そのURLを合わせて欄にご記入ください。

なお、この部分につきましては、これを原稿として、そのまま報告書に掲載いたしますので、ご了承ください。

大学名	
-----	--

学長名	
-----	--

平成25年5月1日現在の女性教員比率		%	総教員数		名中	女性教員数		名
女性教員比率(自動計算)		%	※「総教員数」及び「女性教員数」は役員を含め、助手を除いた数を記入してください。					

第2期中期目標・中期計画における男女共同参画推進への対応

貴学における男女共同参画の推進に関する昨年度からの新たな取り組み並びに現状に対する課題

男女共同参画に関する取り組み等を紹介するウェブサイト ※貴学にて開設されておりましたらURLをご記入ください。
URL:

『回答ご担当者』シートの大学名を選択してください！

【男女共同参画推進の取組状況について】

(アクションプランのフォローアップに向けて)

貴学における男女共同参画を推進するための取組について、平成25年5月1日現在の実施状況を回答してください。

設問は15項目あります。それぞれの項目について「実施中」、「検討中」、「未検討」のいずれか該当する○をクリックしてください。

設問の内容は、平成23年2月10日に公表しました「国立大学における男女共同参画推進について ―アクションプラン―」における「3. 大学が取り組むべき事項」に基づいており、提言している各項目の実施状況についてフォローアップ(2015年度)を予定しているため今回現状確認を行うものです(2015年度には各設問における実施内容についても確認する予定です。)アクションプランについては全文を本協会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

URL <http://www.kokudaikyo.gr.jp/active/txt5/danryo110210.pdf>

1. 男女共同参画の推進体制の整備について

(1) 男女共同参画推進の基本方針、宣言等の作成、提示

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

(2) 室、委員会、ワーキング・グループ等の検討推進体制の設置・充実

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

2. 女性教員・研究者の拡大について

(1) 採用時における積極的是正措置(ポジティブアクション)の実施

例) ・採用時に、業績や能力が同等と認められる場合には、積極的に女性を採用
 ・部局や分野ごとの女性教員比率の年次計画や最終目標(努力目標)の設定
 ・女性教員を採用した部局等に対する人件費ポイント制等におけるインセンティブの付与
 ・女性研究者を採用する場合、配偶者の採用にも配慮したシステムの整備

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

(2) 昇任・給与・研修等の男女機会均等の推進

例) ・教職員の業績評価に当たって、出産、育児、介護等に従事したことにも配慮

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

(3) 大学運営における意思決定過程への女性の参画の拡大

例) ・役員、部局執行部、全学委員会等の大学の意思決定組織における女性比率の向上
 ・教授職への女性の積極的登用
 ・大学関連団体である諸学会と連携した男女共同参画の意識啓発と推進
 (学会規約に明記するなど)

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (4) 女子学生や若手女性研究者、女子中高生など次世代研究者へのロールモデルの提供
 例) ・大学の研究や研究者の魅力などを紹介する女子中高生対象のセミナー、フォーラム等の開催
 ・女子学生の卒業後の進路に関するキャリアガイダンスの開催
 ・女性研究者による次世代女性研究者へのメンター制度の設立や交流会の開催

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (5) 女性に多い非常勤講師の待遇の改善の促進等
 例) ・特定校に数年にわたって非常勤講師として勤務し、事実上常勤化している場合、常勤の教員として採用することへの一層の努力
 ・非常勤講師が専任になる機会の拡大を支援するため、研究環境の改善、教員との交流等を通じたネットワークへの参加、研究上有益な情報へのアクセス拡大のための配慮
 ・非常勤講師が常勤の教員との共同プロジェクトに参加できるよう積極的な配慮

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

3. 就業環境の整備・充実について

- (1) 育児・介護等との両立を支援するための就労支援制度の整備・充実
 例) ・育児・介護等に適応した勤務時間制度や特別休暇制度の導入及び積極的活用
 ・学生等を活用した幼児教育及び保育ニーズの両面をカバーする制度の整備
 ・配偶者(男性)の育児休暇の取得の促進及び意識改善

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (2) 育児・介護等との両立を支援するための研究継続支援制度の整備・充実
 例) ・育児・介護等に携わる研究者に対する研究補助者の配置や雇用経費の助成
 ・地域内の大学等と連携した代替要員制度の構築など、育児休業が取りやすくなるような代替教員の保障とそのPR
 ・休業中の教職員に対するICT等を活用した在宅での双方向ネットワークの構築

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (3) 育児休業等からの復帰を容易にすることを含めた施設設備の設置・充実
 例) ・病児・病後及び学童保育等の多様な保育ニーズに対応できる学内保育施設の整備
 ・更衣室・休憩室・マタニティコーナー等の整備及びベビーベッドを備えたトイレ等の設備の整備・改修
 ・夜間等における安全確保など防犯体制の整備

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (4) 女性研究者が不安や悩みを相談できるようなメンタル的なサポート体制の整備・充実
 例) ・教職員が、キャリアプランや育児、介護などの相談ができる総合相談窓口の設置などの体制の整備
 ・女性研究者の現状を把握するためのメンターや巡回相談員を配置
 ・女性研究者等が、相互に問題点の共有及びQ&Aが可能なネット上のフォーラムやメーリングリストの構築

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

4. 意識啓発の推進について

- (1) 男女の固定的な性別役割分担意識の解消や職場慣行の見直しと改善

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (2) 男女共同参画を推進する諸制度の学内外への積極的広報

例) ・両立支援制度の大学ホームページへの掲載
 ・教職員を対象にした両立支援制度の説明会の開催

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (3) 男女共同参画に係る教育研究の推進と啓発セミナー・シンポジウム等の開催

例) ・地域等と連携した男女共同参画推進の取組の企画・実施、シンポジウム等の開催

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

- (4) 両立支援制度(育児・介護休業等)の活用可能な雰囲気醸成

例) ・両立支援制度の取得を促すポスター・リーフレットの作成
 ・ワーク・ライフ・バランスの観点から、年次休暇等の積極的取得を促進する通知の発出
 ・育児休業を取得した教員が所属する部局へのインセンティブの付与

実施中 検討中 未検討 回答取り消し

アクションプランを踏まえて

前回調査時点(平成24年5月1日)以降、新たに始め、特に成果を上げた取組み等があれば
 ご自由にご記入ください。

記入セル内での改行は [Alt]キーを押しながら[Enter]キーを押してください。

ご協力ありがとうございました。

貴学における男女共同参画に関する調査資料、報告書、学長声明、指針、規則等の
 関連資料、広報活動のポスターや配付資料など、参考にさせて頂ける資料がありましたら
 国立大学協会事務局宛 1部 お送りください。

大学名	ランキング 順位	合計(助手を除く)		学長		理事		副学長		教授		准教授		講師(常勤)		助教		助手		女性教員比率 (※電子媒体で調査を行った第3回以降の数値を掲載)									
		男	女	女性比率(%)	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	第3回 平成17年	第4回 平成18年	第5回 平成20年	第6回 平成21年	第7回 平成22年	第8回 平成23年	第9回 平成24年	第10回 平成25年	
		8870	870	14.1	83	3	335	8	197	14	19,727	1,819	15,370	2,640	3,972	936	14,187	3,450	277	368	9.3	11.4	11.8	12.1	12.7	13.0	13.6	14.1	
国立大学全体	—	53,871	8,870	14.1	83	3	335	8	197	14	19,727	1,819	15,370	2,640	3,972	936	14,187	3,450	277	368	9.3	11.4	11.8	12.1	12.7	13.0	13.6	14.1	
お茶の水女子大学	1	112	85	43.1	0	1	3	0	0	0	72	34	31	28	0	15	6	7	0	18	41.2	46.3	45.9	44.8	42.6	44.1	43.6	43.1	
東京外国語大学	2	162	82	33.6	1	0	2	0	2	1	89	34	52	35	15	11	1	1	1	0	29.5	32.0	31.3	31.7	31.7	30.2	32.4	33.6	
奈良女子大学	3	140	69	33.0	1	0	3	1	0	0	69	20	57	17	5	6	5	25	0	0	22.4	27.7	25.9	27.4	29.5	31.1	31.9	33.0	
総合研究大学院大学	4	21	8	27.6	1	0	2	0	0	0	3	2	4	1	2	2	9	3	0	0	7.7	27.8	23.5	23.5	27.8	28.6	27.6	27.6	
大阪教育大学	5	197	62	23.9	1	0	4	0	1	1	119	26	62	29	9	6	1	0	0	0	19.0	21.0	22.3	22.3	22.7	22.8	23.8	23.9	
東京学芸大学	6	255	74	22.5	0	1	2	1	1	1	144	26	87	31	15	13	6	1	0	0	17.4	17.6	18.8	20.1	20.5	20.3	21.8	22.5	
福岡教育大学	7	152	44	22.4	1	0	3	0	4	0	87	25	50	15	7	4	0	0	0	0	20.2	22.0	22.3	21.4	21.7	22.6	22.4	22.4	
京都教育大学	8	101	29	22.3	0	1	3	0	4	0	56	11	35	14	3	3	0	0	0	0	17.2	19.1	18.3	18.3	20.0	20.6	22.2	22.3	
兵庫教育大学	9	123	34	21.7	1	0	2	0	1	0	75	13	40	17	2	2	2	2	0	0	14.0	15.7	16.4	17.0	19.2	18.9	19.6	21.7	
上野教育大学	10	131	36	21.6	1	0	1	1	3	0	60	12	50	18	15	4	1	1	0	0	19.1	20.6	20.3	21.1	20.7	21.1	20.5	21.6	
東京医科歯科大学	11	591	155	20.8	1	0	5	0	9	0	123	22	105	22	90	20	258	91	0	0	13.1	15.7	16.3	17.3	18.1	18.4	20.0	20.8	
滋賀大学	12	174	45	20.5	1	0	4	0	2	0	85	20	64	16	18	9	0	0	0	1	3	16.9	17.6	17.3	17.9	18.3	19.8	21.0	20.5
奈良教育大学	13	92	23	20.0	1	0	2	0	3	0	53	7	29	15	4	1	0	0	0	0	20.8	19.1	18.3	17.0	18.4	18.3	20.0	20.0	
鳴門教育大学	14	124	31	20.0	1	0	3	0	0	0	64	11	44	15	12	4	0	1	0	0	16.0	17.3	18.1	18.4	19.2	19.9	20.5	20.0	
和歌山大学	15	19	247	57	18.8	1	0	3	0	6	0	117	17	84	32	14	1	22	7	3	3	10.3	13.8	14.8	15.2	16.4	17.5	18.2	18.8
千葉大学	16	968	220	18.5	1	0	5	0	4	0	374	58	278	65	62	16	244	81	0	6	12.5	15.5	16.4	16.6	17.0	17.1	17.7	18.5	
徳島大学	17	16	790	175	18.1	1	0	5	0	0	260	17	177	28	96	17	251	113	0	0	8.2	15.2	16.1	16.1	16.1	18.9	19.3	19.2	18.1
愛知教育大学	18	22	206	45	17.9	1	0	4	0	0	106	14	64	21	25	8	6	2	1	0	15.0	15.6	13.9	14.5	16.7	16.8	17.3	17.9	
北海道教育大学	19	21	326	71	17.9	1	0	4	0	6	2	170	23	124	36	21	10	0	0	0	13.1	14.1	14.7	15.5	16.1	16.4	17.4	17.9	
筑波技術大学	20	30	92	20	17.9	1	0	1	0	2	0	41	7	33	8	6	2	8	3	0	—	13.2	13.0	14.2	14.9	15.9	15.9	17.9	
島根大学	21	23	616	133	17.8	1	0	5	0	0	239	16	175	32	51	34	145	51	0	0	10.1	11.6	13.7	14.6	15.8	15.5	16.8	17.8	
鳥取大学	22	18	65	14	17.7	1	0	0	0	4	0	35	7	25	7	0	0	0	0	1	21.1	18.8	13.3	21.3	19.2	20.5	18.4	17.7	
政策研究大学院大学	23	24	526	113	17.7	1	0	4	0	0	225	27	152	24	41	11	103	51	0	6	9.4	13.7	15.4	15.8	17.1	16.7	16.6	17.7	
香川大学	24	32	299	64	17.6	1	0	4	0	0	49	9	40	8	40	8	165	38	2	9	13.6	14.2	15.6	16.6	17.5	16.2	15.8	17.6	
滋賀医科大学	25	28	469	100	17.6	1	0	4	0	5	0	153	20	133	16	65	9	108	55	0	8.7	13.7	14.8	15.0	15.9	16.0	16.3	17.6	
秋田大学	26	17	189	40	17.5	1	0	3	0	2	0	103	13	57	19	3	1	20	7	0	2	11.7	17.2	18.2	17.0	17.9	17.6	18.6	17.5
東京芸術大学	27	15	267	56	17.3	1	0	3	0	2	0	56	8	40	9	39	8	126	31	0	13.4	17.2	17.9	18.4	19.5	19.0	19.4	17.3	
浜松医科大学	28	25	549	111	16.8	1	0	4	0	7	1	199	12	136	30	77	21	125	47	0	9.6	12.5	13.5	13.8	15.3	15.6	16.5	16.8	
高知大学	29	33	919	185	16.8	1	0	6	0	8	0	287	31	215	44	71	12	331	98	2	0	9.0	14.4	14.6	14.9	15.4	15.3	15.8	16.8
長崎大学	30	38	281	56	16.6	1	0	3	0	0	175	31	75	19	21	6	6	0	8	55	15.1	15.2	15.3	15.1	16.5	15.8	15.4	16.6	
一橋大学	31	26	197	39	16.5	1	0	3	0	2	0	111	20	75	19	4	0	1	0	1	12.3	13.7	14.1	14.3	14.1	14.8	16.5	16.5	
筑波大学	32	34	1,510	296	16.4	1	0	7	0	1	582	63	455	104	233	53	231	75	1	0	11.5	13.3	13.9	14.3	15.2	15.6	15.6	16.4	
富山大学	33	27	755	147	16.3	1	0	5	0	4	0	294	37	206	50	65	9	180	51	6	7	11.6	14.9	16.3	15.8	16.3	16.6	16.4	16.3
大分大学	34	40	489	94	16.1	1	0	5	0	3	0	156	17	117	21	46	12	161	44	1	7	11.5	13.1	13.8	13.6	14.5	14.4	15.0	16.1
旭川医科大学	35	31	292	56	16.1	1	0	3	0	0	49	10	39	7	51	7	149	32	0	0	10.9	15.8	15.4	15.2	15.7	15.6	15.8	16.1	
埼玉大学	36	37	381	73	16.1	1	0	3	0	3	0	191	26	128	35	9	4	46	8	1	1	12.6	14.1	14.2	15.0	15.1	14.9	15.4	16.1
熊本大学	37	35	778	148	16.0	1	0	4	0	2	1	298	31	230	50	65	13	178	53	1	1	9.3	13.0	12.7	12.8	13.9	14.5	15.5	16.0
佐賀大学	38	49	564	105	15.7	1	0	4	0	0	203	15	174	28	54	17	128	45	2	1	10.3	12.6	13.4	13.9	14.3	14.3	14.3	15.7	
鳥取大学	39	42	626	116	15.6	1	0	5	0	4	0	196	11	167	28	58	23	195	54	0	0	8.4	13.0	13.6	13.5	14.0	14.6	14.8	15.6
山梨大学	40	36	601	110	15.5	1	0	5	0	0	178	18	161	30	42	8	214	54	4	8	9.9	14.4	12.8	12.6	12.6	13.5	15.4	15.5	
宮城教育大学	41	29	101	18	15.1	1	0	3	0	1	0	59	10	34	8	3	0	0	0	2	13.7	15.3	14.6	14.5	17.2	16.1	16.1	15.1	
宮崎大学	42	39	557	99	15.1	1	0	4	0	4	0	159	17	150	25	40	14	199	43	1	4	9.9	12.6	13.3	13.3	14.3	14.6	15.1	15.1

大学名	ランキング		合計(助手を除く)		学長		理事		副学長		教授		准教授		講師(常勤)		助教		助手		女性教員比率 (※電子媒体で調査を行った第3回以降の数値を掲載)									
	順位	第9回(前回)	男	女	女性比率(%)	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	第3回 平成17年	第4回 平成18年	第5回 平成20年	第6回 平成21年	第7回 平成22年	第8回 平成23年	第9回 平成24年	第10回 平成25年	
横浜国立大学	43	54	496	88	15.1	1	0	3	1	0	0	268	31	170	39	18	9	36	8	14	9.9	10.9	12.0	11.6	12.7	13.5	13.7	15.1		
金沢大学	44	43	853	151	15.0	1	0	5	0	0	0	336	50	240	43	64	1	207	57	4	1	10.6	14.0	13.9	13.4	13.8	14.0	14.6	15.0	
宇都宮大学	45	41	283	50	15.0	1	0	4	0	0	0	137	18	96	25	14	6	31	1	1	0	11.0	11.8	12.0	12.8	13.6	14.5	14.8	15.0	
三重大学	46	44	669	118	15.0	1	0	4	1	7	0	211	29	173	33	79	15	194	40	0	0	11.3	12.7	13.4	14.2	14.3	14.6	14.6	15.0	
群馬大学	47	45	717	126	14.9	1	0	4	0	1	0	201	21	168	22	72	16	270	67	2	0	9.7	12.7	13.2	13.7	14.2	14.7	14.5	14.9	
神戸大学	48	59	1,287	226	14.9	1	0	5	0	0	0	527	45	380	64	89	20	285	97	2	21	8.9	10.9	10.8	11.0	11.5	11.7	13.2	14.9	
岐阜大学	49	50	650	114	14.9	1	0	5	0	1	1	240	24	206	35	36	5	161	49	1	1	9.7	11.7	11.8	12.5	13.5	13.5	14.3	14.9	
名古屋大学	50	51	1,845	321	14.8	1	0	7	0	3	0	635	54	492	102	157	37	550	128	2	6	9.1	10.5	11.8	12.3	13.2	13.1	14.3	14.8	
琉球大学	51	57	708	123	14.8	1	0	4	1	2	0	271	26	216	34	54	20	160	42	0	0	10.6	12.0	12.0	12.7	13.4	13.1	13.4	14.8	
広島大学	52	53	1,522	263	14.7	1	0	5	0	5	1	556	42	397	56	110	34	448	130	3	0	7.6	10.0	10.5	11.5	11.5	12.8	13.9	14.7	
福井大学	53	47	458	79	14.7	1	0	3	0	1	0	168	13	133	22	52	11	100	33	2	5	8.4	11.1	12.8	13.6	13.4	13.8	14.4	14.7	
弘前大学	54	56	616	106	14.7	1	0	5	0	0	0	203	26	178	25	85	16	144	39	24	18	10.7	11.6	11.7	12.1	11.7	12.8	13.4	14.7	
新潟大学	55	48	940	161	14.6	1	0	5	0	4	0	326	19	333	58	56	17	215	67	2	5	9.3	13.2	13.5	13.9	13.8	14.2	14.4	14.6	
鹿児島大学	56	52	949	158	14.3	1	0	5	0	3	0	331	20	270	42	84	15	255	81	0	3	7.2	11.7	12.0	12.3	12.7	12.9	14.1	14.3	
岡山大学	57	55	1,103	182	14.2	1	0	6	0	1	1	421	35	324	55	87	7	263	84	2	7	8.9	11.2	12.3	12.1	12.5	13.0	13.4	14.2	
山口大学	58	46	810	132	14.0	1	0	5	0	3	0	298	32	220	40	79	20	204	40	2	4	10.5	12.8	12.3	12.2	13.9	14.0	14.5	14.0	
愛媛大学	59	58	732	117	13.8	1	0	4	0	3	0	258	24	238	40	79	11	149	42	2	4	8.3	10.8	10.7	11.6	11.8	11.5	13.2	13.8	
東京海洋大学	60	60	196	30	13.3	1	0	3	0	0	0	88	8	72	15	1	0	31	7	13	1	8.1	11.3	11.7	11.4	11.5	12.6	13.1	13.3	
静岡大学	61	63	611	93	13.2	1	0	4	0	5	1	304	28	198	42	42	13	57	9	2	0	8.5	9.9	10.1	10.9	11.4	12.3	12.2	13.2	
大阪大学	62	66	2,725	392	12.6	1	0	7	0	0	0	831	60	749	102	177	45	960	185	3	10	4.9	8.4	10.1	10.8	11.2	11.2	11.7	12.6	
信州大学	63	64	912	131	12.6	1	0	5	0	7	0	322	18	270	34	67	15	240	64	1	3	8.4	10.0	10.6	11.0	10.9	11.7	12.0	12.6	
山形大学	64	61	759	109	12.6	1	0	5	0	0	0	277	23	234	35	54	11	188	40	2	1	10.0	12.0	12.4	13.1	13.0	13.5	13.0	12.6	
東京農工大学	65	65	358	49	12.0	1	0	4	0	0	0	143	10	141	17	17	10	52	12	1	0	6.1	7.3	7.8	8.2	10.5	11.2	11.7	12.0	
北海道大学	66	67	2,083	277	11.7	1	0	7	0	0	0	723	30	598	79	133	21	621	147	8	15	5.6	8.0	8.3	8.3	9.1	10.1	11.1	11.7	
小樽商科大学	67	76	113	15	11.7	1	0	2	0	1	0	61	7	44	8	0	4	0	4	0	0	3	11.9	13.0	12.4	10.3	9.4	9.4	8.8	11.7
九州大学	68	68	2,057	271	11.6	1	0	7	1	7	1	664	33	616	75	105	30	657	131	8	11	5.9	7.8	7.9	8.4	9.5	10.1	11.1	11.6	
茨城大学	69	69	452	58	11.4	1	0	3	0	1	0	243	16	160	33	29	4	15	5	2	3	10.7	9.9	10.8	10.1	10.6	10.7	11.0	11.4	
岩手大学	70	72	358	45	11.2	1	0	3	0	1	1	174	8	138	26	4	4	37	6	0	0	7.7	8.5	8.9	8.9	9.2	9.1	10.1	11.2	
鹿屋体育大学	71	62	56	7	11.1	1	0	2	0	1	0	22	2	11	1	1	9	1	10	3	0	12.5	16.1	14.1	12.7	15.2	15.2	12.7	11.1	
東京大学	72	70	3,349	415	11.0	1	0	6	1	7	0	1,201	66	804	97	221	34	1,109	217	23	21	6.3	9.0	8.9	9.8	9.9	10.1	10.5	11.0	
東北大学	73	71	2,618	321	10.9	1	0	7	0	3	0	815	42	660	69	145	28	987	182	112	71	5.2	7.9	8.2	8.8	9.6	9.7	10.2	10.9	
京都大学	74	73	3,052	361	10.6	1	0	7	0	2	0	1,012	63	825	95	186	28	1,019	175	3	1	5.9	7.9	8.6	8.7	9.2	9.5	9.9	10.6	
京都工芸繊維大学	75	75	274	30	9.9	1	0	4	0	0	0	125	11	95	15	2	0	47	4	1	1	5.4	7.0	7.6	7.6	8.4	9.3	9.5	9.9	
奈良先端科学技術大学院大学	76	74	173	18	9.4	1	0	3	0	0	0	49	2	43	0	0	0	77	16	2	0	2.8	7.1	8.2	10.1	9.9	10.6	9.5	9.4	
帯広畜産大学	77	77	118	12	9.2	1	0	2	0	2	0	51	1	43	5	9	1	22	5	0	0	4.8	4.5	5.4	7.4	7.4	7.0	7.4	9.2	
名古屋工業大学	78	79	336	24	6.7	1	0	3	0	5	0	124	6	131	10	0	0	72	8	0	0	4.8	4.2	4.3	5.0	5.6	5.6	6.4	6.7	
東京工業大学	79	78	1,026	69	6.3	1	0	3	0	0	0	367	11	301	25	16	2	338	31	0	0	3.5	5.1	5.2	5.5	6.4	6.6	6.6	6.3	
九州工業大学	80	83	349	23	6.2	1	0	4	0	3	0	133	4	142	14	3	2	63	3	0	0	3.8	4.9	4.6	4.9	5.1	5.0	5.3	6.2	
長岡技術科学大学	81	80	205	13	6.0	1	0	2	0	3	0	76	2	73	5	3	0	47	6	1	0	1.2	3.7	4.8	5.2	5.3	6.0	5.7	6.0	
豊橋技術科学大学	82	81	213	13	5.8	1	0	3	0	5	0	70	2	70	8	10	1	54	2	5	2	3.6	3.4	3.4	4.4	4.4	5.9	6.0	5.6	5.8
豊橋通信大学	83	82	290	17	5.5	1	0	4	0	3	0	111	5	106	7	5	0	60	5	0	0	4.7	6.5	6.6	6.1	5.4	5.5	5.5	5.5	
北邦先端科学技術大学院大学	84	85	182	9	4.7	1	0	3	0	2	0	65	2	50	4	3	0	58	3	0	0	4.0	6.8	5.8	6.0	5.4	4.4	3.1	4.7	
北原工業大学	85	84	147	7	4.5	1	0	2	0	2	0	49	1	58	3	5	1	30	2	0	0	3.3	3.5	4.5	3.8	3.2	4.6	4.1	4.5	
室蘭工業大学	86	86	186	8	4.1	1	0	3	0	3	0	76	1	62	5	12	0	29	2	0	0	1.2	2.0	2.0	2.1	2.6	2.6	2.7	4.1	

平成25年7月26日現在

教育・研究委員会 男女共同参画小委員会名簿

委員長	谷口 功	熊本大学長
委員	結城 章夫	山形大学長
//	村松 泰子	東京学芸大学長
//	佐藤 芳徳	上越教育大学長
//	小笠原 直毅	奈良先端科学技術大学院大学長
//	田中 雄三	鳴門教育大学長
//	福永 哲夫	鹿屋体育大学長
専門委員	後藤 弘子	千葉大学大学院専門法務研究科教授
//	束村 博子	名古屋大学教授（男女共同参画担当総長補佐）
//	立屋 敷かおる	上越教育大学理事兼副学長
//	江藤 みちる	三重大学医学系研究科助教

平成 26 年 2 月発行

国立大学における男女共同参画推進の実施に関する
第 10 回追跡調査報告書

編 集 一般社団法人国立大学協会
教育・研究委員会 男女共同参画小委員会
発 行 一般社団法人国立大学協会 事務局



一般社団法人 国立大学協会

The Japan Association of National Universities